

ライオンズクラブ国際協会 334-A地区

第一回 キャビネット会議

次第・議案・諸資料



334-A地区スローガン

動けば変わる! We Serve

2025年8月8日(金)

於:名古屋ガーデンパレスホテル

第1回キャビネット会議 出席者名簿

役 職 名	氏 名		役 職 名	氏 名	
地区ガバナー	速水 清朗		地区年次大会委員長	西尾 恒章	
元国際理事・地区名誉顧問・			地区会則委員長	山田 実	
元地区ガバナー	栢森 新治		地区マーケティング委員長	西堀 浩也	
元国際理事・地区名誉顧問・			地区会員増強委員長	犬飼 将清	
元地区ガバナー	竹内 淳一		地区リーダーシップ委員長	西村 努	
LCIF 開発会則地域リーダー・GAT エリアリーダー・			地区奉仕事業委員長	兼子 伸幸	
地区名誉顧問・元地区ガバナー	鈴木 誓男		地区LCIF・国際関係委員長	下川 健	
2025-2026 グループリーダー・			地区YCE・レオ委員長	大津 尚彦	—
地区名誉顧問・元地区ガバナー	濱島 清美		地区地区アット・環境保全委員長	小泉 安弘	
GAT 副エリアリーダー(MD334・MD335 担当)・			地区ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員長	矢野 照明	
334 複合地区 GET コーディネーター・			地区保健・福祉委員長	奥村 和久	
地区名誉顧問・元地区ガバナー	大山 恭範		地区女性及び若手会員委員長	森 里香	—
334 複合地区 GLT コーディネーター・			地区誌編集委員長	松本 高武	
地区名誉顧問・元地区ガバナー	加藤 史典				
地区名誉顧問会議長・前地区ガバナー	柴田 高志		地区総務委員長兼キャビネット副幹事	鈴木 治雄	
第一副地区ガバナー	中村 宗雄		地区管理委員長兼キャビネット副幹事	伴野 功	
第二副地区ガバナー	松下 靖典		地区奉仕推進運営委員長兼キャビネット副幹事	正木 健司	
地区名誉顧問・元地区ガバナー	木野村好己		地区広報委員長兼キャビネット副幹事	橋野 哲也	
〃	岩田 有司	—	地区改革推進委員長兼キャビネット副幹事	中野 康孝	
〃	藤井 大川	—	地区国際事業委員長兼キャビネット副幹事	中島 将登	
〃	根岸 昭雄	—	地区国際交流委員長兼キャビネット副幹事	鈴木 貴雄	欠
〃	野村 善弘		地区社会事業委員長兼キャビネット副幹事	坪井 隆幸	欠
〃	加藤助太郎	欠	地区青少年育成委員長兼キャビネット副幹事	星野 真二	欠
〃	柴田富志夫	欠	地区IT委員長兼キャビネット副幹事	河村 好則	
〃	杉浦 均		地区財務委員長兼キャビネット副会計	岡田 治朗	
〃	榎本 舜治				
〃	青木 重臣	欠			
〃	稲垣 清明	欠			
〃	曾我 一義	—	会計監査委員	深谷 洋二	欠
			会計監査委員	加藤 太	欠
キャビネット幹事	中野 正也				
キャビネット会計	吉川 敦				
			地区GET副コーディネーター	杉戸 清高	
			〃	近藤 資浩	
			〃	佐藤 彰	
			〃	杉浦 義和	
			〃	伊藤 美穂	
			〃	伊藤 圭太	欠
地区GMTコーディネーター	大藪 伸康		地区会員増強副委員長	都築 実	欠
地区GETコーディネーター	野村 政司		〃	中澤 雅美	欠
地区GLTコーディネーター	谷 典芳		〃	近藤 資浩	
地区LCIFコーディネーター	原口 秀樹		〃	杉山幸紀夫	一欠
地区GSTコーディネーター	倉知 清和		〃	吉江有希子	一欠
地区WYPTコーディネーター	三尾友貴美		〃	佐藤 精一	—
			〃	石川 光昭	—
1R1Zゾーン・チェアパーソン	平湯 芳裕	—	〃	久米 宏和	欠
1R2Z	原口 秀樹		〃	新郷 孝廣	欠
2R1Z	佐野 彰		〃	村瀬 太一	—
2R2Z	大木 光章		〃	西村 美奈	欠
3R1Z	井上 文男		〃	若山 哲史	欠
3R2Z	中島 一彦		〃	喜多山裕史	
4R1Z	森 太郎	—	〃	佐藤 由紀	欠
4R2Z	片桐 照二		〃		
5R1Z	川口 潤		〃		
5R2Z	加藤 幹男		〃		
6R1Z	倉知 義治		〃		
6R2Z	曾我 衛		〃		
7R1Z	丹羽 雄二		前年度キャビネット幹事	阿部 星児	—
7R2Z	中村 恵介	欠	前年度キャビネット会計	星野 隆輝	—
7R3Z	北川 隆宏				
8R1Z	野村 清明		前年度会計監査委員	細江 利男	
8R2Z	中嶋 誓治		前年度会計監査委員	豊田 邦彦	—

第1回キャビネット会議次第並びに議案

日 時：2025年8月8日（金） 14：00～17：00
 場 所：名古屋ガーデンパレスホテル 3階
 司 会：地区管理委員長 兼 キャビネット副幹事 伴野 功

(敬称略)

次 第

1. 開会宣言及びゴング	地区ガバナー	速水 清朗	
2. 国旗に敬礼		全 員	
3. 出席者の紹介	キャビネット幹事	中野 正也	
4. 地区ガバナーあいさつ	地区ガバナー	速水 清朗	
5. 元国際理事あいさつ	元国際理事	竹内 淳一	
6. 地区名誉顧問会議長あいさつ	地区名誉顧問会議長	柴田 高志	
7. 役員にラベルピン伝達			
8. アワード伝達			
9. 報告事項			
(1) 国際大会公式通達			7
(2) 国際会長のプログラム			9
(3) 国際理事会決議要約			21
(4) 全日本レベル会議・その他議事報告			
① 一般社団法人日本ライオンズ第12回理事会			27
② 一般社団法人日本ライオンズ第11回理事会			33
③ 一般社団法人日本ライオンズ第10回理事会			35
④ 一般社団法人日本ライオンズ第9回理事会			43
⑤ 一般社団法人日本ライオンズ第4回社員総会(全国ガバナー会)			54
⑥ 一般社団法人日本ライオンズ第3回社員総会(全国ガバナー会)			64
⑦ 一般社団法人日本ライオンズ第8回アラート委員会			72
⑧ 一般社団法人日本ライオンズ第7回アラート委員会			77
⑨ 一般社団法人日本ライオンズ第6回YCE委員会			83
⑩ 一般社団法人日本ライオンズ第5回YCE委員会			86
(5) ガバナー協議会・その他議事報告			
① 次期地区ガバナー候補者予備会議			91
② 第4回334複合地区ガバナー協議会			94
③ 第7回334複合地区YCE委員会			97
④ 第6回334複合地区YCE委員会			99
⑤ 第5回334複合地区YCE委員会			100
⑥ 第4回334複合地区LCIF委員会			101
⑦ 第3回334複合地区LCIF委員会			105
⑧ 第4回334複合地区指導力育成委員会			115
⑨ 第4回334複合地区会員増強委員会			117
⑩ 第5回334複合地区家族及び女性委員会			120
⑪ 第4回334複合地区家族及び女性委員会			123
⑫ 第5回334複合地区国際大会委員会			124
⑬ 第4回334複合地区国際大会委員会			126
10. 前年度地区ガバナー／キャビネット幹事・会計に対する感謝決議			
11. 審議事項並びに協議事項			
(1) 地区ガバナーの本年度地区運営方針並びに活動方針			131
(2) -1 キャビネットの機能について			139
-2 334-A地区組織表			145
-3 クラブ会員数			147
-4 キャビネット業務分担表(案)			148

(3) ゾーン・チェアパーソン活動費(案)承認の件	149
(4) 本年度地区会計予算(案)承認の件	151
(5) 334-A地区キャビネット旅費規程(案)承認の件	152
(6) 334-A地区慶弔規程(案)承認の件	153
(7) 地区年次大会表彰規定(案)承認の件	154
(8) 公式訪問・周年行事日程予定表(案)承認の件	155
(9) 各種会議開催日程(案)承認の件	156
(10) キャビネット会計の業務に関する事項(案)承認の件	158
(11) キャビネット幹事・会計職務執行の証として担保提供(案)承認の件	159
(12) スペシャルティクラブの申請の件	160
(13) CBCテレビ遊び防災フェスへの特別協賛の件	163
(14) 地区シェアリングおよびクラブシェアリング交付金申請のお願い	166
(15) 防災ボランティアセンター支援協定に基づく情報交換について	168
12. 334-A地区報告	
(1) 複合地区役員名簿	173
(2) 地区会計監査委員選任	175
(3) 国際理事候補者の報告	176
(4) 公式訪問・周年行事日程予定表(案)	178
(5) LCIF交付金について・地区及びクラブシェアリング交付金について	179
(6) ライオンズクラブ解散について	180
(7) エクステンション交付金について	180
(8) 逝去ライオンへの感謝状授与について	180
(9) 献眼・献腎 感謝状について	180
(10) キャビネット事務局夏季休暇のお知らせ	180
13. 年次大会に関して	
(1) 334複合地区 第71回年次大会代議員会日程・出席者数	183
(2) 334複合地区 第71回年次大会議事要録	184
(3) 334複合地区 第71回年次大会 年次報告	206
(4) 総括表	208
(5) 334複合地区の現況	210
(6) 334-A地区 第71回年次大会 代議員総会	213
(7) 334-A地区 第71回年次大会 報告書 中間活動報告	217
14. コーディネーター／ゾーン・チェアパーソン／地区委員長の活動計画表	
(1) コーディネーター	233
(2) ゾーン・チェアパーソン	246
(3) 地区各委員長	267
15. 参考資料	
マンスリーレポート集計年間報告／他	281
16. 質疑・その他	
	地区ガバナー 速水 清朗
17. 閉会宣言及びゴング	
	議事録作成者：地区管理委員長 兼 キャビネット副幹事 伴野 功

9. アワード伝達

国際協会

- 会員キー賞 シニアマスターキー
弥富ライオンズクラブ L.犬飼 将清

- エクステンション・アワード
豊田ルネッサンスライオンズクラブ L.鈴木 誓男
名古屋ウエストライオンズクラブ L.原口 秀樹
名古屋ウエストライオンズクラブ L.市川 勝

国際財団

- プロGRESSIP・メジャーギフト盾
春日井中央ライオンズクラブ L.木野村 好己

- メジャーギフト盾
豊橋ライオンズクラブ L.柴田 高志

- 2023-2024年度LCIF理事長メダル
2023-2024年度地区ガバナー L.木野村 好己

9. 報 告 事 項

- (1) 国際大会公式通達
- (2) 国際会長のプログラム
- (3) 国際理事会決議要約



公式通達 2025年国際大会、米国フロリダ州オーランド

以下の国際会則及び付則改正案が
2025年国際大会において提出され、代議員による票決の対象となります。

第1項：現地税金および納入金が適用されるクラブに対して、当該税金および納入金を国際協会が請求に含めることを認める決議案。

可決

(付則に対するこの改正案の可決には過半数の賛成票が必要)

下記の改正案を承認すべきか？

国際付則第12条「入会金及び会費」を改正し、新たな第3項を以下の通り挿入する。

第3項。現地納入金及び税金。上記第2項に従って課される会費に加えて、国際協会は、あらゆる政府組織または税務当局によって国際会費に課される現地税金や納入金に対応するため、追加の金額を徴収することができる。

さらに、第3項「延滞金利」の項番を第4項に繰り下げる。

第2項：アメリカ合衆国及びその領域、バミューダ、バハマ諸島の国際理事の定数を偶数年においては1名、奇数年においては2名減らし、南アメリカ、中央アメリカ、メキシコ、カリブ海諸島の国際理事の定数を偶数年において1名増やし、さらに、インド、南アジア、中東の国際理事の定数を奇数年において2名増やすことにより、国際理事の定数を再配分する決議案。

否決

(会則に対するこの改正案の可決には3分の2の賛成票が必要)

下記の改正案を承認すべきか？

2026年7月1日を施行日として、第5条第3項の既存の文言を全文削除し、以下の文言と差し替えて改正する。

第3項。国際理事会の会則地域別構成及び選挙。国際理事会は、会長、前会長、第一、第二、及び第三副会長、並びに、下記の通りに選出される理事で構成される。



各偶数年に 18 人の理事、すなわち米国及びその領域、バミューダ、バハマ諸島のクラブから 4 人、南アメリカ、中央アメリカ、メキシコ、カリブ海諸島のクラブから 2 人、ヨーロッパのクラブから 3 人、東洋東南アジアのクラブから 3 人、インド、南アジア及び中東のクラブから 4 人、オーストラリア、ニュージーランド、パプア・ニューギニア、インドネシア及び南太平洋諸島のクラブから 1 人、アフリカのクラブから 1 人を選出するものとする。

各奇数年に 17 人の理事、すなわち米国及びその領域、バミューダ、バハマ諸島のクラブから 4 人、カナダのクラブから 1 人、南アメリカ、中央アメリカ、メキシコ、カリブ海諸島のクラブから 1 人、ヨーロッパのクラブから 3 人、東洋東南アジアのクラブから 4 人、インド、南アジア及び中東のクラブから 4 人を選出するものとする。

第 3 項： 地区ガバナー、第一副地区ガバナー、または第二副地区ガバナーが同じクラブのメンバーであることを禁ずる決議案。

可決

(付則に対するこの改正案の可決には過半数の賛成票が必要)

下記の改正案を承認すべきか？

国際付則第 8 条第 7 項「地区キャビネット」の既存の文言を全文削除し、以下の文言と差し替えて改正する。

第 7 項。地区キャビネット。各単一地区及び準地区は、議長としての地区ガバナー、第一及び第二副地区ガバナー（いずれも同一クラブに属さないこと）、前地区ガバナー、並びにそれぞれ単一、暫定、又は複合地区会則の規定で定められる手順で選出又は任命されるリジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン、キャビネット幹事及びキャビネット会計又は幹事兼会計、その他地区（単一、準、複合）会則及び付則で規定されるクラブ会員で構成される地区ガバナー・キャビネットを設ける。ただし各地区のガバナーは、自分の任期中にリジョン・チェアパーソンの役職を活用するかどうか定める権限を持つ。活用されなかった場合には、リジョン・チェアパーソン職はその地区ガバナーの任期中、空席となる。それぞれの地区（単一、準、複合）は、その会則及び付則の中に、選出される第一及び第二副地区ガバナーの規定を加えなければならず、各職責は国際理事会によって定められる。所属クラブが存在するリジョン又はゾーンのクラブ会員だけが、そのリジョン・チェアパーソン又はゾーン・チェアパーソンとして選出又は任命されるものとする。

A.P. シン
国際会長
2025-2026年度

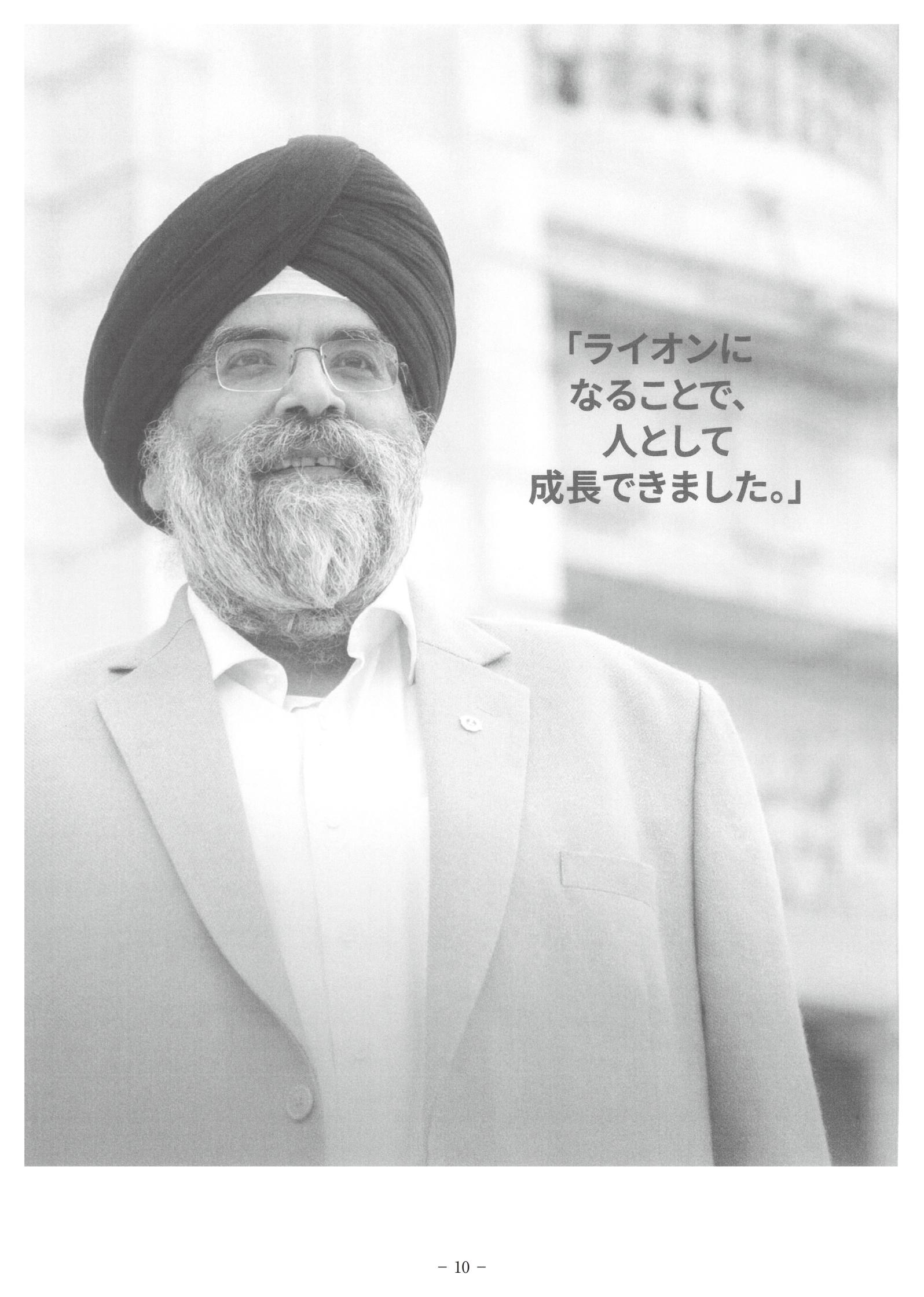


リーダーシップこそ奉仕、 奉仕こそリーダーシップ。



この世界を、私たちが受け継いだ時よりよいものにして、次の世代に残したい。力を合わせて行う奉仕が、それを可能にします。

そして、会員を増やすことで、私たちの奉仕はもっと拡大できます。



「ライオンに
なることで、
人として
成長できました。」

● ● ● ● ● ●

彼の世界を形造ったもの

A.P.シンの故郷インドは、他に類を見ない国だ。インドは人類文明発祥の地であり、その文化の起源は数千年前にさかのぼる。そんな悠久の歴史にもかかわらず、現代インドはこれまでにない若さと繁栄に満ち溢れている。

コルカタで生まれたA.P.は、詩人タゴールの夢を胸に抱いて育った。

心には恐れがなく 首をすくめることのないところ
世界が狭き内政の壁に分かたれることのないところ
澄みきった理性のせせらぎが
死せる因習の砂漠に迷い込むことのないところ

そのような自由の聖域へと、我が父よ、
我が祖国を目覚めさせたまえ

そしてこれこそ、A.P.がライオンとして掲げるビジョンだ。

彼は、奉仕とリーダーシップは表裏一体であると信じている。ライオンズは、偉大なリーダーになろうと努力するのではなく、ただ全力で人のために奉仕をしようとする。その奉仕の結果、ライオンズは偉大なリーダーへと成長するのだ。

この奉仕とリーダーシップの融合が、私たちが**サーバントリーダーシップ**というより崇高な境地へと導くものであり、A.P.は、これこそが私たちの組織の目指すべき姿だと考えている。

そういう意味では、彼をライオンズに導いたのは、運命だったのかもしれない。

「ライオンになって、私は人として成長できました」と彼は言う。「そしてライオンとして生きる中で、自分には他者に対する義務があることに気づかされました。ありが

たいことに、それを実行する手段も同時に与えられたのです」。

A.P.に影響を与えたのは、故郷で身につけた分かち合いの原則と、ハリール・ジブラーンの思想だ。

あなたが自分の持ちものを与えるなら、まだ少ししか与えていない。

自分自身を与えてはじめて、真に与えたといえる。

自分の井戸が満たされているときにおぼえる渇きへの恐れは、決して満たされることのない渇きではないか？ それゆえ、今すぐ与えなさい。与える季節があなたのものとなり、あなたの相続人のものにはならないように。あなたはしばしば言う、「与えるつもりはある、ただし受けるに値する者にのみ」と。

あなたの果樹園の木々はそうは言わない。あなたの牧場の群れもそうは言わない。

彼らは生きるために与える。出し惜しむことは滅びることだからである。

日々夜々を与えられている者が、あなたからその他のすべてを受けるに値しないはずがあるうか。

生命の海から飲むことを許された者が、あなたの小さな流れで杯を満たすことを許されないはずがあるうか。

A.P.の価値観のルーツがインドだったとすれば、A.P.の奉仕の人生が動き出した場所はライオンズだ。インド人の心とグローバルな精神を両方持ち合わせた今の彼は、異文化環境の中で、**ミッション1.5**時代を迎えたライオンズを発展させる準備ができています。

サーバントリーダーとして、A.P.はライオンズの声に耳を傾け、その上で世界のライオンズの代弁者となり、自らが最初の奉仕者(サーバント)として行動したいという強い思いに駆られている。

ライオンズ拡大のビジョン

他の多くのライオンズと同様、A.P.もライオンとして歩み始めた当初は、自分のクラブと地域社会だけに目を向けていた。しかし、世界各地のライオンズフォーラムや大会に参加し、そこで出会ったライオンたちと親睦を深めるなかで、徐々にグローバルな視点で物事を見るようになった。

世界は多様性に富んでいるが、国際理解のための架け橋を築き、地域社会で奉仕することの重要性においては共通している。

世界中のすべての地区を拡大する必要があること、そして力を合わせればそれが可能であることを、A.P.は確信している。

A.P.は言う。「人がいなければ、組織は成り立ちません。」

奉仕のないライオンズクラブには意味がなく、成長しないライオンズ地区は協会への責任を果たしているとは言えない。私たちは伝統を絶やさず、奉仕の灯火を明るく燃やし続けなければならない。より多くの人々に奉仕できるよう、私たちは成長しなければならない。

A.P.は、会員を増やすことを — そしてそれによってもたらされる奉仕の増加を — 私たちが目指すべき最大の目標と考えており、新クラブを立ち上げ新会員を加えることが私たちの未来にとって不可欠であることを、ライオンズにはよく理解してもらいたいと願っている。

「道は二つに一つです。ここで連帯して成長を目指すか、あるいは弱り果て徐々に衰えゆく人

のようにゆっくりと滅びていくか」。ライオンズ・インターナショナルは人類への最高の贈り物であり、自然災害、糖尿病、小児がん、視力障害、気候変動などの社会問題によって立ちこめる絶望の暗雲に一条の光をもたらす存在だ。

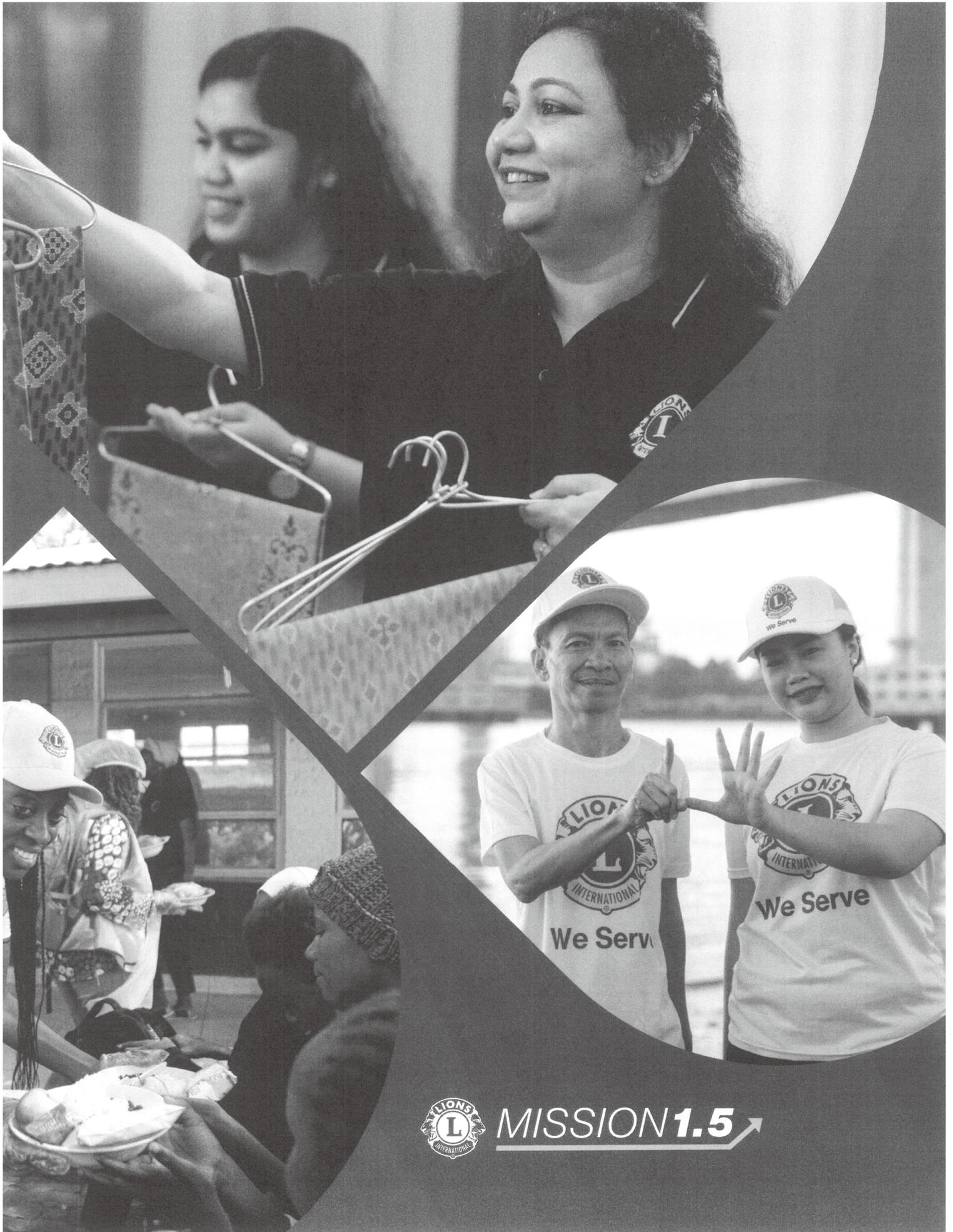
A.P.は、ライオン一人ひとりに果たすべき役割と返すべき借りがあると信じている。

私たちは皆、誰かがライオンズに誘ってくれたから、今日ここにいる。私たちのクラブを結成しようと尽力してくれた人がいたからこそ、今日ライオンとして活動している。今度は私たちが地区に次のクラブを作る番だ。

こうして私たちの奉仕が成長する。こうして私たちの伝統が成長する。これこそが、世界中のライオンズが**ミッション1.5**を通じてクラブと奉仕を成長させようと奮起している理由だ。

A.P.は、会員こそが中核だと考える。リーダーシップを揮うのも、奉仕をするのも、会員。

私たちを定義するのも、私たちを動かすのも、会員。そして私たちを前進させるのも会員だ。



MISSION 1.5 ↗



.....

リーダーシップこそ奉仕、 奉仕こそリーダーシップ。

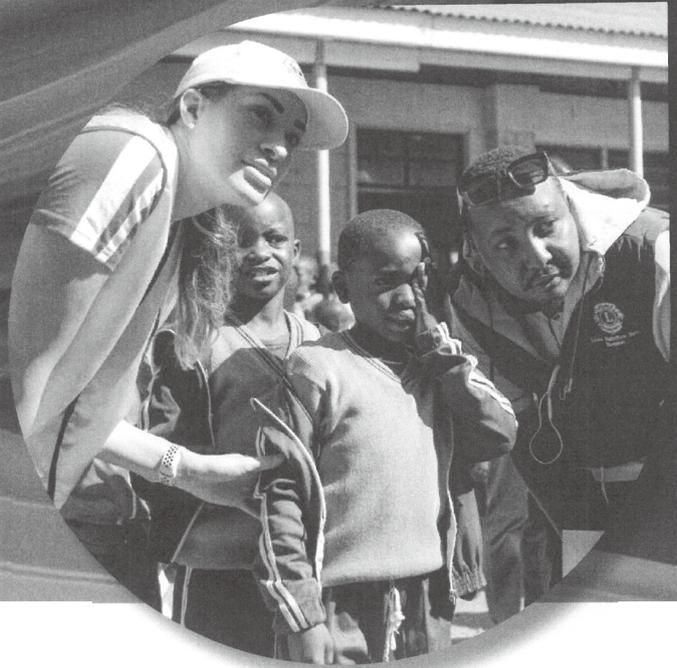
奉仕するとき、私たちは仲間のライオンズやレオとともに立ち上がります。世界の人々とともに立ち上がります。そして、私たちは思いやりという、奉仕する人全員の心を動かす原動力のために立ち上がります。

レオとレオライオンは、私たちの未来ではありません。私たちの今です。若者たちも大切な主役のひとりなのです。女性と若者には、力を発揮し成長できる空間と自由を与えなければなりません。

変化とは、待つものではなく、起こすものです。



「多様性は、組織に新鮮さと活力をもたらします。」



何であれ、価値あるものを築こうとするなら、チームワークと、意識的なアクション、そして情熱と使命感に突き動かされたリーダーシップが不可欠であることを私たちは知っています。それは、ライオンズだけが実現できるリーダーシップです。

組織を拡大してインパクトを高めるためには、私たち全員が協力しなければなりません。奉仕において世界をリードすることで、模範を示さなければなりません。ライオ

ンズが過去に成し遂げた偉大な業績は、常にたたえられるでしょう。しかし私たちは、協会を成長させることで、素晴らしい現在を確かなものとし、輝かしい未来を創出しなければならないのです。

ライオンズは、リーダーシップを発揮することで社会に奉仕し、奉仕をすることでリーダーシップを発揮するのです。



リーダーとして先頭に立ち、 より多くの手で奉仕を

私たちが奉仕するのは、世界をよくするため。私たちが拡大を目指すのは、その奉仕のインパクトをより大きいものにし、地域社会をより力強いものにし、私たちの未来をより確かなものにするためです。これこそが、ライオンズ・インターナショナルを世界最高峰のクラブ奉仕団体たらしめてきた理念です。

以下にご紹介するグローバル優先項目を推進することで、私たちはこれを率先して行うことができます。

クラブと奉仕を拡大する

ライオンズクラブは「みんなの団体」。ボランティアによる奉仕クラブ団体です。会員が増えることは、奉仕が強化・継続・拡大され、結果として世界の増え続けるニーズが満たされることを意味します。

どの国にも通貨がありますが、ライオンズ・インターナショナルの通貨は会員です。奉仕も、交流も、人脈作りも、PRも、資金獲得も、さらにはLCIFへの寄付までもが、ライオンズとそのクラブによって行われます。常に組織を強化し、入会者と退会者の比率を良好に保つ必要があります。ライオンズがいなければ奉仕は考え

られません。私たちの奉仕能力を高め、やむを得ない理由による会員減少を補うためには、会員とクラブを絶えず増やし続けるほかありません。私たちが未来の可能性を広げていく上で、成長は不可欠です。

会員を増やし、維持し、また新クラブを結成することでミッション1.5に貢献した会員、クラブ、地区には、年間を通じて表彰が行われます。国際協会を拡大成長させることは、すべてのライオンの暗黙の責任であり、選出または任命された役員一人ひとりの会則上の義務です。

ミッション1.5は私たちの協会を動かすオペレーティングシステム(OS)であり、奉仕の帯域幅を広げるためには、



MISSION 1.5

「ミッション1.5は、あらゆるクラブをもっと力強く、もっと活気のあるものにし、あらゆる奉仕の行為をもっとインパクトのあるものにするためのものです。」

私たちのあらゆるリソースをその目標達成に集中させる必要があります。

ともに奉仕に力を

ライオンズがライオンズクラブ国際財団(LCIF)を支え、LCIFが私たちの奉仕を支えます。この協力を通じて、私たちは奉仕を受ける人々や私たちの住む町に投資しているのです。協会と財団はともに、地域社会が直面する数々の大きな課題に長期的な解決策を見つけます。LCIFを支援することで、あなたもその解決策の一端を担うことができます。

LCIFは、企業、NGO、政府機関とのパートナーシップ構築を精力的に行っています。なぜなら、こうした協力関係が賢明かつ効果的な奉仕を行うカギとなるからです。

LCIFへの寄付は、安全と、安心と、よりよい明日への投資であると、A.P.は信じています。

奉仕に革新を

世界の課題に立ち向かうためには、まず自分自身に課題を課さなければなりません。イノベーションと、常に改善する姿勢を受け入れることで、私たちは活動のインパクトと、会員の満足度、そして奉仕の提供のすべてを向上することができます。

国連の持続可能な開発目標(SDGs)から地区で特に力を入れたい項目を選び、さらにメンタルヘルス、環境保全、食料支援に集中的に取り組むグローバル奉

仕週間に合わせて事業を計画するよう地区内のすべてのクラブに奨励してください。

各種リーダー研修プログラムも、機会があるごとに組織拡大の重要性を強調するものへと改訂されています。

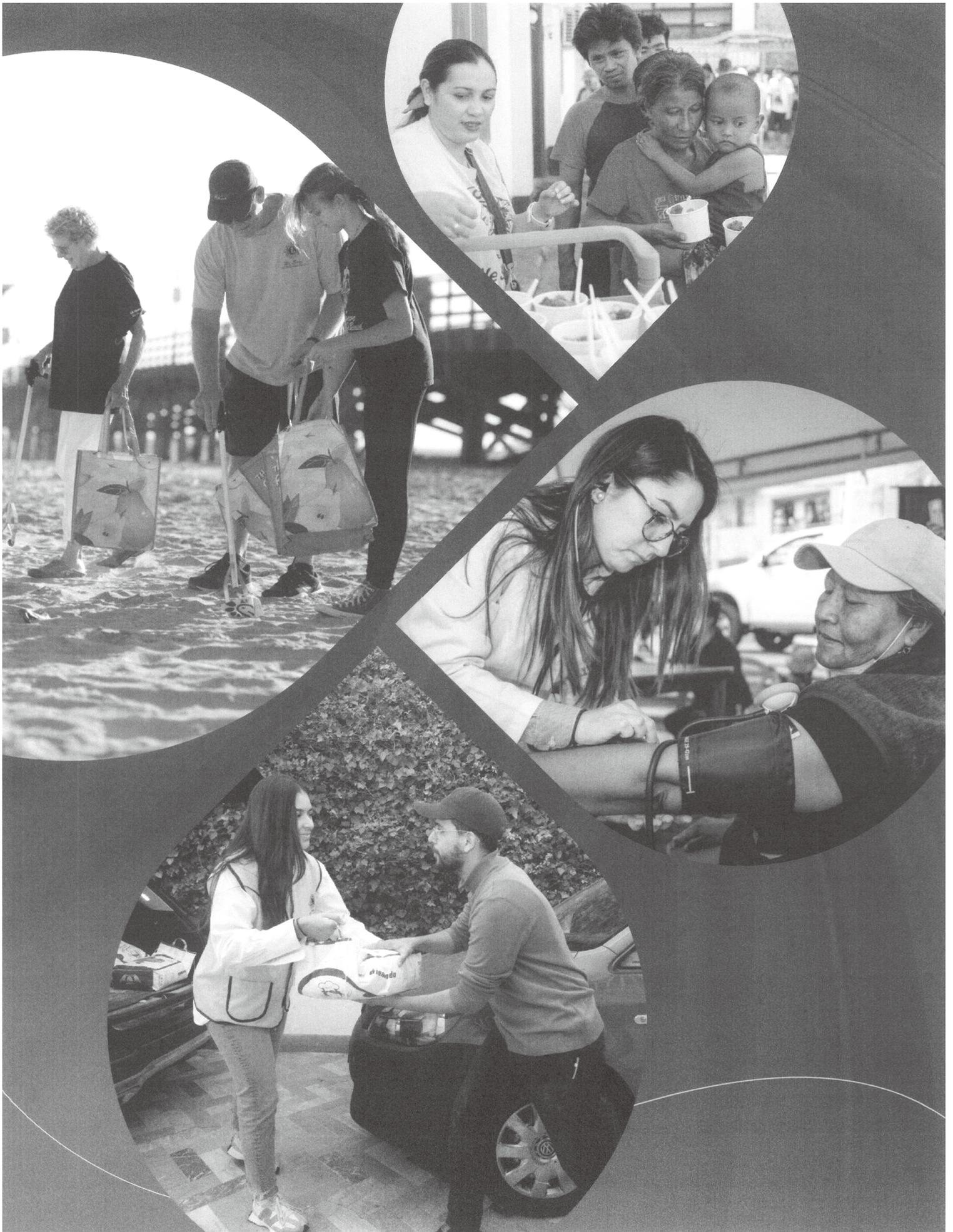
継続的な改善には終わりはありませんが、始めるべき時は今です。

多様性を歓迎し、皆を受け入れる

私たちは地球上のほぼすべての国で奉仕しています。ですから、ライオンズの奉仕には、もっと多くの人々、特に若者、女性、文化的背景の異なる人々を参加させる必要があります。インクルーシブな環境は、世界に奉仕し世界を反映する組織を作ります。

私たちは、すべてのクラブと地区の文化とアプローチを、若者と女性が参加しやすいものにしなければなりません。

あらゆる人種や性別のメンバーを誘うことが奨励されます。世界中に奉仕を届けているのですから、奉仕の心を持つ人全員に声をかけるべきです。





.....

すべての奉仕が成功につながる

私たちの成功を決めるのは、奉仕です。以下は、奉仕でもっと大きな成功を収めるための主なステップです。

ネットワークを拡大する

世界中に広がるライオンズのネットワークは、世界を身近なものにしてくれます。会員として学び、成長し、つながり、奉仕する機会を目一杯活用して、ライオンズの持つ集合知と、多様な文化的視点、そして成功を自分のものにしましょう。

ライオンズは、ネットワークをさらに拡大することで、世界中で知識を積み上げ、架け橋を築くべきです。A.P.はまた、若い起業家を呼び込むために、できるだけ多くの地区で「ライオンズ・ビジネス・ネットワーク」を構築するよう奨励しています。さらに、奉仕ツーリズムの一環として、他の地区や、国内、海外などを訪問し、訪問先のライオンズと出会い、異なる地での成功事例を学んだり、自分の視点を分かち合うよう奨励しています。

自ら模範を示す

メンバーたちは、リーダーが言って聞かせることに従うのではなく、リーダーがやってみせることに従います。リーダーシップにおいて大切なのは、何人を従えられるかではなく、何人のリーダーを生み出せるかです。

すべての組織は時間とともに進化する必要があります。私たちは変革を促さねばなりません。なぜなら、昨日意味のあったことも、今日には意味を失っているかもしれないからです。相手の最大限を引き出す模範とな

り、それによって自分の最大限を引き出してください。そのためには学ぶこと、そして時には忘れることも必要かもしれません。

テクノロジーの進歩についていく

テクノロジーは今や私たちの暮らしの一部であり、奉仕のあり方を改善する新たな機会を生み出しています。若い世代の考え方には戸惑うこともあるかもしれませんが、彼らはデジタル接続が当たり前で生まれた全く異なる世代であり、私たちは彼らの意見に柔軟に対応する必要が多分にあります。

組織の力は、その組織が使うテクノロジーと変容する世界への対応力に大きく左右されます。ライオンズはその長い歩みの中で、変化に対応し、成長してきました。今こそ、より多くの人に手を差し伸べてより大きな発展を遂げるために、クラブや地区で人工知能 (AI) の力も取り入れるべき時です。

テクノロジーを受け入れ、その進化に歩調を合わせれば、あらゆるレベルの活動にメリットがあり、若い世代のボランティアともよりよく繋がれます。ですから、私たちの前進と発展のためにこうしたツールを活用しましょう。私たちのマントラは、「すべてのライオンが、リーダーとなり、奉仕をし、成長を目指す」です。



We Serve

**Lead to Serve, Serve to Lead.
リーダーシップこそ奉仕、
奉仕こそリーダーシップ。**

決議要約
国際理事会会議
2025年3月16日～19日
米国イリノイ州オークブルック

監査委員会

決議なし。

会則及び付則委員会

1. 標準版地区会則及び付則に収録されている地区ガバナー、第一副地区ガバナー、第二副地区ガバナーの指名委員会チェックリストを改訂し、各役職の候補者が就任資格を得るためには地区指名委員会報告の前日までに所属クラブがグッドスタンディングになっていればよい旨を明確にした。
2. クラブ、地区、または複合地区の財団の年次報告に関する要件を改訂し、最新の役員報告は毎年必要だが、規約文書については過去に承認された版に変更が加えられた場合にのみ、確認のため最新版の提出を義務づけるものとした。

大会委員会

1. フロリダ州オーランドにおける2025年国際大会の日割許容額を、食費1日120ドル、宿泊費1日240ドルに改定した。
2. 中国・香港における2026年国際大会の日割許容額を、食費1日180ドル、宿泊費1日300ドルに改定した。
3. 理事会方針書第8章を全文改訂した。

地区及びクラブ・サービス委員会

1. 324複合地区を3241複合地区と3242複合地区に分割する、324複合地区からの地区再編成案を承認した。この地区再編成案は、2025年国際大会の終了時に有効となる。
2. 地区ガバナーならびに第一および第二副地区ガバナーが同一クラブ内から同時に任期を務めることを防止するため、国際付則第8条第7項「地区キャビネット」を改正する案を承認した。
3. 理事会方針書第7章「会則及び付則」Exhibit Aに定められる標準版地区付則第2条第5項「地区ガバナー空席」について、元地区ガバナーが地区ガバナーの空席を補充できるのは一回までとする変更案を承認した。
4. 2025～2026年度の新たなクラブ優秀賞基準を承認した。
5. 地区大会の開催地選定に向けた意思決定プロセスに関する地区付則の許容的規定との整合性を確保するため、理事会方針書第7章Exhibit Aに定められる標準版地区会則第7条第1項「開催日時及び場所」を改訂した。
6. 理事会方針書第5章「クラブ」F項「非常時ステータス」2.を改訂し、非常時ステータスに置かれたクラブの四半期状況報告書をライオンズクラブ国際協会に提供するよう地区ガバナーに要請するものにした。

財務及び本部運営委員会

1. 赤字となる 2024～2025 会計年度第 3 四半期の収支見通しを承認した。
2. 執行役員旅行及び経費払戻し方針を改訂し、国際会長とその同伴者による無制限のファーストクラス利用規定を廃止した。ただし、客席クラスが二つしかない場合は、予算の範囲内であればこの限りではない。
3. 理事会方針書第 9 章「地区役員及び組織」を改訂し、地区ガバナー予算と地区ガバナー予算要請プロセスに関する文言をより明確なものにした。
4. 理事会方針書第 9 章「地区役員及び組織」を改訂し、地区ガバナー訪問中の食費の払戻しに領収書の提出が必要となる条件を明確化した。
5. 理事会方針書第 21 章「旅費及び経費払戻し」を改訂し、飛行機での移動時に休息日が認められる場合の利用のタイミングを明確にした。
6. 理事会方針書第 21 章「旅費及び経費払い戻し」を改訂し、理事会方針書第 14 章「リーダーシップ開発」に合わせ、「新任理事オリエンテーション」の表記を「一年目国際理事、理事会アポインティ、レオライオン理事会リエゾン対象オリエンテーション」に置き換えた。

リーダーシップ開発委員会

1. 2025～2026 年度第一副地区ガバナー／地区ガバナーエレクト・セミナーのカリキュラム計画を確認した。
2. 最新の 2026 年地区ガバナーエレクト・セミナー・グループリーダー・チームを確定した。
3. 理事会方針書第 14 章 E 項 11.a.を改訂し、大会におけるグループリーダーおよびアソシエイトの正しい宿泊日数を示すものにした。
4. 理事会方針書第 9 章 C 項を改訂し、対象となる経費が 2025～2026 年度第一副地区ガバナー/地区ガバナーエレクト研修の形式の変更に沿ったものにした。
5. 理事会方針書第 9 章 I 項 8.を改訂し、2025～2026 年度第一副地区ガバナー/地区ガバナーエレクト研修の形式の変更を反映したものにした。

長期計画委員会 (2024 年 8 月会議の報告)

1. 理事会方針を改正し、年次ライオンズ・インターナショナル戦略計画プロセスの導入を反映させるものにした。
2. 理事会方針を改正し、ライオンズ国際宣誓にライオンズクラブ国際財団への言及を加えた。

マーケティング委員会

1. コアバリューの改訂を採用し、理事会方針書第 6 章を変更するものとした。
2. 理事会方針書を改訂し、現行の実務との一貫性と整合性を担保するため第 20 章「出版」を差し替えた。

会員増強委員会

1. 理事会方針書第 22 章「レオクラブ・プログラム」を改訂し、独立性を高め、クラブ名称の規約に関するガイダンスを加え、クラブの大きさに比例して支払いが大きくなる料金体系を作ったほか、方針を現行の実務に合わせた。
2. 理事会方針書第 10 章「エクステンション」を改訂し、中国の領域を追加した。
3. 2025～2026 年度コーディネーター・ライオン名簿を承認した。
4. 理事会方針書第 24 章「グローバル・アクション・チーム」を改訂し、コーディネーター・ライオンの責務を拡充した。

奉仕事業委員会

決議なし。

テクノロジー委員会

決議なし。

上記要約のいずれかに関する詳細は、協会ウェブサイト www.lionsclubs.org でご覧いただくか、法務部にお問い合わせください。

9. 報 告 事 項

(4) 全日本レベル会議・その他議事報告

一般社団法人日本ライオンズ 「第12回理事会」 議事録

開催日時：2025年7月2日（水）14：00-16：30 場 所：岩見沢商工会議所 2階

出席者リスト

理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす)	
副理事長	喜多 友一	(上田城南)	
副理事長	澤 辰水	(下関)	
専務理事	中谷 豊重	(岸和田)	
常務理事	伊賀 保夫	(東京ピース)	
常務理事	諏訪 昇三	(札幌時計台)	
常務理事	渡邊 俊弥	(仙台五城)	
常務理事	佐藤 裕幸	(柏崎日本海)	
常務理事	廣田 晃一	(姫路中央)	
常務理事	藤井 信英	(岡山みらい)	
常務理事	濱田 浩平	(長崎南)	
理事	田中 雄一	(狭山)	【欠席】
理事	栗村 安弘	(大船渡)	【欠席】
理事	星野 勝美	(太田)	
理事	戸祭 宏樹	(鯖江王山)	
理事	新里 正雄	(沖縄)	
理事 ('23-25国際理事)	城阪 勝喜	(大阪港)	【欠席】
理事 ('23-25国際理事)	濱野 雅司	(岩槻)	
理事 ('24-25 LCIF理事)	鶴嶋 浩二	(札幌中島)	
理事 (前理事長)	田名部 智之	(八戸)	【WEB】
理事 (公益財団法人日本ライオンズ理事長)	小野寺 眞悟	(札幌北の杜)	
監事 (MD332元議長)	下間 俊悦	(男鹿)	【欠席】
監事 (MD333元議長)	石橋 貞	(足利西)	【欠席】
監事 (MD335元議長)	小林 聰	(姫路広陵)	【欠席】
監事 (MD337元議長)	乗田 泰	(伊万里)	【WEB】

オブザーバー

'25-27 国際理事候補者	仁科 良三	(長野みすず)	
	大山 恭範	(一宮)	
	菅原 孝明	(八戸)	
日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諏訪湖)	
法律顧問	池田 和司	(東京桜門)	【欠席】
会計顧問	吉田 宗一郎	(東京武蔵野)	【欠席】
理事長事務局補佐	南部谷 靖	(岩見沢はまなす)	
理事長事務局補佐	成田 祐樹	(岩見沢はまなす)	

◇開会宣言

理事長 松浦 淳一

開催地の岩見沢はまなすライオンズクラブ石月会長から歓迎の挨拶があった。松浦理事長のご挨拶に続いて濱野国際理事、鶴嶋 LCIF 理事、田名部前理事長、小野寺公益財団日本ライオンズ理事長、仁科国際理事候補より挨拶をいただいた。

◇出席者確認

出席者リストより確認を行った。オブザーバーとして一宮ライオンズクラブの大山 L と八戸ライオンズクラブの菅原 L の紹介。

◇議事録作成人の指名

佐藤常務理事・戸祭理事が指名される。

1. 協議および報告事項

① **報告** (6/24) 次期議長打ち合わせ会・

・次年度・組織図と委員会構成(案)・次年度理事会開催予定

喜多副理事長より報告。6月24日に開かれた次期議長打ち合わせ会(資料1)では、2024-25年度の執行体制案として、理事・監事・各委員長を配置した組織図と委員会構成(案)が概ね了承されるとともに、年間の理事会日程が確定した。

理事会は基本として東京で対面開催。それ以外の地域での開催としては理事長、副理事長の地区で行い、11月18日(出雲)、1月27日(姫路)、5月19日(札幌)、6月17日(長野・18日より変更)とした。今年度の最終社員総会では欠席者が非常に多かったため、次年度は理事会・社員総会への出席率向上が最重要課題と位置づけられ、「日にちがあらかじめ決まっているので必ず出席いただきたい」との強い要請が確認された。

② **協議** 総務人事管理委員会関連

増澤事務長より説明。会費規定は第2条を改め、月額80円を120円へ引き上げ、2026年度には160円に段階的に改定するとした。第5条の二人目以降の家族会員の記述を特典会員とし、この規定は令和7年8月4日から施行する。

経理処理規定では資産管理担当理事を財務担当責任理事、事務長に置き換える。取引銀行は三菱UFJ銀行の変更があり、プール旅費は会議費とし、支出科目を各種委員会会議として計上し、旅費補助は各種集合会議出席者旅費補助規定により、四半期ごとに会議出席の口座へ送金するとした。第22条は会費の値上げに伴い賛助会費80円

日本ライオンズ発行<2024-25-執-M12>
を120円、2026年度は160円とする。資産管理運用規定についても資産管理担当理事を財務担当責任理事と変更した。各種集合会議出席者旅費補助規定では新幹線利用は100キロ以上、最寄駅から自宅間バス10キロ以上の場合は運賃支給を追加。

提示された会費規定、経理処理規定、資産管理運用規定、各種集合会議出席者旅費補助規定の修正文案はいずれも全員賛成で原案どおり承認。

③協議および確認 次年度への引継ぎ事項・

・事務局員向け守秘義務規定の件

増澤事務長より説明。次期理事長予定者名で各地区の次期議長8名を連名で記しその下部に地区ガバナーが署名できる欄を設けた守秘義務遵守に関する誓約書を作成した。

文面は情報漏えいの禁止、取得資料は退職後も持ち出さないなど、雇用時の就業規則にも通常盛り込まれるごく一般的・常識的な条項のみで構成されており、事務局員を不当に縛る内容ではないことが確認された。

署名欄の役職表記は準地区ガバナーではなく地区ガバナーとし、次期理事長と8名の次期議長の連名文書を社団から各MDへ送付し、各ガバナーは自地区内で必要箇所に署名・配布できるようにする点、旧議長が新議長に内容を確実に引き継ぐ責任を負う点を確認し、今年度の理事会で進めて来年度スタートすることとした。

・OSEAL調整事務局への名簿の共有について

OSEAL調整事務局より次期社団理事会構成員の名簿共有の依頼があった件について協議。使用目的を確認の上、限定的に共有を行う。

毎年社団が作成し保有、全国への共有を行っている35地区5役リストの件が再度確認された。

2. その他報告事項・・・資料3

①第6回アラート委員会報告

アラート委員会委員長新里理事・同副委員長藤井常務理事

6月17日に行った委員会では活動経過を確認したうえで、社団アラート委員会の班長職の廃止を主要議題とした。社団で班長を任命しても実務的な役割が希薄で、むしろ指揮系統を複雑にするとの判断から、来期は班長職を設けない案を申し合わせた。今期に次期の班長が決まっている地区もあるため、次期は現行体制を維持することとしたが、第1回社員総会が開催予定である8月4日以降、その次の年度ではなく

す方向で進める方向で動いている。

②第6回会則委員会報告

会則委員長 中谷専務理事

6月27日に行われた第6回会則委員会では、まず昨年度MD335が制作した日本語版ロバート議事規則を社団ホームページに常時掲載できるよう、編集権一式を5万5000円で買い取ることを申し合わせた件の報告。金額についてはMD335内でもう一度話し合いを頂く予定。

2024-25年度版の役員必携を9,000部発行し、凸版印刷から計364万1000円で請求を受け次第、今期予算で支払うこととした。

頒布価格は650円とする。コンパクト必携（ライオンズ必携）は今期発行できなかったのでも来年度速やかに発行する。必携は電子化していかなければならないので紙で持ち運ぶのも良いがスマホで見られるような方向性としていきたい。

コンプライアンス規定については指針を社団として示し1.2年プログラムを作っているため各地区の判断で次年度以降どのように実行していくかを判断していただきたいと報告。

③YCE報告

増澤事務長

6月22日に行われた第7回YCE委員会では前回までの申し送り事項を精査したうえで、派遣・受入れ事務を社団で一元管理できないかという可能性を模索するべく、中長期の課題として検討した。現行フローは地区・複合ごとに温度差が大きく、経験者の属人的対応に頼っているため、事務局員を計画的に育成して恒常機能に組み込む案、歴代経験者による特別チームで標準化モデルを作成し、完成後に事務局へ段階移管する案の二方向で具体策を練る予定である。今夏（7～8月）の派遣・受入れについては準備が順調に進んでおり、支障なく実施できる見通し。

④オーランド国際大会最新情報

国際大会委員長 戸祭理事

オーランド国際大会の日程と動線を確認し、ダブルツリー・ヒルトン周辺からコンベンションセンターまで徒歩40分を要するため国際協会手配のシャトルバスを積極的に利用するよう周知することを申し合わせた。

12日は13時よりパレードの下見、13日は18時から本格的なパレード打ち合わせ、14日はパレード関係者は7時30分、一般参加者が8時30分現地集合。

同日は16時からビジネス・セッションが開催され、国際理事候補者が紹介される。

開会式の行われる15日は代議員朝食会。受付をご担当いただく方は6時40分、一般

の方は7時にお越しいただく。

朝食会后9時30分開会式、16日は20時から元国際会長、元PIDの晩餐会（国際協会へ申し込みをされた方のみ）、17日は9時から閉会式、という流れを再確認したうえで、質問が多く寄せられるドレスコードについて、社団より全国へお送りしている通り、代議員会や開閉会式についてはビジネススタイルを推奨する方向が支持された。A Pシンからエレクトへ配布される予定のTシャツ着用案やアロハ案も挙げたが、Tシャツはガバナーエレクトしか所持していないことや、国際協会公式行事では襟なし・ジーンズ・サンダルは認められないことが国際理事より再三指摘があり、最終的に日本としてはビジネスを推奨し、ネクタイは気候を見て判断、複合地区がどうしてもTシャツを選択する場合は各MDで責任をもって決めていただく。

7月3日14時にO S E A L調整事務局主催で配信されるウェビナーがあるが録画配信もあるため各自確認をするよう促した。

⑤第62回OSEALフォーラム最新情報

諏訪常務理事

第62回OSEALフォーラム札幌については、登録状況が依然として極めて低迷しており、オランダ国際大会終了後は各地区・複合地区が総力を挙げて参加促進に取り組む必要があるとの強い呼びかけが行われた。

フォーラム終了後の10月26日の15時からA Pシン次期国際会長予定者の公式訪問があり、出席予定の方は札幌でもう一泊いただくことになるかと思われるため、各自で早急に宿泊手配を見直すよう要請された。

鶴嶋LCIF理事より国際会長公式訪問・晩餐会について600席規模なのか740席規模にするのかを次年度の社団側で決定して貰えれば、ホテル側との調整は行っていただけるとの事。

開催地であるフォーラム委員会が会場確保や見積交渉など外枠を整え、具体的な式次第・表彰・演出といった中身は社団が主体となって企画し、来年度からは全予算も社団に一元化されるため早急な規模・費用・運営方針の決定が求められる。

⑥その他

・レオフォーラムについて

中谷専務理事

レオフォーラム2025大阪について、開催地であるMD335所属のレオ委員長より、問い合わせはホームページよりという趣旨の文書がメールで届いているのでお目通しいただきたい。

3. 本日のまとめ

監事講評

乗田監事

最後まで検討すべき問題が多数の理事会になったが、各複合、準地区に指示がきちんと徹底されるようお願い申し上げます。

4. 今後の予定について

- ・ 7/9 (水) 14:00-16:00 2024年度監査 (日本ライオンズ事務所)
- ・ 7/10 (木) 11:00-12:00 旧年度理事会 (日本ライオンズ事務所)
- ・ 7/10 (木) 13:30-15:00 新・旧(準備)理事会 (日本ライオンズ事務所)
- ・ 7/10 (木) 15:30-17:00 新年度準備理事会 (日本ライオンズ事務所)

◇閉会宣言

専務理事 中谷 豊重

以上

議事録作成人:

常務理事

佐藤 裕幸

理 事

戸祭 宏樹

議事録署名人:

理事長

松浦 淳一【押印省略】

監事 (MD337 元議長)

乗田 泰 【押印省略】

(2024-2025 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 第11回理事会 議事録案

2025年6月25日(水) 11:00-12:00 一般社団法人日本ライオンズ事務所

理事長	松浦 淳一 (岩見沢はまなす)
副理事長	喜多 友一 (上田城南)
副理事長	澤 辰水 (下関)
専務理事	中谷 豊重 (岸和田)
常務理事	伊賀 保夫 (東京ピース)
常務理事	諏訪 昇三 (札幌時計台)
常務理事	渡邊 俊弥 (仙台五城)
常務理事	佐藤 裕幸 (柏崎日本海)
常務理事	廣田 晃一 (姫路中央)
常務理事	藤井 信英 (岡山みらい)
常務理事	濱田 浩平 (長崎南)
理事	田中 雄一 (狭山)
理事	栗村 安弘 (大船渡) 【欠席】
理事	星野 勝美 (太田)
理事	戸祭 宏樹 (鯖江王山)
理事	新里 正雄 (沖縄)
理事 ('23-25 国際理事)	城阪 勝喜 (大阪港)
理事 ('23-25 国際理事)	濱野 雅司 (岩槻)
理事 ('24-25 LCIF 理事)	鶴嶋 浩二 (札幌中島)
理事 (前理事長)	田名部 智之 (八戸)
理事 (公益財団法人日本ライオンズ理事長)	小野寺 眞悟 (札幌北の杜)
監事 (MD332 元議長)	下間 俊悦 (男鹿)
監事 (MD333 元議長)	石橋 貞 (足利西)
監事 (MD335 元議長)	小林 聡 (姫路広陵) 【欠席】
監事 (MD337 元議長)	乗田 泰 (伊万里) 【欠席】
オブザーバー	
'25-27 国際理事候補者	仁科 良三 (長野みすず)
日本ライオンズ事務長	増澤 義治 (諏訪湖)
法律顧問	池田 和司 (東京桜門)
会計顧問	吉田宗一郎 (東京武蔵野)
理事長事務局補佐	南部谷 靖 (岩見沢はまなす)
理事長事務局補佐	成田 祐樹 (岩見沢はまなす)
次期理事長予定者事務局補佐	田中 俊彦 (上田城南)
次期理事長予定者事務局補佐	小口 恒樹 (岡谷)

議題：

1. 議事録作成人の指名
2. 協議及び確認事項：

【審議】

①オーランド国際大会関係

質問の多いオーランド大会でのドレスコード（ビジネス、タイ）についての検討と、7月15日代議員朝食会で DGE にご乗車いただくバスの代金について協議。一名あたり 7,000 円を頂くことを承認された。

②総務人事関係（各規程（定）の修正、次年度職員給与）

A. 各規程について資料を元に確認し、一同了承。

①会費規定： '25-'26 年度 120 円、'26 年度以降 160 円と修正、

②経理規定： 役職明表記の修正、資産管理担当理事から現財務担当責任理事、事務長の決済権上限額を 100 万円とする。③会議出席者旅費補助規程： 新幹線利用は 100 KM 以上、最寄駅一自宅間が 10 KM 以上は旅費補助の対象とする。

B. 次年度職員給与改定： 昨年作成の新賃金規程表により、正社員 5 名の賃金を改定。

規定の年齢給の他、職能給を 1 ランクアップする。次年度中に個人面談の場を設ける。

C. 経理後任者（3月採用）の契約内容の変更。週 3 日 1 日 7 時間の週 21 時間とする。残業代も付与、雇用保険加入の方向とする。B、C 共、一同了承。

D. 事務長委任契約の更新について： 第 1 回社員総会以後に継続して検討予定。現出張旅費規程では、事務長は国内外とも日当がつかないが、週 4 日勤務から実際に週 5 日勤務となっており、業務繁多を考慮して契約内容を改める。

③第 62 回 OSEAL フォーラム委員会より事務局員手伝い依頼の件

フォーラム組織委員会から全国のキャビネット地区事務局員に登録・キット手配の手伝いを依頼する文書を社団経由で配信することについての承認。但し、旅費宿泊費等は自己負担においての協力を呼びかけている。配信了承。

【報告および確認】

①複合地区・準地区事務局員向け守秘義務案について

最新案を確認。次期理事長名で出すことや 8 名の次期議長・該当する地区ガバナーのサインを入れるなど一部変更。10 日に開催される新旧理事会で次期議長にも共有を行う。

②6/25 13:30- 第 4 回定時社員総会（全国ガバナー会）進行の確認

資料に基づき、午後からの第 4 回定時社員総会の進行を確認した。

以上

議事録作成人：事務長 増澤 義治

議事録署名人：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 松浦 淳一【押印省略】

監事 下間 俊悦【押印省略】

監事 石橋 貞【押印省略】

一般社団法人日本ライオンズ 「第10回理事会」 議事録

開催日時：2025年6月4日（水）14：00-16:00 場所：TKPガーデンシティ仙台 30階 A

理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす)	
副理事長	喜多 友一	(上田城南)	
副理事長	澤 辰水	(下関)	
専務理事	中谷 豊重	(岸和田)	
常務理事	伊賀 保夫	(東京ピース)	
常務理事	諏訪 昇三	(札幌時計台)	
常務理事	渡邊 俊弥	(仙台五城)	
常務理事	佐藤 裕幸	(柏崎日本海)	
常務理事	廣田 晃一	(姫路中央)	
常務理事	藤井 信英	(岡山みらい)	
常務理事	濱田 浩平	(長崎南)	
理事	田中 雄一	(狭山)	【WEB】
理事	栗村 安弘	(大船渡)	
理事	星野 勝美	(太田)	【WEB】
理事	戸祭 宏樹	(鯖江王山)	
理事	新里 正雄	(沖縄)	【WEB】
理事 ('23-25国際理事)	城阪 勝喜	(大阪港)	【WEB】
理事 ('23-25国際理事)	濱野 雅司	(岩槻)	
理事 ('24-25 LCIF理事)	鶴嶋 浩二	(札幌中島)	
理事 (前理事長)	田名部 智之	(八戸)	
理事 (公益財団法人日本ライオンズ理事長)	小野寺 眞悟	(札幌北の杜)	
監事 (MD332元議長)	下間 俊悦	(男鹿)	
監事 (MD333元議長)	石橋 貞	(足利西)	【欠席】
監事 (MD335元議長)	小林 聡	(姫路広陵)	【欠席】
監事 (MD337元議長)	乗田 泰	(伊万里)	【WEB】

オブザーバー

'25-27 国際理事候補者	仁科 良三	(長野みすず)	
法律顧問	池田 和司	(東京桜門)	【欠席】
会計顧問	吉田 宗一郎	(東京武蔵野)	【WEB】
日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諏訪湖)	
理事長事務局補佐	南部谷 靖	(岩見沢はまなす)	
理事長事務局補佐	成田 祐樹	(岩見沢はまなす)	

◇開会宣言

理事長 松浦 淳一

冒頭松浦理事長よりご挨拶があった。332B 佐藤地区ガバナーより開催地として歓迎の挨拶。続いて濱野国際理事、城阪国際理事、鶴嶋 LCIF 理事、田名部前理事長、小野寺財団理事長、仁科国際理事候補より挨拶をいただいた。

◇出席者確認

出席者リストより確認を行った。

◇議事録作成人の指名

諏訪常務理事・廣田常務理事が指名される。

1. 協議および確認事項

(1) 審議第4回定時社員総会開催案

中谷専務理事より説明。資料に基づき、第4回定時社員総会は6月25日（水）13時30分～16時にA P東京エアルームで開催し、同日11時から総会前理事会を置くことが確認された。

審議事項は①社員退会予定者承認、②新社員入社予定者承認、③本年度事業報告および計算処理経過承認（最終決算は8月4日の大会社員総会で承認予定）、④理事任期満了に伴う改選案の4議案で、出席対象は現社員60名と法律・会計顧問、次期議長やガバナー等とし、次期第1・第2副地区ガバナー向けにYouTubeでストリーミング配信を行う。同日夕刻には懇親会開催を検討することも共有された。なお役員必携に記載されている参助会費「80円」を「120円」へ改めた旨を総会で報告または議案化する必要があり、これを第5号議案とするか報告事項とするかは理事長に一任することで合意した。出席者から異議はなく、資料どおりの進行方針が承認された。

(2) 審議ライオン誌送料についての案内

会費値上げに伴い、これまで各クラブに負担いただいていたライオン誌発送の送料は、今回から社団が全額負担することになった。そのため各クラブには、①請求書の送付方法を郵送からメール配信へ切り替えること、②送料請求を2025年度上半期分から廃止すること、を知らせる文書を送付する。併せてライオン誌の送付先について、従来どおり個人宅かクラブ宛かを選択できるが、社団としては例会での活用促進のためクラブ一括発送を推奨する。初回切り替え準備の都合上、夏号（8月5日発送）の

作業に入る1か月前を目安とし、クラブには6月25日までに送付先変更届を提出してほしいと依頼した。ただし時間的余裕がない場合は次号以降でも随時変更可能であり、数回に分けて案内文を発信し4号分の発送サイクルの中で全クラブの切り替え完了を目指す。質疑では「期日がタイトではないか」「2回目以降からの変更でもよいか」という意見が出たが、事務局からは8月号準備開始日程を踏まえてなるべく早期に回答してほしい旨が示され、最終的に資料2どおりの案内文を明日以降MD・キャビネットを通じて各クラブへ送付することで承認された。また請求書のメール化と送料負担変更は会費値上げによるサービス改善の一環であり、各地区議長にはクラブへの周知徹底を依頼した。

確認次年度理事会構成・委員会担当案最新版

喜多副理事長より説明。次年度執行体制は副理事長予定者を3名配置し、筆頭副理事長としてMD331諏訪議長、副理事長にMD335廣田議長、山崎議長予定者、専務理事にはMD330の伊賀議長。常務理事予定者は資料の通り、委員会構成について資料記載内容を全て読み上げGAT・L CIFは全て執行理事と一年目理事全員での構成とした。会則委員会のみ前回案から若干の入れ替えがあったものの、資料の最新版で合意が得られた。

確認次年度会議予定案最新版

次年度会議予定では、年間理事会を原則東京開催としつつ三か所程度は地方で開く案が提示された。10月理事会はOSEALフォーラム札幌の前日の22日に設定していたが、参加者の移動負担を考慮して21日への繰り上げや別地開催を含め再調整することになり、喜多理事長予定者が新年度研修会の場でアンケートを取り最終案を示す。

定例理事会日程のほか、前年度末から新年度への引継ぎを含むスケジュールも了承されたが、場所の最終確定と一部日取りは持ち越された。

協議6/24開催 新議長セミナー・新年度議長予定者打ち合わせ会詳細

社団総会前日の終日開催とし、午前に組織説明と運営方針、午後に委員会別分科会と役割確認を行う次第案で合意した。公益財団法人日本ライオンズ関係議題では講師名を小野寺理事長に訂正することが確認され、出席対象は記載の議長・副議長・委員長候補者に加え必要に応じ理事会メンバーを招く。セミナーと打ち合わせ会で得た意見を翌25日の第4回定時社員総会に反映させる方針も共有され、準備は専務理事予定者と事務局が連携して進めることになった。

(4)第 11 回国際大会委員会報告 (5 月 30 日開催)

①第 107 回オーランド国際大会 (フロリダ州オーランド 7/13-17)

戸祭理事より説明。

確認最新情報の確認 (公式通達・登録数等)

資料のオーランド国際大会の公式通達が配布され、参加要領が確定した。各 MD ごとの参加予定者数と日本側ホテル予約リストが示され、若干の空枠は残るものの計画どおり手配が進んでいることを確認した。現時点では追加募集を継続し、空室は各地区で順次消化する。

確認パレードについて

日本からの参加者見込は約 750 名。700 名程度のパレードとなる予定。
パレードのコースはまだ決定していない。現地に行くまでにはわかる。日本は 151 番目で最後の方となる。8 時 45 分集合にはなっているがかなり時間がおすと予想される。
ブラスバンド編成については当初 7 名より倍増 14 名に拡充提案。先頭&中段の 2 ユニットで行進し、音切れを防止。経費負担は追加分を含め、負担の割合については今後検討。6/25 理事会で最終案提示をすることとした。

審議代議員会 (朝食会) 登録料の決定と次第案の確認

委員会は 1 人 10,000 円へ引き上げる案を決定し、理事会も物価高・円安を踏まえこれを支持した。事務局は社団補助額を含む詳細予算を作成し、24・25 日の理事会で最終承認を得る。次第案は資料の通りで、代議員朝食会の運営負担を軽減しつつ、国際理事候補者の費用負担を最小化することを確認した。

②第 62 回 OSEAL フォーラム (札幌 2025 年 10 月 23 日 (木) -10 月 26 日 (日))

確認ステアリング委員会 (5/23-24) 報告

鶴嶋 LCIF 理事より報告。ゴルフについては参加費 2 万円 (食事・送迎・記念品込) で各複合が一括登録すること、同ホテル利用者向けの送迎バスを手配し、前泊は同ゴルフ場併設ホテルを 4,200 円で案内できることを説明し、多数の参加を呼びかけ。

フォーラム全体の日程は F O C のルールに沿っているが、5 月 23 日の委員会後に各国から追加要望があり調整中であるとし、従来より学習系セミナーを増やす方針を示した。

登録キットは参加しない登録者向けに着払い郵送を検討し、地区単位でまとめて発送する

方向で委員会に諮ると述べた。IDカードはQRコード連動のため再発行が難しく、郵送は現時点で対応できない。

市民も対象とした公開セミナーについては山田 PIP、仁科・田名部国際理事候補と協議し、著名人を招いて「ライオンズとは何か」をテーマに開催する準備を進めている。

チャリティではペットボトルキャップ回収は達成済みのため今後はリングプル収集を重視し、持参または元払い送付を依頼、収集量最多の地区を表彰する方針を示した。

330 複合からキッチンカー出店希望があり受入れ予定で、他地区も諏訪議長へ申請すれば出店可能と案内。閉会式当日の 26 日午後 3 時頃から A P シン国際会長公式訪問を連続で行うため同日中の帰路は難しくなる恐れがあると注意喚起。

公式サイトの不具合は月内に修正予定。

登録者は目標 16,120 名に対し 4,106 名（日本 3,872 名）と低調なため各地区に登録推進を強く要請した。

諏訪議長から報告。5 月 23～25 日の視察結果として、登録会場の赤れんが庁舎、本部ホテル、札幌ドーム、コンベンションセンターを確認し現行計画が妥当との O E C 承認を得たと補足した。

質疑では仁科国際理事候補が団体登録について問い、実名登録が原則で大量の直前差替えは不可と回答した。道庁赤れんが庁舎での喫煙違反事例が共有され、市内会場周辺を全面禁煙とし、違反者には罰金が科される可能性がある旨を参加案内に明記することが決まった。

(5)総務人事関係 協議および報告事項

増澤事務長より報告。賞与について、昨年 12 月に在籍 5 か月分として 1.5 か月を支給済みであり、本年 6 月支給分は対象期間が 6 か月となるため同率 1.5 か月を支給する案を提示し、理事会承認を求めた。7 月 1 日以降の給与は賃金規定どおり全職員を一段階昇給させ、詳細な人事考課面談は次期喜多理事長の下で実施することとした。

会計担当として 3 月入職した職員の雇用条件について変更。7 月 1 日から週 21 時間（7 時間×3 日）に変更し雇用保険に加入、残業代をタイムカードに基づき支給する。事務長自身の契約も週 4 日制から週 5 日制へ見直し、残業を含めた包括契約を社労士と次期理事長で協議して再提示する。

今春退職者が出て空席のままの一般職を補充するため、ハローワーク経由で英語や Y C E 業務に対応できる人材を募集することも承認された。

旅費規程では距離 100 キロを境に特急・新幹線利用の可否を明確化する。

さらにライオン誌と社団の合併後は永年勤続表彰制度が途絶えていたため、6 月末時点の在籍年数を区切りに永年勤続表彰を復活させ、第 1 回定時社員総会で理事長か

ら感謝状と記念品（金券など）を授与し、以後5年周期で継続する方針が決まった。

一部職員が昇給テーブルの上限に到達している課題は次年度以降の検討事項とし、以上の報告事項と人件費関連の承認事項（賞与、昇給、新入職員の契約変更、新規採用方針、旅費内規の方向性）はいずれも異議なく承認された。

(6)その他

①役員必携最新版における賛助会費等記載について

中谷専務理事より報告。役員必携が印刷会社にわたっているが発行が遅れていることとお詫び。ライオンズ必携第61版に「参助会費1人当たり月額80円」と記載が残ったままになっている件について、会費値上げは昨年 of 社員総会決議で既に効力を発しており、実際の請求額は120円で確定しているため、新版の発行時に金額記載を削除または120円へ修正することで合意した。一部複合地区は年次大会での緊急動議で自地区規則を120円に改定済みだが、他の複合でも同様の手当てが必要であることを確認し、次年度改訂版では複合規則と準地区規則を分離して整合を取る方針とした。

会費計算に用いる会員種別については「特定会員を除き全会員を対象」とする現行社団会費規定を周知し、免除措置を採る場合は当該複合が補填するという整理で一致した。また情報不足を避けるため、ガバナーにお願いしキャビネット会議やウェブ掲載で適切に説明することが求められた。

その他、増澤事務長より「複合・準地区事務局員の守秘義務規定（案）」が提示され、会員個人情報、団体情報、財務・人事情報、各種会議内容などを退職後も含め漏えい禁止とし、議長・ガバナーの了承なく他事務局へも共有しないことを明文化する内容が説明された。条文はわかりやすく補筆した上で25日午前の理事会で最終承認を取り、7月1日付で施行する段取りとなった。規定施行後は事務局員から機密保持誓約書の徴収も検討する。以上の2件を「その他」として理事会に報告し、いずれも方向性に異議はなく事務局に速やかな文書整備と周知が要請された。

・ 各種報告

- ・ 月次監査報告（6/3実施分）
- ・ 4/25開催 第1回PRマーケティング委員会
- ・ 5/16開催 第6回YCE委員会
- ・ LCI・LCIF活動報告
- ・ 公益財団法人日本ライオンズ 活動報告

中谷専務理事よりいずれも配付資料をもって説明資料とされ、資料を参照のうえ質疑があれば発言をと促したが挙手はなく、質疑応答なしにて報告とした。

- ・ 第6回OSEAL レオフォーラム大阪2025進捗報告（2025年11月7日（金）～9日（日））

廣田常務理事より報告。開催承認は既に日本ライオンズ理事会で得ており議事録もあるが簡単にご説明をさせていただきたい。第6回OSEALレオフォーラム大阪2025は2025年11月7日から9日まで開催する計画で、主催名義は一般社団法人日本ライオンズ、ホストはMD335、メインスポンサーは335B地区とする。予算は暫定版で提示されたが、登録料以外の収入についてはLCIFなどの助成金を申請予定であり、もし交付されなくてもMD335および335B地区が自前で賄う方針が示された。

プログラムは7日と8日の二日間をすべてセッションとワークショップに充て、日本とアジアのレオ・ライオンズが相互に学び語り合う内容とし、9日は奈良や岸和田などで文化・歴史・ものづくりを体験するフィールド学習日に充てる予定。今後は詳細の固めと資金確保を進め、助成金が得られなくても335B地区が責任を持って実施すると表明し、全国の協力と参加を求めた。

3. 本日のまとめ

監事講評

下間幹事はまず会議運営の労をねぎらい、議長や理事長をはじめとする執行部の円滑な進行を高く評価したうえで、今後も1年目・2年目理事が協力し合い、同様にスムーズな運営を継続してほしいと述べた。乗田幹事は、今回の審議では表現が難解な箇所が散見されたと指摘し、全ての会議参加者が理解できるよう文言を整理・明確化して記録するよう要望し、両名ともに謝意を述べて講評を終えた。

4. 今後の予定について

- ・ 6/17 (火) 14:00 第8回アラート委員会 (WEB)
- ・ 6/22 (日) 14:30 第7回YCE委員会 (仙台)
- ・ 6/24 (火) 13:30 新議長セミナー (日本ライオンズ事務所)
- 15:30 新議長予定者打ち合わせ会 (日本ライオンズ事務所)
- ・ 6/25 (水) 11:00 第11回理事会 (日本ライオンズ事務所)
- ・ 6/25 (水) 13:30 第4回社員総会 (AP 東京八重洲)

◇閉会宣言

専務理事 中谷 豊重

以上

議事録作成人：

常務理事

伊賀 保夫

常務理事

諏訪 昇三

議事録署名人：

理事長	松浦 淳一	【押印省略】
監事（MD332元議長）	下間 俊悦	【押印省略】
監事（MD337元議長）	乗田 泰	【押印省略】

2024-2025年度

一般社団法人日本ライオンズ「第9回理事会」議事録

開催日時：2025年4月15日（火）14：00-16：30

場 所：ホテルモントレ姫路 14階 シエル

出席者リスト

理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす)	
副理事長	喜多 友一	(上田城南)	
副理事長	澤 辰水	(下関)	
専務理事	中谷 豊重	(岸和田)	
常務理事	伊賀 保夫	(東京ピース)	
常務理事	諏訪 昇三	(札幌時計台)	
常務理事	渡邊 俊弥	(仙台五城)	
常務理事	佐藤 裕幸	(柏崎日本海)	
常務理事	廣田 晃一	(姫路中央)	
常務理事	藤井 信英	(岡山みらい)	
常務理事	濱田 浩平	(長崎南)	
理事	田中 雄一	(狭山)	【WEB】
理事	栗村 安弘	(大船渡)	【欠席】
理事	星野 勝美	(太田)	【欠席】
理事	戸祭 宏樹	(鯖江王山)	
理事	新里 正雄	(沖縄)	【欠席】
理事 ('23-25国際理事)	城阪 勝喜	(大阪港)	
理事 ('23-25国際理事)	濱野 雅司	(岩槻)	
理事 ('24-25 LCIF理事)	鶴嶋 浩二	(札幌中島)	
理事 (前理事長)	田名部 智之	(八戸)	
理事 (公益財団法人日本ライオンズ理事長)	小野寺 眞悟	(札幌北の杜)	
監事 (MD332元議長)	下間 俊悦	(男鹿)	【欠席】
監事 (MD333元議長)	石橋 貞	(足利西)	
監事 (MD335元議長)	小林 聰	(姫路広陵)	
監事 (MD337元議長)	乗田 泰	(伊万里)	【欠席】
<u>オブザーバー</u>			
'25-27 国際理事候補者	仁科 良三	(長野みすず)	
日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諏訪湖)	
法律顧問	池田 和司	(東京桜門)	【欠席】
会計顧問	吉田 宗一郎	(東京武蔵野)	【WEB】
理事長事務局補佐	南部谷 靖	(岩見沢はまなす)	
理事長事務局補佐	成田 祐樹	(岩見沢はまなす)	

◇開会宣言

松浦理事長より挨拶

続いて城坂国際理事、濱野国際理事、鶴嶋 LCIF 理事、田名部前理事長、小野寺財団理事長、仁科国際理事候補より挨拶。

◇出席者確認

資料の通り。

◇議事録作成人の指名

伊賀常務理事・諏訪常務理事が指名される。

1. 協議および確認事項

①会費値上げの件

松浦理事長より説明。

考え方を統一して聞いていただきたい。

(1) 各MDからの報告と説明用資料について

現在の残高についての考え方。上半期の決算では3億6,000万の計上があるが、財団の財源が5,000万、ライオン誌との協議による積立金残高が2億1,273万、事務所移転の補償費が2,939万、で合計2億9,212万。

事務所移転や組織解体など万が一のときのための対応のための積立として一定額の基金、2年分の年収を確保すべきだということで、1年の年収が1億3,000万であることから2億6,000万。これは多いか少ないかはそれぞれの感覚であろうかと思うが、現状日本ライオンズでは多すぎる金額ではないという判断をさせていただいている。

ただ解散した場合に8複合に戻るお金であるため、どこにお金があるかの違いであり、この金額が多い、少ない、というのは今後議論していただいて、今年度に関しては2億9,212万を以って運営をしていくべきだという結論の中で次年度以降40円、再来年度40円、計80円の値上げを皆さんと共に推進をしていくべく総会で承認を受けたことをご理解していただきたいと考えている。

(2) 予算案の概略

収入の部

・受取賛助会費

2025-26年度は40円の値上げで103,680,000円、2026-2027年度はもう40円の値上げで138,240,000円の収入の見込み。

・国際協会の補助金

1ドル150円で計算しているが6月末の時点のレートがポイントとなる。

たとえば円高で1ドル140円になっていれば10円マイナスとなる。

・ライオン誌送料収入

次年度から全て社団で送料負担とするため、送料収入も0となる。

・雑収入

職員の中退共掛金助成金の分が120,000円出ているため、2025-26年度は320,000円となっているがその次の年度は助成金がないため通常の200,000円となっている

・各種会議旅費分担金収入

プール金計算を廃止し、委員会参加にかかる各複合地区委員の旅費については全て団体の負担とするため0とした。

支出の部

・ライオン誌送料

変革はしていくが現状通り個人またはクラブへ発送するか選択をしていただいた中で、将来的にはクラブへ送付する方向で進めていきたい。

当座の間は現状の中で変革を求めていくことになるため15,840,000円からそれぞれ送料値上げ分を団体負担とした。併せて送料事務費も従来通り団体負担としている。

・デジタル関連費

ライオン誌委員会・編集員の皆さんのご努力により、内製化により原稿料・編集費を5,230,000円→2,500,000円とした。

現在は成り立っているが毎年の組織の在り方なので、将来的、今後の状況は不確定ではあるが今の努力を続けていただきながら続けていきたい。

・事務費：総会・理事会会議費

3年間理事の皆さんには交通費を出していなかったが、再来期から900万を予算計上してはいるが、交通費を支給する・しないについては是非ご議論をいただきたい。

・事務費：会場費

委員会の開催は東京開催が基本であるが、地方開催の可能性もあるためその際はこの予算の中から捻出をしていただきたい。

・事務費：国際大会・アジアフォーラム関連費

国際理事候補者の皆さんにもご負担をいただきながら国際大会、OSEALフォーラムの関連費を捻出していただいていたが、出来るだけ団体に負担をし、3,000,000円を7,000,000、8,000,000円と増額させていただいた。

・事務費：海外大会ロジスティックス及び備品費

国際大会において現地にツアーデスクを設置するとだいたい2,000,000円ほどかかる。参加者の負担ではなく日本から参加するメンバーのためにも団体に設置をするのが筋であるため計上とした。

・事務費：国際協会関連対応費

国際会長公式訪問の際には各複合から50万ずつ集めさせていただいて運営していたが日本ライオンズが全て負担した上で団体として国際会長をお迎えすることをしていかなければ団体の存在意義もないと言える。そのため6,000,000円の計上とした。

色々な変革点があるが、各複合、クラブからご負担いただいていたものを団体に負担し、値上げのリスクも団体に持ってライオンズ会員の皆様に安心をしていただきながら団体と各複合、各クラブの繋がりを深くしていきたい。

以上の観点から2年をかけて計80円の値上げを行うことをご理解いただきながら、統一見解として皆様にご説明をいただくとありがたいので、よろしく申し上げます。

(3) 各MDのその後の状況

・MD330 伊賀常務理事

5月25日に複合年次大会開催。6年ぶりに分科会を開催し経理分科会で報告予定。来期

は複合の値上げ分 100 円に含む。その後は改めて議論。

• **MD331 諏訪常務理事**

先日のガバナー協議会で各ガバナーに説明し基本的に理解を得た。

331-A はキャビネット会議で理解済み。

• **MD332 渡邊常務理事**

値上げについて社員総会決定事項には従うが、文章化しても理解が十分でないため説明を継続。剰余金は運営費ではなく女性会員拡大・レオ拡大等に活用検討が必要。

• **MD333 佐藤常務理事**

第 3 回ガバナー協議会で承認。時間不足のため準地区で報告・協議。まず 40 円を複合負担、次に 80 円を一気に値上げと結論。

• **MD334 喜多副理事長**

ガバナー協議会では問題なく報告という事で進んでいたが 1 名の名誉顧問から「賛助会費をなぜ社員総会で決めるのか」との指摘があった。

なんのために社員総会があるのか、ガバナーが準地区の代表として来ている、それが 1 票だと反論した。ガバナー協議会ではそのまま行きますとなったが、複合の年次大会で採めるかと思うが強行して通す予定。

• **MD335 廣田常務理事**

A 地区（神戸）、C 地区（京都・滋賀・奈良）が反対。C 地区は前回の総会前日に賛成に回ったが、ガバナー自身も賛同は不十分かと思うので今までいただいた資料を提出の上話をしている。4 人のガバナーの再度話をするとしたのが今の所まだ出来ていない。ただ 4 人とも社団の決定にはもちろん従うと言っている。

B 地区 D 地区は賛成している。335-D 地区の今市ガバナーがガバナー協議会の際に、私に何のメリットもないんです。1 副、2 副そしてみなさんが活動しやすくするための資金なんです。だからみなさんご同意ください。と話し 335-D は一発で全員賛成になった。私自身も含め覚悟が必要なのかと思った。近々ガバナーと話をしてしっかりまとめて行きたい。今後第 4 回ガバナー協議会、代議員総会があるので、5 月 31 日までしっかりまとめていきたい。報告事項とするのか決議事項にするのか全複合で統一できないのか、統一できないならどうされるのか意見を伺いたい。

• **MD336 藤井常務理事**

ABC 準地区の年次大会が終了。A 地区と C 地区の年次大会では基本的に複合の会費についてはなく、社団からの申し送り事項が出てきたものがある場合は社団からの報告という事で取り上げることはあった。B 地区では値上げがありますという事を報告であげて通った。5 月 18 日に複合の年次大会があるが分科会の中でも値上げについて、採択なしの報告だけであげて行きたいと思っている。先ほど情報が入ってきて 336-C でライオン誌の事で大騒ぎをしていた方がまた同じように物申すと情報が入って来ている。これについては下打ち合わせを皆さんとしてその場に臨まなければならないという懸念がある。D 地区は社員総会の際に反対で手を挙げていたが澤副理事長が社団で決まった事だと収めていただいたので報告で終える予定。複合地区としては報告で終わらせる予定。

• **MD337 濱田常務理事**

ガバナー協議会で全員納得いただいた。複合の年次大会の時に分科会で報告事項として説明することになっている。報告事項ではあるが色々な意見も出るのでわかりやすい説明が必要であるので、社団資料と新たに作成した資料を用いて説明予定。

作成した資料の内容を理事会構成員へ説明し、委員長へ提出し説明。議長・ガバナーに分

科会参加依頼あり。昨年も MD337 ではライオン誌の事で動議が出て取めたが、今回も動議が出る懸念があるので万全を以って進んでいきたい。

・鶴嶋 LCIF 理事

ライオン誌発行回数を最低何回にするかを決定することが必要。我々が議長として理事であったときは春夏秋冬で4回の発行を死守するとしていた。

2億1,000万円の中から、一回の発行でどのくらい費用がかかるかは増澤事務長が把握しているかと思うのでその費用を当て込みあと何年で使い切ってしまうのかというのも出しておくべき。それと同時に国際協会の補助が前回、4ドルから2ドルになった時も突然決まった。もしかしたら2ドルが来年から0になる可能性もある。いつ0になっても残っているお金がこれだけだと議長の皆さんで申し合わせておいて書類にしておいて、年4回なら4回出す。それにかかる費用はこれくらいだということを言っておけばおのずとこれが必要な金額であるとなる。

それと毎年の会員の減少の説明も付記する。ライオンズクエストは単地区で現在全額150万交付だが、今後は半額75万の自己負担が必要というのを付け加えておいていただきたい。

・増澤事務長

賛助会費は社員総会での決定事項ゆえ議題に載せる必要はないかと思うが、MDの複合会費について議案が上がってくるので、その中に入れておき支出増として説明すれば良いのではないかと。社団の会費が上がりました。という決議は必要ないかと思うが、複合で皆さんからお集めする会費がこのような明細で上がっていきますと載せておけば良いのではないかと。社団の事を複合で協議する事は出来ないの、そういう形で理解していただきたい。

・濱田常務理事

どこかの地区で社団を脱退するという声があったそうだが、そのような話が出てこないか、一部の話ではあるようだがそこが気になる。懇切丁寧に納得していただくようにするしかないかとは思っている。

・増澤事務長

MD337だけは複合への請求で社団の会費と載っていないが、それ以外の複合では一般社団法人日本ライオンズ賛助会費という名目で載っている。

・渡邊常務理事

MD332で社団を脱退というような極端な話も出ている。賛助会費値上げと脱退は根本的に別の話であり、値上げは決まった事なので、皆さんに説明をし、社団の方からアピールして納得できない点を聞き取り回答しつつ進める。

②次期理事会構成案について

中谷専務理事：次期議長予定者は資料のとおり。

松浦理事長：次期理事長予定者は現議長から推薦していただきたい。

廣田常務理事：8人の常務理事協議の結果、MD334 現副理事長喜多副理事長を推薦。

松浦理事長：5月8日に現・新議長で委員長等を決定し5月21日の現新理事会で正式決定。

喜多副理事長：内定者として前任者同様に改革を進める。専務理事・副理事長を指名予定。

③札幌フォーラムステアリング委員会（5/23-25）参加者の選任

MD330・332・333 は年次大会と重複のため除外。

増澤事務長：規約では4名。

鶴嶋 LCIF 理事：最少2名・最大4名。全員出席の場合は MD331 次期議長予定者である設楽 L を含め5名になる可能性。

④国際大会委員会よりオーランド大会関係についての提案

国際大会委員長・戸祭理事より

・ツアーデスク設置についての提案

これまで公認旅行会社経由ホテル利用者から1人1万円徴収しツアーデスクを設置していたがツアー未用者もデスクを活用できるよう日本ライオンズで費用を負担する件を委員会より提案する。来年の理事会議題にしていきたい。

・オーランド大会 ホテル利用状況

4月24日の国際大会委員会でホテル宿泊人数回答が不十分のため議長からもホテル利用数の手助けをしていただきたい。

・パレード頒布品

パレード公式ユニフォームの帽子注文数が少ない。帽子もパレード時のユニフォームに含まれるためパレード参加予定者で未発注の方は早急をお願いします。

・25-26年度国際会長公式訪問について

10月26日、オセアルフォーラム閉会式後（15時頃）AP シン国際会長公式訪問が決まった。400名程度の参加の依頼となり、各MD50名程度参加要請するので26日に帰らず、27日以降以降に帰る日程での飛行機の手配をお願いしたい。

松浦理事長

戸祭委員長がオーランド大会日本ホテル予約数の件で大変困っている。

また現地の空港へ日本として迎えるのバスを手配するなど、日本全体で対応することになるので、公認TCへははっきりとした参加予定者数を伝えることでより良いサービスが出来、安心して参加することが出来るかと思う。

⑤10/26開催 AP シン国際会長公式訪問開催の件

鶴嶋 LCIF 理事より

前年に合わせての参加予定数となっている。公式訪問のあとに歓迎晩餐会があるため、参加される方は26日も北海道へ宿泊いただくことになるかと思われる。

濱野国際理事

AP シン会長は公式訪問の後、31日くらいまで滞在される予定。

オセアル調整事務局で日本として動きやすいよう色々考えていると思うが当該地区になったところではご協力をお願いします。

⑥コンプライアンス関係

増澤事務長

事務局の秘密保持と事務局員に対してのハラスメント防止のための規程について法律顧問と相談したところ文章が長すぎるということで、もう少し文章を考える。

⑦総務人事関係

5月8日11時、総務人事委員会を開催したい。賞与の支給があるのでその評価、7月から昇給による給与の改定があるため。

→日程については要調整となった。

2. 報告事項

①3/16-3/19 オークブルック国際理事会報告

…国際理事各位

城阪国際理事

国際協会としては1、2、3にも経費削減。よろしくをお願いします。

・日本ライオンズ予算案への提案

ライオンズクラブは奉仕団体であるため、南海トラフ地震などを想定し、社団として基金を貯めていくという考え方があっても良いと思う。移転補償の3,000万円などを別途基金とし、緊急資金をすぐに拠出できる体制を整えるべきではないか。次年度になるかとは思いますが、喜多次期理事長予定者にご尽力、ご検討いただきたい。これは奉仕というライオンズの本旨にあたるのではないか。値上げについてもこういうことにも目を向けている、という姿勢が非常に大事な所になる。皆さんに経費節減をしていただいて、その余剰分の1/3はこのような基金にいきます、という考え方も良いのではないか。

濱野常務理事

・オランダの国際大会での投票議案について

国際理事を輩出する会則地域の編成配分が変更される。アメリカの会則地域1が3人減り、その分会則地域4の南アメリカがプラス1、会則地域6のインドを中心とした地域がプラス2となる。

・各委員会の決議事項について

奉仕事業委員会では奉仕週間という奉仕事業に対する取組を各クラブ、地区でやっていただきたいというのがある。10月は心と健康のケア、1月は食糧支援、4月は環境保全についての奉仕事業をやっていただきたい。1週間ごとの世界全体で取り組む事業が決まっているので次期ガバナー予定者の方には通知が行くかと思う。

・地区ガバナーの空席補充について

ガバナーが空席の場合は元地区ガバナーが立候補できるが、1回のみとなっている。

・第一副地区ガバナーの研修について

毎年2月に行われていたシカゴ・Qセンターでの研修は廃止となりWEB開催となる予定。なお日本の場合は一言語のため、どこかで集まって対面で行う可能性もある。

それに伴い香港大会からの国際大会でのエレクトセミナーは2日になりエレクトが現在より一日早く大会開催地へ入ることになるという案も検討されており、オランダで正式に決定する。

・リーダーシップ研修について

リーダーシッププロの方はFDIの研修が来期で終了。各複合地区から人数に合わせて希望者が出るかと思うが、来期で最後なので興味がある人は参加してほしい。今後はLSHIPのみとなる。

・マーケティング関係アワードについて

ライオンズインターナショナル・マーケティングアワードが創設され、全世界のクラブのマーケティング活動に対してのアワード。各会則地域から1クラブずつ受賞されるが、日本

からは 1 クラブしか申請していなかったため残念ながら日本のクラブは受賞できなかった。来期以降はこのアワードがある事を皆さんに知っておいていただいて、各ガバナー、クラブに宣伝をしていただいて、こういう媒体で宣伝した、こういう取り組みをしてライオンズの名を知らしめたなどあれば是非国際協会へ申請していただきたい。

・AI 活用について

ライオン AI が国際協会のホームページに出ているかと思うので、そこをクリックすると英文のページではあるが日本語で質問でき、資料の掲載されている箇所など回答をして貰える。ベータ版で試行錯誤している段階だが初心者でもわかりやすく使えるようになっているので活用いただきたい。

最後に一つだけ理事会でお伝えしたいことがある。皆さんは一般社団法人の理事として大変重い立場であるので、言葉の言い回しに大変気を付けなければならない。「社団で決まった」と言うのではなく、「社団で決めた」という表現。なぜなら皆さんが主体となって決めている事なので、自分もその決定に対して説明をする責任があるという心構えで複合の年次大会に向かっていただきたい。同じように正社員である地区ガバナーも総会に出て決めたことなので、としないとメンバーを説得できない。その責任のもとに各複合地区、準地区に説明いただきたい。

伊賀常務理事

マーケティングアワードの申請はクラブ単位かキャビネットか？

→クラブ単位である。

②アラート委員会関係報告

・3/14 開催 アラートフォーラム（茨城）開催報告 …藤井常務理事

アラートフォーラムの午前中に各 MD のアラート委員長・班長を対象とした勉強会を実施し、交流会も行った。フォーラムには 486 名の参加、272 名の交流会参加 3,318,109 円の収入となり、支出は 2,274,169 で余剰金 1,043,940 円となった。多くの方に参加いただき、実りあるフォーラムとなった。

・4/8 開催 第7回アラート委員会開催報告

まだ議事録が上がってきていないが、2026 年度アラートフォーラム開催地は委員会の中では MD335 に決定した。

色々災害の対応について今期問題があったため、迅速な支援を目的とし、委員会構成をもう少しスマートにした方が良いのではないかとの意見があった。

各 MD のアラート委員長が社団の中ではアラート委員として構成員となり、全日本の統括リーダー、東西のエリアリーダー、委員の下に班長として各 MD に 1 名、副班長として各準地区から 1 名で構成されている。副班長は各準地区にアラート委員会があるので、社団の中にはいないのではないかという話し合いがなされた。来期については喜多理事長予定者とどう進めるか協議しながら進めていきたい。

喜多副理事長

330 複合地区内の地区関係者が 4 月 29 日に能登に誰の許可もなく入ろうとしているとの話を耳にしたため、伊賀常務理事に調べていただきたい。334-D 地区ガバナーもキャビネットも知らないとの事。行くのであればだれの許可を得て行くのか調べていただかないとアラ

ートへの理解が得られにくい。

廣田常務理事よりエリアリーダーをはじめとするアラート委員会構成について質問。

藤井常務理事

エリアリーダーについてはアラート委員会で推薦し、社団の理事長が任命する。社団としては委員長・副委員長・各 MD の委員長でアラート委員会を構成し、別途アラートチームがある。アラートチームは、複合や準地区に 7 年前までアラート委員会がなかったため設置されたもので、アラート委員会の下部組織である。

松浦理事長

もう少し時間をかけて成熟した姿を目指したい。災害規模に応じたアラート委員会の対応も整いつつあるため、もう少し時間をいただいて、次年度以降もさらなる整備をしていただけるとありがたい。

③3/21 開催 第 5 回会則委員会 報告

…中谷専務理事

役員必携は現在作業中で動いている所。各複合年次大会の共通提案事項を確認したが、今回は共通の提案事項はなしということを確認しているところ。コンプライアンス委員会についてはパイロット事業として各MDへ依頼しこの 1 年やって来た。次回かその次の委員会で今後どうするか決定予定。

④4/2 開催 第 9 回国際大会委員会報告

…戸祭理事

- ・第 107 回オーランド大会最新情報
報告済のため省略。

…諏訪常務理事

- ・第 62 回 OSEAL フォーラムについて

開催 190 日前を切り、鶴嶋実行委員長、松浦副実行委員長、設楽副実行委員長と精力的に取り組んでいる所。かなりの頻度で委員会を開催している。支援金・登録について各 MD の協力に感謝。支援金は 330-B を除き完了しており 330-B も現ガバナーから年次大会終了後に支出するとお答えいただいている。MD331 については開催地のため支援金の金額が大きいため 3 回に分けている。そのほかは予定通りに進んでおり本当にありがとうございます。

早期登録結果（4/7 現在）は以下の通り。

	MD330	MD331	MD332	MD333	MD334	MD335	MD336	MD337	計
目標	800	3,000	900	1,200	1,300	1,000	1,050	1,050	10,200
登録	170	1,616	225	253	546	394	121	147	3,478

早期登録と大きく金額が変わらないのでこれからそれぞれの複合地区、準地区で登録が進んでくるとは思う。

フォーラムを成功のうちに終わらせるために、登録数の確保が必要であるため、議長の皆さんにも登録数の目標もあるので是非ご協力をいただきたい。

戸祭理事

委員会としてオーランド国際大会参加推進についての業務を終わらせた上で、今期中に5,000名登録を目標としたい。

地区ごとに目標などあるかと思うが御協力をお願いします。

⑤4/14開催 第5回YCE委員会開催報告

…田中理事

昨日、第5回YCE委員会を開催。春の派遣ではMD330主導の交換があり、問題なく子どもたちが楽しんだ。夏の派遣、受入は各複合委員長の尽力で今の所順調にしている。前回の第4回のYCE委員会で、OSEALフォーラム札幌開催時にYCEの活動ができないかと案が出たため議論したが、時間不足と次期に跨いでしまうため今回は中止とした。ただし今後YCEとして長い目で見て何らかの他地区、他の国と交流を深める場を設けていければ良いという話で終わった。YCE実務の社団一本化が出来ないかについて、これも次の委員会ないし来期に引き継ぐ方向で持って行けるように今の所進んでいる。

⑥その他報告

・ダイナースカードについて

…増澤事務長

社団が責任を負う覚書を交わさず、社団は関わらずキャビネット・各クラブ会長が直接契約する方式に変更。詳細はダイナース担当者へ問い合わせの上、有効活用してほしい。

監事講評

石橋監事

本日の理事会は会費の議論が半分を占めた。値上げは10円単位といえども会費問題は難しい。会員減少の中で会員の獲得と会費の問題が出ている。また支部と会員ではどこが違うのか会費が違うだけかという話も出てきており、一般の会員から支部に移ってしまうという話も出ています。

小林監事

会費値上げは十分理解できていなかったが、濱田常務理事の資料は理解しやすかった。アラートチームには熱心な人や資質のある方もいる。初代アラート委員長として、アラート委員会に期待します。

3. 今後の予定について

- ・5/8 (木) 現・次期予定者打ち合わせ会議 日本ライオンズ事務所
- ・5/15 (木) 第9回執行理事会 WEB
- ・5/21 (水) 現・次期理事会 (東京)
- ・5/23 (金) -25 (日) 第62回 OSEAL フォーラムステアリング委員会 (札幌)

◇閉会宣言

専務理事 中谷 豊重

以上

2025年4月15日

議事録作成人：

常務理事	伊賀 保夫
常務理事	諏訪 昇三

議事録署名人：

理事長	松浦 淳一 【押印省略】
監事/MD333元議長	石橋 貞 【押印省略】
監事/MD335元議長	小林 聰 【押印省略】

2025年6月25日(水) 13:30-16:00 AP 東京八重洲 A ルーム

出席者リスト

<正社員> 2024-25 年度

330-A 地区ガバナー 森 亮介
 330-B 地区ガバナー 倉田 雅史
 330-C 地区ガバナー 猪野塚 弘樹
 331-A 地区ガバナー 美田 法賢
 331-B 地区ガバナー 伊東 隆志※【欠席】
 331-C 地区ガバナー 齋藤 尚仁※【欠席】
 332-A 地区ガバナー 吉澤 俊寿
 332-B 地区ガバナー 平野 嘉男※【欠席】
 332-C 地区ガバナー 佐藤 久一郎※【欠席】
 332-D 地区ガバナー 車田 信彦
 332-E 地区ガバナー 安孫子 英彦
 332-F 地区ガバナー 長澤 源一※【欠席】
 333-A 地区ガバナー 高頭 八郎※【欠席】
 333-B 地区ガバナー 福田 智恵
 333-C 地区ガバナー 大瀧 勝明※【欠席】
 333-D 地区ガバナー 染谷 文雄
 (2025年4月30日 逝去)
 333-E 地区ガバナー 椎名 健二
 334-A 地区ガバナー 柴田 高志
 334-B 地区ガバナー 丹羽 浩康※【欠席】
 334-C 地区ガバナー 鷹嶋 邦彦
 334-D 地区ガバナー 杉木 徹
 334-E 地区ガバナー 浜 一平
 335-A 地区ガバナー 永田 雅章※【欠席】
 335-B 地区ガバナー 古川 繁浩※【欠席】
 335-C 地区ガバナー 野々山 宏※【欠席】
 335-D 地区ガバナー 今市 明弘※【欠席】
 336-A 地区ガバナー 石井 淑雄
 336-B 地区ガバナー 上原 正樹
 336-C 地区ガバナー 鳴戸 大二※【欠席】
 336-D 地区ガバナー 神田 義満
 337-A 地区ガバナー 矢野 進※【欠席】
 337-B 地区ガバナー 武永 健治郎
 337-C 地区ガバナー 為永 一夫※【欠席】
 337-D 地区ガバナー 宇都 要一※【欠席】
 337-E 地区ガバナー 吉井 本※【欠席】

(2024-25 年度)

一般社団法人日本ライオンズ前理事長 田名部 智之
 公益財団法人日本ライオンズ理事長 小野寺 眞悟

(2024-25 年度 協議会議長)

MD330 議長 伊賀 保夫
 MD331 議長 諏訪 昇三
 MD332 議長 渡邊 俊弥
 MD333 議長 佐藤 裕幸
 MD334 議長 喜多 友一
 MD335 議長 廣田 晃一
 MD336 議長 藤井 信英
 MD337 議長 濱田 浩平

(2023-24 年度 協議会議長)

MD330 議長 田中 雄一
 MD331 議長 松浦 淳一
 MD332 議長 栗村 安弘※【欠席】
 MD333 議長 星野 勝美
 MD334 議長 戸祭 宏樹
 MD335 議長 中谷 豊重
 MD336 議長 澤 辰水
 MD337 議長 新里 正雄

(2024-25 年度 新理事)

2023-25 国際理事 城阪 勝喜
 2023-25 国際理事 濱野 雅司
 2024-25 LCIF 理事 鶴嶋 浩二

(2024-25 年度 監事) 2年任期の1年目

MD332 元議長 下間 俊悦
 MD333 元議長 石橋 貞
 MD335 元議長 小林 聰※【欠席】
 MD337 元議長 乗田 泰※【欠席】

※議決権行使書

正社員総数 59 名 (出席 39 名・欠席 20 名)

【正社員】 第4回社員総会（全国ガバナー会）出席者数 内訳：

	出席	欠席	小計
DG	17	17	34
理事	20	1	21
監事	2	2	4
	39	20	59(名)

※議決権行使書受領済み

議決権行使書

第1号議案：社員退会者承認の件

賛 20 否 0

第2号議案：新社員入社予定者承認の件

賛 20 否 0

第3号議案：2024-25 年度事業報告及び計算書類（経過）承認の件

賛 20 否 0

第4号議案：理事の任期満了に伴う改選案に関する件

賛 20 否 0

オブザーバー**【国際協会】**

元国際会長／名誉理事長	山田 實 紘
【2024-25 日本 GAT】	
エリアリーダー(統括)	鈴木 誓 男 【欠席】
エリアリーダー(東日本)	小川 晶 子 【欠席】
エリアリーダー(西日本)	松岡 勲
エリアリーダー(GLT/GST)	識名 安信 【欠席】
副エリアリーダー(MD330,333)	伊藤 和子
副エリアリーダー(MD331,332)／前理事長	田名部 智之 *
副エリアリーダー(MD334,335)	大山 恭 範 【欠席】
副エリアリーダー(MD336,337)	有本 みどり 【欠席】
副エリアリーダー(GLT/GST)／次期 MD331 議長	設楽 幸子
DGE グループリーダー	濱島 清美
アドバイザー	川島 正行 【欠席】
25-27 年度 国際理事候補者／元理事長(21-22)	仁科 良三
25-27 年度 国際理事候補者／前理事長(23-24)	田名部 智之

【次期議長予定者】

330 複合地区／330-B 地区ガバナー	倉田 雅史
331 複合地区／副エリアリーダー(GLT/GST 担当)	設楽 幸子
332 複合地区／332-D 地区ガバナー	車田 信彦
333 複合地区	水沼 孝夫
334 複合地区／334-D 地区ガバナー	杉木 徹
335 複合地区	山本 忍
336 複合地区	山崎 もとみ
337 複合地区／337-B 地区ガバナー	武永 健治郎

【地区ガバナーエレクト】

330-A 地区ガバナーエレクト	上野 繁幸 【欠席】
330-B 地区ガバナーエレクト	森川 吉孝 【欠席】
330-C 地区ガバナーエレクト	三浦 宏仁 【欠席】
331-A 地区ガバナーエレクト	山崎 巖
331-B 地区ガバナーエレクト	大島 尚久 【欠席】
331-C 地区ガバナーエレクト	高橋 伸介 【欠席】
332-A 地区ガバナーエレクト	藤田 鉄哉
332-B 地区ガバナーエレクト	廣田 清実 【欠席】

332-C 地区ガバナーエレクト	斎藤 孝一 【欠席】
332-D 地区ガバナーエレクト	酒井 富也
332-E 地区ガバナーエレクト	横山 昭子 【欠席】
332-F 地区ガバナーエレクト	野宮 加代子 【欠席】
333-A 地区ガバナーエレクト	林 隆行 【欠席】
333-B 地区ガバナーエレクト	前原 正義 【欠席】
333-C 地区ガバナーエレクト	廣瀬 直樹
333-D 地区ガバナーエレクト	荻野 匡司
333-E 地区ガバナーエレクト	若林 純也 【欠席】
334-A 地区ガバナーエレクト	速水 清朗
334-B 地区ガバナーエレクト	加藤 謙一
334-C 地区ガバナーエレクト	杉山 節雄
334-D 地区ガバナーエレクト	森川 直之
334-E 地区ガバナーエレクト	飯田 重光
335-A 地区ガバナーエレクト	栗栖 正明 【欠席】
335-B 地区ガバナーエレクト	笹部 美千代 【欠席】
335-C 地区ガバナーエレクト	田端 俊三 【欠席】
335-D 地区ガバナーエレクト	船橋 佳照 【欠席】
336-A 地区ガバナーエレクト	向 和人
336-B 地区ガバナーエレクト	榎本 明
336-C 地区ガバナーエレクト	宮本 浩二 【欠席】
336-D 地区ガバナーエレクト	日下 眞二 【欠席】
337-A 地区ガバナーエレクト	松村 誠 【欠席】
337-B 地区ガバナーエレクト	増田 勝也 【欠席】
337-C 地区ガバナーエレクト	川原 保治 【欠席】
337-D 地区ガバナーエレクト	脇黒丸 一典 【欠席】
337-E 地区ガバナーエレクト	熊宮 敏紘 【欠席】

【一般社団法人日本ライオンズ】

法律顧問	池田 和司	【欠席】
会計顧問	吉田 宗一郎	
事務長	増澤 義治	

【松浦理事長事務局補佐】

南部谷 靖
成田 祐樹

以上

・社員総会開会に先立ち、公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター 松本専務理事よりご挨拶と取り組みについての説明を頂いた。

中谷専務理事

議事開始前に出席状況を確認した結果、社員総数 59 名中 58 名（会場 39 名、議決権行使 19 名、欠席 1 名）が出席しており、定款 16 条で定める定足数（社員総数の過半数）を充足しているため本定時総会は適法に成立したと宣言された。

註：欠席者 1 名については後日議決権行使書が提出されたため、最終的には議決権行使 20 名・欠席者 0 名となった。

また、定款 17 条に基づき、以後の議決は出席社員の過半数をもって決する旨が報告された。

1. 開会のことば 日本ライオンズ理事長 松浦 淳一

開会にあたり山田元国際会長、国際理事の皆様、各地区ガバナー、ガバナーエレクト並びに関係者へ感謝を述べ、昨年 8 月 4 日の就任以来の支援に深く謝意を示した。自身が病にかかり手術・抗がん剤治療を受けた際、山田 PIP をはじめ多くのメンバーがサポートしてくれたことを回想し、「助けられた命をライオンズに捧げたい」と決意を表明した。

就任後は田名部前理事長が進めた組織改革を継続しつつ実装段階へ移行したと説明し、特に(1)国際協会に認められる強固な運営体制づくり、(2)会費値上げとライオン誌送料負担の社団一元化、(3)国際会長・要人来日の受け入れ体制の社団予算化、(4)国際大会やパレード支援費用の社団負担など、具体的な 4 点を成果として示した。

賛助会費値上げは 35 地区の事情に配慮しながら 10 月から議論を重ね、各地区大会で承認に至った経緯を報告したほか、ライオン誌の発送先を将来的にクラブ宛へ集約し活用を促進する考えを示した。また為替が 150 円付近で推移し補助金収入が減少する可能性に触れ、財政リスク管理の重要性を強調した。来期以降は国際会長招請や大会関連費用を社団として計画的に負担し、会員サービスを向上させる方針を示し、GAT 担当制強化による全国的な奉仕活動の底上げと会員増強、若手・女性の参加環境整備を呼び掛けた。

最後に「日本全体で力を合わせ、地域に即した魅力ある活動を展開し、新しい仲間を迎え入れよう」と締めくくり、出席者の協力を求めた。

2. 議事録作成人・署名人の選出

議事録署名人として 333-B 福田智恵ガバナー、337-B 武永健治郎ガバナーが選出
議事録作成人とし MD336 藤井常務理事、MD337 濱田常務理事が選出された。

3. 議事運営について

審議に入る前に議長から議事運営のルールが示され、総会の円滑な進行と秩序を保持するため出席者はすべて議長の指示に従うこと、発言は議長の指名を受けた順に行うこと、指名された者は所属地区と氏名を述べてから発言すること、質問や意見は簡潔にまとめおおむね 3 分以内とすることが確認された。

4. 審議事項

第 1 号議案 社員退会者承認の件

議案資料に記載された退会届提出者 59 名について説明がなされ、質疑を求めたが異議はなく、出席・委任を含む全会一致で当該正社員 59 名の退会を承認した。

第 2 号議案 新社員入社予定者承認の件

次年度の入社予定者 60 名の入社届を受理しており、理事会構成は今年度と同様の構成で 21 名とする。2 年任期中の監事は継続と説明のうえ質疑を求めたが発言はなく、出席・委任を含む全会一致で全員の入社を承認した。

第 3 号議案 2024-25 年度事業報告及び計算書類（経過）承認の件

戸祭財務担当理事に代わり、吉田会計顧問より第3号議案の配付資料に沿って説明があった。

まず5月末時点の貸借対照表が示され、続いて正味財産増減計算書（概算見込）を説明し、会費値上げ分やライオン誌関連費用の影響、国際協会補助金、物販収益など主要科目についても概況を補足し、最終決算は6月30日締めとなり、7月8日に8MDによる年度末監査を受けたうえで8月4日の次年度第1回定時総会で正式承認を求める段取りが示された。

質疑を促したが発言はなく、議長が採決に付したところ出席・委任を含む全会一致の賛成で事業報告と計算書類経過を承認した。

第4号議案 理事の任期満了に伴う改選案に関する件

現行理事は本総会終結をもって任期満了となるため、次年度理事候補として現・前議長16名、前理事長1名、公益財団法人日本ライオンズ理事長1名、国際理事候補者2名、LCIF理事予定者1名の計21名体制とする旨が示され、資料記載の21名を次期理事候補者として推薦し、8月4日開催予定の第1回定時社員総会で正式選任する段取りとなることが報告された。議長が質疑を求めたが発言はなく、採決にて出席・委任を含む全員が賛成し、全会一致で原案どおり承認された。

5.報告事項：各種活動報告 等

◇国際理事会報告

・山田實紘元国際会長・名誉理事長

本日の社員総会についてまずガバナーが1/3の出席、ガバナーエレクトの出席率が約55%にとどまったことに触れ、コロナ禍でオンライン中心となった結果、世界的にライオンズの熱量が下がったと指摘したうえで、対面での活発な意見交換を再開して組織の活力を取り戻すべきだと述べた。発言を遠慮する空気は組織を弱めるとして、立場や性別を問わず言うべきことを率直に言う文化への回帰を提唱した。

次にミッション1.5について、国際協会が日本に課した会員純増目標940名について算出根拠不透明だとしながらも、目標を達成してこそ日本の発言力が維持できると強調し、現実的な達成手段として家族会員の積極活用を勧めた。会費高騰下で入会基準を緩め過ぎればクラブの品位が損なわれ既存会員の流出を招くと警鐘を鳴らし、質を守りつつ数を伸ばす方策として家族会員や企業内クラブの活用を再度訴えた。さらに、LCIFへの日本の貢献は世界首位である一方、LCI本体での発言力を高めるには会員数増強が不可欠であると述べ、国際理事候補2名への支援を呼びかけた。情報がガバナーからゾーン・チェアパーソン、クラブへと途切れず伝達される体制の必要性を説き、全層が同じ目標を共有してこそミッション1.5が完遂できると説明した。

最後に7月のオーランド国際大会でメンバーシップに関する講演を行う予定であることを報告し、日本は必ず目標を達成できるので共に頑張ろうと出席者を鼓舞して報告を締めくくった。

・城阪勝喜国際理事

2年間の在任に対する謝意を述べた後、理事会活動の概要を報告した。エジプト、カナダ、ブラジル、オークブルックなど世界各地の理事会に出席し、主に財務委員会と監査委員会を担当したと説明。

国際協会は総資産の一部をメリルリンチで安全運用しており、年10%近い利回りによる収益が協会運営を支えていると紹介した。しかし今期はインドで会費に18%の消費税が課されたため約400万ドルの赤字が発生し、春の理事会では「経費削減」が最大課題となったと報告。国際会長の移動をファーストクラスからビジネスクラスへ切り替える検討や、世界から750人のガバナーをシカゴに集めて実施していたQセンター研修を全面オンラインに切り替える措置など、具体的なコスト削減策が議論されたと述べた。

自身が委員長を務める監査委員会では新たに外部監査法人RSM米国法人を選定し、財務と

業務の両面からチェック体制を強化したことを報告した。

最後にミッション 1.5 達成にはひ弱な世間のリーダーより元気な中小企業オーナーの入会促進が効果的だとして、地区レベルで意欲ある経営者を迎え入れ、日本は一丸となって会員増強と影響力拡大を図るべきだと呼び掛け、報告を締めくくった。

・濱野雅司国際理事

今年度のガバナーの労をねぎらい、ミッション 1.5 達成には会員増強だけでなく奉仕活動の活性化が不可欠だと強調した。

自身が2年間所属した奉仕事業委員会で世界各地の理事と交流し、日本の活動を国際水準で見直す機会を得たと述べた。6月21日と22日にLCI日本事務局主催で実施した奉仕アクティビティ・ウェビナーには初日約400名、2日目約200名が参加し、国際協会の重点分野とアクティビティ報告手順を解説したと報告。

来期の世界奉仕週間は①10月4日-12日（心の健康ケア）②1月3日-11日（食料支援）③4月18日-26日（環境保全）の3回で、詳細は会員リソースセンターに用意された事業案を参照してほしいと呼び掛けた。

アワード制度では、今年度実施した優れた奉仕事業を顕彰する Kindness Matters Service Award への申請を7月31日までに地区 GST コーディネーター経由で行うよう依頼。次年度は会員純増2名または10%、LCIF 寄付1人当たり10ドル、アクティビティ報告の要件を満たしたクラブに「クラブ優秀賞」、純増20%（または5名）・寄付20ドルなど上位基準で「五つ星優秀賞」を授与する仕組みを紹介した。

研修面では FDI (Faculty Development Institute) が来期で終了し、申し込み締切が8月25日であること、来期は他の対面研修プログラムが予定されていないため人材育成に活用してほしいと説明。

アクティビティ報告率は世界平均約75%に対し日本は約70%であり、今年度分は7月31日までに必ず入力するよう要請した。

オーランド国際大会での投票では7月15日12:00-17:00と16日10:00-17:00の2日間のみで、

- ①インドなどで発生する会費課税分を該当国会員に転嫁できる定款改正
 - ②理事配分変更（米国-3、南米+1、インド+2）
 - ③同一クラブから同時にガバナーと第1副ガバナーを出せない規定
- の3議案が審議されると説明。

最後に奉仕週間への参加と正確な活動報告で日本の存在感を高めようと訴えて報告を締めくくった。

・鶴嶋浩二 LCIF 理事

本年度日本の LCIF 寄付目標 1,028 万 8,000 ドルに対し6月23日時点の実績が1,027 万 4,744 ドルで達成率 99.9%に到達していると報告し、残り数日で目標を完全達成できる見通しであると述べた。これは円換算で約14億円に相当し、世界全体の LCIF 年間寄付額約55億円の中で日本の比重が極めて大きいことを強調した。交付金申請では5月末までに世界184件のうち日本関連案件はほぼ全件承認されており、例として332-C地区の子ども見守りシステム構築、330-B地区のフィリピン支援施設2か所設置、337地区の災害備蓄資機材整備などを紹介した。地区やクラブは交付金を活用して規模の大きい奉仕活動に発展させてほしいと呼び掛け、申請時期が遅れると年度後半に間に合わないケースが多いので早期手続きを勧奨した。クラブシェアリング交付金については現在の15%が国際大会後に20%、将来的には30%へ段階的に引き上げられる予定であり、来期以降の寄付分から適用されると説明。併せて地区シェ

アリング交付金も増額されるため、各地区は計画的に事業を設計してほしいと述べた。

続いて10月23日-27日に札幌で開催される第62回 OSEAL フォーラム委員長として準備状況の報告。記念トートバッグ試作品を配布し、本番ではより大きなバッグとバッジを用意すると案内。登録目標1万6,000人に対し4月23日時点では総計約4,100人とどまっている現状を示し、各複合地区別の登録人数を読み上げて増員の協力を依頼した。会場確保の都合上、10月25日に同日程で開催される関ジャニ∞の札幌公演とホテル・交通手配が競合するため、早期登録の重要性を強調した。さらに登録キットを事前に各地区へ着払い発送する案への意見を求め、持ち帰りの手間を省く方法を検討すると述べた。

最後に、松浦理事長をはじめ執行部への謝意を表するとともに、これからも奉仕活動に邁進していただくよう訴えて報告を締めくくった。

◇公益財団法人日本ライオンズ活動報告

・公益財団法人日本ライオンズ 小野寺眞悟理事長

財団が設立から5年を迎えたことを報告し、同財団の重点事業を障がいのある子どもへの支援と位置づけていると説明した。具体的には2022年に開始した特別支援学校全国フットサル大会を今年で3回目まで開催し、延べ約3,000人の児童生徒が参加していると紹介した。また児童養護施設への学習支援寺子屋事業も2021年から展開し、現在43施設で小学生から高校生までを対象に学力向上と自己肯定感の醸成に取り組んでいる。児童養護施設入所児童の約70%が虐待経験者である現状を踏まえ、学習環境の整備とメンタルケアの重要性を強調した。

財政面では、寄付の大半を役員自身が負担しており、今年度は理事長の地元 MD331 から約2,300万円、最初の理事長である不老 PID の所属する MD337 から多額の支援が寄せられたと報告した。財団役員は手弁当で活動しており、事務費も自己負担であると説明して参加者の理解と協力を求めた。さらに LCIF とのパートナーシップによる交付金や助成金の獲得が進んでいる。次年度は支援対象児童をさらに拡大するための改正案を策定し、クラブレベルでの理解浸透を図る広報活動を強化する方針を示した。

呼ばればどこへでも出向いて説明すると述べ、最後に障がいを持つ子どもたちの自立を後押しするのが公益財団法人日本ライオンズの使命であり、今後とも変わらぬ支援とご指導をお願いしたいと結んだ。

◇GAT エリアリーダー報告

・松岡勲 GAT 西日本エリアリーダー

来期の喜多理事長予定者と新執行部への協力を呼びかけ、日本ライオンズ組織が一つのチームとして機能するには、GAT と LCIF を両輪で連携させることが不可欠だと強調した。特に GST が創出する奉仕活動こそが会員増強 (GMT) とリーダー育成 (GLT) を促進し、FWT による家族会員拡充へ循環するという流れを再確認してほしいと訴えた。

ミッション 1.5 達成に向けてはスペシャリティクラブが増加しており、その受け皿として会費・例会形態など既存クラブの規制緩和が必須と指摘した。

来期の年次大会議案では、ガバナーエレクトと次年度第1副地区ガバナーが連携し、会則改定を含む環境整備を進めるよう要請した。また GLT 研修報告の提出率が 87.5%にとどまり、未報告は MD333 のみであると明かし、6月30日までに必ず登録するよう強い協力を求めた。さらに、FDI 受講や各種研修の申込みは研修実績報告が前提条件となるため、全地区の報告はもちろん、MD からの報告もしっかりしていただきたいとお願いをし、報告を締めくくった。

◇一般社団法人日本ライオンズ監事中間報告

・石橋貞監事

本総会で審議した4件の議案が出席者全員の賛同を得て承認されたと報告し、協力に感謝を述べた。社員総会は年4回実施しており、今後はガバナーの出席率向上が重要課題だと指摘した。世界情勢が読めないため、国際理事、LCIF 理事にも理事会へ入っていただき情報共有を

強化できたことは有意義だったと評価した。

会費値上げをめぐるっては前回理事会で決議済みであり、各複合・地区の年次大会での承認状況を注視していると説明し、自身の所属する 333 複合では議長の円滑な進行で異議なく可決されたと報告した。最後に次期役員・ガバナーに引き続き積極的な参加と協力を求めた。

◇一般社団法人日本ライオンズ委員会報告

・国際大会委員会 戸祭宏樹委員長

オランダ国際大会に伴う行事運営の詳細を報告した。7月15日の代議員朝食会はビジネススタイルでの参加を求め、DGE 向けのバス代金が1人あたり7,000円、同伴者が来られる方は計14,000円負担となると説明した。

国際大会で行われるパレードについて、集合は8時30分、出発順位は151番目であると伝えた。行進の迫力を高めるため、プラスバンドや三三七拍子を入れる。前日打合せと当日の待機時間が長引く可能性が高いことから、参加者へ十分な協力を求めた。

・YEC委員会 田中雄一委員長

日本ライオンズとして統一の指針がなかったホストファミリー手引書を新たに作成し、ホストクラブ向けガイドを追加したこと、また複数年にわたり検討しているYCE事業の日本ライオンズ一本化については結論に時間を要するため、来期委員会へ諮問機関の設置を含め継続協議事項として引き継いでいく。

今年度の冬期・春期交換プログラムは重大事故もなく終了し、夏期交換についても現在順調に準備が進んでいると説明した。夏期は7月から8月、遅い地区では9月まで日程が延びるため、現ガバナーの任期内に委員会メンバーを激励していただきたいと報告した。

・アラート委員会 新里正雄委員長

アラートフォーラム in 茨城では委員長班長研修を今回はじめて開催。次年度の開催予定のアラートフォーラム in 大阪では、支援活動に関心を持つメンバーの積極的な参加を求めた。また、アラートフォーラムへのガバナーの出席が非常に少なかった件に触れ、次回は各地区からの参加を強く要請した。

・会則委員会 中谷豊重委員長

改訂版の役員必携を本年度中に発行し、まもなく各クラブへ配布できる見込みである。しかしライオンズ必携については、大幅な条文整理と見直し作業に時間を要しているため今期内の完成は困難だが、ひな形と根拠条文の整理は終えており、次年度早期に発行できるよう準備を進めると説明した。

・国際理事候補者資格審査委員会 澤辰水委員長

昨年8月2日、日本ライオンズ事務局で行い、2025-2027年度国際理事候補者として届出のあった田名部ライオンについて資格審査を行った。8複合の委員と入念にチェックをし、同候補者が国際理事候補者資格要件をすべて満たしていることを確認し、委員全員が審査報告書に署名捺印したと報告した。

・ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会 松浦淳一理事長

栗村理事が欠席の為、代わりに松浦理事長が報告。これまで唯一、一度も開催をしていない委員会である。本日冒頭で公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センターご担当者にあいさつを頂いたが、薬物乱用防止は全国各地で積極的にやっているのもう一度立て直しをしてゆきたい。

・PRマーケティング委員会（ライオン誌） 星野勝美委員長

ライオン誌日本語版委員会及びマーケティング委員会で二つの活動をしており、今期はライ

オン誌の取材を内製化した結果、制作費を大幅に削減しつつ記事量と新企画を増やせたと報告した。国際理事関連などタイムリーな情報を掲載できた一方、ウェブ版の閲覧率は会員の約1割にとどまるため、LINEのQRコード配布やメールマガジン送信を試みたものの登録数が約6,000件に留まっていると課題を提示。

来期はクラブ宛一括発送へ変更し、クラブ例会で会長に紙面を紹介いただくなどの形で読者拡大を図るとともに、8月号から全国のマーケティング委員長が歩調を合わせて対外広報にも力を入れる方針を示した。

◇その他

・仁科良三国際理事候補者

オーランド国際大会の現地で皆と合流できるのを楽しみにしており、とりわけ日本からの参加者をえるのが待ち遠しいと述べた。自身の性格について感じれば言わずにいられず、見ればすぐ行動するタイプだと紹介し、全力で職責を果たすと約束した。最後に力強い支援を重ねて依頼し、謝辞を述べて挨拶を締めくくった。

・田名部智之国際理事候補者

日本ライオンズ前理事長としての現職を、本日をもって終えると挨拶し、松浦理事長が昨年の改革を受け継ぎさらに発展させたことに謝意を表した。理事会では発言を控えてきたが、7月のオーランド国際大会で当選を果たせば、仁科国際理事候補者とともに国際理事としてオールジャパンの立場を一層高めるべく全力で取り組むと決意を示した。

・松浦淳一理事長より一年を振り返っての閉会あいさつ

委員会報告が熱心に行われ、年間の成果が共有されたことに謝意を示し、疑問があれば事務局へ問い合わせしてほしいと述べた。

冒頭でも触れたとおり山田元国際会長の支援で助けられた命であり、これらの恩を返すのはライオンズしかないという決意を示した。各複合、35人のガバナーと親しく連携してきたと振り返り、1年間共に取り組んだ全員に深い感謝を表した。今年度は計116件の事業を実施し、対面・オンライン双方で出向した委員が35地区8複合地区へ積極的に関与したことを報告したうえで、来年度は喜多理事長予定者の体制の下でさらに社団を発展させて欲しいと展望を示した。

今後も忌憚のない意見を寄せてほしいと呼び掛け、オーランドへ向かう35名の健闘と各自の素晴らしい1年の締めくくりを祈念すると結んだ。

以上

議事録作成人：

常務理事 藤井 信英

常務理事 濱田 浩平

議事録署名人：

一般社団法人日本ライオンズ理事長 松浦 淳一【押印省略】

333-B 地区ガバナー 福田 智恵【押印省略】

337-B 地区ガバナー 武永 健治郎【押印省略】

2025年3月12日(水) 13:30-16:00

AP日本橋 Gルーム

出席者リスト

<正社員> 2024-25年度

330-A 地区ガバナー 森 亮介
 330-B 地区ガバナー 倉田 雅史
 330-C 地区ガバナー 猪野塚 弘樹
 331-A 地区ガバナー 美田 法賢
 331-B 地区ガバナー 伊東 隆志
 331-C 地区ガバナー 齋藤 尚仁※【欠席】
 332-A 地区ガバナー 吉澤 俊寿
 332-B 地区ガバナー 平野 嘉男※【欠席】
 332-C 地区ガバナー 佐藤 久一郎
 332-D 地区ガバナー 車田 信彦
 332-E 地区ガバナー 安孫子 英彦
 332-F 地区ガバナー 長澤 源一
 333-A 地区ガバナー 高頭 八郎※【欠席】
 333-B 地区ガバナー 福田 智恵※【欠席】
 333-C 地区ガバナー 大瀧 勝明
 333-D 地区ガバナー 染谷 文雄※【欠席】
 333-E 地区ガバナー 椎名 健二
 334-A 地区ガバナー 柴田 高志
 334-B 地区ガバナー 丹羽 浩康※【欠席】
 334-C 地区ガバナー 鷹嶋 邦彦※【欠席】
 334-D 地区ガバナー 杉木 徹
 334-E 地区ガバナー 浜 一平
 335-A 地区ガバナー 永田 雅章※【欠席】
 335-B 地区ガバナー 古川 繁浩※【欠席】
 335-C 地区ガバナー 野々山 宏※【欠席】
 335-D 地区ガバナー 今市 明弘
 336-A 地区ガバナー 石井 淑雄
 336-B 地区ガバナー 上原 正樹
 336-C 地区ガバナー 鳴戸 大二※【欠席】
 336-D 地区ガバナー 神田 義満
 337-A 地区ガバナー 矢野 進※【欠席】
 337-B 地区ガバナー 武永 健治郎※【欠席】
 337-C 地区ガバナー 為永 一夫※【欠席】
 337-D 地区ガバナー 宇都 要一
 337-E 地区ガバナー 吉井 本

(2024-25年度)

一般社団法人日本ライオンズ前理事長 田名部 智之
 公益財団法人日本ライオンズ理事長 小野寺 眞悟

(2024-25年度 協議会議長)

MD330 議長 伊賀 保夫
 MD331 議長 諏訪 昇三
 MD332 議長 渡邊 俊弥
 MD333 議長 佐藤 裕幸
 MD334 議長 喜多 友一
 MD335 議長 廣田 晃一
 MD336 議長 藤井 信英
 MD337 議長 濱田 浩平

(2023-24年度 協議会議長)

MD330 議長 田中 雄一
 MD331 議長 松浦 淳一
 MD332 議長 栗村 安弘
 MD333 議長 星野 勝美
 MD334 議長 戸祭 宏樹
 MD335 議長 中谷 豊重
 MD336 議長 澤 辰水
 MD337 議長 新里 正雄

(2024-25年度 新理事)

2023-25 国際理事 城阪 勝喜※【欠席】
 2023-25 国際理事 濱野 雅司
 2024-25 LCIF 理事 鶴嶋 浩二※【欠席】

(2024-25年度 監事) 2年任期の1年目

MD332 元議長 下間 俊悦
 MD333 元議長 石橋 貞
 MD335 元議長 小林 聰※【欠席】
 MD337 元議長 乗田 泰※【欠席】

※議決権行使書

正社員総数 60名 (出席 42名・欠席 18名)

【正社員】 第3回社員総会（全国ガバナー会）出席者数 内訳：

	出席	欠席※	小計
DG	21	14	35
理事	19	2	21
監事	2	2	4
<hr/>			
	42	18	60(名)

※議決権行使書受領済み

議決権行使書

第1号議案：一般社団法人日本ライオンズ 賛助会費値上げの件 賛 15 否 3

オブザーバー

【国際協会】

元国際会長 山田 實紘

【2024-25 日本 GAT】

エリアリーダー(統括)	鈴木 誓男
エリアリーダー(東日本)	小川 晶子
エリアリーダー(西日本)	松岡 勲
エリアリーダー(GLT/GST)	識名 安信 【欠席】
副エリアリーダー(MD330,333)	伊藤 和子 【欠席】
副エリアリーダー(MD331,332)	田名部 智之
副エリアリーダー(MD334,335)	大山 恭範
副エリアリーダー(MD336,337)	有本 みどり 【欠席】
副エリアリーダー(GLT/GST)	設楽 幸子 【欠席】
DGE グループリーダー	濱島 清美 【欠席】

【2025-27 年度 国際理事候補者】

仁科 良三

【OSEAL 調整事務局】

事務局長 マーズ 佐子

【顧問】

法律顧問	池田 和司
会計顧問	吉田 宗一郎

【一般社団法人日本ライオンズ事務長】

増澤 義治

【理事長事務局補佐】

南部谷 靖
成田 祐樹

以上

3

1.開会のことば

松浦理事長の挨拶の後、定款第 16 条の定めにより、理事長が議長に就任することを宣言され開会した。過半数の出席を得て、定足数を満たしているため、第 3 回社員総会が成立している事を確認。

続いて名誉理事長山田元国際会長、濱野国際理事、公益財団法人日本ライオンズ小野寺理事長、田名部前理事長、仁科国際理事候補よりご挨拶をいただいた。

2.議事録作成人・署名人の選出

議事録作成人として、MD332 渡邊常務理事・MD333 佐藤常務理事が選出。

議事録署名人は 330-A 森亮介ガバナー、332-A 吉澤俊寿ガバナーが選出された。

3.議事運営について

議長より、議事運営ルールが説明され、発言者は地区名と氏名を述べてから発言することを確認された。

4.審議事項

第 1 号議案 一般社団法人日本ライオンズ 賛助会費値上げの件

中谷専務理事より説明

2016 年 1 月 1 日に旧日本ライオンズ連絡事務所とライオン誌日本語版事務所が合併して以来、賛助会費の金額を 80 円に据え置いてきた。

2022 年より日本ライオンズ理事会構成員への会議出席へかかる交通費支給の廃止を行い、昨年度からはライオン誌誌面編集や出張の内製化を行うなど、経費削減へ取り組んでいた。しかしながら昨今の社会経済情勢を踏まえ、一般社団法人日本ライオンズ理事会では賛助会費の値上げについて慎重に協議を重ね、組織存続のため今後 2 年において 40 円ずつ、計 80 円の賛助会費の値上げを行い、最終的に賛助会費を 160 円とすることが 2025 年 2 月 12 日開催の第 7 回理事会にて承認された。よって皆様のご承認をいただきたい。

参加した地区ガバナーの意見として、

値上げ後のロードマップについて、具体的な説明がない。地区内での説明のためにも詳細な会費値上げ後や経費削減の計画書など資料の提示の希望、

かなりの金額の内部留保がある件について、金額の詳細な使い道についての質問と、近年の決算を見ても財政がすぐに破綻するわけではなく、値上げについては時期尚早であるという意見、会費値上げの開始について 1 年もしくは 2 年の猶予を求める声が寄せられた。

現在クラブに送料を負担いただいているライオン誌の発送方法を変更し社団が送料を負担する案についてはクラブ一括発送ではなく、引き続き個人発送を望む意見が地区により根強いことから、再度検討いただきたいという意見。松浦理事長・中谷専務理事より再度社団理事会にて検討を進めていく予定であると回答。

採決の結果、賛成 43 名 反対 14 名（議決権行使書による参加者を含む）詳細は以下の通り。

会場：	賛成 29	反対 11	棄権 2	
書面決議：	賛成 15	反対 3		
合計	賛成 44	反対 14	棄権 2	合計 60

過半数の賛成により、第 1 号議案 一般社団法人日本ライオンズ 賛助会費値上げの件 が可決。

・松浦理事長より、スムーズな進行と可決についての御礼の後、引き続き報告事項へ移る。

5.報告事項

・一般社団法人日本ライオンズ活動報告

松浦理事長より値上げの話先ほどご承認いただいた。皆様から寄せられた意見を元に、より詳しい資料を準備し、賛助会費の値上げについてご理解いただけるようにしていくと報告された。

・各種行事開催報告

中谷専務理事より直近で開催した行事の報告。

◇国際大会委員会

・第 107 回オーランド大会最新情報

戸祭理事より報告。MD 公認 TC となっている旅行会社を使っていたきたい。

各地区の旅行会社もあると思うので無理には言えないが、例年予約をとったホテルでかなり空きがあり、OSEAL 調整事務局を通じ本部大会委員会よりクレームも入っている。是非ホテルだけでも公認 TC の手配した日本ホテル(ダブルツリーバイヒルトン・オーランドホテル・アット・シーワールド)ご利用をお願いし、確保している 335 室が埋まるように強くお願いしたい。

続いてパレード委員長である MD334 大山大会委員長よりパレードの説明。

・第 62 回札幌フォーラム最新情報(10/23-26)

諏訪常務理事より報告。現在月 1、2 回の会議を行い、開催準備を進めている。5 月 23～25 日にステアリング委員会があり、スケジュールなどはそこで最終決定する予定。フォーラム閉会式の後に行われる国際会長公式訪問を含めた現時点でのスケジュールの説明。最新内容についてはホームページを確認いただきたい。3 月 31 日までが早期登録となっており、さらに多くのご登録をお願いしたい。今後の国際協会における立場などを考え、札幌だけでなく日本全体で成功させることが重要であり皆さんの絶大なるご協力を賜りたい。支援金については 98%程度ご入金をいただいております。感謝申し上げます。

◇アラート委員会

新里理事より報告。大船渡山林火災対策本部をアラート委員会に設置し会議を行った。能登地震の際、情報統制が取れなかった件などの反省を踏まえての開催とした。今後の

支援についても社団を通しての情報の流れなどルール作りが必要であると感じている。

◇YCE 委員会

田中理事より報告。4回の委員会を行い、去年は派遣のマニュアルを作成したが、受け入れ家庭用マニュアルを作成したく動いている。

事業の報告として、YCEは冬春夏の3回あるが、冬季は特段大きな問題なく終了していると報告を聞いている。春季は今の所は順調に進んでいる。夏季についてYCEは8・9月中に派遣やキャンプがあり、そこまでは今期の委員会が担当することが多く、YCEの活動について現議長・ガバナーのご協力とご理解をお願いしたい。

◇会則委員会

中谷専務理事より報告。ライオンズ必携の改訂作業をしているため遅れてはいるが今年度中には発行したいと考えて進めている最中。

役員必携については4月に年次大会が終わって新しい役員が就任されるまでには発行できるよう印刷会社とやり取りをしている。役員必携は9,200部の印刷で単価650円を予定中。

◇国際理事会報告

・山田元国際会長（LCIF 理事）

国際協会の最優先事項であるミッション 1.5 の現状と、執行部で検討されているキャンペーン成功のための提案について報告され、参加されたガバナーにもMD334での事例を上げて報告と提案が行われた。ライオンズの本来の目的は We Serve であり、入会された方がライオンズへ入ってよかった、ライオンズのバッジを付けていることが誇らしいと思っただけのような価値のある奉仕を行っていかねばならない。日本がライオンズ最大国となるくらいの大きな夢をもって取り組んでいていただきたい。

・濱野国際理事（奉仕事業委員会副委員長）

国際大会の投票は今回のオーランドから2日間だけになるのでご注意をいただきたい。第三副会長については数名の候補者がいるが、国際理事会としてはオーストラリアより立候補しているトニー・ベンボウ元国際理事を推薦しており投票をお願いしている。続いて国際理事会報告として国際理事の定数はそのまま会則地域ごとの配分が変わる件、プロトコール追加の件について、昨年度に続き元地区ガバナー研修開催について報告。

ライオン誌について、WEB版発行時にライオンポータルに登録している方へ発行された旨のメールが送られるようになった。ライオン誌を見ていただければ色々なものが伝わるかと思う。

国際協会の用意しているアワードと日本からの受賞クラブの紹介と、奉仕事業委員会の取り組みとして来期から奉仕週間というのを用意して3週間、1週ずつ分けて人道支援、環境保全、心と健康のケアの奉仕週間を設けることの報告。国際協会がテクノロジー強化に現在取り組んでいる観点よりオンライン研修やAIの活用についての呼びかけがあった。

◇GAT エリアリーダー報告

・鈴木誓男 GAT 統括エリアリーダー

皆さんの任期も残り3カ月とはなったが、残りの期間も全力でミッション 1.5 について取り組んでいただきたい。会員増強へ取り組むことで世界中の人々が奉仕を受けることができ、救われることになる。

・松岡勲 GAT 西日本エリアリーダー

6月1日ー3日にミッション 1.5 サミットを開催する。

各複合地区の GET、GMT の次年度のコーディネーター、準地区の GET、GMT のコーディネーターにご参加をお願いします。次年度においてすぐにスタートが切れるよう、次年度 GAT 役職者の人選と推薦について協力の呼びかけが行われた。

・小川晶子 GAT 東日本エリアリーダー

地区の進捗、評価を行う件が国際会長のメールで呼びかけがあったかと思う。

地区ごとのクラブ・支部設置の状況について報告があり、一部のガバナーについては目標設定などの変更を含め残って今後の報告をいただきたいと呼びかけ。

◇公益財団法人日本ライオンズ活動報告

小野寺理事長より資料を元に報告。

特別支援高校を対象とした第4回全国フットサル大会を今年11月1日東京で行う。150校の参加を目標としており、室伏スポーツ庁長官にもお越しいただきたいと考えている。事業としての知名度がかなり上がってきていると実感している。

皆さんの地元で行われる地区大会には時間を作っていただき是非見に行っていただきたい。児童養護施設の子供たちの学力向上を目的とした寺子屋事業は現在 35 の施設で行われている。協力をいただく NPO 法人が西の地域が少なく課題であるが、家庭教師を面談の上、パートナーとして施設に派遣を行っている。

施設の子供たちには小学校高学年で算数ができない、ひらがなが書けない子どもたちもいる。財団の事業を通じて将来が拓けた子供たちもいる。皆様には何卒ご協力をお願いしたい。

◇その他

・OSEAL レオフォーラム

廣田常務理事より報告。第6回となる OSEAL レオフォーラムを2025年11月7-9日に MD335 が主管として行うため検討を重ねてきた。

レオの目的と意義を果たし、明日のライオンを育成したい。予算の不足分についてはライオンズメンバーに限らない協賛、LCIF の交付金を活用し各地区への協力金をお願いしない予定である。

昨年は香港で開催されたが、その規模感にはレオの参加登録者が香港で60名、香港以外から50名で110名。ライオン50名で160名位。規模感には OSEAL フォーラムの1/100程と予想される。皆様にご協力をお願いしたい。

・SON 感謝状が日本ライオンズへ授与された報告が中谷専務理事より行われた。

・監事講評

石橋監事より講評。

本日の議案であった賛助会費値上げは今後のことを考えてのことではありますが、各ガバナーにおいては地区への説明の材料が足りないとの話もあったので、詳細な資料は松浦理事長がしっかりしたものを用意するかと思います。ご協力に感謝いたします。

◇開会宣言

理事長 松浦 淳一

以上

議事録作成人：

常務理事

渡邊 俊弥

常務理事

佐藤 裕幸

議事録署名人：

一般社団法人日本ライオンズ理事長

松浦 淳一【押印省略】

330-A 地区ガバナー

森 亮介【押印省略】

332-A 地区ガバナー

吉澤 俊寿【押印省略】

(2024-25 年度)

第 8 回 アラート委員会 (Web) 「議事録」

◎日 時：2025 年 6 月 17 日 (火) 14：00-15：30

◎場 所：Zoom

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

2024-25 年度 理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす LC)	【欠席】
2024-25 年度 専務理事	中谷 豊重	(岸和田 LC)	【欠席】
2024-25 年度 アラート委員会委員長	新里 正雄	(沖縄 LC)	
2024-25 年度 アラート委員会副委員長	藤井 信英	(岡山みらい LC)	

2024-25 年度 日本ライオンズ アラートチーム

アラートアドバイザー	池原 堅	(福山久松 LC)	
日本全域リーダー	佐々木 健太	(大阪若獅子 LC)	
東日本統括リーダー	木村 知紀	(青森 ZERO LC)	
西日本統括リーダー	畑中 隆之	(岡山みらい LC)	

2024-25 年度 アラート委員

330 複合地区	おおや たもつ 大屋 保	(川越 LC)	
331 複合地区	あさの けいいち 浅野 敬一	(北見中央 LC)	
332 複合地区	もんま ひろし 門馬 弘	(原町 LC)	
333 複合地区	たでぬま かずひろ 蓼沼 一弘	(葛生 LC)	【欠席】
334 複合地区	よしだ まさよし 吉田 正義	(榛南 LC)	【欠席】
335 複合地区	にしお よしのり 西尾 良典	(大阪北 LC)	
336 複合地区	にしお しんいち 西尾 慎一	(鳥取 LC)	【欠席】
337 複合地区	たかの ゆうこ 高野 裕子	(熊本平成 LC)	

オブザーバー

333 複合地区次期アラート委員予定者	みえだ ひさお 三枝 久夫	(佐野西 LC)	【欠席】
335 複合地区次期アラート委員予定者	つだ かつゆき 津田 勝之	(大阪桜之宮 LC)	
336 複合地区次期アラート委員予定者	はつかでかずはる 廿日出一晴	(東広島あきつ LC)	【欠席】
MD333 アラート班長	わかばやし じゅんや 若林 純也	(水戸葵 LC)	
日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諏訪湖 LC)	

1. 開会宣言

24-25年度アラート委員会委員長 新里 正雄

毎晩熱帯夜で寝苦しい日が続いています。新年度を迎えるこの7月は特に集中豪雨の災害が多く発生しないことを祈ります。どうぞよろしく願いいたします。

2. ご挨拶

一般社団法人日本ライオンズ 事務長 増澤 義治

今回、松浦理事長と中谷専務理事が欠席のため代わりにご挨拶申し上げます。1年間皆さんのお力を賜りましてありがとうございます。今日も1日よろしく願いいたします。

3. 出席者の確認

4. 議事録作成人（2名）の指名

MD330大屋委員、 MD331浅野委員

5. 議案

(1) アラート委員会 組織見直しについて

●班長、副班長の廃止

〈協議内容〉

◆アラート委員会設置時には各委員会や複合地区の委員会がなかったため、班長・副班長という制度が設けられていたが、来期のアラート委員会においては限られたメンバーでやっていただきたいと次期理事長からの要望があったため提案させていただいたと藤井副委員長より説明がなされた。

これに対し、以下のような意見があがった。

【佐々木日本全域リーダー】

- ・スリム化自体には賛成だが、既に複合地区にて来期の委嘱状が出ており、日本ライオンズの役職にもなるため、この時期に廃止をするべきではないのではないか。
- ・規約に沿って考えるのであれば、任期の問題も係わってくるため然るべき期間を得てまずは規約の変更を行い、再来期から廃止をするべき。
- ・既に人選が済んでいる地区もあるため、その方たちのことも考慮したい。

【MD332門馬委員】

- ・332複合地区においては、次期の体制が既に決定しているためこのタイミングで廃止すると複合地区の体制自体が変わってしまうため、再来期以降の実施でお願いしたい。来期に改めて審議してはどうか。

【MD335西尾委員】

- ・MD335においても既に人選が済んでいる。協議する時間が必要ではないか。

【池原アドバイザー】

- ・人選が終わっている部分もあるため、皆さんのご意見をいただきながら進めてはどうか。

【木村東日本統括リーダー】

- ・日本アラートの中に班長を置くのではなく、MDにおいた方が動きやすいのではないかと。
日本アラートのフットワークを軽くするために組織をシンプルにすることには賛成だが、MDにおける実働部隊はMDで構築されるべきだと思う。
- ・規約内に班長・副班長については統括と相談して指名推薦とあるが相談を受けたことが無いのが現状。

【藤井副委員長】

- ・班長についてはMDの議長が任命をすることになっていることもあり、委員会そのものはスリム化して各準地区に実働部隊を設置するのがベストではないかと。
- ・規約の変更も必要になってくるので、来期（8/4以降）に改めて示せればと思っている。

【畑中西日本統括リーダー】

- ・スリム化には賛成だが、多数の地区で人選が済んでいる今のタイミングは望ましくないと感じた。

【MD330大屋委員】

- ・各MDでそれぞれ抱えている事情が異なるため、一方的に廃止というのは少し乱暴ではないかと。
- ・組織の在り方について議論し、コンセンサスをまとめていくべきではないかと。

- ◆これらの話をうけ、新里アラート委員長より日本アラートの組織の中から班長・副班長を外せないかと再度意見を求めたところ、

【佐々木日本全域リーダー】

- ・今この時期に実施するべきではないと感じる。

【増澤事務長】

- ・現在、委員会に班長は出席しておらず各MDにて活躍していただければよいのではないかと。

【MD330大屋委員】

- ・MD内での指名ではなく、社団より班長を任命されたという認識であるため非常に高い意識を持っている。そのため、もう少し指名の在り方を考えていただきたい。

【MD337高野委員】

- ・スリム化自体は賛成であるが、任命された時点で複数年（3年）やる認識でいるため、急な解任は避けるべき。

などの声があがった。

- ◆皆さんの意見を踏まえたうえで、来期はこのまま進めることとし改めて議論していく。

ただし、来期は組織図から班長の記載を削除させていただきたいと藤井副委員長より提案がなされたが、

【MD330大屋委員】

- ・記載を削除するべきではないと考える。記載を削除しただけではスリム化したとは言えず、入っていても何ら問題なく、班長の意識の向上にもつながるのではないかと。

【佐々木日本全域リーダー】

- ・スリム化は今後議論の上決定することであって、先行して組織図より削除するべきではな

い。

〈決定事項〉

- ◆班長・副班長の廃止については、7/2に予定している北海道の理事会において、次期委員長に説明しご理解いただけるよう調整することとなった。
- ◆引継ぎについては、7/22～25の4日間で調整することとし、別途事務局よりご連絡差し上げることとなった。

●引継ぎについて

- ◆7月に引継ぎを実施したいと藤井副委員長より要望があった。

●その他

- ◆7月上旬ぐらいに水害が起こる可能性が高いため、各MDにて引継ぎをはじめ対応を強化していただきたい。

(2) 2026年「全国アラートフォーラム」

・次年度開催（MD335）進捗

- ◆2026年の全国アラートフォーラムについてMD335西尾委員より説明があった。
 - ・2026年3月13日（金）にPM～大阪市内（梅田近辺）にて開催予定。
 - ・2025年12月中には案内を出せるよう調整していく。
 - ・現メンバーにて準備員会は既に発足済みで概要等検討中であり、来期からは次期アラート委員会のメンバーも含め検討を重ねていく。
 - ・今年開催したアラートフォーラムにおいて、フォーラムの前に委員長を中心とした勉強会を開催した。木村リーダー他数名の方々に講師としてご登壇いただいたが、非常に好評であったため、次年度開催のアラートフォーラムにおいても対象者をアラート関係者とより広範囲とした勉強会をぜひ開催していただき、多くの方々に参加していただければアラートフォーラムがより有功なものに繋がっていくのではないかと大屋委員より要望があった。
 - ・予算の資料やその他については、個別にMD335西尾委員より若林アラート班長にご相談いただく。

・次年度への意見・要望

【MD330大屋委員】

- ・班長に今後どういう役割をしていただくのか、役割とポジションの明確化をしたい。
→7月下旬に実施予定の第1回アラート委員会にて再度協議していただく。

【MD332門馬委員】

- ・アラート委員会の組織規程が不透明な部分が多いため、明確にしていきたい。また、アラート活動予算の基準づくりをしていきたい。今後皆さんと協議を重ねていきたいと考えている。

【MD337高野委員】

- ・アラート発動時はガバナーが1番の要となるため、アラートフォーラムには現職ガバナーにな

るべく参加いただく必要があるのではないかと。参加が難しい場合は、代理を立てる等のフローを作ってはどうか。
→来期協議していく。

(3) 今後の予定

- ◆各MDまたは各準地区での引継ぎを早めに行なっていただきたいと藤井副委員長より再度説明があった。

(4) 各MD活動報告

- ◆なし

(5) その他

- ◆今回の会議で来期のヒントがたくさんいただけた。アラートフォーラムを最終着地点として、いいフォーラムができるよう尽力していきたいと木村東日本統括リーダーよりご意見いただいた。

(6) 次回、アラート委員会開催日程

2025年7月22日～25日の内でいずれか1日、引継ぎ会議の開催を予定したい。追ってご案内する。

6. 閉会の辞

24-25年度 アラート委員会副委員長 藤井 信英

お疲れ様でした。皆さんのさまざまな意見を聞くことができました。また来期以降、皆さまと共有しながら進め方を模索していきたいと思えます。ご協力をお願いいたします。

以上

2025年6月17日

議事録作成人：

MD330 アラート委員 大屋 保

MD331 アラート委員 浅野 敬一

(2024-25 年度)

第7回 アラート委員会 (Web) 議事録

◎日 時：2025年4月8日(火) 14:00-15:30

◎場 所：Zoom

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

2024-25 年度 理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす LC)
2024-25 年度 専務理事	中谷 豊重	(岸和田 LC)
2024-25 年度 アラート委員会委員長	新里 正雄	(沖縄 LC)
2024-25 年度 アラート委員会副委員長	藤井 信英	(岡山みらい LC)

2024-25 年度 日本ライオンズ アラートチーム

アラートアドバイザー	池原 堅	(福山久松 LC)
日本全域リーダー	佐々木 健太	(大阪若獅子 LC)
東日本統括リーダー	木村 知紀	(青森 ZERO LC)
西日本統括リーダー	畑中 隆之	(岡山みらい LC)

2024-25 年度 アラート委員

330 複合地区	おおや たもつ 大屋 保	(川越 LC)
331 複合地区	あさの けいいち 浅野 敬一	(北見中央 LC)
332 複合地区	もんま ひろし 門馬 弘	(原町 LC)
333 複合地区	たでぬま かずひろ 蓼沼 一弘	(葛生 LC)
334 複合地区	よしだ まさよし 吉田 正義	(榛南 LC) 【欠席】
335 複合地区	にしお よしのり 西尾 良典	(大阪北 LC)
336 複合地区	にしお しんいち 西尾 慎一	(鳥取 LC)
337 複合地区	たかの ゆうこ 高野 裕子	(熊本平成 LC)

オブザーバー

MD333 アラート班長	若林 純也	(水戸葵 LC)
日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諏訪湖 LC) 【欠席】

以上

開会宣言

■24-25年度アラート委員会 委員長 新里 正雄

全国アラートフォーラムin茨城開催の感謝と本日の開会宣言

ご挨拶

■一般社団法人日本ライオンズ 24-25年度 理事長 松浦 淳一

全国アラートフォーラムin茨城開催の感謝、

栗村前議長から大船渡鎮火宣言の報告をいただいた（昨日5：30）件、

近年の気候変動が及ぼす自然災害の脅威、ミャンマー地震（3/28）にはライオンズクラブが無いため奉仕の手が届かず。本日の貴重な時間を有意義な会議になるよう祈念する

出席者の確認

議事録作成人（2名）の指名

MD333 蓼沼委員、 MD337 高野委員

（引継ぎ会議：MD330、MD332／第1回：MD331、MD335／第2回：MD333、MD336／第3回：MD334、MD337／第4回：MD330、MD332／第5回：MD332、MD335／第6回：MD331、MD336）

■新里委員長の指名により、藤井副委員長が議案の司会進行役となった

議案：

1. 全国アラートフォーラム2025 in 茨城（3/14）

・開催報告、事業報告

■MD333班長 L若林実行委員より「事業報告」書の説明

- ・フォーラム参加人数：493名（予定500名）、交流会：271名（予定300名）
- ・交流会で用意したbuffet食事(参加実数の9割量)は早くに完食となり、予定終了時刻より20分程巻いた
- ・「決算報告」の参加人数は現時点のもの、ノンライオンの参加数は省かれている
- ・余剰金については、約100万円の見通し（参加人数の充足やメンバー手弁当などによる）
- ・入金は今現在進行中。決算報告は、入金および支払い精算がすべて完了し、スタートの通帳0円（または余剰金が見える段階）に戻したところで終了とする
- ・全国から多くの方に参加いただいたことに感謝申し上げる

【今後の課題提案】

- ・会費額を10,000円とした場合、その内訳（フォーラム登録料と交流会の割合）については、支出のやりくりにも影響する場合があるので、収入参考値を参考に今後活かしていただきたい
※岡山登録料：フォーラム2,000円 交流会8,000円、茨城登録料：フォーラム2,500円 交流会7,500円
- ・入金、参加申込管理などの集計には「サバナ」活用が有効との意見があり、次回以降、使用を検討いただきたい（日本ライオンズでの集計を希望）

■藤井アラート副委員長より、

【次年度開催予定について】

- ・MD335西尾委員の立候補をうけ採決をとり、満場一致で決定となった

■佐々木日本全域リーダーより、

【今後の対応】

- ・まずは今期、アラート委員会で準備委員会を立ち上げ、来期委員会に引き継ぐ。
また開催地MD335も、今期に準備委員会を立ち上げ、333-E地区（茨城）からの引継ぎを進める

【次回委員会開催までに提出依頼】

- ・前回より各MDから開催に向けての要望・意見を収集している。今期も同様に、次回委員会開催までに各MDアラート委員は書面にして提出する

2. 第1回MD委員・班長研修会 (3/14)

・開催報告

■畑中西日本統括リーダーより報告、

- ・研修会は木村東日本統括リーダーが進めた
- ・この研修内容を各地区・クラブで共有し、アラートに精通した人材の発掘・育成に繋げていただきたい

■佐々木日本全域リーダーより、

- ・今回参加対象のMD委員長、MD班長は、各複合地区で研修会開催を検討いただき、またその際には木村・畑中両リーダーに講師依頼のお声がけをいただければ対応してくれるであろう

■藤井副委員長より、

- ・フォーラム発表に使った資料は活用したいとの要望が多く配信させていただいたが、各地区で使い勝手良いように書き換え利用いただければと思う

■木村東日本統括リーダーより、

- ・情報を皆さんで共有できたことは良かった、それぞれの役割、やるべきことが見え、次の段階へ進めることができると感じた。ただライオンズはOne Year、次へうまく引継ぎ、足跡を残せるようなアラート委員会であればと思う

3. 次年度アラート委員会

・組織案検討

■藤井副委員長より、

能登の災害をうけ委員会のスマート化など意見をいただく機会があった、現在の組織構成について、各MD委員の率直な意見を伺いたい

MD330大屋委員 大災害が各地で起きる昨今、大きな動きができるような組織作りが必要かを感じる

MD331浅野委員 今のままで良い

MD332門馬委員 組織図は問題ないが、ネットワークがうまく機能していないことを大船渡の山林火

災時に実感し反省があった。整備の必要を実感

- MD333 蓼沼委員 今のままで良い。会議はWebばかりではなく年1回は対面にした方が良い
- MD335 西尾委員 組織図は問題ない。各地区の温度差がある。各地区の統制の見直しが必要か
- MD336 西尾委員 緊急性を要するためスムーズに事が運ぶように組織はシンプルであるべきと考える
- MD337 高野委員 組織はシンプルな方が良い。各MDの事情もあるので副班長の件はMDごとに検討した方が良い

■藤井副委員長より、

- ・ネットワーク（連絡網）について、アラート委員会はグループLINEにより主だった方とは連絡が取れる状況、活用していただきたい
- ・リアル開催について、年度初め、年に1回は実施するのは良いと感じる
- ・現在、各複合にはアラート委員会が発足し、各準地区にも単独でないにしろ存在することとなった。その中で、社団への参加は今日のメンバーまでとし、班長は各MDアラート委員会でMD委員の補佐的役割（MD副委員長など）の方を選任していただき、副班長は各準地区のアラート委員長とすれば、複合、準地区が繋がる関係性が構築できるのではないかと、シンプルな組織作りに向けて、そのようなこともこれから考えていく必要があるのではないかと

■池原アドバイザーより、

- ・前年度、複雑だった組織構成を整備、現在の組織体系がシンプルでベターなものと感じる。皆さんからの意見も踏まえ、しばらくこの体系で進めていってはいかがかと

■藤井副委員長より、

- ・災害が起きてから緊急対策チームを立ち上げるのではなく、期首にはすでに組織作りをしておいていただきたい。現・来期各複合委員とそれらの情報を共有し、アラート委員会で管理することも役割の一つかと考える。アラート委員会の方向性は今期中にも取りまとめ、社団、理事会においても発言していきたい

■松浦理事長より、

- ・災害対応という緊急性のある中、委員皆さんがそれぞれの地区で活動しやすいよう議論いただき、より良い組織作りにつとめていただければと考える

■藤井副委員長より、

- ・これらの話をうけ、社団内での副班長任命の必要性について意見を求めたところ、
「災害時に実際に動くのはMDであり準地区。アドバイスする立場の日本ライオンズには副班長は不要と考える」
「スリム化するのならば、災害が起こった時に被災地・被災者を孤立させないために（一番重要）、隣り合った地区などとパートナーシップを結びサポート体制を明確化していただきたい」
の声があがった
改めて副班長任命の要・不要について採決をとり、満場一致で不要となった。

副班長は準地区委員長が担当するなどとし、複合会議に臨んでいただくこととした

- ・運営規則の改定については、一度、委員長、副委員長、日本全域・東西リーダーとで見直ししたい

4. 各MD活動報告

- MD330 連絡網、組織の強化を行い、準地区委員名を複合にも共有、体制を整えた。6月にセミナーを開催予定。また社協との提携をさらに進める
- MD331 アラートの啓蒙活動、委員会の重要性や、日本ライオンズアラート委員会の認知度を上げるようつとめてきた
- MD332 11月アラート委員会を招集して会議を行った。複合地区での予算工面や受援立場を意識し、規定を作成している
- MD333 各準地区においてアラート意識に温度差を感じるため、各委員長の選任方法、知識の向上などを見直していきたい
- MD335 規程など整備すべきところは多くあり、今期中になるべく取りまとめていきたい。また来期へとしっかり繋げていくためにも認識の統一等に向け、セミナー開催を予定している。4/16には複合アラート委員会を行う
- MD336 準地区およびMDの組織強化、活動規定の整備、資金規程の確認、準地区の意思疎通、社協との締結推進、研修会への積極的参加をメインに行ってきた。特に活動規程の整備については木村リーダーサポートのもと、3月17日に最終提案書完成、28日ガバ協にて承認された。またMD委員は準地区の委員長が担っているため、意思疎通も図られ、皆アラートの必要性を強く感じている
- MD337 グループLINEについては複合、準地区ともに利用している。12月に複合アラート会議を行った。次期は南海トラフの可能性を踏まえ準地区間の協力体制の確認を行う

■池原アドバイザーより提案事項、

- ・「報告書（＝記録）」作成の重要性、
2014年8月20日「広島大規模土砂災害」が発生した際、それぞれの役割を決め対策をスタートさせた。そして人や物、お金の動きが見える「報告書」を作成した（支援金の動き、誰がどこに物を送ったか…など）。「報告書」が「記録」になる。この内容は能登震災が起こった際の有益な情報源となり、当時いただいた支援金額を確認するなどして、能登支援のスピード化に繋がった
- ・アラート委員会の今後について、
地震や豪雨に加え、山林火災など自然災害の幅は広がり、無関心ではいられない状況となっている。日本ライオンズ発足から9年の間に、アラート委員会は年々充実した体制となってきた。さらに仕組みを広げ、研修会も活用し若手育成などを充実させていただきたい

■中谷専務理事より、

- ・組織について、社団の役割は8複合の連絡調整が主体となり、事業主体は複合が担い、MD独自の体制をつくるということが大切と考える。
そして、南海トラフの対策も具体化する必要を感じている

■木村東日本統括リーダーより、

- ・各地に研修に行くと、「日本ライオンズ アラート委員会の役割とは？」と尋ねられる。
活動が啓発か・・・複合、準地区、日本アラートと、それぞれの立場ごとに明確にする必要があると感じる。規程の見直しには、これらのことを盛り込んでいただき、報告フォーマットもそれをもとに活用しやすくなるのではと感じる。
- また、能登支援の現状について、ローテーション対応の話がくるのだが、皆さんのところはどうか？
→藤井副委員長よりMD334内でローテーション支援しているので、他地区に要請はないとの回答

5. 次回、アラート委員会開催日程（最終・引継）

2025年6月17日（火）14：00～15：30（Web）

※できれば次期アラート委員予定者にも参加いただく

閉会の辞

24-25年度 アラート委員会副委員長 藤井 信英

貴重な審議ができた。

岡山火災については今週金曜日に鎮火発表ができるのではないかとされている。けが人なく、空き倉庫が6棟程燃えた状況。今治の鎮火は未定。300人程の一般ボランティアが入っている。

次回委員会で来期の引き継ぎができればと思う

以上

2025年4月8日

議事録作成人：

MD333 アラート委員 蓼沼 一弘

MD337 アラート委員 高野 裕子

(2024-2025 年度)

第 6 回 YCE 委員会(WEB) 議事録

◎ 日 時：2025 年 5 月 16 日(金) 10：00-12：00

◎ 場 所：ZOOM システム

出席者リスト

一般社団法人日本ライオンズ：

理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす LC) 【欠席】
専務理事	中谷 豊重	(岸和田 LC)
YCE 委員会委員長	田中 雄一	(狭山 LC)
YCE 委員会副委員長	廣田 晃一	(姫路中央 LC) 【欠席】

24-25 年度 各複合地区 YCE 委員：

MD330 委員	三宅 泰雄	(東京高輪 LC)
MD331 委員	繁富 敬史	(札幌中央 LC) 【欠席】
MD332 委員	洞口 勝則	(名取 LC)
MD333 委員	藤川 清幸	(前橋中央 LC)
MD334 委員	中田 勇一	(下諏訪 LC)
MD335 委員	団 英男	(神戸みなと LC)
MD336 委員	小銭 和明	(倉敷東 LC)
MD337 委員	松枝 伸行	(宇土 LC)

オブザーバー：

日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諏訪湖 LC)
------------	-------	----------

1. 開会宣言 招集権者 一般社団法人 日本ライオンズ YCE 委員会委員長 田中 雄一
2. 一般社団法人日本ライオンズ専務理事ご挨拶 中谷 豊重
3. 出席者の確認
4. 議事録作成人の指名 MD334 中田委員長を指名。

5. 議題 確認事項および協議事項

1. 今年度夏季来日・派遣予定報告

(1)各複合地区より来日・派遣予定人数の報告

MD332：台湾からの来日生2名追加の合計5名に変更

MD334：マレーシア派遣が10名から9名に変更

MD335：MD4へ2名、マレーシアへ4名追加

MD336：台湾派遣を8名に修正

MD337：シンガポール派遣を1名追加の合計13名に変更

(2)共有事項について

2.ホストファミリー手引き作成

(1)田中委員長作成案の確認。以下の件を追加する提案が参加者より寄せられる。

①キャッシュレス対応:現金以外のクレジットカード、デビットカード（未成年向け）の準備を推奨する旨を追記。特にマレーシアはキャッシュレス主流。

②受託手荷物制限:LCC利用時の厳しい重量制限について注意喚起。特に帰国時のお土産で超過料金が発生しやすい。

③事前チェックイン：航空会社の事前チェックイン（スマホ等）活用を推奨。空港での手続き時間短縮のため。

今後の資料修正の進め方

①各委員長は資料に目を通し、時代の変化（カード問題等）に合わせた追記・変更点があれば、次回委員会前までにメールで連絡。

②事務局で集約し、次回委員会で最終確認。

3.YCEに関する社団一本化の可能性について意見の集約

①期待されるメリットとして運営効率化、情報共有円滑化、対外的な交渉力向上などが挙げられた。

②懸念点としては複合地区の役割・責任範囲の曖昧化、実務負担の偏り、自由な運営の制限、費用負担増などの意見。

③要望・提案として、日本ライオンズがどこまで実務を担当可能か、複合支援制度の期間、責任分担（人的・費用的）の明確化の要望。

335：複合地区 YCE 委員会内では、一本化については慎重な意見が多かった。日本ライオンズの具体的な関与が見えない現状では賛否を表明し難いが、複合の役割がどうなるかが最大の懸念事項であるという意見。

332・333：実務はキャンプなど責任があり、各 MD が担わざるを得ないと思われる。全国一括での取

りまとめについては慎重である。来日生について人気キャンプ地(ディズニーランド、USJ 等保有地区)への希望集中と、それ以外の地区の人気薄傾向が挙げられたほか、日本ライオンズの担当範囲と費用負担(事業一本化により、各複合が費用を分担する、割り当てが発生する可能性があるかどうか、等)の明確化が必要。賛助会費値上げに見合う内容であることも重要であると意見。

334: 一本化し派遣国振り分けを日本ライオンズにお願いしたい。現状の担当国をなくすことで派遣先の偏りを解消し、多くの国への派遣が可能になり、行きたい国への派遣可能性が向上することが考えられるため。

337: 複合内では意見が二極化(活性化推進派と予算削減による消極派)。

クラブからの推薦で派遣する流れのため、クラブレベルでの YC 事業への関心向上が重要。一本化推進派の背景に「負担軽減」の思惑が見られ、結果的に地区・クラブの YCE 関連人材が減少し、事業が弱体化する懸念。メリット・デメリット両側面ある

336: 事務局からは事務煩雑化のため一本化要望あり。運営実態としては、特にキャンプを伴う受け入れは MD の積極的関与が不可欠。

固定化した派遣・受け入れ先のジレンマ解消、世界中との青少年交流という YCE の理想実現のため、ある程度窓口一本化は必要との認識。

330: 一本化には賛成である。

MD の事務作業内容を整理し、社団が何を担えるのか明確化が必要。

多く寄せられた意見として、現状 8 人の委員が行っている「誰をどこに派遣するか」の調整業務を社団で行うことができるのでは。どの事務を社団に移管し、経費削減に繋がるか具体的に検討すべき

【今後について】

各複合地区から、メリット・デメリット・要望・提案を 3 点にまとめ、書面で提出。

次回委員会で内容を精査し、次期へ繋げる。

社団一本化による人材・費用、複合地区の業務・金額負担の分担などを慎重に検討する必要あり。

【次回委員会日程調整】

2025 年 6 月 22 日(日) 仙台・対面開催

6. 閉会の挨拶 日本ライオンズ 専務理事

中谷 豊重

以上

2025 年 5 月 16 日

議事録作成人

MD334 委員 中田 勇一

第5回 YCE 委員会 (WEB) 議事録

2025年4月14日(月) 10:00-12:00

WEB開催 (ZOOM システム 各デバイスより接続)

出席者リスト

一般社団法人日本ライオンズ:

理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす LC) 【欠席】
専務理事	中谷 豊重	(岸和田 LC)
YCE 委員会委員長	田中 雄一	(狭山 LC)
YCE 委員会副委員長	廣田 晃一	(姫路中央 LC)

24-25 年度 各複合地区 YCE 委員:

MD330 委員	三宅 泰雄	(東京高輪 LC)
MD331 委員	繁富 敬史	(札幌中央 LC)
MD332 委員	洞口 勝則	(名取 LC)
MD333 委員	藤川 清幸	(前橋中央 LC)
MD334 委員	中田 勇一	(下諏訪 LC)
MD335 委員	団 英男	(神戸みなと LC)
MD336 委員	小銭 和明	(倉敷東 LC)
MD337 委員	松枝 伸行	(宇土 LC)

オブザーバー:

日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諏訪湖 LC)
------------	-------	----------

以上

1. 開会宣言 招集権者 一般社団法人 日本ライオンズ YCE 委員会委員長 田中 雄一

2. 出席者の確認 松浦理事長は欠席 他委員全員出席を確認した

3. 議事録作成人の指名 MD335 団委員長が指名される。

4. 議題 確認事項および協議事項 ※議題について進行の都合上順番を変更した

① ホストファミリー手引き作成について

(1) 各 MD・地区より提出された手引きの確認

332-D 地区から提出があったホストファミリーの手引きのデータを基準とし、田中委員長が精査して各準地区 YCE 委員長の意見も聞きながらまとめる。

各複合委員長は次回委員会までに意見をまとめて事務局に提出のこと。

② OSEAL フォーラム(札幌)での YCE 活動について

各委員の意見を聞いた結果、どのような目的で開催するか、また次年度対応となるため今期で決定するのではなく、次年度の Y C E 委員長予定者の廣田副委員長に検討してもらうこととして、今期委員会としては第 62 回 OSEAL フォーラム(札幌)には組み込まないことを申し合わせた。あわせて今後の目標としてレオフォーラムとの共同開催も検討してしどうかという意見も出た。

③ YCE に関する社団一本化について

Y C E を日本ライオンズへ一本化することのメリット・デメリットをそれぞれの地区で話し合いをした上、次回委員会で発表をしてもらいたい。

急いで一本化する必要があるかも含め、長い目で考えることも必要ではないかという意見もあった。

④ その他

(1)YCE 生制服について

派遣先よりフォーマルな場での YCE 生の服装について申し送りがあった件の報告を受け、現在のユニフォームであるベストの他にジャケットをフォーマルな場でのユニフォームとするべきかどうか協議された。派遣先の国の文化や事情があり、場によって使い分けを行っていくことでいいのではないかという意見に集約。昨年度変更された YCE の手引きの中にもフォーマルな場ではベストの下に襟付きのシャツを着用する件などを記載しておりこちらの共有も行う。引き続き白のベストも正式なユニフォームとして採用し、必要に応じて以前のユニフォームであるブルージャケットもそれぞれの派遣国との調整で取り入れることにする件を申し合わせた。ブルージャケット以外にも着回しのしやすいジャケットの導入なども今後検討いただきたいと田中委員長より申し送りあり。

⑤ 今年度春季来日・派遣予定について

(1)各複合地区より来日・派遣予定の報告

資料に基づき、各複合地区から春季の派遣・来日の人数の確認のほか各種報告。

(2)その他

春季に来日予定だった YCE 生が LGBTQ であると連絡があった件の報告。今後このような事案があると思われるので指針を定めてはどうかという提案があった。

⑥ 今年度夏季来日・派遣予定について

(1)各複合地区より来日・派遣予定人数の報告

資料に基づき、各複合地区から夏季の派遣・来日の人数の確認をした。ディレクトリから直接連絡があった国についてはフリー国以外の場合、人数の関係などもあり必ず MD 担当窓口を通してほしい件についてルール制定なども視野に入れ要望あり。

【次回委員会日程調整】

第 6 回委員会 2025 年 5 月 16 日（金）10：00-12:00 WEB 開催

第 7 回委員会 2025 年 6 月 22 日（日）時間未定 於：仙台市 対面開催

5. 閉会の挨拶 日本ライオンズ 専務理事

中谷 豊重

以上

議事録作成人：

MD335 委員長 団 英男

9. 報 告 事 項

(5) ガバナー協議会・その他議事報告

2024～2025年度334複合地区
次期地区ガバナー候補者予備会議 議事要録

日 時：2025年 4月10日(木)

11:40～12:15

場 所：名古屋市・ウインクあいち

出席者

ガバナー協議会議長	E地区前ガバナー	喜多友一
(複合地区顧問) 元国際理事会アポインティ / 元LCIF理事		鈴木誓男
ガバナー協議会副議長	A地区ガバナー	柴田高志
ガバナー協議会会計	B地区ガバナー	丹羽浩康
ガバナー協議会構成員	C地区ガバナー	鷹嶋邦彦
〃	D地区ガバナー	杉木徹
〃	E地区ガバナー	浜一平
334-A地区第一副地区ガバナー		速水清朗
334-B地区第一副地区ガバナー		加藤謙一
334-C地区第一副地区ガバナー		杉山節雄
334-D地区第一副地区ガバナー		森川直之
334-E地区第一副地区ガバナー		飯田重光
複合地区事務局管理委員長 (E地区)		田中俊彦
〃 事務局管理副委員長 (A地区)		阿部星児
〃 事務局管理委員 (B地区)		加藤友彦
〃 〃 (C地区・代理)		湯山和行
〃 〃 (D地区)		岩崎弥一
〃 〃 (E地区)		小口恒樹

議 事

1. 出席者紹介

―次第書面にて確認

2. 議長挨拶

―喜多議長の挨拶で開会

3. 複合地区ガバナー協議会、複合地区委員会について申し合わせ事項の確認

議長の選出については、議長就任時点で前年度地区ガバナーから選出することとし、
選出方法は、議長と第一副地区ガバナー（DGE）が選出する。

2025～2026年度ガバナー協議会構成を

―議長 D地区、副議長・幹事 C地区、会計 A地区 とすることを確認した。

※会計選任地区についての補足：

334複合地区基本的事項の申し合わせによるローテーションではD地区が担当となるが、議長選任地区ではない地区から選任することとした。

4. 次期ガバナー協議会構成員の決定

2025～2026年度ガバナー協議会は以下の6名をもって構成することを決定した。

D地区	L. 杉木 徹 (砺波LC)
A地区	L. 速水 清朗 (名古屋中村LC)
B地区	L. 加藤 謙一 (津西LC)
C地区	L. 杉山 節雄 (静岡LC)
D地区	L. 森川 直之 (福井イーストLC)
E地区	L. 飯田 重光 (長野みすずLC)
アドバイザー E地区	L. 喜多 友一 (上田城南LC)

5. 次期ガバナー協議会議長・副議長・会計の選任

以下の通り決定した。

議長	L. 杉木 徹 (D地区ガバナー)
副議長・幹事	L. 杉山 節雄 (C地区次期ガバナー)
会計	L. 速水 清朗 (A地区次期ガバナー)
構成員	L. 加藤 謙一 (B地区次期ガバナー)
構成員	L. 森川 直之 (D地区次期ガバナー)
構成員	L. 飯田 重光 (E地区次期ガバナー)

並びに次期の管理委員長を決定した。

複合地区事務局管理委員長 L. 岩崎 弥一 (334-D地区)

6. 第72回複合地区年次大会開催地の決定

第72回複合地区年次大会は、

2026年5月24日(日) 334-C地区 静岡県静岡市にて開催する予定。

7. 2025～2026年度委員会設置と構成について

—2025～2026年度334複合地区構成表にて確認

—今年度のアラート委員会を無くしてGST委員会の中にアラート担当の委員を置くことになった。(アラートは災害発生時における初動対応が責務 以降はGST委員会で対応する)

8. 年間計画

2025～2026年度 年間計画表に基づいて説明があった。

9. その他

○第71回複合地区年次大会について

－4月11日現在では大会登録者および晩餐会参加者がとても少ないので各準地区に目標人数卵を割り当てて増員に務める。

○第62回東洋東南アジアフォーラム(札幌)登録について

－JTB 担当者より登録及び現地の宿泊ホテルについて説明があった。

－MD334 としても未だ登録者数が少ないので各準地区においても増員に努める

10. 次期議長予定者挨拶

(杉木次年度議長より挨拶)

以上

議事録作成者 複合地区管理委員 加藤 友彦

第4回334複合地区ガバナー協議会 議事要録

日 時：2025年4月10日(木)
10:00~12:00
場 所：ウインクあいち1203

出席者

334複合地区ガバナー協議会議長(E地区前ガバナー)	喜多友一
(複合地区顧問) 元国際理事会アポイント / 元LCIF理事	鈴木誓男
334複合地区ガバナー協議会副議長(A地区ガバナー)	柴田高志
〃 〃 会計(B地区ガバナー)	丹羽浩康
〃 〃 構成員(C地区ガバナー)	鷹嶋邦彦
〃 〃 構成員(D地区ガバナー)	杉木徹
〃 〃 構成員(E地区ガバナー)	浜一平
〃 管理委員長 (E地区)	田中俊彦
〃 管理副委員長(A地区)	阿部星児
〃 管理委員 (B地区)	加藤友彦
〃 〃 (C地区・代理)	湯山和行
〃 〃 (D地区)	岩崎弥一
〃 〃 (E地区)	小口恒樹

議 事

1. 開会

田中管理委員長より議事要録作成人として管理副委員長(A地区) 阿部 を指名した

2. 議長挨拶

3. 審議事項

(イ). 2024~2025年度上半期複合地区会計報告

【承認】

- ・上半期終了時点 予算に対してほぼ50%で執行している
- ・頒布品印刷代 運営要項を作成したため、執行額0にはならない
- ・福利厚生費 事務局員の健康診断費用 未実施のため0
- ・退職金積立 年度末に一括で積み立てているが、次年度は月毎に積立する検討をしてはどうか?
- ・下半期 セミナー開催があるため、第一回でご説明の通り運営準備金から200万円移動済。200万円ですりかかっているかどうか、下半期の運営状況で今後決めていく。
- ・接待交際費は何に使われているか?
国際会長訪問に使用。60万円の予算に対して50万円の執行。
国際会長訪問に関する会計報告がなされていないため、使途が不明確。
議長に15日の理事会で追及していただく。

(ロ). 2024~2025年度上半期一般社団法人日本ライオンズ会計報告

お目通しいただく。

【承認】

(ハ) 第71回複合地区年次大会提出議案の決定

【承認】

- ・議案 1(複合地区前年度・今年度上半期会計報告)・・・承認
- ・議案 2(日本ライオンズ前年度・今年度上半期会計報告)・・・承認
- ・議案 3(次年度スローガン)・・・承認
- ・議案 4(複合地区会費の値上げ)・・・承認
 - ・日本ライオンズ賛助会費は社団が複合地区に請求する。賛助社員である複合地区に賛助会費の支払い義務が発生する。
 - ・社員総会は準地区の代表としてガバナーが出席し、投票している。第三回社員総会にて賛助会費値上げの件が審議され、承認がされた。
 - ・しかし、賛助会費の値上げの件を複合地区年次大会に議案提出し、審議して承認を取るべき。
 - ・賛助会費の値上げの件を第71回複合地区年次大会に議案提出するために、管理委員会で議案4を再検討する。
- ・議案 5(新入会員の複合地区会費一部免除)・・・承認
334 複合地区に顧問弁護士が不在。書面を厳格に作成するために今後雇用することを検討していく。
- ・議案 6(次年度複合地区大会開催地の決定)・・・承認
この後行われる次期ガバナー候補者予備会議にて報告していただき、空欄を記入する

(ニ) 第71回複合地区年次大会について

【承認】

- 議事規則 / 議事運営構成表 / 代議員会プログラム / 壇上着席者等の確認
代議員資格証明書 忘れたクラブへの対応であるが、公にはしない。
- 式典について
次期大会委員長挨拶 と ライオンズローアの間に能登災害復興支援の議長感謝状贈呈を行う。(7名予定)
5分の持ち時間。進行の状況を見てお一人代表の方にお渡しすることも考慮する。

(ホ) 各委員会からの提案・要望事項について

【承認】

- 管理委員会(上記大会関係)
- YCE委員会
 - ①の2024 冬季キャンプ清算について
3/31に金額訂正があり、各地区記載の金額を返金することで承認
- 国際大会委員会(オーランド国際大会参加について)
オーランド国際大会 推薦コース 承認。各地区に案内を発信する。
- 複合地区年次大会
 - ・大会の登録(目標 2,300名)
A地区:1500名 B地区:250名 C地区:300名 D地区:260名 E地区:170名
締め切りを4/18(金)まで延長する。
 - ・複合地区年次大会 晩餐会(目標 300名)
A地区:180名 B地区:30名 C地区:36名 D地区:24名 E地区:30名
締め切りを4/18(金)まで延長する。

○会則委員会

◇運営要項

- ・運営要項のWEB化 3年 or 5年に1回製本する。
- ・国際理事会方針書等で変更修正が発生した場合は当該修正部分のみ文章で周知徹底する。
- ・申し送り事項として次年度に引継ぎを実施する。

◇コンプライアンス規定

- ・ガバナーがハラスメントして責任を取って退会するが、すぐに復帰していることが現状
- ・第9条に（4）退会 についての記載を追記（向こう3年間は復帰できない、復帰後も役には就けない など）

4. その他

【承認】

ガバナーの皆様各地区 優秀アクティビティを鑑賞していただき、投票により最優秀アクティビティを決定した。

5. 議長報告

後で報告する

6. 次回ガバナー協議会(臨時および反省会)の開催について

随時開催する。(直近では5/17(土) 臨時ガバナー協議会開催)

以 上

議事録作成者 334複合地区管理副委員長(A地区) 阿部星児

第7回 334 複合地区 YCE 委員会（新旧引継ぎ委員会） 議事要録

日時：2025年6月9日（金）15:00-17:00

場所：名古屋国際センター 第3会議室

司会：今泉副委員長

（名簿）

2024-2025 年度

334 複合地区ガバナー協議会構成員（E地区ガバナー）	浜 一平（欠）
〃 YCE委員長（E地区）	中田 勇一
〃 YCE副委員長（A地区）	今泉雅雄
〃 YCE委員（B地区）	中井美紀
〃 YCE委員（C地区）	杉山忠親
〃 YCE委員（D地区）	新井外弘
〃 YCE委員（E地区）	堀本喜正

2025-2026 年度

334 複合地区 YCE 委員長（A地区）	今泉雅雄
〃 YCE副委員長（B地区）	加藤万寿夫（欠）
〃 YCE委員（A地区）	大津尚彦
〃 YCE委員（B地区）	中井美紀
〃 YCE委員（C地区）	岡田 弘
〃 YCE委員（D地区）	前田英治
〃 YCE委員（E地区）	下田もも子

オブザーバー出席 334-D地区 YCE 事務局員 小川絵里子

1. 委員長開会挨拶（L.中田 勇一）

本年度は5年ぶりの受入れと派遣で大変でしたが少しは道筋ができたと思いますので来年度はスムーズに事業が出来ると思います。1年間ありがとうございました。

2. 出席者自己紹介

3. 議事録作成人の指名（作成者 D地区 L.新井外弘）

4. 2025年夏期派遣について〔中田委員長 資料説明〕

- ・派遣生がオリエンテーションを受けたらIDカードに項目があるのでチェックして下さい
- ・マレーシア派遣生には原則ブルージャケット着用と白ベストを持参する事
- ・マレーシア派遣生の胸章（名札）は出発日に関西空港で渡します
- ・マレーシア担当の335複合地区委員長が国際大会に出席のため、国際大会終了後、ZOOMでの説明会の予定

- ・335複合地区より関空の出国と入国時にはライオンの引率者を出して欲しい
（出国はD地区、入国はA地区担当と決めた）

5. 2025年夏期来日生について〔中田委員長 資料説明〕

- ・来日帰国スケジュール
来日生の入国と出国は中部空港セントレア
- ・YCEプログラム前後に個人日程がある来日生について
- ・ホストファミリーについて
受け入れのホストファミリーには来日生との交流が大事なので、ホテルやゲストハウス等での宿泊はやめてください
- ・保険の加入
来日生は自国で保険に入ってくるが地区でもインバウンド保険に加入する
基本20泊21日で@¥1,680円×人数分

6. 2025年度夏季キャンプについて（今泉副委員長 資料説明）

- ・日程表
7月17日と18日のセントレアはA地区で担当し、来日生の到着を確認し、コンフォートホテル チェックインまで対応。結団式に参加するライオンはできれば白ベスト着用
旭高原では緊急用に1ボックスカーを用意する
旭高原は県営のため酒類とタバコは厳禁

- キャンプ終了の7月24日～各地区でのホームステイが始まる
キャンプ中の7月22日頃に冬期派遣受入の打合せ会を開催したい
- ・夏季キャンプ参加名簿
参加ライオンの中で、セントレアのみと日帰りの参加者は記載なし
 - ・関係費用の送金について
キャンプ代は来日生一人当たりの地区負担は145,000円、役員80,000円
来日生のキャンプからの交通費を複合で統一して欲しいとの意見ですが、ホームステイ先がバラバラなので各地区負担で対応をお願いします
7. 2025年冬期受入と冬季キャンプについて（今泉副委員長 資料説明）
- ・来日生受入れとキャンプについて
12月12日～22日の短縮で行い、入国後からホームステイ後、キャンプで帰国
 - ・日程表の説明
 - ・予算書の説明
8. 次年度の引継ぎ（今泉副委員長 資料説明）
- ・次年度派遣受入について
2025-2026年度は派遣を年1回(冬期)、受け入れを年2回（冬はマレーシア）にしたい
2026年夏期については、加藤次年度副委員長と相談し方向性を決めたい
マレーシア派遣は冬期と夏期、受入れは冬期のみ
 - ・2025年夏のキャンプ中の英語サポートについて
OBスタッフもいるが会員からL中井美紀、L下田もも子にお願いしたい
 - ・次年度取り扱い旅行代理店の選定について
次年度も(株)JTB名古屋事業部をお願いする。国内キャンプ手配については地区内の旅行会社で対応したい
9. その他
- ・ユースキャンプ連絡会
連絡会はOB生がキャンプ下見費用や会議費用のため、各地区より50,000円をお願いしたいと考えている
10. 閉会挨拶（中田委員長）
- ・継続事業のため現委員は次期委員と協力して進めて欲しい

第6回 334 複合地区 YCE 委員会 (WEB 会議) 議事要録

日時：2025年5月13日(火) 14:00-15:00

場所：各自 ZOOM 対応できる場所

司会：中田委員長

(出席者)

334 複合地区ガバナー協議会構成員 (E 地区ガバナー) 浜 一平

YCE 委員長 (E 地区) 中田 勇一

YCE 副委員長 (A 地区) 今泉 雅雄

YCE 委員 (B 地区) 中井 美紀

YCE 委員 (C 地区) 杉山 忠親

YCE 委員 (D 地区) 新井 外弘

YCE 委員 (E 地区) 堀本 喜正

1. 担当構成員挨拶 (E 地区ガバナー L.浜 一平)
2. 委員長開会挨拶 (L.中田 勇一)
3. 議事要録作成人の指名 (作成者 C 地区 L.杉山 忠親)
4. 2025年夏期派遣について
 - ・334-B 地区 ドリーボ岸茉弥さんのみフライト未決定
 - ・マレーシア派遣はジャケット要
 - ・別紙2「YCE 事業の手引き」一読頂き指摘事項等あれば委員長宛に連絡依頼
5. 2025年夏期受入れについて
 - 5月15日 受入れホストファミリーの報告 (複合事務局宛) に間に合わない場合は委員長に進捗状況の報告要。
6. 2025年夏季ユースキャンプについて
 - 今泉副委員長より説明
 - ・別紙4-2 キャンプ日程について説明
 - ・別紙4-3、4-4 キャンプ経費見積書について説明
 - ハンガリーからの派遣参加者によって見積りが異なることの説明あり
 - ・別紙4-5 スタッフ参加日程表について説明
 - スタッフ数・・・前半の愛知での開催が手薄な状況
7. その他 特になし
8. 次回委員会の開催について
 - 6月9日(月) 15:00~17:00 会場：名古屋国際センター
 - 懇親会の参加について・・・5月23日まで
 - 次年度委員には今年度委員が確認して連絡

第5回 334 複合地区 YCE 委員会 (WEB 会議) 議事要録

日時：2025年3月28日(金) 14:00-15:00

場所：各自 ZOOM 対応できる場所

司会：中田委員長

(出席者)

334 複合地区ガバナー協議会構成員 (E地区ガバナー)	浜 一平
“ YCE 委員長 (E地区)	中田 勇一
“ YCE 委員 (B地区)	中井 美紀
“ YCE 委員 (C地区)	杉山 忠親
“ YCE 委員 (D地区)	新井 外弘
“ YCE 委員 (E地区)	堀本 喜正

1. 担当構成員挨拶 (E地区ガバナー L.浜 一平)
2. 委員長開会挨拶 (L.中田 勇一)
3. 議事録作成人の指名 (作成者 B地区 L.中井美紀)
4. 2024年冬季キャンプ精算
528万の収入に対し、3868601円の支出。残金を26名分として人数割りし、各地区人数割で返金、さらに端数15円を5地区で割って返金。
→3/31に金額訂正があり、精算書の再確認を行う。528万円の支出に対して、3,864,871円の支出。残金を26名分として人数割りし、A地区489,852円、B地区272,140円、C地区108,856円、D地区326,568円、E地区217,712円を返金する。端数の1円はYCE口座へ繰越とした。
5. 2025年夏期派遣について
 - ・派遣候補者はイタリア5名、ドイツ8名、ベルギー3名、エストニア2名、マレーシア10名
 - ・JTB担当者は山崎さんに変更オリエンテーション時にJTB担当者に参加依頼する場合は交通費のみ支払う。ZOOMでの参加は無料
 - ・JTBの現地斡旋について
現地のJTBコーディネートの依頼費用が発生。費用はあらかじめ見積書に61,000円含まれている。空港斡旋61,000円(現地でJTB係員が来てコーディネート)緊急連絡のみは30,000円(現地で電話対応)ただし、エストニアは空港斡旋のみ。どちらにするかは派遣生に確認することとする。緊急連絡のみでよい場合は複合に連絡し、差額31,000円は返金となる。複合に連絡がない場合はそのまま61,000円になるので注意
 - ・頒布品
YCEベストの注文は各準地区で申し込む。
マレーシアから、白ベストは目立たないしフォーマルではないので、やめてほしいと依頼があった。ブルージャケットまたは制服にYCEワッペンをつける対応になるか検討中。(ブルージャケットに戻すことも検討中)
6. 2025年夏期受入について
夏の来日生は、ドイツ8名、エストニア3名、イタリア6名、ベルギー4名、合計21名。
食べ物や薬のアレルギーなど対応に注意ください。
7. 2025年夏季ユースキャンプについて
 - ・実行委員長について
キャンプは今年度に準備をすすめ、次年度委員長のもとで開催されるが、現委員長として準備にかかわったキャンプをサポートすべく、実行委員長として参加できるよう提案がある。中田委員長が実行委員長で全員賛成。現中田委員長を、2025-2026年度議長よりYCE実行委員長として委嘱していただけるよう、要望することとした。
 - ・ライオンズスタッフ参加申し込みは4月21日までに提出
 - ・OBのスタッフも各地区依頼済み、または依頼中来日生の見送りは中部国際空港で依頼しているが、羽田・成田の可能性あり。
8. 次回委員会の開催日
5月13日 14:00- ZOOMで開催(来日生関係の議事を予定)
6月9日または10日に名古屋で新旧の委員を集めての委員会を計画中。

第4回地区 LCIF コーディネーター会議
第4回 334 複合地区 LCIF 委員会 合同会議 議事録

日時:2025年3月28日(金)

11:00~12:00

場所:Zoom による Web 会議

出席者

334 複合地区ガバナー協議会議長(E地区前ガバナー)	喜多友一
LCIF 副エリアリーダー(MD334・MD335 担当)	遠藤紀夫
334 複合地区 LCIF コーディネーター / 334 複合地区 LCIF 委員長	原口秀樹
334 複合地区 LCIF 副コーディネーター / 334 複合地区 LCIF 副委員長	山田実貴人
334-A地区 LCIF コーディネーター(A地区ガバナー)	柴田高志
334-B地区 LCIF コーディネーター(B地区ガバナー)	丹羽浩康
334-C地区 LCIF コーディネーター(C地区ガバナー)	鷹嶋邦彦
334-D地区 LCIF コーディネーター(D地区ガバナー)	杉木徹
334-E地区 LCIF コーディネーター(E地区ガバナー)	浜一平(欠)
334 複合地区 LCIF 委員(A地区)	竹内元一
334 複合地区 LCIF 委員(B地区)	兼松伸一(欠)
334 複合地区 LCIF 委員(C地区)	池谷勝
334 複合地区 LCIF 委員(D地区)	清水雅樹
334 複合地区 LCIF 委員(E地区)	須藤翠巖
2025-2026 年度各地区 コーディネーター	
334-A地区 コーディネーター	原口秀樹
334-B地区 コーディネーター	國武明史
334-C地区 コーディネーター	吉田正義
334-D地区 コーディネーター	山岸三十三
334-E地区 コーディネーター	若林秀幸
オブザーバー出席	
2025-2026 年度 334-D 地区 LCIF 委員長	宇野晃造

※議事録作成人の指名

議 事

1. 複合地区 LCIF コーディネーター / 複合地区 LCIF 委員長開会挨拶
地区年次大会の表彰に関係する2月末までのデータが出ている。今年度はあと3ヶ月あるが、地区年次大会を過ぎると「寄付は次年度に」という風潮が例年ある。あと1ヶ月が勝負となる。この会議で情報を共有しながら、4月末までに目標が達成できるよう、ご協力をお願いしたい。

・議事録署名人:334-E地区 須藤翠巖

2. 出席者紹介

上記のとおり

3. 議長挨拶

複合ではファンドレイジングとして記念バッジを制作して配布する。6月までに皆で同じ方向を向いて目標の達成と100ドル寄付を推進してほしい。

4. 委員会担当構成員(A地区LCIFコーディネーター)挨拶

A地区においては100ドル寄付を上げていく。0クラブは無くなる予定。目標金額が大きいのが、例年後半戦が勝負である。地区年次大会チャリティーゴルフコンペ他で金額を重ねたい。

5. LCIF副エリアリーダー(MD334・MD335担当)挨拶

- ・リーダーズの会議でも「皆さんに熱意はあるのか?」、期待していると言われている。334複合地区は日本一、世界一の寄付金協力地域である。ライオンズに入っている自覚をもって、同じ方向に向いてもらいたい。RC、ZCをとおして更に協力をお願いしたい。

6. 寄付金について

○年度末に向けての目標達成への取り組みについて

2024-2025年度全日本実績(2025年2月集計ならびに3月10日速報値)、2024-2025年度MD334実績(2025年3月25日)を確認しながら、各ガバナー(コーディネーター)にそれぞれ意見をいただいた。

A地区: 逐次お願いしている。

地区年次大会およびチャリティーゴルフコンペにてファンドレイジングして100万ドルまではもっていく予定。

残りの10万ドルは結果を見ながら重ねていく。

B地区: 更にキャビネット会議などを通じてお願いしていく。

C地区: 地区年次大会においてブース設置の予定。300万円分は確保したい。

D地区: 地区名誉顧問や各クラブ会長に強力的に依頼している。

E地区: 寄付金額と0クラブ無しの目標は達成したが、100ドル寄付の参加率が上がってこない。

地区名誉顧問、キャビネット構成員、クラブ会長の寄付金額リストを作成して強力的に依頼している。

企業寄付はRC、ZCの責任として1Z1口を目標として推進している。

○100/100クラブ表彰について

100/100 正式には「ワンハンドレット・ワンハンドレット」と言う。

クラブからの申請が必要。自クラブで気づいていないこともあるので、各地区でも調べて、申請を促してほしい。

L.遠藤より提案あり:

E地区が発行している「LCIF推進リーフレット」を複合全地区の会員に配布したらどうか？→データはすぐに出せる。印刷物を配布するかは検討する

7. 交付金について

○地区およびクラブシェアリング交付金

申請書・報告書の新書式、各地区申請状況(2024-2025年度)の提示があった。

○その他の交付金

参考として『あなたの奉仕をサポート』、ライオンズクエスト交付金に関するお知らせの提示があった。

- ・交付金について 地区によって申請数に違いがあるが、寄付するだけでなく、より充実した奉仕活動をするために交付金を利用してほしい。更に啓発活動をお願いしたい。

○写真でLCIFの活動を広める

LCIF交付金による事業活動の写真によるPRについて、第2回LCIF写真コンテスト、文章より1枚の写真、写真・映像等の撮影・掲載承諾書が提示された。

- ・「交付金報告書」には記録写真が必要であるが、「写真コンテスト」には写真1枚のみの添付をお願いしている。複数枚は不可(複合コーディネーターは選べないため、申請地区またはクラブで選んで応募する)。
- ・LCIFの交付金事業ということを明確にするために、「ライオンズ(LCIF)ロゴマーク」が写っていることが必要。

8. その他

○次年度地区コーディネーターおよび次年度D地区委員長の各予定者に挨拶と抱負をいただいた。

A地区：L.原口が兼任するため省略

B地区：皆さんに理解してもらい、全員参加型で進めていきたい。

C地区：直前で任命されたため、まだ分からないが、頑張っていきたい。

D地区：三年前に地区LCIF委員長を務めており、今回はコーディネーターとなった。
キャビネット役員には1,000ドル以上、0クラブを無くし、100ドル寄付を全員をお願いしていきたい。三役セミナーから依頼していく。

E地区：現在RCとして勉強している。強引なことではできないが、平常心で結果を出せるように力を尽くしたい。

D地区委員長：地区ガバナー、コーディネーターに協力していきたい。

○原口委員長より：

- ・名誉顧問・RC・ZC・キャビネット構成員・クラブ会長の名簿・寄付金額リストを作って、強力をお願いしてほしい。(地区名誉顧問にはガバナーから直接)
- ・地区年次大会・チャリティーゴルフコンペでのファンドレイジングを確実に行っていただきたい。
- ・組織を使って、ガバナーからRC・ZC・委員長・委員への声がけ、指示を強力をお願いしたい。
- ・全地区が目標達成できるよう、是非とも宜しくお願い致します。

9. 次回会議の開催について

次回の委員会は、5/9（金）11時より Zoom による Web 会議での開催とする。

10. 複合地区LCIF副コーディネーター / 複合地区LCIF副委員長閉会挨拶

キャンパスの学生会員には一人いくらという協力をお願いするのは無理であるが、正会員は一人での多くの会員にご協力いただきたい。引き続き皆さまにはご尽力いただきますようお願いいたします。

以 上

第3回地区 LCIF コーディネーター会議
第3回 334 複合地区 LCIF 委員会 合同会議 議事録

日時：2025年2月27日(木) 13:30~16:30
場所：名古屋市 ウィンクあいち 1009 会議室

出席者

334 複合地区ガバナー協議会議長(E地区前ガバナー)	喜多友一
334 複合地区 LCIF コーディネーター / 334 複合地区 LCIF 委員長	原口秀樹
334 複合地区 LCIF 副コーディネーター / 334 複合地区 LCIF 副委員長	山田実貴人
334-A地区 LCIF コーディネーター(A地区ガバナー)	柴田高志
334-B地区 LCIF コーディネーター(B地区ガバナー)	丹羽浩康
334-C地区 LCIF コーディネーター(C地区ガバナー)	鷹嶋邦彦
334-D地区 LCIF コーディネーター(D地区ガバナー)	杉木徹
334-E地区 LCIF コーディネーター(E地区ガバナー)	浜一平(欠)
334 複合地区 LCIF 委員(A地区)	竹内元一
334 複合地区 LCIF 委員(B地区・代理)	五島達明
334 複合地区 LCIF 委員(C地区)	池谷勝
334 複合地区 LCIF 委員(D地区)	清水雅樹
334 複合地区 LCIF 委員(E地区)	須藤翠巖

※議事要録作成人の指名 334 複合地区 LCIF 委員(C地区) 池谷 勝

議 事

1. 複合地区 LCIF コーディネーター / 複合地区 LCIF 委員長開会挨拶
最後の一番重要な追い上げの時期です、まだ目標に達成されていない地区もありますが期日は6月末までであり、目標が達成に向け、これからやらなければいけないことを、どの様に達成していくかがガバナーの意向を聞き、建設的な会議して進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
2. 議長挨拶
去年は全ての地区が目標を達成したと思う、2月末で終わりではなく、今期ガバナー、委員長も6月末まで頑張りたい、年次大会までには目標を達成して欲しい。
3. 委員会担当構成員(A地区 LCIF コーディネーター)挨拶
皆さん同様、厳しい状況ではあるが、一生懸命、具体的に各クラブにお願いしており、ここからは確実に進めていきたい。
4. 交付金申請について
各地区の申請状況、実績状況の報告

(A地区)

去年より申請状況は増えている事業内容も地域色豊、地域のニーズに沿った要望を叶えていこう事業内容もバラエティーにとんでいる。

(B地区)

あまり寄付金を使うのに慣れてない、皆おとなしい。

(原口複合地区コーディネーター)

寄付が何に使われているかわからないというクラブが結構多いので、交付金を使うことで、こういうことに使われていることを理解してもらえます。啓蒙啓発活動をお願い。

(C地区)

2件申請、1件予定の計3件。クラブによってはもう少し貯めてから申請しようという雰囲気がある。

目標額にほど遠く、目標額に達するように各クラブにお願いしました

(原口複合地区コーディネーター)

周年記念のあるクラブには是非とも使って欲しい、記念事業がある程度大きな事業になりLCIFの交付金を使ってもらいたい。

(D地区)

交付金申請はクラブで2件、地区で2件（1件申請済、近日1件）、計4件申請。

(原口複合地区コーディネーター)

申請の様式が変更されています、新しい書式でお願いします

(E地区)

8件、前年度より増え、公式訪問やら色々な時にゾーンチェア、リジョンチェア、クラブ会長に話していますので若干増えてきています。4つの事業は終了しており、1件が申請待ち。事業を7月8月の年度初めにされるクラブもあり、春のうちに申請しておいて、次年度の年度初めの、大きな事業や、アクティビティに使っていただけるようPRをしております。

(原口複合地区コーディネーター)

LCIF フォトコンテストがまだあります、事業報告の時ですね、フォトコンテストの写真が出てこないというような現状がございます。6月まで、キャビネット事務局も含めフォトコンテストの写真を必ず提出するようガバナーより伝達をお願いします。

5. 寄付金について

○第2回 LCIF 今期目標達成会議 MD334/MD335(2025年2月21日)について

○年度末に向けての目標達成への取り組みについて

(原口複合地区コーディネーター)

各地区、達成状況より、今後、どのように具体的に何をして目標の達成についてガバナー意見をお聞かせください。

(E地区)

- ・本日現在で100%達成 26万ドル、おかげさまで目標額達成いたしました。
- ・能登の震災の追加のご寄付も地区としては1人あたり2000円とし協力をお願いしてい

る。委員、ゾーンチェア、リジョンチェア、地区役員、そしてキャビネット構成員、名顧問の皆様方にも協力を頼んでいます。

- ・ 100ドル寄付が先月からなかなか上がってこないという事で、LCIF委員会、ゾーンチェアを通して各クラブ、あるいは直接お願いをしているが、なかなか個人の100ドルが集まらない。そのために中には会費に100ドルを入れて年初から入金していただくというクラブも徐々に増えている。次年度に関して、本年度から案内お願いを出させてもらいながら、年初に入れてもらうというところに強く協力してほしいという依頼をかけていきます。
- ・ 地区年度大会でチャリティ、チャリティゴルフで、お願いし目標額に貢献しています

(原口複合地区コーディネーター)

ガバナーの皆さんが地区年度大会にどれぐらいの思い入れで、いくらぐらいのファンドレイジングを考えておられるのかお聞かせ下さい

(D地区)

- ・ 昨日の、速報値で29万8400ドル75%まで上がりました。
- ・ 現在の活動は、ゾーンチェアパーソン、キャビネット構成員、名誉顧問の皆様 MJFの呼びかけを強くやっており、その結果が積み上がり伸びてきております
- ・ 100ドル寄付はもっとしっかりと各クラブにお願いをし、全員100ドルにならなくても、それが8割でも9割でもいいですから100ドルのお願いを呼びかけたい。
- ・ 地区年度大会、チャリティゴルフについては、目標額は設定しておりませんので、委員長と話し設定をしていきたい。
- ・ 今まで実は地区年度大会でLCIFのブースを作ったことはなく皆さんどのようなことを地区年度大会でやっているのか聞きたい。

(原口複合地区コーディネーター)

LCIFのほうからブースとキットが皆さんのところに届きます。

基本的にはZC、前ZCに箱を持ってもらいます。当然LCIF委員、リジョン委員もそうです。自分のゾーンの人たち、当然顔が分かる人たちを見つけてお願いします。例えばですけど絶対そこを通らないと会場に入れないうようなところに設営します。

(C地区)

- ・ 現在、70%位ということであと30%をなんとか努力をしております。
再度、各クラブに通知を出し、出してない人は出してもらえるようお願いしております。
- ・ 年度大会の時の、いわゆるブースを作って寄付をいただけるよう準備し、チャリティゴルフの時、たくさん集めるというようなことで計画はしております。
30万ドル目標達成にむけ努めます。
- ・ 企業寄付につきましては、前年度、前田ガバナーの会社関係の業者に色々協力していただきましたが、私のほうの関係業者が見つからなく、それで苦勞しています。
- ・ 100ドル寄付も27%ということで、昨日、本年度それから次年度の、ゾーンチェアパ

一ソンを集めて研修会しました。13時から16時半まで、みっちりやって、多分これで効果が上がるだろうということで、田名部国際理事候補に来ていただきお話してもらいました。

- ・LCIFもメインに、動画を流して、100ドルの必要性と効果、あるいは1000ドルがどういう時に効果があるかと、1000ドル寄付のお願いを熱く説明もしました。そのうちに効果がでると思います。

(原口複合地区コーディネーター)

皆さんに言えることですが、まだ目標を達成されていないクラブに対してのアプローチです。各地区のクラブをまず出していただいて。目標達成してないクラブにリジョン委員、LCIF委員に各クラブの会長に目標達成をお願いしてください。具体的にどうされていくのですか？という声かけは必ずしていただきたいなと思います。

そして、さらにはキャビネット構成員です。キャビネット構成員が、MJFが0というのは間違いなくあり得ませんので、まずキャビネット構成員が全員やっているかどうかのチェックをかけてください。名誉顧問に、ガバナーから声かけをしてください。

さらには各クラブの会長、各クラブのLCIF委員長、リジョン委員にZCから電話入れさしてください。このデータを取得できるのはガバナーしかいないんです。ガバナーが事務局にお願いをして、誰がやっているとか、誰がやってないのかっていうのを全部出していただいて。会長とLCIF委員に声かけをしてくれというのをZCにお願いするのが皆さんの流れです。まずはリストを出していただい。

(B地区)

- ・じっくりと腰を据えてやってきて、強制とかそういうのは大嫌いなもんですから、なかなか強くは申し上げることはせず、ただ、ひたすらお願いするだけで、一応こんなふうになっておりますけども。
- ・能登の方も、キャビネットからはまだ指示は出しておりませんからこれからやるつもりでおりますし、年次大会の目標も、まだ立てておりません。それからゴルフ、年次大会のチャリティの金額も、まだ目標は立てておりませんが、ひたすら皆さんにお願いするだけでございます。

(原口複合地区コーディネーター)

なかなか苦手な部分もあると思うんですけども、これも毎年毎年これがずっと何年も恒例的に続いております。ZCを、使っていただくことと、あともう1回名簿を出していただいて、ZCにぜひともお願いだけしていただいけませんか。あと目標達成していないクラブに関して、きちんとしたアプローチをお願いいたします。

(A地区)

- ・金額的には最新の金額が76万6395ドルで69.72%。日に日に伸びておりますので80万ドル近くには行っていると思いますけれども、1番伸びているのは寄付金参加クラブ。これが今100、100クラブまで行ける目処が立っており96.1%まで持っていきそうです。去年に比べると随分この辺は進歩したかなという風に思っておりますが、あと4クラブだけはなかなか本当に寄付をいただけなくて100が難しい。

- ・100ドル寄付については、まだ半分をちょっと越したところですので、ここをもうあとお願いをしていきます。
- ・地区大会は、さっきお話ししていただきましたファンドレイジング、能登の寄付。それから、議長やっていただきました複合地区でのファンドレイジングの地区の部分と、あとはゴルフの大会2つまだ残ってます。それを合せてプラス6万ドル、それから、当日の地区大会での寄付を集める、ボックスで100万ぐらいは集めたいと思っています。110万ドルというところがございますと、それでも届かないんです。90いくつじゃないかなと。今年は100万ドルが達成するっていう風にガバナーの取り巻きの方々は非常に頑張ってもらっています。おそらく行くと思うんですけどね。

(原口複合地区コーディネーター)

皆さんの手元には、334Eの須藤ライオンに作っていただいたものがございますが、実は334Aで使わしていただいています、各クラブに、データを渡して印刷して全員に配るというところで、リストにしっかり書いてあります活動の内容。100ドルで何ができるんだということ、皆さんがわからないんですね。食料ファーストであればとか、青少年育成であればとか災害支援とか、100ドルでこれだけのことができるんですよというのをまず理解をしていただけてください。夏ライオンが言うんですけども今テレビでよくやってユニセフっていうのがあると思うんです、ユニセフのプログラムっていうのはカードで登録をして月額3000円で年間に3万6000円でユニセフの寄付ができる。ただ我々は3万6000円やれと言ってるわけじゃないですよ。我々は奉仕団体でせめて100ドルやってる。一般の方だって、年間ユニセフに3万6000円やってるんですよ。せめて我々は、この寄付が100%届くっていうのはライオンズクラブにいるからこそできることであり、我々はどちらかっていうとやっぱ先進国であるので、LCIFで基金をですね、全世界で割ると1人がなんと56ドルというのが出てます。

アフリカの方であったり、まだ後進国である方たちも平均1人の会員が56ドルやってるんです。ということは56ドル以下なんていうのはやっぱ日本の先進国の中で、僕はやっぱあり得ないと思うんです。何のためにこのライオンズクラブに入って来たのか。つまり奉仕活動をするという、We Serveの精神を忘れていただいちゃ困るんですよ。毎回毎回We Serveって乾杯するのに、その人が1円もやってない。それではやっぱ話にならない。ですから、我々がこの100ドルする意味っていうのを皆さんに理解していただくために、非常に分かりやすいこれパンフレットで、須藤ライオンが作っていただいた資料をキャビネットの方に渡していただいて、ZCの会議ってまだありますよね？その時にZCに、ぜひともこれを持って各クラブに行って話すことをお願いして下さい。そうしますと皆さんが、やられている100ドルのところ、これが40%近くになってくるんじゃないかなと。やはり昨年を割り込むようなことがないように、皆さんもガバナーやられていて、あの方がガバナーになった時に前年度を大幅に割り込んだなんて言われると、これはこれでやっぱりいい事ではないですから、残りまだ時間があるので、やはり何かをやっぱ仕掛けていかないとこのままではおそらく目標達成せずに終わってしまうというのが、この数字を見てれば分かります。ですからこういったツールを須藤さんが持ってきていただきましたので、これも334Aはもう当然使わさせていただきますが、皆さんのクラブでもZCにこれをきちんと説明をして、

ZC から各リジョン、委員、そして各クラブに、これを落としていただいて、必ずちょっと 100 ドルのほうを、もっともっと達成できるようにです。

各地区から質問、LCIF 委員の皆さんが今、何に苦戦をされてるのかなど、何かあればお話しただけるとありがたいです。

(B 地区)

代理で参加させていただいております。申し訳ないです。話は 3 回目なので、お聞きはしてるんですが、LCIF が活動をしていらっしゃるっていうのが、やっぱり一般会員でいるとなかなか、そういう話を聞けないんで、もう少し一般の各クラブ単位で周知をできたら、自ら寄付をされる方が増えるんじゃないかなというふうには感じました。実際、色んな活動があるんで。だから、そういう立場に自分になれたら方は、よく分かるんですが、一般会員としてはなかなか意識はそんなに高くないんじゃないかなと。

(原口複合地区コーディネーター)

LCIF と会員増強に関しては、毎回出る方を選任していただかないと、これ絶対に目標達成しないので、この引き継ぎだけはしていただきたいです。

LCIF 委員長が動かないと目標達成は困難です、会員増強なんか特にコーディネーターが動かないと絶対会員が増強できないんですよ。次の引き継ぎとして、第一副地区ガバナーにはきっちりした人を、あてること。これも名誉職でもなんでもなくて動けなきゃ、そもそも駄目なところなんです。会員増強と LCIF に関してはこれ、目標を必ず達成をしていかなくちゃいけないというところなんで、やっぱり第一、第二副地区ガバナーにはこの 2 つはやっぱりきちっと。キャビネツ 3 役がいる様に、LCIF も、3 人でも、4 人でもいいと思うんですよ LCIF に関しては、会員増強とか。ここにに関しては、もっと数を増やさないと多分、下に流れていかないと思うんです。今まで去年が 1 人だったから今期も 1 人じゃなくて、来期は 3 人で行こう、4 人で行こうと。これはもう十分オツケーな話なので、やっぱこういったところを、今からまた話が出てくるんですけど、地区 LCIF コーディネーターの推薦というところも出てきます。当然のことながら副コーディネーターというものつけていただいて結構なんです。それはガバナーの考え方ですから。334A の次は、僕は副コーディネーターを 3 人付けようと思ってます。

各クラブ表彰について 100、100 が達成してる場所に関しては、年次大会で必ず表彰をしてあげてください。そうすると周りの方たちが、100、100 って何なんだ？と。この説明もきちんとした上で、しかるべき時にきちんとした表彰をガバナーから出していただきたいと思っております

100、100 の申請については申請フォームがありまして。基本的には、キャビネット事務局の方にまず送れば、そこで事務局長が処理していただきます。

又、100、100 の資料は LCIF のホームページに、100、100 のクラブ表彰を今期も再度募集しますっていう事が書いてあります。そこをクリックしていただくと、このフォームに移るんですけどご参照いただければと思います。

6. その他

○地区 LCIF コーディネーターの推薦（期限 2025 年 3 月 10 日）

今までは 334 複合地区では地区ガバナーがこの役割を兼務していただいていたのですが、ガバナーは LCIF を当然理解されている、第一副地区ガバナー、第二副地区ガバナーも当然 LCIF を理解しているということで、この第一、第二ガバナー以外の方で、LCIF コーディネーターを 1 人選任をいただくという事になっております。

今まで地区ガバナーがやっていただいていたのと同じように、年間に 60 日 70 日って言うのは、やっぱり動いていただかなきゃいけないですから、そういった方をぜひとも任命して頂くように第一副地区ガバナーにお伝え下さい。

できましたら今日、今一度第一副地区ガバナーにガバナーの方からきちっとお話ししていただきたいと思えます。やっぱりそれ相応の仕事量になってくるので、きちんとした形で、きちんとした人を推薦していただくように、え、お願いをしたいなど各地区の選任状況を確認、各地区選任済。

本日の話の内容で、やっぱり年次大会の重要性です。ここでのファンドレイジングをどう考えているか。目標額の当然の設定。え、さらには、ロスの火災に対する考え方。これ 334B がまだなので、これに関してやはり目標達成がまだできてない状態なので、ガバナーには英断もしていただいて、2000 円なら 2000 円で声かけしていただいて、やらなきゃいけないこともあると思えますが。さらにファンドレイジングといたしましては、まだゴルフですねチャリティゴルフもまだあると思えます。これただ単にやるわけではなくて、やはりそこでたくさん人が集まるので、そこでやっていると。あともう一つは名簿を出していただくことですね。各地区のクラブ会長、そして LCIF 委員、そしてキャビネット構成員、この方たち、さらには 800 ドルぐらいの方、あと 200 ドルやって頂ければ MJF1 口になるよっていう、そのリストをだしていただいて、ZC に提供してくださいと。そして必ずそこから、ZC から、各クラブに電話をしていただく。もしくは LCIF 委員長が 1 人ずつ電話をしていく。目標達成するには LCIF 委員がそれをやらなきゃいけないんです。ですからここに関しては、皆さん LCIF 委員の皆さんは、そこでリジョン委員がいらっしゃるわけですね、ZC もいるわけですね。ですからそこにうまく話をしていただいて、そこから派生ができるようにとにかく伝達をしていただきたいんです。ここだけお願いしたいです。そうすると組織ですから落ちていくわけです。そこで止めてしまうと下が繋がらないので、やっぱり組織論で考えると、皆さんの仕事は下に落としていくことが一番重要であるという事です。

今話を踏まえて今後の活動を、残された活動を、ガバナーとどのように共にやっていけるのかというところだけ、最後、皆さん LCIF 委員のほうから一言ずつお願いしたいなと思えます。

(E 地区)

昨年末から私、このようなリストを作っていて、ゾーンチェアの名前が入って、リジョンチェアの名前、あとクラブ別になっています。で、何を聞いてるか、という

と、ここに会員数が、正会員数が入ってまして、そして地区の LCIF 委員から、委員会から出しているお願い状、100 ドル寄付、LCIF に関するお願い状をちゃんと会員に全て渡したかという確認をしたり、それを 2 編出しています。書面で、ガバナー名と私名で出しております、それをちゃんと会員さんに配ってくれたかというようなことを聞く欄と、現在の納入額、それから各クラブにおいてはこれからいくら納入してくれますか？お願いできますか？というのを、リジョンチェア、ゾーンチェアを通して、アンケートじゃないですけど、聞き取り調査をした結果、あと何月何日までできますよという事を入れてもらった結果が出ていたり、それからあと企業寄付ですね、E 地区の場合は 8 ゾーンありますが、ゾーンで 1 件は 10 万円企業寄付お願いします。ということで行っています。今のところ、4 件ですけど、どこのクラブで何件、責任を持って、ゾーンチェアあて 1 件ずつですね、どこで出してくれますか？いうことを聞いてある表があります。ちょっと弱いところに色を付けているんです、弱いクラブか。昨年からの能登のほうの関係で、災害に関するものしか寄付してないクラブっていうのがあるんですね。つまり MJF、ま、100 ドルのほうは一切入れてない。災害には、支援金を協力するけれども個人では出されてないっていうようなところもあったりするので、そういうところ分かるような形に。全く 0 クラブのところは特に色を付けて、そしてそこは集中的に、私のほうと、リジョン、ゾーンチェア、そして、リジョン委員がいるので、そういうところはそれぞれが、ケアをしていくというような形でやってくださいねっていうのは昨年、11 月 12 月ぐらいにそれを示してやっています。来月も、2 月末の時点で、集計が出ますので 10 日ぐらいにいつも出ていますから、それを基に中盤に LCIF 委員会をしまして達成額は、なんとかあの行ったわけなんですけど、100 ドル寄付を上げたいもんですからやはりそこが 1 番苦労しているところで、前年度の 10%とまだ差があるんですね。それが喜多ガバナーだったので、そこに負けないように近づけるように追い越せるように何とか協力をお願いしていくしかないというようなところで、そのデータを基にやりながらしていくという事でございます。地区年度大会でも、チャリティゴルフのほうでも、ファンドレイジングできるように予定をしておりますので、その辺も積み重ねながらやっていきたいなというようなところで、見える形で、どこのクラブ、あなたの担当リジョンですよ、あなたの担当ゾーンですよ、と、ゾーンチェア、リジョンチェア、びっくりしながらやっております。そこら辺もお願いしながら、やっていくしかないかなと思っております。

(D 地区)

年次大会のほうで寄付ボックスとかブースのほうで並べまして委員の皆さんで寄付活動をしていきたいと思っています。年度ゴルフ大会でも同じようにブースを設けて、募金したいと思っております。あと先日のロス火災の 1000 円お願いしますという文書が流れてきましたので、各地区の皆さんと協力をして各クラブに周知を流していきたいと思っております。また、0 クラブを無くそうっていうのが今年ガバナーの方針でありますので、全部で 90 クラブございますが、そのうち被災クラブが 7 クラブございます。そちらのほうは、ご配慮させていただいてあと 83 クラブと 11 クラブです

ね、クラブの方を、何度もおねがいして0クラブを無くしていきたいということを、え、電話のほうで、え、各会長にお話ししていきたいと思います。ええ。まあ、そうですね。あと、晩餐会のほうでも何か先ほどヒントいただきましたので、そちらのほうでファンドレイジングのほうを考えていきたいと思います。

(C 地区)

C 地区はガバナーから、ゾーンチェアパーソンに直接、声かけを今日、頼んでいるんですが、何回かの会議をやっても、LCIF に対するイメージが悪い。特に年長者が多いんですけど、どこに何に使われているのか分かんないから出さないとか、あるいは、そんな分かんないところに出すんだったらクラブにドネーション出したいとか、そういうような意見が結構数多くて、今それを潰すので、LCIF の 100% の正当性とか財務内容とかそういうのを簡単、簡潔にまとめて似たようなこういう資料も、今の所はプリントされてなくて、皆を集めてモニターで出しているんですけど、それも昨日やっております。まだ表っていうのは正確なものは概要しかないんで、E 地区さんのような形でしっかり、これから作っていききたいと思います。また次年度のコーディネーターの件ですが、新しい方で LCIF に熟知し活動できるかかわかりませんので確認致します。

(B 地区)

代理ということでございますが、どうぞよろしく願いいたします。

ガバナーがうちのクラブで、それはあの言ってますと思います。今日お帰りになってからですね？ 私からっていうのは、兼松は出席はしているんでクラブに話はしています。

100 ドル、100、100 の件についても 2 回ほど彼が出席しているんで、皆さんにお願いを 2、3 回してますんで大丈夫だと思います。ただ私も、ここ初めて来ているんで、なかなか馴染みが正直、少し慣れてきた程度なんで、ここで皆さんに何か意見を言うっていう、まだそこまでは至ってないですね。あとガバナーが決められるんであれですけどあのロス火災に向けてっていうのは、できるだけちょっと相談をして、ガバナーや会長の方、相談をしてやりたいなという風に思っております。それと年度大会のチャリティゴルフについても、ま、目標額をある程度定めてやると言うこと大事なことかなという風に感じたんで、それもあのお話しをしたいと思います。以上でございます。

(A 地区)

どうも遅くなりましてすいませんでした。今日は自分のクラブで会議があって出れなかったもんですから。でも本当に今、潰れそうな小さなクラブで、メンバーが 14 人しかいないんです。今日の例会も 8 人に私が今クラブ幹事も兼任しておりますので出ないと本当に例会が成り立たないというような感じで。でも全力で参加させていただきたいと思っています。

334A は今年チャリティコンペを地区で 2 回やって各リジョンごとに開催してもらいま

して、8 リジョンあるんですが、1 リジョンが 9 回やることになって 7 回済みしました。あと 3 リジョンと 5 リジョンのチャリティコンペが残っておりますので少しでもそこで集まるように色々、そのリジョンの ZC と相談して、やり方を模索したいと思っております。地区大会もブースを作って寄付金を集めると、いう風にやります。それからです各クラブでも寄付金活動、あの自分のクラブは明後日ですね、あのちょうど、ま、青森で全日本ラリーというのが開催されます。かなりの人が予想されますので、前後日駅前で、ガールスカウトの協力も得て募金活動をしたいと思えます。

この実績のほうを見てみますけども 2 月末現在で恐らく、はっきり出てないですけど、70、80%は超えたという風に思っております。今年の反省といえますか、各リジョン委員を選ぶ時に LCIF に理解のある人を最初選んでほしいということです。あの、なかなかリジョンごとに温度差がかなりありまして、ローテーションでまわってきた役でこう仕方なく受けているという方が多いように思えます。え、そういうところはやはりなかなか LCIF も集まらないということがありますので、少なくとも過去に LCIF の寄付を、1000 ドル寄付をしたことのある人に委員を選んでほしいという風に思えます。

(原口複合地区コーディネーター) 各地区へ共通

名簿出しをどのようにこう具体的にやっていけるのか、ガバナーとすり合わせをしていただいて名簿出しをしたそのデータを誰がどのように ZC に渡していくのが一番重要になってきますので、まずはちょっと名簿出しをキャビネットの方をお願いをして、名簿出しを ZC やリジョン委員にすぐ伝えてくださいと。各クラブ会長、委員長、さらにはキャビネット構成員、名顧問に。
どうぞよろしく願いいたします

7. 次回会議の開催について

3月28日、11時から12時

8. 複合地区 LCIF 副コーディネーター / 複合地区 LCIF 副委員長閉会挨拶

目標は達成するでしょう。信じています。100ドルをもっと増やして頂きたいのと 0 クラブをなくして、皆が同じ方向に向いてもらえると来年につながるかなと 4 か月間あります、LCIF をしっかりと、原口コーディネーターが言われますように、ガバナーの皆様目標達成していただき打ち上げになれば良いかなと思います。今日はご苦労様でした。非常に良かったと思います。

以 上

第4回 334 複合地区指導力育成委員会 議事録

開催日時 2025年3月25日(火) 10:00~11:15

開催方法 334 複合地区事務局及び ZOOM 併用開催

出席者名	334 複合地区ガバナー協議会議長(E地区前ガバナー)	L.喜多 友一
	334 複合地区ガバナー協議会構成員(A地区ガバナー)	L.柴田 高志
	334 複合地区指導力育成委員委員長/複合地区GLTコーディネーター(A地区元ガバナー)	L.加藤 史典
	334 複合地区指導力育成副委員長(D地区元ガバナー)	L.三井 適夫
	334 複合地区指導力育成委員(A地区)/A地区GLTコーディネーター	L.鈴木 貴雄
	334 複合地区指導力育成委員(B地区)/B地区GLTコーディネーター	L.加藤 万寿夫
	334 複合地区指導力育成委員(D地区)/D地区GLTコーディネーター	L.本田 洋一
	334 複合地区指導力育成委員(E地区)/E地区GLTコーディネーター	L.宮下 忠美
欠席者名	334 複合地区指導力育成委員(C地区)/C地区GLT委員長	L.関 知典

委員会挨拶から始まり、議長より次世代リーダーを育てていく為に挨拶を頂きました。

【次期ZC研究会の報告】

- ・3月3日と4日の両日に開催された334MD主催の次期ZCセミナーには各地区より、第一副地区ガバナー、次期ZC、D地区次期エリアリーダーの69名が参加されました。
- ・ライオンポータル・LCIF・支部作り・会員増強・クラブ設立についての研修を行いました。
- ・喜多議長より 『やる気満々の次期ZCで、素晴らしい研修会でした。』

【ミッション1, 5】

各地区とも会員増強は純増で推移していますが、期末6月が非常に心配である。

【柴田ガバナーより】

今期はMDで多くのセミナーを開催して各地区から集まって頂いている為、一体感が育まれたのではないのでしょうか。

全体をまとめていく為に連絡を密に取りながら後半戦に向けての意気込みを強調された。

【加藤委員長より】

各クラブのHPの必要性、ホームページを見て入会をしたいとの申し込みがあった、ホームページを見てクラブのアクティビティに参加後にクラブに入会された。ホームページでのライオンズのインパクトを高めることが大切であると実感をした。

【次世代リーダー研究会について】

各地区コーディネーターは当日12:30には集合頂きたい。

当日のプログラム説明、講師紹介は司会者が行う事

参加者には2分間で自己紹介をして頂きグループに分かれて講義に入ってもらおう。

ワークショップでは、事前に参加者に送っておく事とする。当日初めて見るという事のないように。

夕食会はフォーエバーで行う、夕食会次第に沿って。

2日目は、ホテルにモーニングコールを依頼する（AM7：30）
2日目のワークショップテーマ『仲間の数とは…』で行う
昼食時にもテーマの話題が出ることを期待。
三井副委員長は2日目は地元の諮問委員会出席のため欠席する。
役割分担について、タイムキーパーはL宮下L本田が行う

【各地区の報告】

A地区 中堅会員セミナー開催 第2回新会員セミナー予定 第2回次期ZCセミナー予定
B地区 2月22日次世代リーダーセミナー開催
D地区 今期のセミナーはすべて終了、次期GLTが次期ZCセミナー開催
E地区 3月13日新会員オリエンテーション開催 時期ZCセミナー予定

【その他】

新会員セミナーについて
入会3年未満のライオンにしっかりとライオンズを理解して頂く事とセミナーには各クラブの三役
などが引率して一緒に学んでもらうことが必要です。

【次回委員会の開催について】

今回は1年間の締めという事で、6月9日（月曜日）16：00～として会議終了後懇親会を予定。
場所は後日連絡をする。 登録料は10,000円/人

【三井副委員長閉会挨拶】

4月16日17日の次世代リーダー研究会は身になる研究会になると思います。
多くの次世代のリーダーが成長出来るように一生懸命に取り組みましょう。
皆様、お疲れ様でした。

以上

報告者 334-D地区GLTコーディネーターL本田 洋一

第4回334複合地区会員増強委員会(GMT) 議事録

日時:2025年3月26日(水)10:00~12:00

場所:ZoomにWeb会議

出席者

334 複合地区ガバナー協議会議長(E地区ガバナー)	喜多 友一
334 複合地区ガバナー協議会構成員(A地区ガバナー)	柴田 高志
334 複合地区ガバナー協議会構成員(E地区ガバナー)	浜 一平(欠)
334複合地区会員増強委員長 / 複合地区GMTコーディネーター	中村 通
334複合地区会員増強副委員長 / B地区GMTコーディネーター	山本 基博
334複合地区会員増強委員(A地区) / A地区GMTコーディネーター	中野 正也
// 会員増強委員(B地区)	吉川 厚志
// 会員増強委員(C地区) / C地区GMTコーディネーター	坂倉 三吉
// 会員増強委員(D地区) / D地区GMTコーディネーター	石山 巖
// 会員増強委員(E地区) / E地区GMTコーディネーター	宮下 忠美

※議事録作成人の指名 中野委員(A地区)が指名される

1. 委員長開会挨拶 L.中村 通よりご挨拶

2. 議長挨拶 L.喜多友一よりご挨拶

3. 副議長挨拶 L.浜 一平よりご挨拶

4. 委員長報告 L.中村 通

① 1.5 ミッション報告

② 複合地区現状報告

5. 各地区進捗報告 期末への戦略の見通しなど

① A地区 L. 中野正也

2月末現在 入会者 349名 退会者 205名 純増 144名

順調であるが6月に向け ①退会防止策 ②更に入会者増特に学生会員、特典会員 ③支部、新クラブ設立 残り3ヶ月3本柱で純増を目指す

② B地区 L. 吉川厚志

期首会員数 3,315名 期末会員純増目標 30名 期末目標3,345名

3月末において 純増 34名で推移。

1月の報告時点における純増17名から17名の純増があったが、この要因は羽島ライオンズクラブの支部として養老治水クラブ支部が発足したことによる2名の増員によるものです。更にキャンパスクラブが4月に発足されます。

正式名は岐阜国際医療科学大学キャンパスクラブとして20名の会員の増加が

見込めます。4月では純増50数名にはなりますが、今後の6月の大量退会を見据え、退会防止マニュアルを活用し退会防止に、更なる拡大に努めてまいりたい。

③ C地区 L. 坂倉三吉

期首より新入会者127名の増強がありましたが、残念ながら退会者115名で純増12名となりました。(2月末)

支部は1支部結成予定です。

一昨日の第4回キャビネット会議の席上、14人の全ZCに対し、残り3ヶ月、更なる会員増強に取り組み、年度末の退会者を一人でも減らす努力をお願いした。

次年度GMTコーディネーターと引継ぎ開始しています。

④ D地区 L. 石山 巖

3/21現在、D地区90クラブ4,302名(内、入会238名、退会160名、純増78名)

◆下期に打ち出した活動としては、「退会防止委員会」「クラブ支部結成」(いずれも任意)を推奨しました。

・「退会防止委員会」については、退会防止プログラムを全90クラブに送り、退会防止を呼び掛けました。特に、会員種別を強く推奨し、会員種別をフルに活動してほしいことを呼び掛けました。

・「クラブ支部結成」については、「クラブ支部ガイド」を全クラブにメールで送り、5名から結成できるクラブ支部の結成を呼び掛けました。

◆毎月第二金曜日に行っているMission1.5に伴うZoom会議を行い、各ゾーンの進捗状況・活動内容・活動方針などを議論しながら、会員の増強に努めています。

◆第4回キャビネット会議後の各ゾーンの諮問会議にて、「退会防止プログラム」と「クラブ支部結成」を各クラブ会長に強く協力をお願いするように伝えました。

◆6月末に予想される退会者を想定して、残り3か月、目標の純増数を目指して頑張ることを確認しました。

⑤ E地区 L. 宮下忠美

1. 前回報告した通り、第2四半期では、L.青木まゆみ地区会員増強アドバイザーと手分けして、各地区のガバナー訪問委員会に参加して、会員増強並びに、退会防止に繋がりました。

2. 会員増強報告会の開催 2025年3月13日(木)

1) 優秀クラブの成功例発表(茅野LC・松本アルプスLC)

2) 退会防止マニュアルの説明

複合地区会員増強委員長

// GMT コーディネーター

E地区元ガバナーL.中村通

3. 支部クラブ設立

岡谷ライオンズクラブ支部

「岡谷まちづくりイベントクラブ」設立

4. 今後は、中村委員長が言っている様に退会防止に努めるのは勿論ですが、本来の会員増強では、各クラブの活性化に繋がる魅力有る、例会や各種アクティビティを開催して会員増強を推進する。
5. ガバナー方針は、純増3%（63名増）ですが、2月末現在では、61名増で推移しています。今後は更なる会員獲得と、6月末での退会者防止に努める。
6. 各種資料についてまとめ
 - ① 会員セミナーのしおり
 - ② 新会員勧誘パンフレット
 - ③ 退会防止マニュアル
 - ④ 新しい戦略、ZC向け資料の検討など
7. 今期の振り返りと次期へのアドバイス等
8. 総括 L 喜多友一
9. 次回委員会開催について
令和7年7月6日（日）17:00～

議事録作成者：中野正也

第5回334複合地区家族及び女性委員会 (FWT)議事要録

2025年6月16日(月)

15:00~17:00 複合地区事務局会議室

司会進行：副委員長 平林 真理子

(出席者)

334複合地区ガバナー協議会構成員(D地区ガバナー)	杉木 徹
334複合地区家族及び女性委員長/複合地区FWTコーディネーター(D地区)	村木 峰子
〃 家族及び女性委員(A地区)	藤井 智香子
〃 家族及び女性委員(B地区)	國枝 ますみ(欠)
〃 家族及び女性委員(C地区)	小野田 勝正
〃 家族及び女性委員(D地区)	根尾 まり子(欠)
〃 家族及び女性委員(E地区)	新行 内達夫
〃 家族及び女性副委員長(E地区)	平林 真理子

1. 委員長開会挨拶 334複合地区家族及び女性委員長
/ 複合地区FWTコーディネーター(D地区) 村木 峰子
* 今期、最後のFWT委員会・・・次期からはWYPT委員会と委員会名が変更になるが活動内容はかわりません。会員拡大、支部づくり、家族会員を巻き込んだ奉仕に挑戦していきましょう。
この1年、なにを頑張り、次期に繋がる奉仕の活動報告を地区ごとに報告をお願いします
2. 担当構成員挨拶 334複合地区ガバナー協議会構成員(D地区ガバナー) 杉木 徹
* アルファベット3文字 FWT、最後の委員会・・・これまでに積み重ねてきた実績を新しい委員会に申し送り、次期の委員の皆様にお伝えし、参考にさせていただきさらなる奉仕の輪を繋いでいただきたい。
3. 議事要録作成人の指名 (E地区)
・ E地区 平林真理子が指名された。
4. 各地区 年間報告
(A地区 藤井委員)
・ 1R~8R 地区FWT委員会会議 機首と期末の期內2回のみ
GMT/GLTと同様、RC/ZCとともにFWT委員会を開くよう努めるべきである→次期は年3回開催したい
活動内容・進捗の報告をし、確認、把握することが大切である。
・ 今期新クラブ支部 9・・・女性会員を増やしたい
・ 6/8 蒲郡LC 海岸清掃・・・家族会員など誰でもできる作業で巻き込みやすい事業であった
・ ヘアドネーション実施
・ 外貨(金種別仕分け作業これから)・古本・・・全て小児がん寄付とする
(C地区 小野田委員)
・ 2025年6月末で解散するクラブあり・・・清水町LC 高齢化、声掛けし繋ぐ努力をしていただく
・ C地区はヘアドネーション活動が活発です
これに加え、古本・外貨の活動も家族会員を巻き込める
家族会員の経験値を表し、やった結果、役に立てたという結果を味わっていただくことが大切で次期に繋がる糧とし伝えていく。
・ パイロット会員(2015-2018の呼称)のままの会員がいる→アクティブ会員とし会費2,500円から10,000円に増額した。(新年度より3R3Z裾野LC)
・ 入会金免除し、年4~5回の活動にする
女性でも参加できる活動にする・・・献血・清掃・古本集めなど

- ・女性が参加しやすいクラブ活動・・・
温かいところと奉仕のところで・・・例；地元老人クラブにて手作りマフラー800枚
枕カバー1200枚
病院・被災地に寄付
神奈川県藤沢市 地域社会福祉事業 表彰される
- ・女性会員を増やした上での女性リーダーをC地区から出し、次期、リーダーシップセミナーに入れてあげる
毎年意識して入れていく
次期目標として、1つのクラブに1人の女性会員を増やす

(E地区 新行内委員)

- ・会員動向報告の目的は何だったのか、不明のまま時は過ぎた
全日本からの要請であったが、次期からはライオンポータルで確認できるため、会員動向報告はしない
予定である
- ・ヘッドネーションは≒100件 前期並みの成果であった
- ・小児がん募金は外貨回収合わせて約100万円、県立こども病院に寄付した
- ・クラブ例会セミナーには、3回 MD334FWT 村木委員長を招き講演いただいた
- ・サンタラン事業（病気やケガなどで入院中の子供たちにプレゼントを贈るイベント）
2024.11/3 サンタの恰好をして諏訪湖周辺を歩き、活動の周知を図った
サンタランをキャビネット事業としたE地区は企業・団体からの寄付を募り、その収益でプレゼントを用意し9施設800人の子供たちにプレゼントを届けた
- ・今期、FWT委員会にコンプライアンスがつき、規程を作るよう指示された
コンプライアンスについて、法務局長のセミナーを開催、村木委員長も出席いただいた
規定は完成しMD会則委員会に申し送りとなり各地区で対応が図られる
- ・次期、日本全国から女性5人をピックアップ・・・
MD334からは村木委員長に代わり、松本深志 LCL.吉岡直美..が抜擢された
M1.5のための女性5人衆である

5. その他

(こどものみらい古本募金について)

- ・ISBNコードがついているものに限る
1回で送れるのは5箱まで

(こども食堂について)

- ・食堂実施する場所は？
行政がやっている会館など・・・ 利用代金 9000円/日
こども無料 大人200円・・・こどもの前でお金を支払っている姿をみせることも大切
費用・・・保険料 28円/1人 食中毒 ⇐ 子ども食堂開催地の行政に確認・連絡
容器代
会館 9000円
おみやげ LCメンバーから寄付 お菓子・ジュース・野菜など
- ・子ども支援課・・・子ども食堂 スタート補助金
市・保健所に登録が必要
調理師免許 あった方がよい
アレルギー対応できません・・・とはっきり伝える
- ・LCメンバー担当者 3～4人
お手伝い募集もかけてみる←世の中の何か役に立ちたいが何をしても良いかわからない人も多い
1回だけの応援ではなくひとつ手本ができるの良い

- ・協力・協賛企業との流れを作る
スーパーマーケット・コンビニエンスストアなど おすすめはエコープ！庶民の味方！
食材の提供：バーコード付き食材カード作成する⇐WYPT委員会にて
この方法のPOWER POINT、各地区に送信する
- ・子ども食堂、開催の様子をYouTubeに上げる
弁当の写真・子ども食堂の様子を写真に店に展示し、感謝の気持ちを示し伝える！
弁当を食べてもらう→会話を→ノンライオン呼ぶ→毎月来る→誘って支部づくり！
奉仕は人を呼ぶ！
- ・保護猫・保護犬の支援も工夫次第で実践できる

M1.5、女性会員を1クラブ1名増員をなぜ、目指すのか???

- ・人口減：2070年日本の人口は6000万人となる予測 半減する！！
(名古屋市の人口減少研究会の発表)
2025年0才→45年後、45才
企業も半減
食料も半減

LCはどうなる???

生き残っていられるのか、今、将来を見据えた変革をしないとならない

65才以降90才までの生存率 男性36% 女性66%

70才以上の女性が殆ど・・・80才まで働く・・・女性が人口比率を占める

自給自足、農業は大切!

危機感を持って、これからの例会のあり方も変えていく

例：例会食事 減額していく形でよいのでは!

現代が求めている奉仕にする!

人の役に立てたと実感できる奉仕を増やす!

お金のかからない運営の仕方を考える!

- ・次期の方向性として
クラブ支部づくり、各地区目標立てて邁進する
WYPT委員会・女性・若手会員チーム・女性・若者増やすことを意識する
ヘッドネーション、外貨、古本回収 のほか 新しい奉仕を会員にご案内する
334-D 地区においては、ヘッドネーション感謝状・粗品は各クラブで準備することとする
地区 CAB 事務局員の手間を省かせる
各地区においても検討してみては?

(手作り布ナプキンをケニアに送ろう)

- ・335-B 地区において、2年前から活動開始!
国際大会に行くときにスーツケースに分散して詰め込み運んでいる
市販ナプキンは嵩張り、輸送費が高すぎる!
高齢者女性に依頼し製作してもらう 作り方：後日各地区に配信する!
社会の役に立てることが生きがいとなり、奉仕活動をする女性はますます元気に長生きできる!

奉仕で人を増やせるはず! 増やしましょう!

6. 各地区委員からひと言
7. 平林副委員長閉会挨拶

以上

第4回334複合地区家族及び女性委員会（FWT）議事要録

2025年3月5日(水)

15:00～17:00 複合地区事務局会議室

司会進行：副委員長 平林 真理子

(出席者)

334複合地区ガバナー協議会構成員(D地区ガバナー)	杉木 徹(欠)
334複合地区家族及び女性委員長/複合地区FWTコーディネーター(D地区)	村木 峰子
〃 家族及び女性副委員長(E地区)	平林 真理子
〃 家族及び女性委員(A地区)	藤井 智香子
〃 家族及び女性委員(B地区)	國枝 ますみ
〃 家族及び女性委員(C地区)	小野田 勝正(欠)
〃 家族及び女性委員(D地区)	根尾 まり子(欠)
〃 家族及び女性委員(E地区)	新行内 達夫

1. 委員長開会挨拶 334複合地区家族及び女性委員長

/ 複合地区FWTコーディネーター(D地区)

村木 峰子

残り4か月間あります。気を抜かず最後までFWT活動の推進に集中しましょう。

先日の次期ZCセミナーにおいて、次期ガバナーと次期ZCの皆様にご各々何名増員するか目標数を相談の上発表していただく場面がありました。始まる前から増員増強一色でした。

また、ライオン誌冬号にGATエリアリーダー小川晶子氏による、これまでのFWT活動の歴史に触れられると共に、子ども食堂の新しい取組をご紹介します。是非ご一読ください。現在ではクラブ支部の登録が1日で出来るとの情報もあり、最後まであきらめず取り組んで行きましょう。

改めて「クラブ支部」は、なぜ必要なのか…

- ① 奉仕活動の変化
- ② 奉仕人口を増やす
- ③ 奉仕をし続けるため
- ④ 奉仕の歴史を継続していくため
- ⑤ 現代に求められている奉仕活動には若者のアイデアは必要

クラブ会員全員巻き込んで理解を得て行かなければならない

2. 議事要録作成人の指名 (A地区)

A地区 藤井智香子が指名された。

3. 各地区 クラブ支部 状況報告

(A地区 藤井委員)

子ども食堂の支部結成あと1歩。なぜ支部が必要なのかを今一度説明し賛同を得たい。

(B地区 國枝委員)

やる気のある支部候補者が5名集まっている。(理事会の承認待ち)

親クラブとの連携が大切と考え、お互いに参加しやすい県境を作りたい。

(E地区 新行内委員)

社内支部(企業支部)が1個理事会にて承認 申請終了。

もう一つ、企業支部を設立予定、今期の登録をあきらめず頑張ります。

4. 副委員長閉会挨拶

平林副委員長が挨拶

以上

第5回334複合地区国際大会委員会 議事録

日時:2025年4月28日(月) 14:00-15:30
場所:Zoomによるウェブ会議

出席者

ガバナー協議会 議長	喜 多 友 一
日本ライオンズ国際大会委員長	戸 祭 宏 樹
ガバナー協議会構成員 A地区ガバナー	柴 田 高 志
334 複合地区国際大会委員長	大 山 恭 範
〃 国際大会委員 (E地区)	田 中 俊 彦
〃 〃 (A地区)	阿 部 星 児
〃 〃 (B地区・代理)	丸 木 充
〃 〃 (C地区・代理)	湯 山 和 行
〃 〃 (D地区)	岩 崎 弥 一
〃 〃 (E地区)	小 口 恒 樹

挨拶

大山委員長あいさつ

JTB名古屋にてMD334枠でホテルを50室確保してあるが、未だ空きが多いとの事
国際大会HP上にヒルトンホテルが2万円弱で案内を出しているが、サービス料など含ま
れていないので、その旨を各準地区に伝えてほしい

他は割愛

議 事

1. 第10回日本ライオンズ国際大会委員会報告

- ・第107回オーランド国際大会について

参加人数、頒布品確認

【全員確認】

- ・日本ライオンズ代議員会・朝食会について

MD334は62名の参加枠を確認 各準地区12名ほどをエントリーさせる **【全員了承】**

- ・大会スケジュール説明

基本は別紙の通り

パレード下見(若干名)7/12, パレード係打合せは7/13 夕方～予定する

尚、パレード会場はまだ公開されていない

MD334 晩餐会 7月15日(火)18:00～ 30,000円でJTBに確認する

120名の予約枠を進めて頂く

ウィスキー、ソフトドリンクは追加して頂く

【全員了承】

- ・パレード係について(資料P6) **【重要】**

日本ライオンズパレード係表に基づき空欄の MD334 候補者支援グループに、

20名～30名のグループを作成する

注意として、その他の係(各準地区パレード係に選出した者)は除く

E地区に偏らないように構成する

【全員了承】

2. 第62回オセアルフォーラムについて

・参加者の確認

登録目標設定が1300名となっている事を再確認

現在621名だが、今期の内に登録目標に近づく様気合いを入れられる **【全員了承】**

参考として、A地区速水GE所属クラブは全員登録とのこと

・IPゴルフトーナメントについて

開催日時等は別紙の通り

MD334 枠として4組16名の参加者の申込を募る(担当として岩崎次期管理委員長)

本日の会議として、大山委員長、岩崎次期管理委員長、E地区小口幹事参加要請

※なるべく次期ガバナー、次期幹事に参加して頂くよう促す

※案内に書いてはいないが、バスの送迎は本部ホテルのみとなっている

前日10月22日(水)に夕食会(有志)で行うことを申し合わせる

【全員了承】

・MD334晩餐会について

実施する事で決定

会場は、ホテルモントレエーデルホフ札幌

参加予定者は220名で設定する

【全員了承】

以上

議事録作成者 334 複合地区管理委員(E地区) 小口恒樹

第4回 334 複合地区国際大会委員会

日時：2025年4月2日（水）

14:00～15:00

ZOOMにて

出席者

334 複合地区ガバナー協議会議長	喜多友一
担当構成員（334-A 地区ガバナー）	柴田高志
334 複合地区国際大会委員長	大山恭範
334 複合地区管理委員長	田中俊彦
334 複合地区国際大会委員（A 地区）	阿部星児
334 複合地区国際大会委員（B 地区）代理	丸木 充
334 複合地区国際大会委員（C 地区）	鈴木 豊
334 複合地区国際大会委員（D 地区）	岩崎弥一
334 複合地区国際大会委員（E 地区）	小口恒樹

議 事

議事録作成人の指名

1. 委員長開会挨拶
2. ガバナー協議会議長挨拶
3. 委員会担当構成員挨拶

4. オーランド国際大会について

大山委員長：

ホテルは、ダブルツリーby ヒルトンを 334 複合地区で 50 室押さえているので JTB を利用して欲しい。

代議員朝食会ですが、登録料 5,000 円となっているが 8,000 円としたい。334 複合地区で 62 名の参加をお願いしたい。

7/14（月）のパレードには各地区から 2 名のパレードの係を 4/10（木）正午までに日本ライオンズ（cc で複合地区にも送る）に提出願います。334-E 地区小口幹事は、20 名の応援団を確保するようにお願いしたい。なお、パレード係は、7/13（日）18:00 から打ち合わせがあります。

（株）JTB 丹羽氏：現在 24 室のダブルツリーby ヒルトンの予約をいただいている。4/10 に開催されるガバナー協議会が終了後、旅行の行程表と推奨コースを案内する。

大山委員長：

アメリカなので ESTA の申請が必要なので注意して欲しい。

334 複合地区合同晩餐会は、7/15（火）の 18:00 よりダブルツリーby ヒルトン宴会場で開催。アメリカなので 30,000 円近い金額になる。100 名は参加して欲しい。

パレードは、パタヤのオセアルフォーラムで使用した公式アロハシャツ+白いパンツ+白いスニーカーに加えてキャップを購入して着用する。

5. オセアルフォーラム札幌について

(株)JTB 丹羽氏：

キットの受け取り場所ですが、個人もしくはクラブで直接登録をした方々は、10/23（木）に旧北海道庁（赤レンガの建物）での受け取りとなる。

旅行代理店（JTB）を通して登録した人は、10/24（金）に会場の大和ハウスプレミストドーム（旧札幌ドーム）での受け取りとなる。

ホテルの予約については、JTB で申し込み可能なホテルの一覧を作成した。

現在、351 名の登録状況である。

大山委員長：

334 複合地区としての目標は登録者数 1,300 名。A 地区と E 地区は 300 名で、その他の地区は 250 名を目標とする。

6. 次回の委員会の開催について

4/28（月）14:00～ ZOOM にて

議事録作成人

334-D 地区 岩崎 弥一

1 1 . 審議事項並びに協議事項

2025～2026 年度 地区運営方針(案)

334-A 地区スローガン

「動けば変わる！ We Serve」

地区ガバナーキーワード

「不易流行」未来を創るのは今！

ライオンズクラブ国際協会のモットーは、We Serve。ライオンズの誓いは、「われわれは知性を高め 友愛と相互理解の精神を養い 平和と自由を守り 社会奉仕に精進する」。

皆さんは、モットーと誓いを守り、行動しているでしょうか？

この素晴らしいモットーを意識し、誓い通りに動けば必ず変わります。失敗を恐れず、変化を怖がらず、誰かがやるのではなく、勇気を持って、地域社会のために、そして、クラブを良くするために自らが行動しましょう。動かないと何も変わりません。動けば必ず変わります！

そこで、スローガンを「動けば変わる！ We Serve」と致しました。

そして、地区ガバナーキーワードとして「不易流行」未来を創るのは今！と致しました。

ご存知のように不易流行とは、「いつまでも変わらない本質的なものを大事にしつつ、新しい変化も取り入れる」との意味があります。不易は「いつまでも変わらないもの」を、流行は「変化し続けるもの」を指します。

ライオンズクラブの不易は、もちろん「奉仕の精神」です。「奉仕の精神」は永遠に変わりません。逆に変えるべきものは変えて行く。例えば、今の奉仕活動が現在の地域が求めているものなのかどうかを検討し、改善すべきことは改善する。それでも地域の為にならないのであれば新たな奉仕活動に勇気を持って臨むことです。例会などの運営面も同様です。変えるべきところは変える必要があります。このように不易流行を意識したライオンズ活動をすることで、クラブが変わり、地域が変わります。その結果、クラブの活動に賛同する若い仲間が増え、発展へと必ず繋がって行きます。

過去と他人は変わらないと言われます。変えられるのは今であり自分自身です。会長や役員、そして、メンバー一人一人がこの不易流行を意識して、勇気を持って変革に挑戦して頂きたい。輝くライオンズクラブを築くのは今しかありません。

私自身も強い意志をも持って、皆さんと共に輝かしい未来の為に行動して参ります。

どうか皆様のお力をお貸しください。よろしく申し上げます。

基本方針(案)

近年の会員減少により、毎年のように会員拡大、退会防止をライオンズクラブ国際協会では掲げています。もちろん、当地区に於いても同様のことを長年言い続けています。

この課題を解決する為に、国際協会は 2 年前から「ミッション 1.5」を掲げ、2027年7月1日までに全国で150万人の会員数にすることを目標としています。それは、次々に起こる自然災害、未だ終わらない紛争などで被害に遭われている方たちが増え続ける中、いち早く手を差し伸べる奉仕団体として活動するためには、会員の増員が最重要課題とされているからです。

今年度も引き続き会員拡大、退会防止、新クラブ結成、新支部結成に尽力して参ります。

会員が増員でき、退会者が少ないクラブは、時代の流れに合わせた奉仕や、会員が参加したくなる例会などクラブ改革を常に考え行動されています。

2025年度の地区スローガン「動けば変わる！ We Serve」、ガバナーキーワード「不易流行」未来を創るのは今！の基で、会員拡大に結びつく新たな奉仕活動の創造・改革、例会など運営面の改革、そして、新会員の勧誘、新クラブ結成、新支部結成を GAT(グローバルアクションチーム)と共に啓蒙して参ります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

1、会員拡大、退会防止、新クラブ結成、新支部結成目標

目標:新入会員 600 名 年間純増 300 名

新クラブ結成目標 3クラブ 新支部結成目標 17 支部

2025年4月19日(土) 第71回 334-A 地区年次大会提出議案

議案4 新入会員の地区費・地区大会費の免除の件

〈提案理由〉ライオンズ・インターナショナルが掲げるミッション 1.5 における会員拡大のため、新会員の地区費と大会費を免除としたい。期間は 2025 年 7 月 1 日～2026 年 6 月 30 日までとし、その間に入会した会員が対象となる。

議案5 スペシャルティクラブにおける地区費及び地区大会費を半額とする承認を求める件

〈提案理由〉一つのアクティビティに特化するスペシャルティクラブに所属する会員の経済的な負担を軽減することで、更なるスペシャルティクラブの結成と発展を促進するため。

(スペシャルティクラブの条件あり)

2025年5月18日(日) 第71回 334 複合地区年次大会提出議案

議案5 新入会員の複合地区費一部免除について(ガバナー協議会議長提案)

〈説明〉ライオンズ・インターナショナルが掲げるミッション 1.5 における会員拡大のため、新会員の複合地区運営費と複合地区大会費を免除としたい。期間は 2025 年 7 月 1 日～2027 年 6 月 30 日までとし、その間に入会した会員が対象となる。

◎新会員の地区費、地区大会費、複合地区費、複合大会費免除をクラブ内でどのように活用するかを話し合っ、会員拡大に最善な方策を検討し、実施してください。

- ・新会員が入りやすくなるようなクラブ運営、クラブ事業をこの機会に話し合ってください。
- ・クラブ内に会員増強チームを設置して、チームで目標を決め活動してください。
- ・ガバナー諮問委員会にて、GMTコーディネーター、会員増強委員長、会員増強副委員長が参加して、各クラブ会長と共に会員拡大をどうしたらできるかを一緒に考えます。また、クラブ例会にいつでもお招きくだされば参加し、会員拡大についてのお話をさせていただきます。

是非地区会員増強委員会(GMT)を大いに活用してください。

- ・2024年度行われた奉仕事業活性化委員会、クラブ満足度向上委員会のアンケートから、「合同例会、合同 ACT をして良かった。これからも続けたい」という内容が多く見受けられたため、2025年度も同様に、より積極的に取り組んでいただき退会防止につなげてください。
- ・スペシャルティクラブ結成、キャンパスクラブ結成、企業内クラブ結成、バーチャルクラブ結成についてご協力ください。情報などありましたらゾーン・チェアパーソンへご連絡ください。
- ・企業内支部、大学生支部など様々な支部結成にもご協力ください。
- ・支部結成は5名からです。この支部結成へのご理解をお願いします。
- ・奉仕をしている他団体をスペシャルティクラブや支部としてお誘いすることも進めます。

2、LCIF 寄付目標額

目標:120 万ドル

100ドル以上寄付を全クラブ 100%達成

マッチングなど交付金の活用、シェアリング交付金の活用

世界では、経済至上主義による自然破壊が、温暖化という悪い循環になり、地球の至るところで自然災害が起きています。また、紛争は今なお続き、それらの犠牲に遭われている方が毎年増加しています。身近なところでは、能登半島地震による被害です。今でも多くの方々が苦しい生活を強いられています。ライオンズクラブ国際財団は、能登半島地震により被害に遭われた方々へお役に立てるよう30万ドルの緊急援助交付金を交付し、全国のライオンズメンバーは300万ドル以上を災害指定としてライオンズクラブ国際財団に寄付をされました。その資金を活用し、今でもライオンズクラブは復旧、復興に向け活動を続けています。このように、ライオンズクラブ国際財団は、私たちの手の届かないところへ現地のライオンズクラブを通して災害支援、人道支援などに取り組んでいます。そのライオンズクラブ国際財団を支え、動かしているのは私たちの寄付です。逆に私たちも LCIF 交付金を活用して、災害の支援に役立ったり、子供たちの未来に役立ったりしています。LCIF は私たちライオンズにとって大きな誇りです。この誇りを LCIF 寄付額世界 NO.1 として、私たち 334-A 地区は続けています。

先輩たちが続けてきたこの素晴らしい実績を消さないよう、2025年度もライオンズクラブ国際財団の活動をご理解頂き100ドル以上の寄付、MJF の寄付を引き続きよろしくをお願いします。

3、奉仕活動の改善、地域のニーズに合う奉仕活動で未来へつなぐ

8つのグローバル重要分野の中で特に青少年の健全育成と環境保全に焦点を当てます。

- ・2025年8月23日、24日ライオンズクラブの認知度向上と新会員拡大の為、CBC 防災フェスに特別協賛として参加します。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。
- ・無料塾を大学生と共に開校し愛知県内に広げる計画です。不登校の子供たち、貧困家庭の子供たちへ無料塾を提供します。ライオンズの皆様には、塾として使うことが可能なライオンズメンバーのオフィスや会議室、現在行われている子ども食堂をご紹介ください。講師となる大学生、塾で学ぶ子供たちを、大学生のボランティアサークルが集めます。
- ・2年前より活動している「子育て応援委員会」を2025年度も継続します。自立援助ホームで生活している18歳～20歳の若者の就職先として、メンバーの企業をご紹介してください。
- ・環境保全については、すでに当地区内の数クラブが、海岸清掃、池の清掃、里山再生プロジェクトなどを行っています。地球の未来の為に素晴らしい活動です。この素晴らしい活動を年1回でなく、毎月、あるいは年数回行うことでより良い結果が間違いなく生まれます。この活動をリジョンやゾーン合同、あるいはすべての枠を超えて合同 ACT として行うことをお考えください。
多くのクラブが参加すれば、毎月でも行えます。その結果、ライオンズクラブの活動を多くの方に知って貰えるインパクトのある奉仕事業になります。
これらの活動に対して、賛同者が増えることとなり、会員拡大や新クラブ、新支部結成に必ず繋がります。是非ご検討して頂き実行してください。
他クラブの ACT 情報は、334-A 地区ホームページから探すことができます。
環境保全に関する ACT を実行しているクラブは、ゾーン・チェアパーソンにご協力いただいで、他クラブを誘ってください。
- ・4年前より行っていますプロウォーキングを、より多くの方たちに知って頂くために、リジョンやゾーン合同で行うことをご検討ください。
また、このプロウォーキングに限らず、クラブ合同あるいはリジョン、ゾーン内合同で、地域と一緒に活動できる奉仕活動のご検討もお願いします。
- ・プロウォーキングのアイデアとして、東海道五十三次清掃を合同 ACT として行う計画です。
- ・新会員がやりがいの持てる地域のニーズに合った奉仕活動も検討してください。ニーズを調査するために、各地域の行政と相談して、必要とされる奉仕活動をご検討し、活動してください。
- ・伝統として続けている奉仕活動の見直しや、改善に積極的に取り組んでください。
- ・地域への PR がとても大切です。ホームページへ最新の ACT を投稿、SNS の活用による PR を積極的にご利用ください。

4. 広報活動の本気で推進

各クラブホームページの更新、新鮮な情報発信、SNS の活用

・クラブの奉仕活動、クラブ例会などを世間に知っていただくことでライオンズのことがわかります。ライオンズクラブという名は知っているが、多くの方は、ライオンズクラブのことを本当は詳しく知りません。是非日々の活動をPRしてください。

・マーケティング委員会を各クラブに設置し、ライオンズのPRを積極的に行ってください。

・クラブのホームページから新会員が入会した実例があります。奉仕活動に興味のある方はホームページで探します。是非ホームページを常に更新し、多くの情報を社会に発信してください。

・国際平和ポスターコンテストについて、2025～2026年 テーマ「ひとつになって」です。

国際平和ポスターコンテストを2025年度もよろしくお願ひします。

・2024年度当地区では334-A 地区アプリを作成しました。

今すぐアプリを入手してください。



活動方針(案)

1、GAT(グローバルアクションチーム)

●GLT(指導力育成チーム)

ミッション 1.5 目標達成には、今のライオンズを理解して貰うことが大切です。その為に、様々なテーマで研修を行います。ゾーン・チェアパーソン研修、第一副会長セミナー、新会員セミナー、若手リーダー育成研修会、中堅会員セミナー、公認ガイディングライオン養成講座などを開催します。最新のライオンズを知り、クラブ改革にお役立てください。

●GMT(会員増強チーム)

- ・各リジョンに地区会員増強副委員長(エリアリーダー)を任命させて頂きました。
- ・各クラブに会員増強チーム設置をお願いし、会員拡大、退会防止の活動を支援します。
- ・ガバナー諮問委員会、各クラブへの訪問を積極的に行いますので、招請をお願いします。その中で、会員拡大について成功事例やヒントなどをお伝えし、共に考えます。

●GET(新クラブ結成、新支部結成チーム)

- ・ミッション 1.5 として、新クラブ結成や新支部結成の必要性を啓蒙します。
- ・新クラブ結成のための新たな取り組み(スペシャルティクラブ、企業内クラブ、キャンパスクラブ、バーチャルクラブなど)を理解して頂き、3つの新クラブ結成、17の新支部結成を実現します。新クラブ結成、新支部結成について情報などありましたら、ゾーン・チェアパーソンにお伝えください。結成に向けて GET が全力でお手伝いします。

●GST(奉仕事業チーム)

- ・ライオンズクラブの認知度向上と会員拡大の為 8月23日、24日イベントを開催します。
- ・2年間継続してきた子育て応援プロジェクトを引き続き行います。名称を「若者就職応援プロジェクト」に変更します。彼らの就職先として受入れ可能な企業をご紹介してください。
- ・リジョン内、ゾーン内の合同 ACT の開催をゾーン・チェアパーソンと共に推奨していきます。その一つとして合同プロウオーキング開催をご検討ください。

●女性及び若手会員(WYPT)委員会

- ・ヘアドネーション、ダンスに眠る外国紙幣、古本などの回収を例年通り進めます。
- ・今期は特に、無料塾開校を積極的に推進します。学生がボランティアとして、無料塾を開設している NPO 団体があります。彼らと協力して、無料塾を拡大して行きます。
- ・無料塾から学生会員を勧誘、入会、キャンパスクラブの結成へと繋げていきます。学生との交流を各クラブがすることにより、学生の新しい考えを知ることができ、学生の力を借りて一緒に ACT をすることもできる為、クラブに活気が生まれます。学生たちにとっても、ライオンズで活動をすることで、社会や人間関係を学ぶことができます。
- ・新たな女性クラブを結成します。情報をご提供ください。

2、各委員会

●マーケティング委員会

- ・アクティビティカレンダー、Lion Portal の推進、各クラブがホームページを開設し、最新の情報を更新するよう啓蒙します。また、キャビネットホームページの改善をします。
- ・9月30日 各クラブが SNS を活用して PR ができるようになる為のセミナーを行います。
- ・多くのクラブがマーケティング・アワードに応募して頂くよう推奨します。
- ・国際平和ポスターコンテストについて、2025～2026年 テーマ「ひとつになって」。
- ・国際平和ポスターコンテストを今年度もよろしくお願ひします。

●LCIF・国際関係委員会

- ・2025年7月30日 LCIF セミナーを開催。
最新の LCIF の活動を知り、LCIF をさらにご理解ください。
- ・7月～12月まで月1回ゾーン・チェアパーソンと各クラブ会長、LCIF委員会各役員による勉強会と活動報告会を行います。勉強になります。是非ご参加ください。
- ・クラブ内で年に数回 LCIF 例会をしてください。(年3回の開催をお願いします。)

- ・2025年11月17日と2026年4月6日に地区 LCIF チャリティゴルフコンペを開催します。
※2025年11月17日は、2024年度に行われました1R～8R のチャリティゴルフコンペ上位入賞者で競技を行い2024年度334-A 地区最優秀ゴルファーを決定します。
※2026年4月6日は、2025年度に行われます1R～8R のチャリティゴルフコンペ上位入賞者で競技を行い2025年度334-A 地区最優秀ゴルファーを決定します。
☆2026年4月18日地区年次大会にて表彰します。(ゴルフコンペ詳細につきましては後日ご連絡致します。)

●YCE・レオ委員会

YCE の活動は、コロナの影響で5年間休止し2年前より完全復活することになりました。この活動は、ライオンズクラブ国際協会が定める「世界の人々との間に相互理解の精神をつちかい発展させる」という目的を推進するために「青少年プログラム(YCEプログラム)」があります。この YCE プログラムは「国際青少年交換」と「国際キャンプ(ユースキャンプ)」を夏期と冬期の年間2回実施します。今期もこのプログラムを円滑に進めて参ります。

●ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会

10月3日 薬物乱用防止講師認定講座開催 熱田文化小劇場
(開始時間、終了時間につきましては後日ご連絡をします。)

近年、覚せい剤、大麻、危険ドラッグなどの違法薬物乱用が拡大し、特に若年層における薬物乱用の広がりは大変深刻です。ライオンズクラブの活動として、引き続き新しい教材、新しい啓発資材を用いて薬物乱用防止に関する正しい知識を、より多くの若い世代に普及してください。よろしくお願ひします。

●保健・福祉委員会

高齢化により必要な血液量が増加し、逆に少子化により血液量は減少していると言われています。しかし、血液量減少は少子化だけが原因ではないようです。若者の「献血離れ」が大きな原因となっています。その一つが「学内献血」の減少、そして、「献血をするきっかけが無い」ことが原因となっているとのことです。

ライオンズクラブが長年継続している歴史ある献血活動を引き続きお願いします。

学校内の献血や、大学生、高校生たちが街頭で呼びかけ、若い世代に訴えるなど、若い方たちが参加するよう工夫をしてください。

●アラート・環境保全委員会

<アラートについて>

・令和3年に締結した愛知県社会福祉協議会との協定をさらに前に進めます。

愛知県内を6つのブロックに分けた災害担当幹事社協と、そのブロックに相当する各ゾーン・チェアパーソンが窓口になり、災害時はもとより平時の情報交換担当となって頂きます。

・防災対策への啓蒙(炊き出し体験、防災に対する講演、被災地の現状報告会、ライオンズがどのように活躍しているかの報告、SDGs セミナーなどを検討。)

・能登震災に対する復興支援に対して、複合の奉仕事業委員会(GST)からの要請があった時には、素早く協力できるよう組織作りなど準備を整える。ゾーン・チェアパーソンを通して各クラブへ協力を要請することもあります。ご協力をよろしくお願いします。

<環境保全について>

・近年大きな問題になっているマイクロプラスチック、生態系を乱す森林伐採、不法投棄に対して、当地区の数クラブが取り組んでいる海岸清掃、里山再生などの奉仕活動をクラブ間、リジョン内、ゾーン内での合同 ACT となるよう推奨します。

・愛知県内各市町村の行政が取り組んでいる環境を守る取り組みを各クラブに調査してもらいライオンズクラブが協力できることを確認して、ACT に取り入れるよう推奨します。

●第72回 地区年次大会

開催日 2026年4月18日(土)

式典会場 岡谷鋼機名古屋公会堂(旧名古屋市公会堂)

晩餐会 ANA クラウンホテルプラザホテルグランコート名古屋

●地区誌編集委員会

2025年9月と2026年6月発行します。

以上

(2) - 1 キャビネットの機能について

1. 機能

- 1) 地区キャビネットは 後記2に示される構成員をもって構成される。
キャビネット構成員は、地区役員となる。
前地区ガバナー、第一および第二副地区ガバナー以外のキャビネット構成員は、地区ガバナーによって任命される。
地区委員は、必要に応じて地区ガバナーによって任命される。
- 2) キャビネットは、地区運営方針を協議決定し実行する。
- 3) キャビネットの会議は複合地区会則の規定によって開かれる。
これらの会議で、地区ガバナー、前地区ガバナー（地区名誉顧問会議長）、第一および第二副地区ガバナー、キャビネット幹事、キャビネット会計、ゾーン・チェアパーソンおよび地区委員長に投票権が与えられ、表決は1名1票とする。
- 4) 地区ガバナーは、キャビネットの会議を主宰する。
定例会議は年4回とし、その他必要に応じて開くことができる。第1回と4回はキャビネット所在地、第3回は次期キャビネット候補地において開催するを通例とする。
- 5) 地区名誉顧問会の構成とキャビネット会議への出席について
複合地区会則第20条に「主として、前・元地区ガバナーの中から……地区ガバナーが任命……」とあり、前・元地区ガバナーが全員任命されとは限らない。
- 6) 当複合地区の慣例として、地区ガバナーは、キャビネット会議に名誉顧問会構成員全員の出席を要請するが、当地区に於いては第2・3回は地区ガバナーの招集した地区名誉顧問としている。
- 7) 地区ガバナーは、キャビネット構成員以外の者を必要に応じて会議に招集し諮問することが出来る。
- 8) 苦情、紛争については国際付則第13条に規定されているが、具体的には“国際理事会方針書”に「会則抗議申し立て手続き」「地区ガバナー／第一及び第二副地区ガバナー選挙抗議申し立て手順」が載せられている。

2. 構成員

- 1) 地区ガバナー、前地区ガバナー(地区名誉顧問会議長)、第一および第二副地区ガバナー、キャビネット幹事、キャビネット会計、ゾーン・チェアパーソン、地区GLTコーディネーター、地区GMTコーディネーター、地区GSTコーディネーター、地区WYPTコーディネーター、地区LCIFコーディネーター
- 2) 地区ガバナーが必要と認めて任命した者（下記）
地区年次大会委員長、地区会則委員長、地区マーケティング委員長、地区会員増強・新クラブ結成委員長、地区奉仕事業活性化委員長、地区LCIF・国際関係委員長、地区YCE・レオ委員長、地区アラート・環境保全委員長、地区保健・福祉委員長、地区家族及び女性(WYPT)委員長、地区誌編集委員長、公益財団法人日本ライオンズ地区委員長
- 3) その他地区ガバナーの任命する地区委員長

3. 地区役員

地区ガバナーの任務 =国際付則第10条2項(a) =

地区ガバナーは、本協会の国際役員として、又国際理事会の全般的監督のもとに、所属地区において国際協会を代表する。さらに、地区における最高運営責任者として地区キャビネットを直接指導監督する。具体的な任務は次のとおりである。

○地区における会員増加につながるよう、本協会の目的を推進する。

○地区レベルのグローバル・アクション・チームを監督すると共に、他の地区役員に対し、

会員増強及び新クラブ結成を積極的に支援するよう働きかける。

以下の分野における各地区目標の達成に焦点を当て、それに向けて取り組むための現行の地区行動計画を監督する。

- a. 新クラブを結成する。
- b. 会員純増を達成する。
- c. 効果的なクラブ運営を徹底する。
- d. クラブレベルと地区レベルでリーダー育成と技能開発を提供する。
- e. 有意義な人道支援奉仕を実施し報告するよう各クラブに奨励する。
- f. ライオンズクラブ国際財団を支援・推進し、ライオンズクラブ国際財団へのクラブと会員による寄付を奨励する。

○標準版地区付則に定められる通りに地区の運営管理を監督する。

○各クラブが、国際会則及び付則に従って運営し、会員維持率を向上するアクティビティを支援し、協会におけるグッドスタンディングを保つよう指導する。

○地区大会、キャビネット会議及び地区のその他会議に出席した場合には、その議長を務める。

○国際理事会が要請するその他任務を遂行する。

第一第二副地区ガバナーの任務

地区ガバナーの指導監督のもとに、地区ガバナーの最高運営補佐役を務める。

具体的な任務は

- 地区における会員増加につながるよう、本協会の目的を推進する。
- 現行の地区行動計画の成功に向けて積極的に努力する。
- 地区ガバナーによって、または国際理事会が定めた方針によって課される職務やその他の指示を遂行する。
- すべてのキャビネット会議に積極的に参加し、地区ガバナー不在の際には、すべての会議において議長を務める。
- 地区予算作成に協力する。

第一副地区ガバナーの任務 =国際付則第10条2項 (b) =

- (1) 地区ガバナー及び第二副地区ガバナーとともに、地区の強みと弱みを確認した上で、地区目標の達成に焦点を当て、それに向けて取り組むための進行中の地区計画をさらに調整・推敲する。
- (2) 翌年度、地区目標を達成するための行動計画を策定・実施できるよう、極めて優れたチームを特定して備える。
- (3) クラブ役員と密接に協力して未来の地区役員を特定する。
- (4) 地区ガバナーの要請に従って、適宜地区委員会を監督する。
- (5) 必要に応じてガバナー協議会会議に参加する。

第二副地区ガバナーの任務=国際付則第10条2項 (c) =

- (1) 地区ガバナーの指示のもと、ゾーン・チェアパーソンと地区との橋渡し役を務め、クラブの健康を支えるためリジョン/ゾーン運営を成功させられるよう努力する。
- (2) クラブの発展をサポートする情報資料に精通する。
- (3) 地区ガバナーの職に備える。
- (4) 地区ガバナーの要請に従って、適宜地区委員会を監督する。

キャビネット幹事及び会計の任務 =国際付則第10条2項 (f) =

地区ガバナーの監督もとに役目を果たす。具体的な任務は次のとおりである。

キャビネット幹事の任務

- 協会の目的を推進する。
- 全ての地区キャビネット会議と地区大会の正確な議事録を取り、保管する。
- 地区キャビネット会議の議事録を各会議の後5日以内に、各キャビネット構成員及びライオンズクラブ国際協会本部の太平洋アジア課に送付する。大会の議事録の写しを地区ガバナー、各クラブ幹事、及びライオンズクラブ国際協会本部の太平洋アジア課に提出する。
- 地区ガバナーから要請があれば、地区内クラブの月例会員報告書の内容をモニターし、他の地区役員への配布用写しを作る。

キャビネット会計の任務

- 地区内のクラブから規定の会費を集める。
 - 地区キャビネットが指定する銀行に、資金を入金する。
 - 地区キャビネットの許可があった場合のみ、資金を支出する。
 - 本役職の職務に伴って生じうる損失を考慮し、キャビネットが定めた保証金を確保する。
 - 半期財務報告書及びキャビネットが要請する以外の報告書をキャビネットに提出する。
 - 地区キャビネットの要請があればいつでも、監査のために地区の会計帳簿等を提出する。
 - 会計年度が終了後直ちに、残金の全て、キャビネット幹事及び会計の職務に関する財務記録及びそれ以外の全記録を、後継者に引き渡す。
- キャビネット幹事／会計の役職に付随するその他の任務、並びに地区ガバナー又はキャビネットが要請する職務を行う。

ゾーン・チェアパーソンの任務

- ゾーン内のクラブ発展を支援する。
- ライオンズクラブ国際協会の目的を推進する。
- ゾーン内で組織される地区ガバナー諮問委員会の委員長を務め、同委員会の会議を主催する。
- 地区GMTコーディネーター、地区GETコーディネーターと連携し、会員増強、新クラブの結成に積極的役割を果たす。
- ゾーン、地区、複合地区レベルでの指導力育成の機会についてライオンズに伝える事により、地区GLTコーディネーターと連携して指導力育成の取り組みを積極的に支援する。
- 国際理事会によって求められ、地区役員マニュアルその他の指針にまとめられるその他の任務を遂行する。
- ゾーン内のクラブの健康と状態を監視する。
- ステータスクオ又は滞納金を理由とする活動停止クラブがグッドスタンディングに戻れるよう支援する。
- ゾーン内の各クラブを訪問し、その概要を地区ガバナーに報告する。
- ゾーン内の全クラブの活動を把握する。
- ゾーン内の全クラブ、特にステータスクオ・クラブ、滞納金を理由とする活動停止クラブ、結成後まもないクラブ「優先指定」クラブを支援する方法を提案して実施する。
- ゾーン内クラブに「クラブ向上イニシアチブ」「あなたのクラブ あなたのやり方で」「クラブ強化への青写真」を推奨し、地区GMTコーディネーター、地区GLTコーディネーター、地区ガバナー・チームと協力して、ゾーン内で適切なプログラムを実施する。
- プログラム、事業、活動、資金獲得方法についてのゾーン内クラブ間の意見交換を促進する。
- ゾーン内クラブに地区、複合地区、国際プログラムを奨励する。

- ゾーン内の全クラブが確実にその会則及び付則に従って運営されるようにする。
- クラブに国際、複合地区、地区大会への参加を呼びかける。
- 地区キャビネットと協調して活動する。
- 地区のすべての定例会議に出席する。
- 地区GLTコーディネーター、地区GMTコーディネーター、地区GSTコーディネーター、地区家族及び女性（WYPT）コーディネーター、地区GETコーディネーター及び地区ガバナー・チームを特別ゲストとして、地区ガバナー諮問委員会会議に招き、会員増強、指導力育成のニーズについて、ゾーン内の会員増強、指導力育成をいかに支援できるかについて討議するよう努める。
- 地区ガバナー諮問委員会会議の報告書を作成し、会議後5日以内にライオンズクラブ国際協会、地区ガバナー、地区GMTコーディネーター、地区GLTコーディネーター、地区GSTコーディネーター、地区家族及び女性（WYPT）コーディネーター及び地区GETコーディネーターに送付する。（5. 地区ガバナー諮問委員会参照）
- 地区家族及び女性（WYPT）コーディネーターと連携し、ゾーン、地区、複合地区の女性会員、家族会員の現状と活動をゾーン内各クラブに知らせ、新しい奉仕活動の創造に積極的な役割を果たす。
- 地区LCIFコーディネーターと連携し、LCIFの現状と役割について、ゾーン内各クラブに知らせ、LCIFの取り組みにおいて積極的な役割を果たす。

地区委員長の任務

- 地区ガバナーの監督のもとに、国際理事会が求める任務並びに国際理事会の会則と付則に合致した地区の会則と付則が要求する任務を遂行するものとする。
- 地区組織の重要な一部を占め、ゾーン・チェアパーソンとともに、地区ガバナーを補佐し、地区の目的達成に大きな力となる。

4. クラブ合併について

二つ以上のライオンズクラブの合併には、次の手続きが完了していなければならない。

- 1) 合併を考慮しているクラブは合同会議を開き、次の事項を決定する。
 - a. 合併によりどのクラブが解散するか。
 - b. 存続するクラブの名称を変えるかどうか。変更する場合には適切な名称を決める。
変更された名称は地区キャビネットと国際協会の地区およびクラブ行政部の承認を受けなければならない。
 - c. 存続するクラブの役員および委員会は任期を満了するのか、あるいは合併承認後に新しい役員の実選が行われるのかどうか。選挙が行われる場合には、選挙の場所と日時を定め、選挙の結果を地区ガバナーと国際本部に通知する。
 - d. 合併完了後、存続するクラブの理事会と定例会議の開催場所及び日時を定める決議を採択する。また、合併したクラブのうち、存続クラブの結成日を合併クラブの結成日とする決議を採択する。
- 2) 合併を考慮している各クラブの一般会員が、合併に支持する旨の決議を採択しなければならない。
- 3) 合併により解散することに同意するクラブは、合併に先立って、さらに以下の手続きを踏まなければならない。
 - a. 未払金をすべて支払う。
 - b. 運営口座と事業口座に残っている資金すべて、存続するクラブが維持している適切な口座に移す。

- c. クラブ所有物をすべて、適切な方法で処分する。
 - d. クラブ最後の月例会員報告の際に、存続するクラブに転籍する会員の転出処理を行い、国際本部に報告する。
 - e. 地区ガバナーに認証状を引き渡す。
- 4) 存続するクラブは、以下の書類および資料を国際本部の地区及びクラブ行政部に送る。
- a. 各クラブが採択した合併承認の決議の写し。
 - b. 合併を承認する地区キャビネットの決議の写し。
 - c. 合併により解散するクラブからの会員が転入会員として列記された月例会員報告書。
 - d. クラブ合併申請書。
- 5) 合併したクラブには、要請に応じて合併証明書が発行される。

5. 地区ガバナー諮問委員会

- 1) 地区ガバナー諮問委員会は各ゾーン毎に設けられており、ゾーン・チェアパーソンならびにゾーン内のクラブ会長・第一副会長・幹事により構成される。(但し、地区の判断によりクラブ会計のオブザーバー出席を認めることは差し支えない) ゾーン・チェアパーソンが諮問委員会委員長を務める。
- 同委員会は地区ガバナー及びキャビネットの諮問機関であり、ゾーン内の全クラブを代表してその任務を遂行する。但し、その任務は地区運営上の諮問助言の域を越さないものとする。

2) 開催の時期

- 第1回 国際大会終了後90日以内。ゾーン内各クラブの一般的現状と国際プログラムについて話し合う。指導力育成のプランも立てる)
- 第2回 11月 (この時にゾーン内クラブ及び協会の発展を促すプランを組む)
- 第3回 2月か3月 (この時は、ゾーン内クラブの現状を評価し、クラブ発展を促すプランの進展状況を考察する)
- 第4回 複合地区大会の約30日前 (この機会に、会長または地区役員に敬意を表することもできる。各クラブが割り当てられた代議員を準地区・複合・国際の大会に派遣する方法について話し合ってもよい)

3) 報告書の提出

国際協会のウェブサイト書き込み可能なpdfファイルか あるいは“ゾーン・チェアパーソン必携”に添付の「諮問委員会々議ゾーン・チェアパーソン報告書」をコピーの上、必要事項を記入し、地区ガバナーに送付する。

※年度中3回報告書をキャビネットを通じ国際本部に送付する。

(地区ガバナー・地区GLT・GMT・GST・家族及び女性(FWT)・GETコーディネーターにも送付する) (要すれば、地区LCIFコーディネーターにも送付する)

諮問委員会会議は、ゾーン・チェアパーソンがクラブ間の調和を促進し奨励する絶好の機会であり、クラブにとってこれはクラブ運営のアイデアを交換する良い機会ともなる。

新たな会員増強の戦略や指導力育成の機会について話してもらえよう、地区GMTまたはGLT、GST、GET、WYPTコーディネーターなどを招くと良い。

注) 当資料は必携等の「抜粋」である

ライオンズクラブ国際協会334-A地区組

キャビネット構成員

地区ガバナー
はや み せい ろう
速 水 清 朗 (名古屋中村)

第1副地区ガバナー
なか むら むね お
中 村 宗 雄 (半 田)

第2副地区ガバナー
まつ した やす のり
松 下 靖 典 (刈 谷)

キャビネット
幹事 会計
中野 吉川
正也 敦
名古屋村 名古屋村

1Rゾーン・ チェアパーソン		2Rゾーン・ チェアパーソン		3Rゾーン・ チェアパーソン		4Rゾーン・ チェアパーソン		5Rゾーン・ チェアパーソン		6Rゾーン・ チェアパーソン		7Rゾーン・ チェアパーソン			8Rゾーン・ チェアパーソン	
1Z	2Z	1Z	2Z	1Z	2Z	1Z	2Z	1Z	2Z	1Z	2Z	1Z	2Z	3Z	1Z	2Z
平 湯	原 口	佐 野	大 木	井 上	中 島	森 桐	片 桐	川 口	加 藤	倉 知	曾 我	丹 羽	中 村	北 川	野 村	中 嶋
芳 裕	秀 樹	彰 章	光 章	文 男	一 彦	太 郎	照 二	潤 男	幹 男	義 治	我 衛	雄 二	恵 介	隆 宏	清 明	誓 治
名古屋城	名古屋ウエスト	名古屋東	名古屋南	名古屋西	名古屋北	名古屋東	名古屋南	名古屋西	名古屋北	名古屋東	名古屋南	名古屋西	名古屋北	名古屋東	名古屋南	名古屋西

地

山田実	西堀浩也	犬飼将清	西村努	兼子伸幸
会則委員長	にしほりひろ	マケテイング委員長	にしむら	リーダーシップ委員長
中春日井	名古屋栄	弥富	名古屋シティ	名古屋

キャビネット副幹事・副会計

鈴木雄	伴野功	正木健司	橋野哲也	中野孝	中島将登	鈴木貴雄	坪井隆幸	星野真二	河村好則	岡田治朗	財務委員長
名古屋北	名古屋	名古屋	名古屋	名古屋	名古屋	名古屋	名古屋	名古屋	名古屋	名古屋	名古屋

地区マーケティング委員

小川幸	鈴木達雄	嶋山祐二	桑原俊司	浅野隆司	藤城昭二	八幡昭二	八幡昭二
名古屋北	名古屋						

地区LCIF・国際関係委員

谷川佳隆	今川昇	山本秀男	高山之孝	新田美忍	田中香代子	松澤英典	鈴木朋彦
名古屋	名古屋	名古屋	名古屋	名古屋	名古屋	名古屋	名古屋

地区GETコーディネーター

杉戸清高	近藤資浩	佐藤彰	杉浦義和	伊藤美穂	伊藤圭太
名古屋	名古屋	名古屋	名古屋	名古屋	名古屋

地区会員増強副委員長 (GMTエリアリーダー)

都築実	中澤美	近藤浩	杉山幸夫	吉江有希子	佐藤精一	石川光昭	久米宏和	新郷孝廣	村瀬太一	西野美奈	若山哲史	喜多山裕史	佐藤由紀
名古屋	名古屋	名古屋	名古屋	名古屋	名古屋	名古屋	名古屋	名古屋	名古屋	名古屋	名古屋	名古屋	名古屋

地区誌編集委員

井浦教明	浦山佳裕
名古屋	名古屋

334-A地区 キャビネット（2025～2026年度）業務分担表（案）

役職名	氏名	関係委員会	担当委員長	所管業務
幹事	中野 正也	全般		◇キャビネット運営の統括（指示・管理など）◇国際協会との連絡 ◇334複合地区ガバナー協議会（全日本を含む）との連絡（議案提出、決議事項の確認・地区への連絡、複合地区年次大会関係） ◇OSEAL 調整事務局・一般社団法人日本ライオンズ・ライオン誌等との連絡 ◇東洋・東南アジアフォーラム関係 ◇五役に関する事の連絡 ◇プレスマン対応 ◇名誉顧問会業務 ◇各クラブの対応（公式訪問・周年行事等、調整も含む） ◇来信（郵便・FAX・メール）整理 ◇弔電（各クラブ物故者・他地区） ◇緊急事態の事前対策も含めた統括関係（国際協会・日本ライオンズ・複合等の緊急時の要請に対応） ◇マンスリーレポートの点検と集計表作成（My LCI） ◇クラブアクティビティの掌握と集計（My LION）
会計	吉川 敦	全般		◇会計業務の執行と統括 ◇地区会計監査委員との連絡 ◇予算書・決算書の作成 ◇クラブへの支払い業務 ◇出張旅費計算 ◇各クラブ財政状況（本部会費）の把握 ◇什器備品（消耗品）の調達管理 ◇月次収支報告 ◇出納業務把握 ◇地区費・地区大会費算出・請求への準備 ◇クラブ経費（地区費等）の徴収 ◇賞品・土産品の調達と管理 ◇YCE 関係会計 ◇旅費・支払登録料・寸志及び慶弔費の把握
キャビネット副会計				
財務	岡田 治朗			
キャビネット副幹事				
総務	鈴木 治雄	GLT リーダーシップ	谷 典芳 西村 努	◇幹事補佐業務 ◇日程管理（公式訪問、CN、ガバナー諮問委員会） ◇GLT 関係 ◇三役セミナー準備、設営、資料作成補助 ◇担当委員会（セミナー含む）準備、設営、司会、議事録作成
管理	伴野 功	年次大会 会則	西尾 恒章 山田 実	◇幹事補佐業務 ◇事務局管理業務 ◇年次大会関係 ◇準備会議、三役セミナー、キャビネット会議、名誉顧問会議の資料作成。◇担当委員会準備、設営、司会、議事録作成
改革推進	中野 康孝	GMT 会員増強 GET	大藪 伸康 犬飼 将清 野村 政司	◇GMT 関係 ◇GET 関係 ◇担当委員会（セミナーを含む）準備、設営、司会、議事録作成
広報	橋野 哲也	マーケティング	西堀 浩也	◇マーケティング関係 ◇IT・HP 運営・管理 ◇国際平和ポスター ◇知事、市長、新聞社への同行、撮影◇総務を補佐（Lion Portal） ◇マンスリーレポートの点検と集計表作成（Lion Portal） ◇ACT カレンダーの運営・管理 ◇SNS セミナーの企画運営 ◇地区誌関係（年2回発行）◇各種アワード ◇担当委員会（セミナーを含む）準備、設営、司会、議事録作成
IT	河村 好則	地区誌編集	松本 高武	
奉仕推進運営	正木 健司	GST 奉仕 WYPT	倉知 清和 兼子 伸幸 三尾 友貴美	◇GST 関係 ◇若者就職応援事業 ◇奉仕事業関係 ◇マーケティング委員会と連携 ◇Lion Portal、ACT カレンダー推進 ◇クラブアクティビティの掌握と集計（Lion Portal） ◇WYPT 関係 ◇無料塾の推進 ◇担当委員会（セミナーを含む）準備、設営、司会、議事録作成
国際事業	中島 将登	LCIF LCIF・国際関係	原口 秀樹 下川 健	◇LCIF・国際関係 ◇担当委員会（セミナーを含む）準備、設営、司会、議事録作成
国際交流	鈴木 貴雄	YCE・レオ	大津 尚彦	◇YCE 関係 ◇レオ関係 ◇担当委員会（セミナーを含む）準備、設営、司会、議事録作成
青少年育成	星野 真二	ライオンズクエスト ・薬物乱用防止 保健・福祉	矢野 照明 奥村 和久	◇ライオンズクエスト・薬物乱用防止関係 ◇保健関係（献眼・献腎・献血・骨髄移植推進・聴覚・糖尿病予防） ◇担当委員会（セミナーを含む）準備、設営、司会、議事録作成
社会事業	坪井 隆幸	アラート・環境保全	小泉 安弘	◇アラート・環境保全関係 ◇担当委員会（セミナーを含む）準備、設営、司会、議事録作成

全員が協力する業務 1、キャビネット会議などの議案作成及び各種会議、各種委員会の資料作成、設営、進行、議事録の作成
2、地区年次大会に関する業務

ゾーン・チェアパーソン活動費（案）

(1) 配分額の決定方法

ゾーン・チェアパーソン : メンバー1人当たり 年200円

※（会員数は特典会員を除く）

(2) 支払金額の決定方法

均等割 50%

クラブ数割 50%

(3) 支払時期 2025年 6月末会員数により2025年 8月末迄に
2025年12月末会員数により2026年 2月末迄に
年2回に分けて支払い。

(4) 経理報告 ゾーン・チェアパーソンは活動費報告書を提出すること
(様式は次頁に掲載)

2025年7月～12月末までは 翌年1月末までに

2026年1月～ 6月末までは 7月10日までに

(5) 送金方法 ゾーン・チェアパーソンに

第1回 第3回キャビネット会議にて手渡しする。

活 動 費 報 告 書

2025～2026年度 期分

_____ R _____ Z

役職名 _____

氏 名 _____

科 目	摘 要	金 額
会 議 費		円
交 通 費		円
通 信 費		円
事務用品費		円
雑 費		円

注1. 前期は7～12月／後期は1～6月とし、前期は1月31日／後期は7月10日迄に報告して下さい。

注2. 摘要欄には活動種類・回数・数量などを記入して下さい。

注3. ①会議費はリジョン会議・ゾーン会議等諸会合のために要した費用

②交通費は公共料金等出張に要した費用

③通信費は郵便・電話料金その他連絡に要した費用

④事務用品費は消耗品・印刷代等に要した費用

⑤雑費は上記に属さない費用

⑥上記区分以外で特に区分して記入した方が良いと思われる費用がありましたら、別に科目を記入して下さい。

2025～2026年度 地区会計予算（案）

自 2025年7月1日

至 2026年6月30日

単位：円

支出の部			収入の部		
科目	適要	金額	科目	適要	金額
会議費	キャビネット会議各種会議	2,130,000	地区費	900円×3576名×12か月	38,620,800
登録祝儀費	クラブ記念式典等	1,300,000			
旅費交通費	キャビネット役員旅費	500,000	国際本部より収入	カバナー経費	150,000
PR費	地区誌発行（送料・取材費）	3,000,000	広告収入	地区誌広告費	4,965,600
研修費	各種研修費	3,000,000	雑収入	銀行利息	50,000
褒賞記念費	アワード記念品等	300,000			
交際費	慶弔費	60,000			
印刷費	議事録・諸印刷費	1,670,000			
通信費	郵便電話料金	1,100,000			
事務用品費	事務用消耗品	800,000			
人件費	事務局員	15,600,000			
福利厚生費	法定福利費	1,870,000			
事務所費	家賃	6,660,000			
什器備品費	事務所用品	900,000			
IT対策費	IT関連支出	1,000,000			
委員長活動費	各委員会活動費	1,395,000			
ZC活動費	均等割50%クラブ割50%	800,000			
大会費	チャーターナイト交付金	1,400,000			
YCE活動費		150,000			
雑費		151,400			
予備費					
（以上小計）		43,786,400	（以上小計）		43,786,400
地区大会費	会員1名あたり @2,400	8,582,400	地区大会費		8,582,400
合計		52,368,800	合計		52,368,800

※但し、各科目の流用を認める。

※会員数は2025年6月末現在 3,576名

※前年度より『次年度以降繰越金（運営準備金）』は予定しません。

334-A地区キャビネット旅費規定（案）

第1条 本規定の適用範囲

地区ガバナーの召集する会議に本人又は代行者が出席する場合、又は地区ガバナーの命令する用務のため出張する場合、本規定による旅費を支給することができる。

ただし、ゾーン・チェアパーソン、地区委員の担当地区内の出張又は、事務打ち合わせのため自発的にキャビネット事務局へ出向く場合の旅費は、キャビネットからは支給しない。

第2条 旅費査定の原則

旅費査定は実際の旅程に関係なく、通常の事業人が行う最短距離順路並びに時間的節約の旅程を想定し、之に基づいて計算した旅費を支給する。

第3条 旅費等について

旅費の支給上限は20,000円とする。

イ. 出張区間全部にわたり、JRのほかこれと併用する私鉄があつて、その方が一般に広く利用されているときは、これに乗車するものとして計算する。

ハ. 全区間自動車使用の場合は、通常の交通機関を利用したものとみなして計算する。

ホ. 旅費の計算は出発地の市町村内主要駅より目的地の市町村内主要駅までの交通費を支給し、出発地とは所属クラブ事務局所在地とする。

第4条 地区ガバナーが命ずる業務を遂行する者が駐車場を利用する場合、1日1人2時間を限度として、駐車料金を支給することができる。但し、旅費交通費の支給を受けない場合のみとする。駐車場所についてはキャビネット幹事が指定することができる。

第5条 前条までに規定のない事項あるいは、やむを得ない事情がある場合は、その都度地区ガバナーまたはキャビネット幹事が決定する。支給の是非についてもその都度地区ガバナーまたはキャビネット幹事が決定する。

付則：県内移動の旅費交通費は自己負担とする。

334-A地区慶弔規定（案）

1. 当地区役員（名誉顧問・役員・その他必要と認めた者）並びにその家族の慶弔については、次の規定による。
 - イ. 役員が結婚した時は、20,000円を贈る。
 - ロ. 役員及び家族が死亡した時は、次の弔慰金を贈る。

役員	20,000円	+	生花	家族	10,000円
----	---------	---	----	----	---------
 - ハ. 役員が傷病等により加療の期間が3週間以上と認められた時は、見舞金品10,000円程度を贈る。
 - ニ. 火災・風水害にあった時は、その程度により見舞金10,000円程度を贈る。
2. 地区内クラブ会長・幹事・会計が死亡した時は、弔慰金10,000円程度を贈る。

但し、事情によって生花等を添える事が出来る。
3. 地区内会員の死亡に際しては、地区ガバナーより弔電を送る。
4. 尚、必要と認めた場合は地区ガバナーがその都度決定する。

（付）本規定による家族とは配偶者並びに一親等の血族の範囲とする。

(7) 地区年次大会表彰規定 (案)

1 地区ガバナーは、この規定により、ライオニズムの昂揚に目覚しい活躍、貢献があったクラブ又は個人に対し、国際協会に推薦をし、またはアワードを与え、表彰をする。

2 審査の要領

①選考及び表彰の内容、数については、キャビネット審査委員会で決定する。

但し、選考につき、一部アワードはリジョンの推薦を経たうえで、本審査をする。
推薦の具体的方法は、ゾーン・チェアパーソンに連絡をする。

②審査委員会は、次のメンバーとする。

委員長 地区ガバナー

委員 キャビネット幹事・会計

キャビネット副幹事、副会計

③審査委員会は、委員長が日時・場所を定めて招集する。

3 審査対象期間

原則として、2025年3月1日～2026年2月28日とする。

4 アワードの種類

①国際会長アワード 国際会長が贈る賞

国際会長賞、国際会長リーダーシップ賞、国際会長感謝状等

②地区ガバナーアワード

・インパクトのある奉仕活動を行ったクラブに贈る賞

・会員増強賞

2025年7月1日～2026年2月28日

※2025年7月1日～2026年6月30日については2025-2026年度
第一回キャビネット会議にて表彰

・エクステンション賞

・LCIF賞

LCIF貢献度が優れたクラブに賞を贈る

・その他 特別賞

(1) 公式訪問・周年行事

日程予定表

(2025年7月1日～2026年6月30日)

2025.5.26現在

公式訪問			周年行事				
公式訪問日	R・Z	ZC選出クラブ	実施期日	クラブ名	周年	開始時間	会場
8月 19日 (火)	2R1,2Z	豊橋、豊川	2025年				
22日 (金)	1R1Z	名古屋名城	10月 11日 (土)	豊田東名	50	17:00～	名鉄トヨタホテル
27日 (水)	1R2Z	名古屋ウエスト	24日 (金)	名古屋熱田	60	15:40-19:00	熱田神宮会館
9月 3日 (水)	8R2Z	吉良	11月 15日 (土)	名古屋緑	45	16:00-19:30	ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋
4日 (木)	5R2Z	知多	19日 (水)	名古屋名南	30	17:00-20:00	ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋
5日 (金)	3R1,2Z	一宮中、愛西	29日 (土)	美浜	60	未定	ピアシティ南知多
9日 (火)	4R2Z	愛知中央					
10日 (水)	6R1Z	江南					
11日 (木)	7R1,2,3Z	名古屋樺、名古屋シニア、名古屋東山					
12日 (金)	4R1Z	岡崎葵	2026年				
18日 (木)	5R1Z	南知多	2月 7日 (土)	刈谷	60	15:00-19:30	Dスクエア
18日 (木)	8R1Z	安城南	13日 (金)	名古屋葵	60	11:00-14:00	ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋
25日 (木)	6R2Z	春日井けやき	27日 (金)	武豊	50	未定	ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋
			3月 4日 (水)	名古屋東山	60	未定	名古屋東急ホテル
			12日 (木)	南知多	60	15:30-19:30	まるは食堂旅館南知多豊浜本店
			19日 (木)	名古屋MJF	10	17:00-20:30	TIAD
			28日 (土)	愛知さくら	20	11:00～	ホテルインディゴ犬山有楽苑
			4月 11日 (土)	尾張旭	55	17:00-20:00	名古屋観光ホテル
			5月 16日 (土)	西尾東	50	15:00～	西尾コンベンションホール
				半田	65	未定	未定
				知多サザンシニア	15	未定	未定
				高浜	45	未定	未定

2025～2026年度
各種会議開催日程(案)

1. キャビネット会議

第1回	2025年	8月	8日(金)	名古屋市	ホテル名古屋ガーデンパレス
第2回	2025年	11月	12日(水)	名古屋市	ホテル名古屋ガーデンパレス
第3回	2026年	2月	10日(火)	名古屋市	アイリス愛知
第4回	2026年	3月	16日(月)	名古屋市	アイリス愛知

2. 地区名誉顧問会議 <場合によっては地区ガバナーの要請により随時開催する>

第1回	2025年	8月	1日(金)	第2回	2025年	10月
第3回	2026年	1月		第4回	2026年	3月

3. 地区各委員会 年4回(その他必要に応じ開催)

第1回	2025年	7月/8月	第2回	第2回キャビネット会議後
第3回	第3回キャビネット会議後		第4回	第4回キャビネット会議後

4. 地区ガバナー諮問委員会

第1回	2025年	8月(国際大会終了後90日以内、第1回キャビネット会議後)
第2回	2025年	11月(第2回キャビネット会議後)
第3回	2026年	2月(第3回キャビネット会議後)
第4回	2026年	5月(交歓を主として任意とする)

ゾーン内のクラブが協調を保ちつつライオンズムを高揚するための方法について協議する。
キャビネット会議の結果を各クラブに確実に伝達し 地区ガバナー諮問事項の総括に関する
為の会議としてゾーン・チェアパーソンが主宰する。

5. 各セミナー(予定)

地区LCIFセミナー	2025年	7月30日(水)
ミッション1.5セミナー	2025年	9月2日(火)
SNS導入セミナー	2025年	9月30日(火)
薬物乱用防止教育認定講師養成講座	2025年	10月3日(金)
地区若手リーダー育成研修会	2025年	10月7日(火)・8日(水)
公認ガイディング・ライオン養成講座	2025年	10月20日(月)
第1回新会員セミナー	2025年	11月10日(月)
中堅会員セミナー	2026年	2月2日(月)
第2回新会員セミナー	2026年	2月16日(月)

大会・行事予定（案）

第107回国際大会予定日

2025年 7月13日～17日 アメリカ オーランド

第108回国際大会予定日 2026年 7月 3日～ 7月 7日 中国 香港
第109回国際大会予定日 2027年 7月 2日～ 7月 6日 アメリカ ワシントンDC
第110回国際大会予定日 2028年 6月23日～ 6月27日 シンガポール
第111回国際大会予定日 2029年 6月29日～ 7月 3日 アメリカ ミネアポリス
第112回国際大会予定日 2030年 6月28日～ 7月 2日 アメリカ テキサス州サンアントニオ
第113回国際大会予定日 2031年 7月 4日～ 7月 8日 フィンランド ヘルシンキ

第62回東洋・東南アジアフォーラム予定日

2025年10月23日～26日 日本・札幌

334複合地区第72回年次大会予定日

2026年 5月24日（日）（C地区）静岡県 静岡市 グランシップ

334-A地区第72回年次大会予定日

2026年 4月18日（土） 名古屋市 岡谷鋼機名古屋公会堂

その他 各種行事予定

国際会長公式訪問 2025年10月26日（日） 京王プラザホテル札幌

CBCテレビ遊び防災フェス ライオンズクラブ特別協賛

2025年8月23日（土）～24日（日） オアシス21

第4回全国特別支援学校フットサル大会 東海地区大会 2025年7月31日（木）

第4回全国特別支援学校フットサル大会 全国大会 2025年11月1日（土）

キャビネット会計の業務に関する事項（案）

1. 取引をする指定金融機関

みずほ銀行 名古屋駅前支店

岡崎信用金庫 名古屋支店

2. 会議開催等に関わるとりきめ

会議、セミナー等の開催計画報告書はキャビネット事務局に提出し、キャビネット幹事の了解を受けること。

3. 地区ガバナー賞について

各種記念行事における地区ガバナー賞の要請については、チャリティ額が30万円以上（予想額）については、事前申請に基づいて提供を行うが、以外のものについては原則として行わない。上限は20,000円とする。

4. キャビネット会議において支出を伴う事項の緊急提案

キャビネット会議において支出の伴う事項の緊急提案は、原則としてこれを認めない。

緊急を要する議題については会議の2日前までにキャビネット幹事に連絡し、了承を受けること。

キャビネット幹事・会計職務執行の証として 担保提供の件（案）

1. キャビネット幹事、会計の職務執行の証としての担保提供の件

2025～2026年度は担保提供を免除する。

議案1 スペシャルティクラブ申請の件(名古屋堀川ライオンズクラブ)

第71回334-A 地区年次大会代議員会議にて承認されましたスペシャルティクラブの地区費及び地区大会費を半額とする件について、スペシャルティクラブを申請したクラブがありましたので、ルールに従いキャビネット会議に提案します。

- ① 申請したクラブは名古屋堀川ライオンズクラブ会長 L.三谷優輔からありました。(別紙参照)
- ② 申請内容を精査し、7月3日地区ガバナーL.柴田高志と地区ガバナーエレクトL.速水清朗が名古屋堀川ライオンズクラブ 会長 L.三谷優輔、L.服部 宏と面談をし、その中で条件に沿っているかの質疑応答を重ねて、スペシャルティクラブとして認めた。
- ③ 今後の進め方として、第1回キャビネット会議にて、キャビネット構成員の賛成多数を持ってスペシャルティクラブとして承認されたのち、2025年度下期より正式なスペシャルティクラブとして認定される。

参考として

第71回年次大会決議委員会 承認議案

議案5 スペシャルティクラブにおける地区費及び地区大会費を半額とする承認を求める件
(提案理由)一つのアクティビティに特化するスペシャルティクラブに所属する会員の経済的な負担を軽減することで、更なるスペシャルティクラブの結成と発展を促進するため。

スペシャルティクラブの条件として、以下の要件を満たしていること。

- ・クラブ会員の共通の関心事を専門分野としていること。(例:国際協会が掲げる重点分野など)
- ・地区ガバナーとの面談で設立意義などの説明をし、キャビネット会議においてスペシャルティクラブであることが承認されること。

従来、個人で活動している熱意のあるボランティアにとって、世界的な組織であるライオンズクラブの一員となることは、活動範囲の拡大や継続性の向上、さらには周囲への影響力の増大が期待できる大きな機会となります。一方で、これまで極力費用をかけずにボランティア活動を行ってきた方々にとっては、ライオンズクラブに加入することで会費を負担しなければならないという疑問や懸念が生じることも予想されます。そのため、スペシャルティクラブの会費負担を軽減し、無理なく奉仕活動を継続できる体制を整備します。

議案2 8月23日(土)24日(日)に行われます CBC テレビ遊び防災フェスへ特別協賛として当地区が参加する件。賛同される方からの参加費、企業協賛金の振込先、イベントに掛かる費用の支払い口座を、キャビネットが持っている銀行口座を使用する件。

議案3 第4回 全国特別支援学校 フットサル大会全国大会に対する地区シェアリング申請の件。

2025年11月1日(土) 京王アリーナ TOKYO(武蔵野の森総合スポーツプラザ)にて開催

334-A地区 スペシャルティクラブ 申請書

2025年6月11日

名古屋堀川ライオンズクラブ

会長 服部 宏

1. スペシャルティクラブ 目的について

当クラブは2003年4月に設立以来、「堀川の浄化・美化・再生」に活動の目的を特化し、今日まで幅広い市民、行政、大学、産業界と連携し、協働して活動してきました。

今後も、私たちと同じ志をもつ人々が参加しやすいようなクラブづくりをしてゆくためにスペシャルティクラブとして申請をいたします。

2. 特化している一つのアクティビティを 以下に○をお付けください 重点分野

- ・小児がん
- ・糖尿病
- ・災害援助
- 環境保全
- ・人道支援
- ・食料支援
- ・視力保護
- ・青少年支援
- ・その他 _____

3. 2024-2025年度のクラブ会費 60,000 円

4. 2025年5月末現在 正会員数 32 名

5. この度スペシャルティクラブ申請を承認されたクラブ理事会議事録の添付をお願いします

◇面談日程について

ご都合の良い日に○（3つ以上）をお付けいただきますようお願い致します。
お時間は 約45分程度です。
以下の日程で ご都合がつかない場合はキャビネットまでご連絡ください。

2025年 面談日程

日にち		時間		日にち		時間	
6月23日	月	10時~11時		6月24日	火	10時~12時	
6月24日	火	14時~16時		6月26日	水	10時~12時	
6月26日	火	14時~16時		7月2日	水	10時~11時	
7月3日	木	10時~12時	○	7月3日	木	14時~16時	
7月4日	金	10時~12時		7月4日	金	14時~15時	
7月7日	月	10時~12時	○	7月7日	月	14時~16時	○
7月8日	火	10時~12時	○	7月8日	火	14時~16時	○
7月22日	火	10時~12時		7月22日	火	14時~16時	

6月度定例理事会議事録

日時 2025年6月10日

場所 名古屋クレストンホテル

1. 会長挨拶
2. 議事

(審議事項)

- (1) 334-A地区スペシャルティクラブ申請について 会長 L服部 宏
【議案】スペシャルティクラブにおける地区費及び地区大会費を
半額とする承認を求める件 (キャビネット提案)

※第71回年次大会代議員会(2025年4月19日開催)において承認可決されました。

★以上の内容より、【執行部案】として下記を提案させていただきます

一つのアクティビティに特化する当クラブとして、会費負担を軽減し、無理なく奉仕活動を継続できる体制を整え、更なる発展を促進する為にスペシャルティクラブとして申請する。

※ご審議宜しくお願い致します。

全員一致により申請する事で承認

- (2) その他

(報告事項等)

- (1) 環境デーなごや「春の行事」について 市民委員長 L徳永 東三

- ・日時：2025年6月21日(土)10:00~11:40
- ・区間：①白鳥~名古屋港(往復)
- ・内容：環境デーなごやでの堀川乗船体験会 小中学生(保護者同伴必須)
市民への参加募集は、広報なごや5月号で行いました。
①名古屋港コース定員(20組:40人)×1隻にて実施。
- ・案内者：L服部 宏

尚、体験乗船として当クラブ会員も乗船して頂けますので多数ご参加下さい。

※当日「堀川清掃アクティビティ」を同時開催

又、2025年6月20日(金)15:00から納屋橋にて「空心菜」を設置します。
(事務局より2件とも案内済)

- (2) 第3回全名古屋LC会長連絡会について 幹事 L小原 浩

- ・開催日時：2025年6月16日(月)14:00~16:00
- ・開催場所：7R3Z合同事務所 会議室
- ・出席者：会長 L服部 宏

- (3) その他

参加無料

あそび×まなびの場

自由研究のヒントになるかも!

CBC あそび防災フェス

in オアシス21 銀河の広場

2025年8月23日(土)・24日(日) 10:00~17:00

※雨天決行/台風など災害時は中止・一部中止とする場合があります。

夏休みは「CBC あそび防災フェス」へGO!

防災について楽しみながら学ぶブース&ステージイベントや、「防災ヒーロー入団試験」の挑戦、CBCアナウンサー(気象予報士)による防災トークショーなど、夏休み後半に自由研究の題材にもなれる、「あそび×まなび」の場となるイベント開催!



集まれ未来の防災ヒーロー!
今年の夏は「CBC あそび防災フェス」で
「防災ヒーロー入団試験」に挑戦しよう!

デンジャラスロード



FIRE FIGHTER



防災クイズラリー



スモーキー迷路



オリジナルホイッスル作り



気象予報士体験



※「防災ヒーロー入団試験」の推奨年齢は3歳~小学生6年生です。親子でご参加ください。

※当日受付、入場無料のイベントですが、来場数に応じて、入場制限・整理券配布を行う可能性があります。

特別協賛:



ライオンズクラブ国際協会 334-A地区

後援: 愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会

主催: CBCテレビ お問い合わせ: 052-241-8111(代)



ライオンズクラブ国際協会 334-A 地区 キャビネット事務局

〒450-0002 名古屋市中村区名駅 3-22-8 大東海ビル 609

TEL : 052-589-0151 FAX : 052-589-0150

E-mail : cabinet@lc334a.gr.jp HP : http://www.lc334a.gr.jp/

District Governor

Takashi Shibata

2025年6月11日

現 クラブ会長 各位
次期クラブ会長 各位

ライオンズクラブ国際協会 334-A 地区
地区ガバナー 柴田高志
地区ガバナーエレクト 速水清朗

「CBC テレビ 遊び防災フェス」へのご参加とご協力をお願い

拝啓 初夏の候、貴クラブにおかれましてはライオニズムの昂揚に益々のご活躍のことと存じます。

さて、ライオンズクラブ国際協会 334-A 地区では、2025年8月23日(土)24日(日)オアシス21(名古屋市)にて、CBCテレビ主催「遊び防災フェス(仮称)」に特別協賛することを計画しています。このイベントは、防災意識の啓発と共に、当地区に所属する104クラブの活動を広く市民に紹介し、ライオンズクラブの認知度向上、若年層へのPR、さらには会員拡大、新クラブ設立の機運醸成を目的としています。

つきましては、展示内容をカテゴリーごとに1ブース(間口1間×奥行1.5間)をご用意しますので、貴クラブ内で参加可能なカテゴリーをお選びいただき、ブース内で同じカテゴリーのクラブ同士で協力し、パネル展示・体験企画・物品紹介などを行って頂きます。また、ステージでも、参加クラブのACTのPRを行います。

なお、展示方法・人員体制・準備品(テーブル・椅子・電源など)、ステージ上の発表方法につきましては、ゾーン・チェアパーソンを通じて、8月初旬までに調整をお願いする予定です。また、イベントは2日間開催予定ですが、参加方法(日程や交代制など)もクラブごとに調整可能です。

今後、CBCテレビとの打合せにより詳細が確定してまいります。まずは早急に参加可否の意向確認と、カテゴリーの選択、そして、協力体制のご準備をお願い申し上げます。

何卒、本イベントの主旨をご理解いただき、積極的なご参加・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

※お手数ですが、ご回答をメールかFAXにて、6月27日(金)必着にてお知らせ願います。
キャビネット事務局 email: cabinet@lc334a.gr.jp FAX(052)589-0150

「CBC テレビ遊び防災フェス」ライオンズクラブ特別協賛
(2025年8月23日(土)・24日(日))
ライオンズブース出展について

参加する

参加しない

____R____Z____ お役職 _____ お名前 _____

●貴クラブの出店カテゴリー (レ点をお願いします) いくつでもOKです。

- アラート、災害支援等 環境保全(プロウオーキング、清掃、海岸清掃、植樹等) 食糧支援、子ども食堂等 保健奉仕、薬物乱用防止 小児がん 交通安全 青少年育成 その他
()



ライオンズクラブ国際協会334-A地区 キャビネット事務局

〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-22-8 大東海ビル609
TEL 052-589-0151 FAX 052-589-0150
E-mail cabinet@lc334a.gr.jp http://www.lc334a.gr.jp/

DISTRICT GOVERNOR

2025年7月22日

ゾーン・チェアパーソン 各位

ライオンズクラブ国際協会334-A地区
地区ガバナーエレクト 速水 清朗

CBC 遊び防災フェス 2025 開催に伴うライオンズ内協賛のお願い

拝啓 盛夏の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素より地区運営にご尽力いただき、厚く御礼申し上げます。
さて、下記の通り「CBC テレビ防災遊びフェス」の特別協賛として開催する運び地となりました。
本イベントにおきましてライオンズ所属企業様向けに、会場にて PR が可能な3つの協賛コースを
ご用意しております。
来場者数は約3万人を見込んでおり、貴社の広告活動の一環としてご活用いただければ幸いです。
是非、ご協賛をご検討賜りますようお願いいたします。 敬 具

記

日 時 : 2025年8月23日(土) 8月24日(日)

会 場 : 栄オアシス21(名古屋市)

※申込期限: 2025年7月31日(調整可)

※入稿方法: 社名の広告になります。ロゴ、マークを PDF にしてキャビネット事務局へお送りください。

申し込み方法: 以下にご記入の上、メールまたは FAX にてご提出ください。

キャビネット事務局 email: cabinet@lc334a.gr.jp FAX(052)589-0150

【企業協賛の特典】

協賛コース別	5万円	10万円	30万円	備考
パネル広告	450×300mm (社名のみ)	450×600mm (社名・マーク)	900×900mm (社名・マーク)	
ステージ広告	複数社毎	2社毎 (マークあり)	1社毎 (マークあり)	
配布チラシ	社名	社名・ロゴ記載	社名・マーク記載	2,000部配布予定
配布うちわ	×	×	○	最大10社限定

----- 切り取らずこのままFAXして下さい -----

遊び防災フェス開催に伴うライオンズ内協賛 2025年8月23日(土)/24日(日)

協賛コース(5万円 ・ 10万円 ・ 30万円)に申込みます。

(コースに○を付けてください)

所属 LC 名 _____ 協賛企業名 _____

ご住所 _____

ご担当者名 _____ 電話番号 _____

メールアドレス _____

2025年7月9日

ライオンズクラブ国際協会 334 複合地区
ガバナー協議会議長 杉木 徹 様

公益財団法人日本ライオンズ
334 地区担当理事 大山 恭範

地区シェアリングおよびクラブシェアリング交付金申請のお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、公益財団法人日本ライオンズの事業にご尽力いただき感謝申し上げます。

昨年開催いたしました、全国特別支援学校フットサル大会全国大会におきましては、多大なるご支援をいただきましたこと心よりお礼申し上げます。ひとえに 334 複合地区の皆さまのご尽力により、子供たちの心に深く残る盛大な大会となりました。

本年も 11 月 1 日（土）にフットサル全国大会を開催いたしますので、334 複合地区ガバナー協議会、各地区キャビネットの皆さまのご支援、お力添えをいただけますと幸甚に存じます。

早速でございますが、地区シェアリングおよびクラブシェアリング申請の件を 334 複合地区内準地区の第 1 回キャビネット会議にてご承認賜りますようお願い申し上げます。

敬具

2025年7月10日

ライオンズクラブ国際協会
各地区キャビネット事務局
ガバナー 様

公益財団法人 日本ライオンズ
東京都中央区京橋1丁目2番4号
八重洲ノリオビル5階
TEL/FAX: 03-6262-6108
334地区担当理事 大山 恭範

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、当財団の事業にご支援いただき、感謝申し上げます。

当財団では、各地区の皆様のご協力の下、公益事業の目的であります
子供達の為にフットサル事業、寺子屋事業、災害支援事業に取り組んでおります。
事業のひとつであります、全国特別支援学校フットサル大会全国大会を本年も
11月1日(土)京王アリーナ TOKYO (武蔵野の森総合スポーツプラザ)で
開催する運びとなっており、全国特別支援学校フットサル大会全国大会において
は、各12地区大会で優勝した子供達が全国大会での優勝を目標に競技に参加いた
します。

また、全国12地区から子供達を迎えるにあたり、子供達の交通費、宿泊費等を
財団として援助いたしておりますが、フットサル全国大会での活躍に感動し年々、
参加校が増えておりますのが現状です。

お陰様で、昨年もクラブシェアリング交付金の援助により盛大なる大会が出来
ましたこと心より感謝申し上げます。

本年も当財団の事業にご賛同いただき、ご支援賜りますようお願い申し上げま
す。日本ライオンズ会員の皆様と共に「未来のある子供たちへの事業推進」に
ご理解とご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

愛社協第138号
令和7年4月17日

ライオンズクラブ国際協会334-A地区キャビネット
代表者様

社会福祉法人愛知県社会福祉協議会
事務局長 佐藤嘉彦
(公印省略)

自然災害発生時における災害ボランティアセンター支援に関する協定
に基づく連絡担当者情報の取り交わし及び情報交換の実施について（依頼）

日ごろは、本会事業の推進にご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、貴団体と締結しました標記協定におきましては、愛知県内において自然災害が発生した場合に、被災地において市町村社協が設置または運営に関わる災害ボランティアセンターに対し、県社協の要請を受けて貴団体が行う支援の内容及びその他必要な事項を定めたものとなっておりますが、有事の際、円滑に支援活動を行うためには、県内の各地域において貴団体の地区組織と地元の社会福祉協議会が平時より顔の見える関係づくりを進めていただくことが重要です。

愛知県内の社会福祉協議会においては、別紙のとおり県内6つのブロックを組織しており、それぞれ1年任期の幹事が選出されておりますので、貴団体における地区組織と定期的に情報交換を行っていきたいと考えております。

つきましては、令和7年度のブロック幹事社協の「連絡担当者登録票」を別添のとおり提供いたしますので、貴団体の各地区組織へ対応するブロック幹事社協の情報を共有いただくとともに各地区組織の担当者情報を加筆のうえ、各ブロック幹事社協と連絡担当者情報の取り交わしをお願いいたします。

なお、「連絡担当者登録票」については、双方の団体における担当者の異動時期に情報の更新を行っていただくとともに継続的に情報交換を行っていただき、各地域において相互に災害ボランティア活動の研修、セミナー、訓練等を実施するなど平常時から連携強化が図られますようご協力くださいますようお願いいたします。

(連絡先) 地域福祉部 担当 岡本・飯尾
電話 052-212-5502

防災ボランティアセンター支援協定に基づく情報交換について

1 趣旨

愛知県社協では、2の団体と「自然災害発生時における災害ボランティアセンター支援に関する協定書」を締結しており、平時の取り組みとして愛知県社協及びブロック幹事社協と各団体との相互の連絡担当者を定め、必要に応じて情報の交換等を行うこととしている。

2 締結団体

日本労働組合総連合会愛知県連合会(連合愛知)	令和3年2月26日
ライオンズクラブ国際協会334-A地区	令和3年12月8日
日本青年会議所東海地区愛知ブロック協議会	令和6年12月2日

3 組織の概要

	連合愛知	ライオンズクラブ	青年会議所	社協
地区組織	11ブロック	8ゾーン	6地区	6ブロック
地域組織	なし	105クラブ	33会議所	69社協
情報更新	10月末	7月末	12月末	3月末

4 情報交換

県社協及びブロック幹事社協と上記3団体及び各地区組織は、予め本協定に関する連絡担当者を定め、この協定が円滑に運用されるように、平時から情報の交換を行う。

なお、各団体においては、上記期日までに変更の有無に関わらず別紙の登録票を相手方へ提出し、連絡担当者の情報を更新する。(臨時に連絡担当者が変更となった場合は、その都度更新する。)

また、この協定が円滑に運用されるように、平常時から連携強化を図るものとし、相互に災害ボランティア活動の研修、セミナー、訓練等に関する情報提供及び参加に努める。

5 関連事項

日本青年会議所東海地区愛知ブロック協議会・日本労働組合総連合会愛知県連合会・愛知県社会福祉協議会は、ともに愛知県とボランティアの受入体制の整備とネットワーク化の推進等に関する協定書を締結しており、広域ボランティア支援本部が開設されている場合は、同本部と調整のうえ、支援を要請することとしている。

令和7年度災害担当幹事社協

ブロック	市町村数	幹事社協	構成
西尾張	9市4町 1村	愛西市	一宮市 津島市 犬山市 江南市 稲沢市 愛西市 弥富市 あま市 大口町 扶桑町 大治町 蟹江町 飛島村
東尾張	9市2町	日進市	瀬戸市 春日井市 小牧市 尾張旭市 日進市 清須市 北名古屋市 長久手市 東郷町 豊山町
知多	5市5町	常滑市	常滑市 東海市 大府市 知多市 阿久比町 東浦町 南知多町 美浜町 武豊町
西三河	9市1町	幸田町	岡崎市 碧南市 刈谷市 豊田市 安城市 西尾市 知立市 高浜市 幸田町
東三河	5市2町 1村	田原市	豊橋市 豊川市 新城市 田原市 設楽町 東栄町 豊根村
名古屋	1市	名古屋市	16区

1 2 . 3 3 4 - A地区報告

(1) 複合地区役員名簿

(当地区関係分のみ)

複合地区

334 複合地区顧問	栢 森 新 治 (名古屋ウエスト)
334 複合地区顧問	竹 内 淳 一 (半 田)
334 複合地区顧問	鈴 木 誓 男 (豊田ルネッサンス)
334 複合地区ガバナー協議会構成員 会計	速 水 清 朗 (名古屋中村)
334 複合地区緊急援助資金管理委員会委員	
334 複合地区ガバナー協議会事務局 管理委員会委員	中 野 正 也 (名古屋中村)
334 複合地区国際大会委員会委員	
334 複合地区会則委員会委員	山 田 実 (春日井中央)
334 複合地区YCE委員会委員長	今 泉 雅 雄 (豊 橋 南)
334 複合地区YCE委員会委員	大 津 尚 彦 (名古屋中村)
334 複合地区LCIF委員会委員長	原 口 秀 樹 (名古屋ウエスト)
334 複合地区LCIFコーディネーター	
334 複合地区LCIF委員会委員 (地区LCIFコーディネーター)	
334 複合地区会員増強委員会委員 (地区GMTコーディネーター)	大 薮 伸 康 (丹 羽)
334 複合地区指導力育成委員会委員長	加 藤 史 典 (名古屋太閤)
334 複合地区GLTコーディネーター	
334 複合地区指導力育成委員会委員 (地区GLTコーディネーター)	谷 典 芳 (名古屋名南)
334 複合地区指導力育成委員会委員長	加 藤 史 典 (名古屋太閤)
334 複合地区GLTコーディネーター	
334 複合地区指導力育成委員会委員 (地区GLTコーディネーター)	北 川 隆 宏 (名古屋東山)
334 複合地区エクステンション委員会委員長	大 山 恭 範 (一 宮)
334 複合地区GETコーディネーター	
334 複合地区エクステンション委員会委員 (地区GETコーディネーター)	野 村 政 司 (一 宮)
334 複合地区奉仕事業委員会副委員長	小 川 智 義 (一 宮 東)
334 複合地区奉仕事業委員会委員 (地区GSTコーディネーター)	倉 知 清 和 (名古屋葵)
334 複合地区女性及び若手会員委員会委員 (WYPT) (地区WYPTコーディネーター)	三 尾 友 貴 美 (春日井さくら)

334複合地区ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会委員長	柴田高志(豊橋)
334複合地区ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会委員	矢野照明(名古屋徳川)
公益財団法人日本ライオンズ委員会委員長	大山恭範(一宮)
公益財団法人日本ライオンズ委員会委員	野村政司(一宮)
334複合地区マーケティング委員会委員	西堀浩也(名古屋栄)
334複合地区国際理事候補者推薦支援委員会委員	柴田高志(豊橋)

全日本レベル

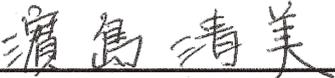
一般社団法人日本ライオンズ監事	藤井大川(名古屋サウス)
-----------------	--------------

(2) 地区会計監査委員選任

略 歴

氏 名	ふか や よう じ 深 谷 洋 二	か とう ふとし 加 藤 太
所属クラブ	5 R 2 Z 大府 LC	6 R 2 Z 春日井中央 LC
勤 務 先 (会社名) (役 職)	〒474-0025 大府市中央町 2-223-2 (有)ステーション・イン・大府 取締役会長 TEL (0 5 6 2) 4 4 - 4 0 0 0 FAX (0 5 6 2) 4 4 - 4 0 0 1	〒486-0844 春日井市鳥居松町 6-13 キラクヤ 代表取締役 TEL (0 5 6 8) 8 1 - 2 9 5 5 FAX (0 5 6 8) 8 1 - 2 9 5 5
自 宅	〒474-0037 大府市半月町 3-64 TEL (0 5 6 2) 4 6 - 5 5 9 0	〒486-0844 春日井市鳥居松町 6-13 TEL (0 5 6 8) 8 1 - 2 9 5 5
入会年月日	西暦 2 0 0 1 年 9 月	西暦 2 0 0 1 年 7 月
主 な ライオン歴	2 0 0 8 年度 クラブ幹事 2 0 1 2 年度 クラブ会長 2 0 2 4 年度 5 R 2 Z Z C	2 0 0 8 年度 クラブ幹事 2 0 1 4 年度 クラブ会長 2 0 2 4 年度 6 R 2 Z Z C
職歴・公職	(有)ステーション・イン・大府 設立 代表取締役	キラクヤ 代表取締役

2026年度～2029年度 国際理事立候補届

	届出年月日		2025年8月1日	
	所 属	7R 3Z 名古屋東山ライオンズクラブ		
	ふりがな 立候補者名	はまじま きよみ 濱 島 清 美		
	生 年 月 日	1953年5月12日		
	自 宅	住所	〒474-0003 愛知県大府市神田町四丁目13番地	
		電話	(0562) 46-0310	
	勤 務 先	住所	〒464-0850 名古屋市千種区今池四丁目7番4号	
勤務先名		(株)東屋	役職名 代表取締役	
電話		(052) 733-3511	FAX (052) 732-1839	
ライオン歴	1998年2月 名古屋東山ライオンズクラブ 入会 2008-2009年 名古屋東山ライオンズクラブ 会長 2015-2016年 9R1Zゾーンチェアパーソン 2016-2017年 334-A地区第2副地区ガバナー 2017-2018年 334-A地区第1副地区ガバナー 2018-2019年 334-A地区地区ガバナー 2019-2020年 334-A地区名誉顧問会議長 2019-2020年 334複合地区 糖尿病委員長 2020-2023年 334複合地区 GST コーディネーター 2023-2025年 グループリーダー			
職 歴	2006年8月 (株)東屋 代表取締役就任 2009年12月 (株)アズマコーポレーション設立 代表取締役就任			
最 終 学 歴	1972年3月 金城学院高等学校 卒業			
主なアワード	国際会長感謝状 国際会長メダル メルビンジョーンズフェロー 25回			
その他役職	(公社)愛知県宅地建物取引協会 理事 中部更生保護協会 評議員 公益財団法人 愛知腎臓財団推進委員			
ライオンズクラブ国際協会334-A地区 地区ガバナー 速水清明 殿				
私儀 2026-2029年度 ライオンズクラブ国際協会、国際理事候補者として立候補したく、本書面をもってクラブ推薦状を添え、届出いたします。 名古屋東山ライオンズクラブ				
				 

(立候補者届様式 1-2)

推 薦 状

氏 名 L. 濱 島 清 美

上記の者をライオンズクラブ国際協会 2026-2029 年度における
国際理事の候補者として推薦いたします。

2025 年 7 月 24 日

7 リジョン 3 ゾーン

名古屋東山ライオンズクラブ

会 長	菅 原 朗	
幹 事	後 藤 崇	
会 計	濱 島 清 美	

ライオンズクラブ国際協会 334-A 地区

地区ガバナー 速水 清朗 殿

公式訪問・周年行事

日程予定表

(2025年7月1日～2026年6月30日)

2025.7.1現在

公式訪問			周年行事				
公式訪問日	R・Z	ZC選出クラブ	実施期日	クラブ名	周年	開始時間	会場
8月 19日 (火)	2R1,2Z	豊橋、豊川	2025年				
22日 (金)	1R1Z	名古屋名城	10月 11日 (土)	豊田東名	50	17:00～	名鉄トヨタホテル
27日 (水)	1R2Z	名古屋ウエスト	24日 (金)	名古屋熱田	60	15:40-19:00	熱田神宮会館
9月 3日 (水)	8R2Z	吉良	11月 15日 (土)	名古屋緑	45	16:00-19:30	ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋
4日 (木)	5R2Z	知多	19日 (水)	名古屋名南	30	17:00-20:00	ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋
5日 (金)	3R1,2Z	一宮中、愛西	29日 (土)	美浜	60	未定	ピアシティ南知多
9日 (火)	4R2Z	愛知中央					
10日 (水)	6R1Z	江南					
11日 (木)	7R1,2,3Z	名古屋樟、名古屋シニア、名古屋東山					
12日 (金)	4R1Z	岡崎葵	2026年				
18日 (木)	5R1Z	南知多	2月 7日 (土)	刈谷	60	15:00-19:30	Dスクエア
18日 (木)	8R1Z	安城南	13日 (金)	名古屋葵	60	11:00-14:00	ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋
25日 (木)	6R2Z	春日井けやき	27日 (金)	武豊	50	未定	ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋
			3月 4日 (水)	名古屋東山	60	未定	名古屋東急ホテル
			12日 (木)	南知多	60	15:30-19:30	まるとは食堂旅館南知多豊浜本店
			19日 (木)	名古屋MJF	10	17:00-20:30	TIAD
			28日 (土)	愛知さくら	20	11:00～	ホテルインディゴ犬山有楽苑
			4月 11日 (土)	尾張旭	55	17:00-20:00	名古屋観光ホテル
			5月 16日 (土)	西尾東	50	15:00～	西尾コンベンションホール
				半田	65	未定	未定
				知多サザンシニア	15	未定	未定
				高浜	45	未定	未定

④ LCIF交付金について

クラブ名	事業名	実施時期	金額	交付金番号	申請	承認	最終報告	備考
334-A	名古屋大学小児科への医療機器の寄贈	2025年6月	\$10,052	MAT25844/334A	2/4	6/10		

⑤ 地区及びクラブシェアリング交付金について

クラブ名	事業名	実施時期	金額	交付金番号	申請	承認	最終報告	備考
岡崎	CN65周年記念事業「親子ふれあいコンサート」	2025年2月	\$9,447	DCG24388/334A	4/10	4/26	提出	
春日井けやき	ハザードマップ寄贈・設置事業	2024年10月	\$5,806	DCG24625/334A	6/11	6/19	終了	
名古屋名東	名東区役所掲示板設置計画	2024年10月	\$1,907	DCG24789/334A	8/8	8/31	提出	
知立	インクルーシブ器具設置	2024年11月	\$9,180	DCG24935/334A	9/12	10/9		
334-A	第3回全国特別支援学校フットサル大会全国大会	2024年6月	\$24,683	DCG25110/334A	6/13	4/17	終了	
豊田ルネッサンス	豊田市旭高原元気村へドウダンツツジ植樹	2025年4月	\$1,425	DCG25192/334A	10/9	11/2		
名古屋ウエスト	能登災害インスタントハウス寄贈	2025年1月	\$25,517	DCG25266/334A	10/16	11/27	提出	
名古屋中村	中村ふれあいフェスティバル	2025年2月	\$2,000	DCG25634/334A	11/20	2/5	提出	
一宮サウス	ヘアドネーションについての絵本の寄贈	2024年12月	\$196	DCG25267/334A	10/22	11/27	提出	
三好愛知	元プロ野球選手による軟式少年野球教室	2024年12月	\$4,818	DCG25264/334A	10/22	11/2	終了	
丹羽	CN45 丹羽郡中学生野球教室	2024年12月	\$3,442	DCG25265/334A	10/22	11/5	提出	
一宮サウス	一宮聾学校 夢と希望の卒業式	2025年2月	\$265	DCG25633/334A	12/20	2/5	提出	
春日井	子ども食堂支援	2025年3月	\$4,000	DCG26126/334A	2/17			
豊橋みなと	U9サッカー大会	2025年4月	\$508	DCG26128/334A	2/20		提出	
334-A	名古屋大学小児科への医療機器の寄贈	2025年6月	\$9,886	DCG26424/334A	3/12	4/24		
名古屋みなと	たのしくマナ防災2025	2025年5月	\$1,293	DCG26259/334A	3/12	4/19		
名古屋葵	みどり市民病院へ車椅子寄贈	2025年6月	\$3,232	DCG26260/334A	3/12	4/23		
豊田東名	福祉車両の寄贈	2025年4月	\$13,159	DCG26230/334A	3/12	4/19		
名古屋ウエスト	子供達と大相撲千を楽しむ会	2025年7月	\$4,635	DCG 26643/334A	6/6	6/17		
名古屋熱田	熱田七里の渡し体験衣装贈呈	2025年10月	\$4,640	DCG 26705/334A	6/23	7/12		
美浜	災害に備えるためのポータブル電源寄贈	2025年10月	\$10,025	DCG26791/334 A	7/2			
西尾東	西尾駅前講演時計台寄贈事業	2025年12月	\$7,740					

5. ライオンズクラブ解散について

7R3Z 愛知ひまわりライオンズクラブ	(2024年8月29日付)	国際大会解散処理完了)
8R1Z 刈谷衣浦ライオンズクラブ	(2025年3月29日付)	国際大会解散処理完了)
2R1Z 豊橋シニアライオンズクラブ	(2025年6月29日付)	国際大会解散処理完了)
4R2Z 豊田加茂ライオンズクラブ	(2025年6月29日付)	国際大会解散処理完了)

334-A 地区 2025年7月1日現在 102クラブ

6. エクステンション交付金について

新クラブに対して、キャビネットより30万円の交付金を支出いたします。

7. 逝去ライオンへの感謝状授与について

20年以上にわたりライオニズムの高揚にご尽力されたライオンが逝去された所属クラブから申請があった場合のみ地区ガバナー名にて感謝状を授与することができる。

○感謝状は送付しませんので、キャビネットまで取りに来ていただきますようお願いいたします。

8. 献眼・献腎 感謝状について

公益財団法人愛知県アイバンク協会 理事長名
献眼感謝状 地区ガバナー名 献腎感謝状 地区ガバナー名

キャビネットに連絡をお願いいたします。

9. キャビネット事務局夏季休暇のお知らせ

期 日 2025年8月13日(水)～16日(金)
土・日・祝日は従来通り休業です
緊急連絡先 キャビネット幹事 中野 正也
電 話 090-3255-7717

13. 年次大会に関して

3 3 4 複合地区
第 7 1 回年次大会代議員会日程・出席者数

◎期 日：2025年 5月18日(日)

◎場 所：名古屋市 名古屋マリオットアソシアホテル

◎出席代議員数： 870名
(※登録代議員数 971名)
(※大会式典登録者数 2,006名)

◎日 程：代議員登録受付 11:00～12:00
式典参加者登録受付 11:00～13:45
各種委員会 12:00～
代議員総会 13:00～13:45

3 3 4 複合地区第 7 1 回年次大会議事要録

日 時：2025年 5月18日(日)

場 所：名古屋市・名古屋マリオットアソシアホテル

■議事運営・資格証明委員会

本大会の議事の運営は、複合地区会則第6条5項に従い、ガバナー協議会において決定された「334複合地区第71回年次大会議事規則」によって行うことを確認した。

また、複合地区会則第6条3項および大会議事規則第2項に基づいて審査を行った結果、本大会の登録代議員971名のうち代議員登録受付時間内に受付をした870名が有資格者であり、本大会の成立することを確認した。

■決議委員会

議 案 1. 2023～2024年度(2023年7月1日～2024年6月30日)および2024～2025年度上半期(2024年7月1日～12月31日)の複合地区会計を報告の通り承認されたい。(資料1)

(ガバナー協議会議長提案)

【決 議】 報告の通り承認。

議 案 2. 2023～2024年度(2023年7月1日～2024年6月30日)および2024～2025年度上半期(2024年7月1日～12月31日)の一般社団法人日本ライオンズ会計を報告の通り承認されたい。(資料2)

(ガバナー協議会議長提案)

【決 議】 報告の通り承認。

議 案 3. 次年度複合地区スローガンを採択されたい。

「熱意と思いやりで We Serve MD334 はワンチーム」

(334-D地区提案)

<趣 旨>

複合地区内ライオンズクラブは熱意と思いやりをもって奉仕をし、融和協調を図って準地区の運営の円滑化をサポートします。

(334-D地区提案)

【決 議】 提案の通り決定。

議案 4. 複合地区会則第 11 条で規定される複合地区会費の改定について。

(ガバナー協議会議長提案)

<説明>

1996 年第 42 回複合地区大会において、複合地区会費を 160 円に改定（うち 20 円を日本ライオンズに納入）して以降、今日まで 28 年間にわたり、複合地区運営費は 140 円のままであった。

しかし、近年の物価上昇や、複合地区主催の研修・セミナーの重要性の高まりを踏まえ、財政基盤の強化と事業の質の向上を目的として、1 名あたり月額複合地区運営費を 300 円に改定したい。

また、複合地区会則第 11 条 3. (b) に規定されている日本ライオンズ賛助会費については、すでに第 3 回日本ライオンズ社員総会にて下記の通り改定が決定されている：

- ・ 2025～2026 年度：1 ヶ月 120 円
- ・ 2026～2027 年度以降：1 ヶ月 160 円

これに伴い、2025～2026 年度の 1 ヶ月あたりの複合地区会費は、

- ・ 複合地区運営費：300 円
- ・ 複合地区大会費：50 円
- ・ 日本ライオンズ賛助会費：120 円 合計 470 円となり、

2026～2027 年度以降は、

- ・ 複合地区運営費：300 円
- ・ 複合地区大会費：50 円
- ・ 日本ライオンズ賛助会費：160 円 合計 510 円となる。

なお、日本ライオンズ賛助会費の改定そのものは、日本ライオンズ社員総会において決定された事項である。しかし、複合地区会則第 11 条 3. (b) に金額が明記されているため、会則上の整合性を確保する観点から、その金額の表記を改正するものである。

【改正案】複合地区会則 第 11 条 3. (b)

(改正前)

(b) 複合地区会費のうち日本ライオンズ賛助会費、会費 1 名あたり 1 ヶ月 80 円はガバナー協議会が一般社団法人日本ライオンズに納入する。

(改正後案)

(b) 複合地区会費のうち日本ライオンズ賛助会費は、ガバナー協議会が一般社団法人日本ライオンズに納入するものとし、その金額は以下のとおりとする。

- ・ 2025 年 7 月 1 日～2026 年 6 月 30 日までの期間は、会員 1 名あたり 1 ヶ月 120 円
- ・ 2026 年 7 月 1 日以降は、会員 1 名あたり 1 ヶ月 160 円

本議案の決議は、今後いずれかの複合地区会費の再改定がなされるまで有効とする。

【決議】 提案の通り改定することを決定。

議案 5. 新入会員の複合地区会費一部免除について。

(ガバナー協議会議長提案)

<説明>

ライオンズ・インターナショナルが掲げるミッション 1.5 における会員拡大のため、新入会員の複合地区運営費と複合地区大会費を免除としたい。

期間は2025年7月1日～2027年6月30日までとし、その間に入会した会員が対象となる。

【決議】 提案の通り決定。

議案 6. 第72回複合地区年次大会開催地の選定について。

(ガバナー協議会議長提案)

<説明>

当複合地区の申し合わせに則り、次年度の第72回複合地区大会開催地は、334-C地区、静岡県・静岡市としたい。

【決議】 提案の通り決定。

334 複合地区資産一覧表

2024年 6月30日現在

借方		貸方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金	0	本 会 計	5,431,367
普通預金 みずほ銀行名古屋駅前支店 No. 3107666	3,661,799	次 月 以 降 繰 越 金	
小口預金 みずほ銀行名古屋駅前支店 No. 3107672	2,169,876	預 り 金	307,794
未収入金	120,280	未 払 金	212,794
敷 金 ナカモ不動産株式会社	6,000,000	敷 金	6,000,000
普通預金 北國銀行 浅野川支店 No. 24975	10,574,156	複合地区大会会計 次月以降繰越金	10,574,156
普通預金 福井信用金庫 鯖江営業部 No. 0244137	3,930,661	Y C E 会 計	830,661
普通預金 みずほ銀行名古屋駅前支店 No. 3107621	8,774,824	仮 受 金	3,100,000
		緊急援助資金 次月以降繰越金	8,774,824
普通預金 みずほ銀行名古屋駅前支店 No. 3118879	97,640	退職給与積立金 次月以降繰越金	97,640
定期預金 みずほ銀行名古屋駅前支店	11,438,801	運 営 準 備 金	11,438,801
合 計	46,768,037	合 計	46,768,037

【単位：円】



ライオンズクラブ国際協会334複合地区
ガバナー 榎 義 会

2023~2024年度 決算報告書
別紙の通り報告致します。
2024年 9月 5日

- 戸 祭 宏  ガバナー 協議会 議長
- 喜 多 友 也  ガバナー 協議会 会計
- 窪 田 力  管理委員長
- 浅 岡 大 輔  管理副委員長
- 山 田 実  管理委員
- 水 谷 幸 勉  管理委員
- 渡 邊 英 正  管理委員
- 田 中 俊 彦  管理委員
- 濱 島 清 美  会計監査委員
- 山 本 基 博  会計監査委員
- 太 田 厚 利  会計監査委員

別紙会計監査の結果正確であることを認めます。
2024年 9月 5日

收支計算書

自 2023年 7月 1日
至 2024年 6月 30日

2024年 6月 30日現在

貸借対照表

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
現金	0	次月以降繰越金	5,431,367
普通預金	3,661,799	預り金	307,794
小口預金	2,169,876	未払金	212,794
未収入金	120,280		
敷金	6,000,000	敷金	6,000,000
合計	11,951,955	合計	11,951,955

【単位:円】

普通預金：みずほ銀行 名古屋駅前支店 No. 3107656 ¥3,661,799
 小口預金：みずほ銀行 名古屋駅前支店 No. 3107672 ¥2,169,876
 敷金：ナカモ不動産株式会社 ¥6,000,000

未収入金：ガバナー協議会会場費 ¥120,280

預り金：厚生年金保険料事務職員本人負担・
 複合地区晩餐会追加分 ¥207,794
 ¥100,000

未払金：厚生保険料事業主負担 ¥212,794

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
会議費	669,634	複合地区費	23,257,780
旅費交通費	4,596,300	複合地区大会費	8,306,350
印刷費	212,080	日本ライオンズ賛助会費	13,050,240
頒布品印刷費	3,734,184	頒布品収入	3,565,250
通信費	480,504	雑収入	52,250
職員給与	9,332,327	前年度繰越金	5,232,531
法定福利費	1,448,956	運営準備金より繰り入れ	0
福利厚生費	10,782		
什器備品費	264,000		
事務用品費	740,516		
接待交際費	23,226		
IT費	620,750		
事務所費	4,248,939		
日本ライオンズ賛助会費	13,050,240		
複合地区大会費	8,306,350		
退職給与積立金	48,940		
雑費	245,306		
予備費	0		
次月以降繰越金	5,431,367		
合計	53,464,401	合計	53,464,401

【単位:円】

334複合地区予算執行計算書

自 2023年 7月 1日
至 2024年 6月 30日

収入の部

科目	予算	執行額	残額
複合地区費	22,680,000	23,257,780	▲ 577,780
複合地区大会費	8,100,000	8,306,350	▲ 206,350
(一) 日本ライオンズ奨励会費	12,960,000	13,050,240	▲ 90,240
頒布品収入	3,000,000	3,565,250	▲ 565,250
雑収入	50,000	52,250	▲ 2,250
前年度繰越金	5,232,531	5,232,531	0
運営準備金より繰り入れ	1,000,000	0	1,000,000
合計	53,022,531	53,464,401	▲ 441,870

【単位：円】

支出の部

科目	予算	執行額	残額
会議費	1,500,000	669,634	830,366
旅費交通費	6,500,000	4,596,300	1,903,700
印刷費	250,000	212,080	37,920
頒布品印刷費	3,400,000	3,734,184	▲ 334,184
通信費	600,000	480,504	119,496
職員給与	9,332,327	9,332,327	▲ 32,327
法定福利費	1,600,000	1,448,956	151,044
福利厚生費	100,000	10,782	89,218
什器備品費	500,000	264,000	236,000
事務用品費	600,000	740,516	▲ 140,516
接待交際費	800,000	23,226	776,774
IT費	850,000	620,750	229,250
事務所費	4,500,000	4,248,939	251,061
日本ライオンズ奨励会費	12,960,000	13,050,240	▲ 90,240
複合地区大会費	8,100,000	8,306,350	▲ 206,350
退職給付積立金	50,000	48,940	1,060
雑費	300,000	245,306	54,694
予備費	1,112,531	0	1,112,531
(小計)	53,022,531	48,033,034	4,989,497
次月以降繰越金	—	5,431,367	▲ 5,431,367
合計	53,022,531	53,464,401	▲ 441,870

【単位：円】

敷金御預り書

ライオンズクラブ国際協会334複合地区
第70回年次大会会計収支報告書

平成 29年 7月1日現在

下記の通りご報告いたします。

ライオンズクラブ国際協会 殿

2024年8月30日

〒450-0002
名古屋市中村区名駅三丁目17番34号
ナカモ不動産株式会社
代表取締役 杉本 邦彦
TEL:052-571-0006
FAX:052-571-0007

年次大会会長 小出 進
年次大会委員長 藤亦 一司
年次大会事務局会計 中西 祐



金 6,000,000円

《 御 預 り 内 訳 》

名古屋市中村区名駅2丁目4304東山ビル6階25.96坪における敷金として	6,000,000
---------------------------------------	-----------

本 敷金御預り書は、東山ビルの所有権移転に伴い、貸主側(乙)が変更となるため、借主側(甲)の申し出により、新たに作成しました。(平成3年2月28日発行分)

貸借対照表

資 産		負 債 の 部		2024年8月28日現在	
目 金	預 額	目 金	額	目 金	額
普通預金	10,574,156	次期大会繰越金	10,574,156		
合 計	10,574,156	合 計	10,574,156		

(注)普通預金 北國銀行 浅野川支店 (No.24975) 10,574,156円

ライオンズクラブ国際協会 334 複合地区
第70回年次大会会計収支報告書

◇ 収入の部

科目	摘要	予算	執行額	対予算執行率
前大会繰越金		9,287,000	9,287,766	100.01%
複合地区大会費		8,100,000	8,306,350	102.55%
大会登録料	5,000円×1481名	7,500,000	7,405,000	98.73%
晚餐会登録料	15,000円×252名	4,500,000	3,780,000	84.00%
雑収入	売店、出店料、補助金他	500,000	390,006	78.00%
合計		29,887,000	29,169,122	

(円)

◇ 支出の部

科目	摘要	予算	執行額	対予算執行率
総務部	弁当・飲み物代 大会議案書・報告書・印刷代 胸章・リボン・筆記用具等 国際理事、その他来賓接待費	4,050,000	2,410,469	59.52%
登録部	登録申込ソフトの製作、参加証の発送等 登録用紙、申込書・封筒・参加証・招待状等	850,000	84,000	9.88%
式典・代議員部	会場費	8,200,000	9,992,977	121.87%
晚餐会部	会場設営、登録書設営、演出企画、看板等 晚餐会料理、アトラクション等	4,700,000	4,853,550	103.27%
大会誌・広報部	大会案内パンフレット 印刷代 大会誌 印刷代、手つけ袋作製	3,000,000	1,162,150	38.74%
交通・救護部	交通案内看板、救護、ホテルへの移送等	500,000	60,500	12.10%
事務局	事務局関係費	1,700,000	31,320	1.84%
予備費		6,887,000	0	0.00%
次期繰越金		0	10,574,156	
合計		29,887,000	29,169,122	

(円)

ライオンズクラブ国際協会 334 複合地区
第70回年次大会 収入の部 内訳書

科目	摘要	決算額
複合地区大会費		8,306,350
大会登録料 5,000円	A地区	408名 2,040,000
	B地区	278名 1,390,000
	C地区	299名 1,495,000
	D地区	295名 1,475,000
	E地区	201名 1,005,000
	計 1481名	7,405,000
晚餐会登録料 15,000円	A地区	34名 510,000
	B地区	11名 165,000
	C地区	18名 270,000
	D地区	145名 2,175,000
	E地区	44名 660,000
	計 252名	3,780,000
雑収入	売店/店料	90,000
	金沢MICE促進事業費補助金	300,000
	預金利子	6
前年度繰越金		9,287,766
合計		29,169,122

334 植合地区 YCE 会計

貸借対照表

2024年6月30日現在		負債の部	
資産の部	金額	科目	金額
普通預金	3,980,661	次月以降繰越金	830,661
合計	3,980,661	仮受金	3,100,000
		合計	3,980,661

【単位：円】

普通預金：福井信用金庫 鯖江支店 No.0244137

¥3,980,661

仮受金：夏季キャンプ費用

A地区1,366,260円、B地区775,000円、C地区387,600円、
D地区387,600円、E地区193,750円

¥3,100,000

緊急援助資金

前年度繰越金 8,774,754 円

本年度収入の部

受け取り利息

70 円

本年度支出の部

0 円

収支計算書

2024年6月30日現在		収入の部	
支出の部	金額	科目	金額
雑費	3,081	収入	15
次月以降繰越金	830,661	前年度繰越金	833,727
合計	833,742	合計	833,742

【単位：円】

2024年6月30日現在高

8,774,824 円

緊急援助資金財産目録



ライオンズクラブ国際協会 334 植合地区ガハナー協議会 喜多友



ライオンズクラブ国際協会 334 植合地区 YCE 委員長 石本 雅之

2024年6月30日現在

種類	預入銀行	口座番号	金額	満期日
普通預金	みずほ銀行 名古屋駅前支店	No.3107621	8,774,824	
合計			8,774,824	

【単位：円】

複合地区運営準備金

前年度繰越金	11,438,618 円
本年度収入の部 受取利息	183 円
本年度支出の部	0 円
2024年 6月30日現在高	11,438,801 円

退職給与積立金

前年度繰越金	48,700 円
本年度 収入の部 本年度積立分	48,940 円
支出の部	0 円
2024年 6月30日現在高	97,640 円

退職給与積立金財産目録

2024年 6月30日現在

種類	預入銀行	口座番号	金額	満期日
普通預金	みずほ銀行 名古屋駅前支店	No.3118879	97,640	
合 計			97,640	

【単位:円】

運営準備金財産目録

2024年 6月30日現在

種類	預入銀行	口座番号	金額	満期日
定期預金	みずほ銀行 名古屋駅前支店	No.6805613	11,438,801	R.6.4.26
合 計			11,438,801	

【単位:円】



ライオンズクラブ国際協会334複合地区
ガバナー協議会

2024~2025年度 中間会計報告
別紙の通り報告致します。

2025年 2月 7日

- ガバナー協議会議長 喜多友一
- ガバナー協議会会計 丹羽浩康
- 管理委員長 田中俊彦
- 管理副委員長 阿部星児
- 管理委員 加藤友彦
- 管理委員 鈴木豊
- 管理委員 岩崎弥一
- 管理委員 小口恒樹
- 会計監査委員 濱島清美
- 会計監査委員 太田厚利
- 会計監査委員 小出進

334 複合地区資産一覧表

2024年 12月 31日現在

借方	貸方
科目	科目
目	目
金額	金額
現金	0
普通預金	本会計
みずほ銀行 名古屋駅前支店	次月以降繰越金
No. 3107656	3,754,761
小口預金	預り金
みずほ銀行 名古屋駅前支店	258,957
No. 3107672	
立替金	
39,000	
仮私金	
189,960	
敷金	次月度以降繰越金(敷金)
ナカモ不動産株式会社	6,000,000
みずほ銀行 名古屋駅前支店	横台地区大会計 次月以降繰越金
No. 3025749	4,029,740
普通預金	YCE 会計
福井信用金庫 朝江営業部	次月以降繰越金
No. 0244137	1,291,155
普通預金	
長野銀行 岡谷支店	3,630,000
No. 8829156	
普通預金	緊急援助資金
みずほ銀行 名古屋駅前支店	次月以降繰越金
No. 3107621	8,775,369
普通預金	退職給与積立金
みずほ銀行 名古屋駅前支店	次月以降繰越金
No. 3118879	97,645
定期預金	運営準備金
みずほ銀行 名古屋駅前支店	次月以降繰越金
No. 6805613	11,438,801
合計	合計
39,276,428	39,276,428

【単位:円】

別紙会計監査の結果正確であることを認めます。
2025年 2月 7日

2024—2025年度334複合地区 本会計

収支計算書

自 2024年 7月 1日
至 2024年12月 31日

貸借対照表

2024年 12月31日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
現金	0	次月以降繰越金	3,754,761
普通預金	1,544,217	預り金	258,957
小口預金	2,240,541		
立替金	39,000		
仮払金	189,960		
敷金	6,000,000	次月以降繰越金(敷金)	6,000,000
合計	10,013,718	合計	10,013,718

【単位:円】

普通預金：みずほ銀行 名古屋駅前支店 No. 3107656 ¥1,544,217
小口預金：みずほ銀行 名古屋駅前支店 No. 3107672 ¥2,240,541

立替金：パタヤフォーラム334複合地区晩餐会登録料 ¥39,000
仮払金：ガバナー協議会・委員会会場費 ¥189,960

預り金：厚生年金保険料事務職員本人負担 ¥258,957

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
会議費	458,067	複合地区費	11,283,160
旅費	2,988,570	複合地区大会費	4,029,700
印刷費	278,520	(←社日本ライオンズ賛助会費)	6,349,440
頒布品印刷費	0	頒布品収入	17,550
通信費	217,412	雑収入	.659
職員給与	5,282,678	前年度繰越金	5,431,367
法定福利費	453,317	運営準備金より繰り入れ	0
福利厚生費	0		
什器備用品費	192,000		
事務用品費	255,036		
接待交際費	500,000		
IT費	123,200		
事務所費	2,118,946		
(←社日本ライオンズ賛助会費)	6,349,440		
複合地区大会費	4,029,700		
退職給与積立金	0		
雑費	110,229		
予備費	0		
次月以降繰越金	3,754,761		
合計	27,111,876	合計	27,111,876

【単位:円】

334複合地区予算執行計算書

自 2024年 7月 1日
至 2024年 12月 31日

収入の部

科目	予算額	執行額	残額
複合地区費	22,512,000	11,283,160	11,228,840
複合地区大会費	8,040,000	4,029,700	4,010,300
(一)社日本ライオンズ運動会費	12,864,000	6,349,440	6,514,560
頒布品収入	2,450,000	17,550	2,432,450
雑収入	50,000	659	49,341
前年度繰越金	5,431,367	5,431,367	0
運営準備金より繰り入れ	2,000,000	0	2,000,000
合計	53,347,367	27,111,876	26,235,491

【単位:円】

支出の部

科目	予算額	執行額	残額
会議費	1,000,000	458,067	541,933
旅交通費	6,000,000	2,988,570	3,011,430
印刷費	300,000	278,520	21,480
頒布品印刷費	2,400,000	0	2,400,000
通信費	600,000	217,412	382,588
職員給与	11,600,000	5,282,678	6,317,322
法定福利費	1,700,000	453,317	1,246,683
福利厚生費	100,000	0	100,000
什器備品費	500,000	192,000	308,000
事務用品費	600,000	255,036	344,964
接待交際費	600,000	500,000	100,000
IT費	800,000	123,200	676,800
事務所費	4,500,000	2,118,946	2,381,054
(一)社日本ライオンズ運動会費	12,864,000	6,349,440	6,514,560
複合地区大会費	8,040,000	4,029,700	4,010,300
退職給与積立金	660,000	0	660,000
雑費	300,000	110,229	189,771
雑備費	783,367	0	783,367
(小計)	53,347,367	23,357,115	29,990,252
次月以降繰越金	—	3,754,761	▲ 3,754,761
合計	53,347,367	27,111,876	26,235,491

【単位:円】

ライオンズクラブ国際協会334複合地区

第71回年次大会会計 収支報告書

款金御預り書

平成29年 7月11日現在

ライオンズクラブ国際協会 殿

下記の通りお預かりいたしました。御礼申し上げます。
 〒430-0002
 名古屋市中村区名駅三丁目17番34号
 フカモ不動産株式会社
 代表取締役 杉本 邦彦
 TEL:052-571-0008
 FAX:052-571-0007

金 6,000,000円

《 御 預 り 内 訳 》

名古屋市中村区名駅2丁目430-4栗山ビル6階2F、9F層における敷金として 6,000,000

本、敷金御預り書は、栗山ビルの所有権移転に伴い、貸主側(乙)が変更となるため、借主側(甲)の申し出により、新たに作成しました。(平成30年2月28日発行分)

下記の通り報告いたします。
 2025年 2月 7日

年次大会会長 柴田 高志
 年次大会委員長 稲垣 清太郎
 年次大会事務局会計 松本 一男

貸借対照表

2024年12月31日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
普通預金(注)	4,029,740	1.2月末繰越金	4,029,740
合 計	4,029,740	合 計	4,029,740

(単位:円)

(注) 普通預金 : みずほ銀行 名古屋駅前支店 No. 3025749

ライオンズクラブ国際協会334複合地区
第71回年次大会収支報告書

2024年12月31日

収入の部

科目	摘要	予算	執行額
複合地区大会費	600円×13,400名	¥8,040,000	¥4,029,700
大会登録料	5,000円×2,300人	¥11,500,000	¥0
雑収入	祝儀、売店、出展料他	¥500,000	¥40
晚餐会登録料	20,000円×300名	¥6,000,000	¥0
第70回大会繰越金		¥10,574,156	¥0
合計		¥38,614,156	¥4,029,740

支出の部

科目	摘要	金額	執行額
総務部	弁当・飲み物代(1,900円×220名)	¥418,000	
	胸章、リボン、筆記用具等、来賓接待費	¥100,000	
交通・教	交通案内看板、教壇、ホテルへの移送等	¥200,000	
	会議、その他雑費	¥200,000	
登録部	小計	¥918,000	¥0
	登録申し込みソフトの改修	¥200,000	
	登録用紙・申込書・封筒・参加証・招待状等	¥150,000	
	会議、その他雑費	¥100,000	
式典・代議員部	小計	¥450,000	¥0
	会場費	¥7,878,850	
	会場設営、登壇所設営、演出企画、会場看板等	¥2,000,000	
	代議員会、その他雑費	¥1,100,000	
晩餐会	小計	¥10,778,850	¥0
	晩餐会料理、会場費等、アトラクション費	¥8,221,300	
大会誌・広報部	小計	¥8,221,300	¥0
	大会案内パンフレット		
	大会誌 印刷代、手揚げ袋作製	¥2,500,000	
	会議、その他雑費	¥100,000	
事務局	小計	¥2,600,000	¥0
	事務局関係費	¥1,200,000	
	会議費、通信費、事務消耗品費、その他雑費	¥2,570,000	
予備費	小計	¥3,770,000	¥0
		¥600,000	
第71回大会繰越金		¥9,278,005	¥0
合計		¥38,814,156	¥0

334複合地区YCE会計

貸借対照表

2024年12月31日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
普通預金	4,921,156	次月以降繰越金	830,208
仮払金	1,699,063	仮受金	8,030,000
現金	2,300,000		
合計	8,860,208	合計	8,860,208

【単位：円】

普通預金：梅井信用金庫 鶴江営業部 No.0244187

普通預金：長野銀行 岡谷支店 No.8629156

仮払金：

夏季キャンプ(雑込)：心・新幹線等交通関係費用1,124,000円・施設利用料134,123円・本番代278,540円・施設料4,000円・振込手数料8,300円

仮受金：

夏季キャンプ連絡会協力金250,000円(地区50,000円×5地区)
夏季キャンプ関係費用3,100,000円(A地区1,356,250円,B地区775,000円,C地区387,500円,D地区887,500円,E地区198,750円)
冬季キャンプ関係費用4,680,000円(A地区1,620,000円,B地区900,000円,C地区360,000円,D地区1,080,000円,E地区720,000円)

収支計算書

2024年12月31日現在

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
雑費	550	繰入金	97
次月以降繰越金	830,208	前年度繰越金	830,681
合計	830,758	合計	830,758

【単位：円】

ライオンズクラブ国際協会334複合地区ガバナー協議会会計 丹羽 浩廣

ライオンズクラブ国際協会334複合地区YCE委員長 中田 勇一

緊急援助資金

前年度繰越金	8,774,824 円
本年度収入の部	545 円
受け取り利息	
本年度支出の部	0 円

2024年 12月31日現在高

8,775,369 円

緊急援助資金財産目録

2024年 12月31日現在

種類	預入銀行	口座番号	金額	満期日
普通預金	みずほ銀行 名古屋駅前支店	No.3107621	8,775,369	
合計			8,775,369	

【単位：円】

退職給与積立金

前年度繰越金	97,640 円
本年度収入の部	0 円
本年度積立分	5 円
受取利息	5 円
支出の部	0 円

2024年 12月31日現在高

97,645 円

退職給与積立金財産目録

2024年 12月31日現在

種類	預入銀行	口座番号	金額	満期日
普通預金	みずほ銀行 名古屋駅前支店	No.3118879	97,645	
合計			97,645	

【単位：円】

複合地区運営準備金

前年度繰越金	11,438,801 円
本年度収入の部 受取利息	0 円
本年度支出の部	0 円
2024年 12月31日現在高	11,438,801 円

運営準備金財産目録

2024年 12月31日現

種類	預入銀行	口座番号	金額	満期日
定期預金	みずほ銀行 名古屋駅前支店	No.6805613	11,438,801	R.7.4.26
合計			11,438,801	

【単位:円】

I 貸借対照表
一般社団法人日本ライオンズ
2024年6月30日現在

科 目	(2023.6.30)		差異 (A-B)
	当年度末A	前年度末B	
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	0	0	0
銀行預金	354,526,414	343,884,787	10,641,627
郵便振替	9,732,384	9,357,143	375,241
未収入金	11,754,702	10,693,127	1,061,575
前払費用	59,800	0	59,800
雑布品	446,376	37,227	409,149
流動資産合計	376,519,676	363,972,284	12,547,392
2. 固定資産			
(1) 基本財産	0	0	0
(2) 特定資産	2,117,500	0	2,117,500
(3) その他の固定資産			
敷金	13,442,880	13,442,880	0
什器備品	3,588,154	4,036,576	△ 448,422
その他固定資産合計	17,031,034	17,479,456	△ 448,422
固定資産合計	19,148,534	17,479,456	1,669,078
資産合計	395,668,210	381,451,740	14,216,470
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	6,317,749	8,683,694	△ 2,365,945
アラート委員会預り金	4,433,206	6,848,404	△ 2,415,198
未払消費税	604,100	386,500	217,600
未払金	5,557,175	3,420,641	2,136,534
流動負債合計	16,912,230	19,339,239	△ 2,427,009
2. 固定負債	0	0	0
負債合計	16,912,230	19,339,239	△ 2,427,009
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	2,117,500	0	2,117,500
(うち特定資産への充当額)	(2,117,500)		(2,117,500)
2. 積立金	212,724,823	0	212,724,823
3. 一般正味財産	163,913,657	362,112,501	△ 198,198,844
正味財産合計	378,755,980	362,112,501	16,643,479
負債及び正味財産合計	395,668,210	381,451,740	14,216,470

(詳細はP3財産目録参照)

一般社団法人日本ライオンズ会計報告書

2023年7月1日～2024年6月30日の財政状況を下記のとおりご報告します。

2024年7月10日

一般社団法人日本ライオンズ 理事長

田名部 智之 

下記の会計報告は、監査の結果適正に表示されているものと認めます。

2024年7月10日

2023～2024年度日本ライオンズ会計監査委員

330複合地区監査委員

今井 文彦 

331複合地区監査委員

佐々木 忠康 

332複合地区監査委員

竹下 直義 

333複合地区監査委員

高橋 克文 

334複合地区監査委員

橋本 勝策 

335複合地区監査委員

神崎 守 

336複合地区監査委員

岡村 聖爾 

337複合地区監査委員

杉野 恭市 

日本ライオンズ・アラート委員会緊急支援金口座 特別会計

(1) 貸借対照表
2024年6月30日現在

借方	金額	貸方	金額
<流動資産計>	4,433,206	<流動負債計>	0
普通預金/三菱UFJ銀行・京橋支店 No. 024,0648024	4,433,206	預り金	0
口座名義「一般社団法人日本ライオンズ」		未払金	0
<固定資産計>	0	<固定負債計>	0
合計	4,433,206	次期繰越金	4,433,206
		合計	4,433,206

一般社団法人日本ライオンズ会計報告書

2024年7月1日～2024年12月31日の財政状況を下記のとおりご報告します。

2025年2月20日

一般社団法人日本ライオンズ 理事長



松浦 淳一

(2) 収支計算書

自 2024年7月1日
至 2024年6月30日

支出の部	金額	収入の部	金額
<支出計>	3,040,470	<収入計>	7,473,676
2022年度未払金、7/31振込 2019年度台風19号被災者支援金留分 支払手数料	660	前期繰越金	6,848,404
2024年1月能登半島地震支援 アラート活動のペースとしてユニットハウス設置 福地中地区・神田地区(中野区) 300,000 森本地区(株) (ネット)代、設置費) 1,100,000 (株) 水産運輸 (ネット)分運搬費) 137,500 (株) 水産運輸 (ネット)分送料、費用等) 1,500,000 振込手数料	3,037,500	受取利息	59
	2,310	NR336から岡山77-174-174-174緊急受取	625,213
次期繰越金	4,433,206		
合計	7,473,676	合計	7,473,676

下記の会計報告は、監査の結果適正に表示されているものと認めます。

2025年2月20日

2024-2025年度日本ライオンズ会計監査委員

330複合地区監査委員

今井 文彦



中村 全博

331複合地区監査委員

332複合地区監査委員

下間 俊悦



石橋 貞

333複合地区監査委員

334複合地区監査委員

藤井 大川



小林 聡

335複合地区監査委員

336複合地区監査委員

山崎 勝彦



乗田 泰

337複合地区監査委員

2024～2025年度

334複合地区年次報告

(第71回334複合地区年次大会)

年次報告

334複合地区ガバナー協議会
議長 喜多友一



2024年6月21日～25日にかけて豪州・メルボルンにおいて第106回国際大会にてブラジルのL・ファブリシオ・オリベイラが2024～2025年度国際会長として誕生しました。

国際会長テーマ「足跡(そくせき)をしるす」との会長メッセージを掲げ、私たちはふれあう人の心に、奉仕する地域社会に、そして共に分かち合う世界へと足跡をしるしています。

国際会長テーマのもと「ニーズにこたえるライオンズクラブ(感謝でかえよう複合地区から)」のスローガンを掲げ、5人のガバナーとともに一致団結して、初めての複合地区ゾーン・チェアパーソン研修会、複合地区次期ゾーン・チェアパーソン研修会、複合地区次期キャビネット幹事研修会、複合地区LCIP認定者、FDI修了者のミーティング(勉強会)などのセミナーを開催し、また例年同様に複合地区第1・第2副地区ガバナー研修、複合地区次世代リーダー研修会も開催して参りました。

これからのライオンズクラブのリーダーとしての活動の手助けが少しでも出来ればと願い、5人のガバナーの協力のおかげで開催できましたこと心より感謝申し上げます。

議長として国際会長公式訪問、LCIF理事長公式訪問。タイ・パタヤでのオセアルフォーラムに参加させて頂きました。

また名古屋市で開催された公益財団法人日本ライオンズ主催の知的障害者によるフットサル全国大会など多くの事業に参加させて頂き素晴らしい経験をさせて頂きました。

国際会長テーマ「足跡(そくせき)をしるす」のもと複合地区においても足跡(そくせき)を残せたと思っております。

しかしながら能登半島地震の復興が進むなか九月の豪雨災害がありました。当複合地区のアラート委員会ははじめ多くのメンバーが支援活動を行っています。ライオンズクラブの素晴らしさを感じました。

議長としても一つ、一般社団法人日本ライオンズへ出向し、副理事長として334複合地区の代表として参加し毎月の執行理事会、理事会、年4回の社員総会に参加し意見を述べさせて頂きました。

8複合地区での理事会は大変でしたが貴重な経験をさせていただき、責任ある立場に立たせていただき自分が成長できたことに心より感謝しております。

最後になりますが議長として貴重な経験をさせていただきました。

この1年間を支えて頂きました5人のガバナーの皆さま、顧問の皆さま、管理委員会をはじめとする各委員会を運営して頂いた委員長、委員の皆さまのご努力に対して、深く感謝申し上げます。そして今年度複合地区ガバナー協議会の運営にお力添え頂きましたすべての皆様に心から感謝申し上げます、議長年次報告と致します。

総 括 表

◇大会, 会議, 研修セミナー, 委員会開催状況

◀ 大会関係 ▶

・第106回国際大会	2024年 6月21日～25日	豪州・メルボルン
・第61回東洋東南アジアフォーラム	2024年11月14日～17日	タイ・パタヤ
・第71回複合地区年次大会	2025年 5月18日	名古屋市
・第107回国際大会	2025年 7月13日～17日	米国・オーランド

◀ 会 議 ▶

○定例ガバナー協議会 / ガバナー協議会報告会

・第1回	2024年 7月12日	名古屋市
・第2回	2024年10月16日	名古屋市
・第3回	2025年 1月21日	名古屋市
・第4回	2025年 4月10日	名古屋市

○臨時ガバナー協議会

・第1回	2024年 8月 6日	Web会議
・第2回	2024年 9月 3日	Web会議
・第3回	2024年 9月30日	Web会議
・第4回	2024年10月11日	Web会議
・第5回	2024年12月17日	名古屋市
・第6回	2025年 5月17日	名古屋市

○ガバナー候補者予備会議

2025年 4月10日	名古屋市
-------------	------

○一般社団法人日本ライオンズ会議

・新・旧執行理事会	2024年 7月11日	東 京
・準備理事会	2024年 7月11日	東 京
・第1回社員総会 (全国ガバナー会)	2024年 8月 1日	名古屋市
・第1回執行理事会	2024年 8月 6日	Web会議
・第1回理事会	2024年 8月30日	札幌市
・第2回執行理事会	2024年 9月11日	Web会議
・第2回理事会	2024年 9月23日	名古屋市
・第3回執行理事会	2024年10月11日	Web会議
・第1回臨時執行理事会	2024年10月31日	岡山市
・第3回理事会	2024年10月31日	岡山市
・第4回執行理事会	2024年11月 8日	Web会議
・第2回臨時執行理事会	2024年11月25日	大阪市
・第4回理事会	2024年11月25日	大阪市
・第5回理事会	2024年12月12日	東 京
・第2回社員総会 (全国ガバナー会)	2024年12月12日	東 京
・第5回執行理事会	2025年 1月 9日	Web会議
・第3回臨時執行理事会	2025年 1月23日	東 京
・第6回理事会	2025年 1月23日	東 京
・第6回執行理事会	2025年 2月 4日	Web会議
・第7回理事会	2025年 2月12日	長崎市

・第7回執行理事会	2025年 3月 5日	Web会議
・第8回理事会	2025年 3月12日	東京
・第3回社員総会(全国ガバナー会)	2025年 3月12日	東京
・第8回執行理事会	2025年 4月 3日	Web会議
・第9回理事会	2025年 4月15日	姫路市
・現議長・次期議長予定者打ち合わせ会	2025年 5月 8日	東京
・第9回執行理事会	2025年 5月15日	Web会議
・第10回理事会	2025年 6月 4日	仙台市
・第11回理事会	2025年 6月25日	東京
・第4回社員総会(全国ガバナー会)	2025年 6月25日	東京
・最終理事会	2025年 7月 2日	岩見沢市

《 国際役員公式訪問 》

・パティ・ヒルLCIF理事長公式訪問	2024年 9月24日	名古屋市
・ファブリシオ・オリヴェイラ国際会長公式訪問	2024年11月26日	大阪市
・A.P. シン国際第一副会長 /サンギータ女性・若者特別委員会委員長との懇談会	2024年12月14日	東京

《 研修セミナー 》

・複合地区LCIP認定者・FDI修了者勉強会	2024年 9月 9日	名古屋市
・複合地区第1副地区ガバナー研修会	2024年11月28日	名古屋市
・複合地区第2副地区ガバナー研修会	2024年12月 9日	名古屋市
・複合地区ゾーン・チェアパーソン研修会	2024年 9月16日	名古屋市
・複合地区次期ゾーン・チェアパーソン研修会	2025年 3月 3日～ 4日	名古屋市
・複合地区次期キャビネット幹事研修会	2025年 3月28日	名古屋市
・複合地区次世代リーダー研究会	2025年 4月16日～17日	名古屋市
・全日本第1副地区ガバナー研修会	2024年10月 8日～10日	名古屋市
・全日本第2副地区ガバナー研修会	2024年12月 1日～ 3日	名古屋市
・(LCIP)ライオンズ講師認定プログラム(国際協会)	2024年11月 1日～ 4日	タイ・バンコク
・(FDI)講師育成研究会(国際協会)	2025年 2月 7日～ 9日	マレーシア クアラルンプール

《 複合地区各委員会開催状況 》 (2025年6月まで予定含む)

・管理委員会	4回開催
・会則委員会	5回開催
・YCE委員会	7回開催
・国際大会委員会	6回開催
・LCIF委員会	5回開催
・会員増強委員会(GMT)	5回開催
・指導力育成委員会(GLT)	5回開催
・奉仕事業委員会(GST)	4回開催
・家族及び女性委員会(FWT)	4回開催
・ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会	2回開催
・マーケティング委員会	3回開催
・アラート委員会	4回開催
・(公財)日本ライオンズ委員会	2回開催

◇334複合地区の現況

《エクステンション (2025年3月末現在)》

地区	期首クラブ数	結 成	解 散	計 (クラブ)	支部数
A	105	1	2	104	21
B	70	1	0	71	2
C	69	0	0	69	4
D	90	0	0	90	1
E	46	0	0	46	5
計	380	2	2	380	33

《会員増強 (2025年3月末現在)》

地区	期首会員数	入 会	退 会	計 (名)	女性会員数	二人目以降 家族会員	学生会員
A	4,960	432	267	5,125	1,544	1,344	46
B	3,314	185	136	3,363	798	800	0
C	2,751	145	125	2,771	356	228	0
D	4,218	232	154	4,296	1,147	1,004	0
E	2,077	132	69	2,140	585	470	0
計	17,320	1,126	751	17,695	4,430	3,846	46

《レオクラブ (2025年3月末現在)》

地区	レオクラブ	
	クラブ数	会員数
A	2	22
B	2	58
C	0	0
D	5	1,148
E	10	216
計	19	1,444

《YCE受け入れ・派遣 (2024年冬・2025年夏)》

地区	受 入 (名)		派 遣 (名)	
	冬	夏	冬	夏
A	8	5	9	8
B	4	3	1	3
C	1	7	0	7
D	4	2	3	5
E	3	4	3	3
計	20	21	16	26

《アクティビティの実績 (2024年7月～2025年3月末現在)》

地区	金銭奉仕(件)	労力奉仕(件)	計 (件)	金 額 (円)	労力時間(h)
A	1,365	698	2,063	252,277,408	27,322.8
B	2,561	955	3,516	125,148,849	18,227.4
C	1,225	813	2,038	103,353,357	22,674.3
D	2,418	1,015	3,433	119,478,788	31,236.0
E	1,810	654	2,464	83,292,821	20,879.8
計	9,379	4,135	13,514	683,551,223	89,104.3

《LCIF寄付金(2024年7月～2025年3月末現在)》

地区	MJF(口)	金額(\$)	合計(円換算)
A	721	943,598.00	139,517,334
B	204	317,988.00	47,359,664
C	156	284,435.51	43,095,491
D	189	301,662.00	45,944,329
E	149	297,873.29	45,367,294
計	1,419	2,145,556.80	321,284,112

1000%MJF達成:名古屋MJFクラブ

《LCIF交付金・交付金申請(2024年4月～2025年3末日現在)》

○地区およびクラブシェアリング交付金

地区	事業名	交付金額(\$)
A	親子ふれあいコンサート(CN65周年記念事業)	9,447
	ハザードマップ寄贈・設置事業	5,806
	第3回全国特別支援学校フットサル大会	24,683
	防犯ブザーの寄贈	2,465
	バス停留所にベンチの寄贈	10,322
	インクルーシブ器具設置事業	9,179
	名東区役所掲示板設置計画	1,906
	豊田市旭高原元気村 ドウダンツツジの植樹	1,424
	能登震災インスタントハウス寄付	25,517
	ヘッドネーションについての絵本の寄贈	196
	元プロ野球選手による軟式野球教室	4,818
	CN45 丹羽郡中学生野球教室	3,442
	夢と希望の卒業式(豊学校設立70周年記念事業)	265
	中村ふれあいフェスティバル	2,000
	子ども食堂支援	4,000
	第5回豊橋みなとライオンズクラブU9サッカー大会	508
	名古屋大学小児科への医療機器寄贈	9,886
	一般社団法人DRCT『たのしくマナ防災』2025	1,293
	CN50周年記念事業 福祉車両の寄贈	13,159
	CN60周年記念アクティビティ「みどり市民病院へ車椅子寄贈」	3,232
B	クラブ結成60周年記念青少年健全育成事業	11,354
	土岐市防災活動者支援事業	5,427
	プロスポーツとのふれあい	2,000
	こころもからだも温まる～地域とつながる豚汁ふるまい	700
	第17回中学生吹奏楽フェスティバル	700
	音楽でつながる青少年“夢の祭典”	1,500
C	生活困窮者への食糧支援	800
	富士宮市内 史跡・観光案内モニター設置事業	10,000
	CN65周年記念事業 沼津アルプス案内看板設置	6,427
D	小児がん啓発活動	4,500
	第55回金沢市中学生耐寒錬成大会	2,996
	クラブ結成65周年 舟津公園トイレの回収	302
	未来の地域を支える青少年育成支援事業(プロジェクトの寄贈)	6,626
	がんばろう石川 大関「大の里」少年相撲教室	5,090
	能登の子供たちの心をあたためる活動	4,003

E	気化放熱式涼風扇風機の寄贈	9,033
	グレートサンタラン事業	5,000
	第50回長野ライオンズ旗争奪信越選抜少年公式野球大会	2,000
	ハロウィン子ども食堂	3,000
	ライオンズ旗争奪 児童ドッジボール大会	4,000
	結成50周年記念事業 ダンスフェスティバル	8,550
	「地球のステージ」	3,300
	床ずれ(褥瘡)防止枕 制作・配布	2,000
	青少年育成の照明寄贈事業	3,800
計		236,656

○その他の交付金・交付金申請

地区	部門	事業名	交付金額(\$)
A	人道主義 マッチング	名古屋大学小児科への医療機器の寄贈	10,052
B	ライオンズクエスト	ライオンズクエスト拡大事業	19,222

《 献眼・献腎・献血・骨髄移植推進 (2024年7月～2025年3月末日現在) 》

地区	献眼(名)		献腎(名)		骨髄(名)		献血(※ポイント)		
	登録者数	献眼者数	献腎者数	登録者数	提供者数	200ml	400ml	成分	合計
A	22	0	0	3	0	335	24,702	5,865	30,902
B	10	0	0	58	0	306	18,272	11,975	30,553
C	490	47	0	0	0	323	11,720	3,015	15,058
D	31	0	0	42	1	795	29,920	18,235	48,950
E	492	1	0	0	0	49	16,726	5,855	22,630
計	1,045	48	0	103	0	1,808	101,340	44,945	148,093

※200ml: 1ポイント、400ml: 2ポイント、成分: 5ポイントで算出

ライオンズクラブ国際協会 334-A 地区 第 71 回年次大会 代議員総会

日 時 2025 年 4 月 19 日 (土) 13 時 45 分～14 時 30 分

場 所 ロワジールホテル豊橋 ホリディ・ホール

出席者 (大会議事運営構成員)

大会議長	地区ガバナー	L 柴田 高志
大会顧問	元国際理事 地区名誉顧問	L 栢森 新治
大会顧問	元国際理事 地区名誉顧問	L 竹内 淳一
大会顧問	元 LCIF 理事 地区名誉顧問	L 鈴木 誓男
大会顧問	地区名誉顧問会議長 前地区ガバナー	L 木野村 好己
大会副議長	第一副地区ガバナー	L 速水 晴朗
大会副議長	第二副地区ガバナー	L 中村 宗雄
大会顧問	地区名誉顧問 元地区ガバナー	L 岩田 有司
大会顧問	地区名誉顧問 元地区ガバナー	L 大山 恭範
大会顧問	地区名誉顧問 元地区ガバナー	L 藤井 大川
大会顧問	地区名誉顧問 元地区ガバナー	L 根岸 昭雄
大会顧問	地区名誉顧問 元地区ガバナー	L 濱島 清美
大会顧問	地区名誉顧問 元地区ガバナー	L 野村 善弘
大会顧問	地区名誉顧問 元地区ガバナー	L 加藤 史典
大会顧問	地区名誉顧問 元地区ガバナー	L 杉浦 均
大会顧問	地区名誉顧問 元地区ガバナー	L 榎本 舜治
大会顧問	地区名誉顧問 元地区ガバナー	L 青木 重臣
大会顧問	地区名誉顧問 元地区ガバナー	L 稲垣 清明
大会顧問	地区名誉顧問 元地区ガバナー	L 曾我 一義
指名選挙委員長		L 山田 実
決議委員長	2R1Z ゾーンチェアパーソン	L 橋本 久美
大会幹事	キャビネット幹事 議事運営委員長	L 阿部 星児
他	各クラブ選出代議員各位	
合 計	313 名	
司会進行	大会幹事 議事運営委員長	L 阿部 星児
書 記	キャビネット副幹事	L 小田 裕慈

次 第

1. 開演の挨拶	大会幹事	L 阿部 星児
2. 開会宣言及びゴング	議 長	L 柴田 高志
3. 議長挨拶	議 長	L 柴田 高志

4. 大会議事運営構成員紹介	大会幹事	L 阿部 星児
5. 資格審査報告	議 長	L 柴田 高志
6. 指名選挙委員長報告	指名選挙委員長	L 山田 実
7. 決議委員会提出議案	決議委員長	L 橋本 久美
8. 議案審議	議 長	L 柴田 高志
9. 議決内容の確認	議 長	L 柴田 高志
10. 今年度設立された支部の紹介	大会幹事	L 阿部 星児
11. 指名選挙委員会 結果報告	指名選挙委員長	L 山田 実
12. 次期地区ガバナー・次期第一副地区ガバナー・次期第二副地区ガバナー紹介	議 長	L 柴田 高志
13. 次年度地区年次大会開催地発表	指名選挙委員長	L 山田 実
14. 閉会ゴング	議 長	L 柴田 高志

報告事項及び審議事項の要点

5. 資格審査報告

- ・資格審査委員会にて各クラブ会長の署名のある代議員資格証明書を確認。本日代議員証を付けておられる各ライオンは、全て代議員の有資格者であると確認出来た。
- ・本大会の登録代議員数は 354 名で本日出席代議員数は 313 名。よって、本大会は適法に成立していることを報告する。
- ・L 阿部幹事は、大会記念誌 P29 記載の大会議事規則に則って議事進行する旨の了承を得る。

6. 指名選挙委員長報告

- ・立候補締め切りまでに次期地区ガバナー候補には、L 速水晴朗。名古屋中村 LC 所属。次期第一副地区ガバナー候補には、L 中村宗雄。半田 LC 所属。次期第二副地区ガバナー候補には、L 松下靖典。刈谷 LC 所属。それぞれ各 1 名の届出があり、他は無し。現在、その選挙事務が進行中で結果は後で発表する。

7. 決議委員会提出議案

- ・今大会提出議案は大会記念誌 P31 に記載の議案のみであり、他はなく、決議委員会にて、議案 1 から議案 6 を本会議に上程する旨を承認した。

8. 議案審議

議案① 前年度会計決算報告承認の件

前年度キャビネット会計 L 前田 朗

- ・前年度の貸借対照表、収支報告書、334-A 地区第 70 回年次大会の貸借対照表、334-A 地区第 70 回年次大会の収支報告書（大会記念誌 P40～43 記載）はそれぞれ紙面での報告とする。

・監査報告

前年度地区会計監査委員 L 野川 澄二

正確かつ適正であると報告。

- ・拍手をもって承認された。

③ 豊橋LC 名古屋プライム支部

④ 豊橋LC 豊橋ワルツ支部

・以上、4支部が紹介され、それぞれの代表が挨拶された。

11. 指名選挙委員会 結果報告

・本日の出席代議員数 313 名、有効投票数 305 名。

・開票結果 次期地区ガバナー候補者 L 速水晴朗

次期第一副地区ガバナー候補者 L 中村宗雄

次期第二副地区ガバナー候補者 L 松下靖典

・それぞれ過半数超えの圧倒的多数にて選出された。

12. 議長 L 柴田高志より選出された 3 名を紹介された。

13. L 山田実より、次年度の地区年次大会開催地は名古屋市。ホストクラブは 1R・7R
31 クラブに決定したと報告された。

以 上

3 3 4 - A地区
第 7 1 回年次大会報告書
中間活動報告

第 71 回年次大会・資格審査委員会 報告書

日 時 2025 年 4 月 19 日 (土) 12 時 20 分～12 時 30 分

場 所 ロワジールホテル豊橋 菊藤の間

出席者	委員長	柴田 高志	地区ガバナー (大会議長)
	大会幹事	阿部 星児	キャビネット幹事
	副委員長	速水 清朗	第一副地区ガバナー (大会副議長)
		中村 宗雄	第二副地区ガバナー (大会副議長)
		星野 隆輝	キャビネット会計 (大会会計)
	委 員	成田 春二 (豊田加茂 LC)・白谷 康裕 (安城南 LC) 他	
		副幹事 10 名、副会計 1 名	
		合計 18 名	
	司会進行	池田 力	書記 小田 裕慈

1. 開会挨拶及び定足数発表 池田 力
本会の定足数を確認。定足数を満たしており、本会議の成立を報告した。
2. 委員長挨拶 柴田 高志
3. 資格審査
資格審査委員全員で「代議員資格証明書」を厳密に調査、確認。
4. 委員長結果発表 柴田 高志
審査の結果、登録代議員数は 354 名であり、354 名全員が代議員資格を有していることを確認したと発表。
5. 閉会挨拶 池田 力

第 71 回年次大会・議事運営委員会 報告書

日 時 2025 年 4 月 19 日 (土) 12 時 30 分～12 時 40 分

場 所 ロワジールホテル豊橋 菊藤の間

出席者	大会議長	柴田 高志	地区ガバナー
	委員長	阿部 星児	キャビネット幹事
	副委員長	速水 清朗	第一副地区ガバナー (大会副議長)
		中村 宗雄	第二副地区ガバナー (大会副議長)
		星野 隆輝	キャビネット会計 (大会会計)
	委 員	成田 春二 (豊田加茂 LC)・白谷 康裕 (安城南 LC) 他	
		副幹事 10 名、副会計 1 名	
		合計 18 名	
	司会進行	池田 力	書記 小田 裕慈

1. 開会挨拶及び定足数発表

池田 力

本会の定足数を確認。定足数を満たしており、本会議の成立を発表した。

2. 委員長挨拶及び審議

阿部 星児

- ・本大会の議事運営は、本年 3 月 17 日開催の第 4 回キャビネット会議にて承認されている。
- ・大会記念誌 31 ページに記載の議案を、30 ページの議事運営構成表に記載の構成員により、29 ページの議事規則に沿って審議する旨を発表し、賛同を求めた。
- ・拍手多数をもって承認された。
- ・その結果、この件を代議員総会で審議すると発表した。

3. 閉会挨拶

池田 力

第71回年次大会・決議委員会 報告書

日時 2025年4月19日(土) 13時00分～13時20分

場所 ロワジールホテル豊橋 桜の間

出席者	大会議長	柴田 高志	地区ガバナー
	委員長	橋本 久美	2R1Z ゾーンチェアパーソン
	副委員長	速水 清朗	第一副地区ガバナー (大会副議長)
		中村 宗雄	第二副地区ガバナー (大会副議長)
		阿部 星児	キャビネット幹事 (大会幹事)
		星野 隆輝	キャビネット会計 (大会会計)
		天野 公道	2R2Z ゾーンチェアパーソン
		三浦 一広	4R1Z ゾーンチェアパーソン
		加藤 英一	4R2Z ゾーンチェアパーソン
		松下 靖典	8R1Z ゾーンチェアパーソン
		江坂 文孝	8R2Z ゾーンチェアパーソン
	委員	コーディネーター5名、ゾーンチェアパーソン11名、委員長12名、副幹事10名、副会計1名、前年度キャビネット会計1名、地区会計監査委員2名、前年度会計監査委員2名。	
	顧問	18名	
	合計	73名	
	司会進行	阿部 星児	書記 小田 裕慈

1. 開会挨拶及び定足数発表 阿部 星児

本会の定足数を確認。定足数を満たしており、本会議の成立を報告した。

2. 委員長挨拶 橋本 久美

3. 審議 橋本 久美

本大会の提出議案は各クラブに通知されている。大会記念誌31ページに記載の議案だけであり、それ以外は無。よって、当指名委員会にて議案1から議案3を、決議委員会にて議案1から議案6までを、代議員総会へ上程することの了承を求めた。拍手多数をもって承認された。

4. 閉会挨拶 阿部 星児

第 71 回年次大会・代議員総会

日 時 2025 年 4 月 19 日 (土) 13 時 45 分～14 時 30 分

場 所 ロワジールホテル豊橋 ホリディ・ホール

出席者 (大会議事運営構成員)

大会議長	地区ガバナー	L 柴田 高志
大会顧問	元国際理事 地区名誉顧問	L 栢森 新治
大会顧問	元国際理事 地区名誉顧問	L 竹内 淳一
大会顧問	元 LCIF 理事 地区名誉顧問	L 鈴木 誓男
大会顧問	地区名誉顧問会議長 前地区ガバナー	L 木野村 好己
大会副議長	第一副地区ガバナー	L 速水 晴朗
大会副議長	第二副地区ガバナー	L 中村 宗雄
大会顧問	地区名誉顧問 元地区ガバナー	L 岩田 有司
大会顧問	地区名誉顧問 元地区ガバナー	L 大山 恭範
大会顧問	地区名誉顧問 元地区ガバナー	L 藤井 大川
大会顧問	地区名誉顧問 元地区ガバナー	L 根岸 昭雄
大会顧問	地区名誉顧問 元地区ガバナー	L 濱島 清美
大会顧問	地区名誉顧問 元地区ガバナー	L 野村 善弘
大会顧問	地区名誉顧問 元地区ガバナー	L 加藤 史典
大会顧問	地区名誉顧問 元地区ガバナー	L 杉浦 均
大会顧問	地区名誉顧問 元地区ガバナー	L 榎本 舜治
大会顧問	地区名誉顧問 元地区ガバナー	L 青木 重臣
大会顧問	地区名誉顧問 元地区ガバナー	L 稲垣 清明
大会顧問	地区名誉顧問 元地区ガバナー	L 曾我 一義
指名選挙委員長		L 山田 実
決議委員長	2R1Z ゾーンチェアパーソン	L 橋本 久美
大会幹事	キャビネット幹事 議事運営委員長	L 阿部 星児
他	各クラブ選出代議員各位	
合 計	313 名	
司会進行	大会幹事 議事運営委員長	L 阿部 星児
書 記	キャビネット副幹事	L 小田 裕慈

次 第

1. 開演の挨拶	大会幹事	L 阿部 星児
2. 開会宣言及びゴング	議 長	L 柴田 高志
3. 議長挨拶	議 長	L 柴田 高志

4. 大会議事運営構成員紹介	大会幹事	L 阿部 星児
5. 資格審査報告	議 長	L 柴田 高志
6. 指名選挙委員長報告	指名選挙委員長	L 山田 実
7. 決議委員会提出議案	決議委員長	L 橋本 久美
8. 議案審議	議 長	L 柴田 高志
9. 議決内容の確認	議 長	L 柴田 高志
10. 今年度設立された支部の紹介	大会幹事	L 阿部 星児
11. 指名選挙委員会 結果報告	指名選挙委員長	L 山田 実
12. 次期地区ガバナー・次期第一副地区ガバナー・次期第二副地区ガバナー紹介	議 長	L 柴田 高志
13. 次年度地区年次大会開催地発表	指名選挙委員長	L 山田 実
14. 閉会ゴング	議 長	L 柴田 高志

報告事項及び審議事項の要点

5. 資格審査報告

- ・資格審査委員会にて各クラブ会長の署名のある代議員資格証明書を確認。本日代議員証を付けておられる各ライオンは、全て代議員の有資格者であると確認出来た。
- ・本大会の登録代議員数は 354 名で本日出席代議員数は 313 名。よって、本大会は適法に成立していることを報告する。
- ・L 阿部幹事は、大会記念誌 P29 記載の大会議事規則に則って議事進行する旨の了承を得る。

6. 指名選挙委員長報告

- ・立候補締め切りまでに次期地区ガバナー候補には、L 速水晴朗。名古屋中村 LC 所属。次期第一副地区ガバナー候補には、L 中村宗雄。半田 LC 所属。次期第二副地区ガバナー候補には、L 松下靖典。刈谷 LC 所属。それぞれ各 1 名の届出があり、他は無し。現在、その選挙事務が進行中で結果は後で発表する。

7. 決議委員会提出議案

- ・今大会提出議案は大会記念誌 P31 に記載の議案のみであり、他はなく、決議委員会にて、議案 1 から議案 6 を本会議に上程する旨を承認した。

8. 議案審議

- 議案① 前年度会計決算報告承認の件 前年度キャビネット会計 L 前田 朗
- ・前年度の貸借対照表、収支報告書、334-A 地区第 70 回年次大会の貸借対照表、334-A 地区第 70 回年次大会の収支報告書（大会記念誌 P40～43 記載）はそれぞれ紙面での報告とする。
 - ・監査報告 前年度地区会計監査委員 L 野川 澄二
- 正確かつ適正であると報告。
- ・拍手をもって承認された。

議案② 地区会計中間報告承認の件

キャビネット会計

L星野 隆輝

・2024/7/1～2024/12/31 までの貸借対照表、収支報告書（大会記念誌 P44～45 記載）はそれぞれ紙面での報告とする。

・監査報告

地区会計監査委員

L豊田 邦彦

正確かつ適正であると報告。

・安城南 LC の L 白谷康裕より、貸借対照表の「次年度以降繰越金」の次年度という標記を一月以降に変更の方がより良いのではとの問い合わせ。

・キャビネット会計の L 星野隆輝より精査の上、後日報告すると回答し、承諾された。

・会計報告内容は拍手をもって承認された。

議案③ 「特典会員、並びに二人目以降の家族会員・学生会員・レオ会員・若年成人会員に該当する正会員の地区費・地区大会費を免除されたい」の件

・議長より会員増強目的等の提案理由の説明。施行日は 2025 年 5 月 1 日であると報告。

・拍手をもって承認された。

議案④ 「新入会員の地区費・地区大会費の免除の件」

・議長よりミッション 1.5 における会員拡大のためと、提案理由の説明。

・拍手をもって承認された。

議案⑤ 「スペシャリティクラブにおける地区費及び地区大会費を半額とする承認を求める件」

・提案理由は経済的負担の軽減とスペシャリティクラブの結成と発展を促進するためである。

・スペシャリティクラブの条件は、

△クラブ会員の共通の関心事を専門分野としていること。

△地区ガバナーとの面談で設立意義等の説明をし、キャビネット会議においてスペシャリティクラブであることが承認されること。の二点である。

・拍手をもって承認された。

議案⑥ 次年度アクティビティスローガンの件

・名古屋中村 LC の L 井口邦会長より『動けば変わる！We Serve』を提案。

・L 井口邦会長より提案理由を説明。

・拍手をもって承認された。

9. 議決内容の確認

・議案①から⑥までの 6 案全て原案通り承認された。

10. 今年度設立された支部の紹介

① 名古屋本丸 LC 愛知名古屋モンゴル支部

② 春日井中央 LC 春日井中央クリエイト支部

③ 豊橋 LC 名古屋プライム支部

④ 豊橋 LC 豊橋ワルツ支部

・以上、4支部が紹介され、それぞれの代表が挨拶された。

11. 指名選挙委員会 結果報告

・本日の出席代議員数 313 名、有効投票数 305 名。

・開票結果 次期地区ガバナー候補者 L 速水晴朗

次期第一副地区ガバナー候補者 L 中村宗雄

次期第二副地区ガバナー候補者 L 松下靖典

・それぞれ過半数超えの圧倒的多数にて選出された。

12. 議長 L 柴田高志より選出された 3 名を紹介された。

13. L 山田実より、次年度の地区年次大会開催地は名古屋市。ホストクラブは 1R・7R
31 クラブに決定したと報告された。

以 上

◇ライオンズクラブ国際協会 334-A 地区 第 71 回年次大会 大会式典 報告

日 時 2025 年 4 月 19 日 (土) 14 時 50 分～17 時 00 分

場 所 ロワジールホテル豊橋 ホリディ・ホール

・開会

キャビネット副幹事の L 日向 雅樹と天野なな実様の司会進行にて開会した。

大会役員・来賓の入場の後、地区名誉顧問のご紹介をした。

・オープニングパフォーマンス

次に、豊橋市在住の書道家であり、世界的にご活躍されている浜野 龍峰先生による書道パフォーマンスでオープニングを飾った。

・開会宣言

地区ガバナー L 柴田高志より開会宣言がなされた。

・物故ライオン追悼

2024 年 3 月 1 日～2025 年 2 月 28 日の間にご逝去された 45 名の物故ライオンに黙祷を捧げた。

・ご挨拶

片桐逸司地区年次大会委員長より歓迎のご挨拶があった。

・ご祝辞・祝電披露

豊橋市長 長坂 尚登様よりご祝辞をいただいた。

続いて、地区名誉顧問 L 鈴木誓男よりご祝辞をいただいた。

・祝電披露

国際理事 L 濱野雅司からの祝電を読み上げ、他の祝電についてはホワイエに掲示をする旨のアナウンスがあった。

・ローア

ゾーン・チェアパーソン全員によるライオンズローアの発声があった。

・年次報告

地区ガバナー L 柴田高志より年次報告があった。代議員総会において提出されたすべての議案が承認されたことに加え、奉仕事業活性化委員会およびクラブ満足度向上委員会の活動紹介、会員拡大の進捗、新クラブおよび新支部結成の状況についての報告が行われた。最後に、地区役員ならびに地区内全会員に対する謝意が述べられ、今後も目標達成に向けて、引き続きのご尽力とご指導をお願いしたい旨の言葉があった。

- ・書道作品披露

浜野先生による作品「寶」の披露と解説があった。

- ・アワード表彰

国際会長賞、国際会長リーダーシップ賞、顕彰 PMJF の授与があった。

- ・334-A 地区年次表彰

会員増強賞、LCIF 賞、地区ガバナー特別賞、ありがとう賞、輝いたで賞、事業活性化賞、満足度向上賞、エクステンション賞、支部設立賞、合同アクティビティ賞、ガバナースペシャル賞、ガバナーグランプリ賞の授与があった。

- ・平和ポスター最優秀賞

国際平和ポスターコンテストのガバナー最優秀賞の授与があった。一宮市立萩原中学校 1 年生の有馬侏人さんが登壇し、柴田高志地区ガバナーより賞状と盾を贈呈された。

- ・ご祝辞

ご公務で遅れて到着された愛知県知事 大村 秀章様よりご祝辞をいただいた。

- ・新クラブ紹介

豊橋中 LC L 近藤資浩より田原藤通 LC 設立の説明があった。その後、田原藤通 LC 会長 L 川上博康よりご挨拶があり、本クラブは災害支援に特化したクラブであり、能登半島を中心に災害支援活動を行っていくとのお話があった。柴田高志地区ガバナーよりガバナーバッジの贈呈があった。

- ・地区ガバナーエレクト発表

指名選挙委員長 L 山田実より、第一副地区ガバナー L 速水清朗が地区ガバナーエレクトに選出されたと発表があった。

- ・地区ガバナーエレクト・役員 入場

速水ガバナーエレクト・令夫人、次期キャビネット役員が登壇し、柴田高志地区ガバナー

より地区ガバナーエレクトの紹介があった。続いて司会より次期第一副地区ガバナー L 中村宗雄、次期第二副地区ガバナー L 松下靖典、次期キャビネット幹事 L 中野正也、次期キャビネット会計 L 吉川 敦の紹介があった。

・花束贈呈

ガバナーエレクト令夫人 L 速水久美代より地区ガバナー令夫人 L 柴田芳子に一年間の労いとして花束贈呈があった。続いて、地区ガバナー令夫人 L 柴田芳子よりガバナーエレクト令夫人 L 速水久美代に一年間お体に留意してくださいと花束贈呈があった。

・地区ガバナーエレクトご挨拶

地区ガバナーエレクト L 速水清朗よりガバナーという大役を責任持って務めていきたいとのご挨拶があった。

・次期地区年次大会ホストクラブの発表

次期地区年次大会ホストクラブは1リジョン・7リジョン・計31クラブとの発表があった。続いて、名古屋中村ライオンズクラブ次期会長 L 小山雅也より第72回年次大会は2026年4月18日(土)岡谷鋼機名古屋公会堂にて開催するとの発表があった。多くのご参加をお待ちしておりますとのご挨拶があった。

・ライオンズローア

地区ガバナー L 柴田高志、キャビネット幹事 L 阿部星児、キャビネット会計 L 星野隆輝、地区年次大会委員長 L 片桐逸司が登壇し、柴田高志地区ガバナーよりローアの発声があり、式典を締めくくった。

<大会式典の動画>

<https://www.youtube.com/watch?v=4WndtjZhbh0>

◇ライオンズクラブ国際協会 334-A 地区 第 71 回年次大会 ガバナー晩餐会報告

日 時 2025 年 4 月 19 日 (土) 18 時 00 分～20 時 20 分

場 所 ロワジールホテル豊橋 ホリデイ・ホール

- ・開宴挨拶
- ・地区ガバナー挨拶
- ・ウィサーブ
- ・食事・歓談 タンゴクワトロ演奏
- ・アトラクション ものまねショー
- ・また会う日まで 合唱
- ・ライオンズローア
- ・閉宴挨拶

<ガバナー晩餐会の動画>

<https://www.youtube.com/watch?v=gD240jwxGaM>

14. コーディネーター/
ゾーン・チェアパーソン/
地区委員長の活動計画表

2025～2026 地区 GLT 事業計画 (案)

地区 GLT コーディネーター 谷 典芳

リーダーシップ委員長 西村 努

1, 計画

① 若手リーダー育成研修会

2025年10月7日(火) 13:00～17:00 T K P名古屋栄カンファレンスセンター

予定 17:30～19:30 懇親会 ガーデンパレスホテル

10月8日(水) 9:00～16:00 T K P名古屋栄カンファレンスセンター

※対象者 ゾーンチェアパーソンならびに各ゾーンから2名以上

(今後各クラブのリーダーとしての活躍を期待される若手のメンバー)

② 公認ガイディングライオン養成講座

2025年10月20日(月) 9:00～17:00 ウィンクあいち 1007会議室

※対象者 新クラブ結成もしくは会員数減少等の課題を抱えたクラブのメンバー

③ 第1回新会員セミナー

2025年11月10日(月) 13:00～17:00 ウィンクあいち 1102会議室

※対象者 各クラブに入会されてから未受講のメンバー

④ 中堅会員セミナー

2026年2月2日(月) 13:00～17:00 T K P名古屋栄カンファレンスセンター

※対象者 第二副会長、次期クラブ幹事予定者、

将来の会長候補者でライオン歴5年以上の方

⑤ 第2回新会員セミナー

2026年2月16日(月) 13:00～17:00 ウィンクあいち 1102会議室

※対象者 各クラブに入会されてから未受講のメンバー

ライオンズクラブ国際協会 334-A 地区

地区会員増強委員会活動計画（案）

(2025.7-2026.6)

地区 GMT コーディネーター	L 大藪伸康	丹羽 LC
地区会員増強委員長	L 犬飼将清	弥富 LC
キャビネット副幹事	L 中野康孝	名古屋中村 LC
地区会員増強副委員長 (GMT エリアリーダー)	L 都築 実	名古屋ウエスト LC
	L 中澤雅美	名古屋中村 LC
	L 若山哲史	名古屋千種 LC
	L 西野美奈	名古屋名東 LC
	L 近藤資浩	豊橋中 LC
	L 石川光昭	岡崎南 LC
	L 喜多山裕史	刈谷 LC
	L 佐藤由紀	刈谷 LC
	L 杉山幸紀夫	一宮 LC
	L 吉江有希子	一宮 LC
	L 佐藤精一	愛西 LC
	L 久米宏和	半田 LC
	L 新郷孝廣	東海 LC
	L 村瀬太一	春日井中央 LC

1. 活動計画(基本方針)

ガバナー基本方針に沿った活動計画を目標とする。

【目標:新会員 600 名入会 年間純増 300 名】

純増とは:新会員-退会者=純増

ガバナー基本方針として『会員拡大』と『退会防止』を掲げ、具体的目標として年間純増300名各クラブが必ず純増する取組みを機軸とする。年間純増会員については、地区 GMT 委員会としては正会員・家族会員・女性正会員の純増を目指し、地区 GET コーディネーターL 野村政司(新クラブ結成で正会員、新支部結成で支部会員、学生会員)と連携し、人と人との関わり合いからの会員拡大、アクティビティからの会員拡大を促し、会員の純増を目指すことで一致している。

また、退会防止への取組みも大切な“鍵”と捉えクラブの活性化、クラブ満足度向上と魅力ある奉仕活動の展開を進めることにより、改めて自分たちのクラブを見直してもらい、クラブ分析の状況を会員に感じてもらい、334-A 地区におけるガバナー方針の達成の為、積極的に取り組んでいく。(退会防止マニュアルの活用)

2. 組織図

ライオンズクラブ国際協会334-A 地区会員増強(GMT)委員会



活動計画の実行メンバーの組織図を示す。

地区 GMT コーディネーターL 大藪伸康、会員増強委員長 L 犬飼将清を筆頭に、今年度は、新たに女性エリアリーダー3 名を加えて女性会員の増強、334-A 地区を 3 地区(名古屋・三河・尾張)に区分し、14 名のエリアリーダーと共に GMT の目標達成に向けて行動を行う。

【GMT スローガン】

やめない！ やめさせない！ つぶさない！

3. 活動方法

① 会員増強の啓発活動

地区の各クラブ会長に対し、会員増強のための目標設定を依頼し、会員増強に係る経過報告を ZC が参加するガバナー諮問委員会(年 4 回)に、エリアリーダーを中心に 2 名以上で参加し啓発活動を実施する。

【内容】

- ・各クラブの目標人数・新会員の入会数 ・退会者数 ・声掛け人数などの把握(別紙参照)
- ・各クラブ内に会員増強チームの設置(意図を説明)
- ・各クラブの平均年齢を把握して頂き、平均年齢を下げる会員増強
- ・各クラブ内にいる元気印の発掘
- ・会員増強例会の開催(会員増強に関する講師派遣依頼について)

必要に応じて会員増強委員長 L 犬飼将清、GMT エリアリーダーは ZC と共にクラブ会長に会員増強の取組み依頼を行う。

② 退会防止の啓発活動

12 月末、6 月末に退会者が増加する傾向にあるため退会防止と会員増強への取組み依頼文章を送信する。(退会防止マニュアル)その際に、会員増強目標に対する現状を把握できる書面にする。

③ 会員増強セミナー

目的

クラブの持続可能な安定的に運営をするためには会員数を維持拡大することが絶対に必要である。クラブの現状を把握するとともに、クラブの満足度向上、事業活性化、会員増強に向けた取組みの必要性について理解する。

開催日時:令和 8 年 4 月 20 日(月) 9:00~12:00

開催場所:ウインクあいち 小ホール 1

参加者:各クラブ次年度会長及び ZC



地区名	334A-	R-	Z
クラブ名			
会長名			
記入日	令和	年	月 日

現時点での会員拡大状況は？

私たちのクラブの目標人数は__名です。

現時点で、私たちのクラブでは__名の会員が入会しました。

現時点で、私たちのクラブでは退会者が__名です。

現時点で、私たちのクラブでは__名に声掛けしました。

※該当箇所を○で囲んでください。

私たちのクラブでは“会員増強チーム”は？ ①あります。 ②作ります。 ③検討中。 ④作りません。

私たちのクラブでは、“クラブパンフレット”は？ ①あります。 ②作ります。 ③検討中。 ④作りません。

私たちのクラブでは“支部を結成”は？ ①あります。 ②作ります。 ③検討中。 ④作りません。

会議終了までにご提出ください。

R	Z	ク	ラ	ブ	名	人数目標数	追加目標数	声のかけ数	増強チーム編成	パンフレット作成	交際録作成	備考
1		名	古	屋	屋	2人	1人	10人	検討中	検討中	検討中	
2		名	古	屋	城	3人	2人	5人	検討中	検討中	検討中	
3		名	古	屋	名	1人	0人	4人	検討中	検討中	検討中	
4		名	古	屋	城	2人	0人	5人	検討中	検討中	検討中	
5	1	名	古	屋	北	10人	3人	30人	検討中	検討中	検討中	
6		名	古	屋	栄	5人	0人	50人	検討中	検討中	検討中	
7		名	古	屋	川	6人	0人	33人	検討中	検討中	検討中	
		名	古	屋	ア	29人	6人	137人	検討中	検討中	検討中	
		小	計			5人	1人	15人	検討中	検討中	検討中	
8	1	名	古	屋	エ	5人	0人	10人	検討中	検討中	検討中	
9		名	古	屋	太	2人	0人	4人	検討中	検討中	検討中	
10		名	古	屋	閣	20人	2人	40人	検討中	検討中	検討中	
11		名	古	屋	中	10人	1人	20人	検討中	検討中	検討中	
12	2	名	古	屋	徳	5人	0人	5人	検討中	検討中	検討中	
13		名	古	屋	村	10人	1人	20人	検討中	検討中	検討中	
14		名	古	屋	本	5人	0人	5人	検討中	検討中	検討中	
		名	古	屋	丸	0人	0人	0人	検討中	検討中	検討中	
		名	古	屋	シ	47人	4人	120人	検討中	検討中	検討中	
		名	古	屋	テ	2人	1人	5人	検討中	検討中	検討中	
		名	古	屋	イ	0人	0人	0人	検討中	検討中	検討中	
		名	古	屋	J	5人	1人	10人	検討中	検討中	検討中	
		名	古	屋	F	0人	0人	0人	検討中	検討中	検討中	
		名	古	屋	ア	4人	4人	12人	検討中	検討中	検討中	
		小	計			2人	1人	5人	検討中	検討中	検討中	
15		豊	橋	南	橋	5人	0人	20人	検討中	検討中	検討中	
16		豊	橋	の	南	3人	2人	10人	検討中	検討中	検討中	
17		Aichi	穂	国	西	5人	0人	50人	検討中	検討中	検討中	
18		豊	橋	な	と	6人	0人	100人	検討中	検討中	検討中	
19	1	豊	橋	み	北	3人	1人	10人	検討中	検討中	検討中	
20		豊	橋	橋	中	5人	2人	60人	検討中	検討中	検討中	
21		豊	橋	ち	ぎ	1人	1人	20人	検討中	検討中	検討中	
22	2	田	原	藤	通	20人	0人	300人	検討中	検討中	検討中	
23		小	計			54人	7人	575人	検討中	検討中	検討中	
24		新	城	2人	0人	2人	0人	10人	検討中	検討中	検討中	
25		新	郡	3人	0人	3人	0人	10人	検討中	検討中	検討中	
26	2	豊	川	3人	0人	3人	0人	10人	検討中	検討中	検討中	
27		豊	中	3人	1人	3人	1人	7人	検討中	検討中	検討中	
28		蒲	マ	3人	1人	3人	1人	10人	検討中	検討中	検討中	
		小	計			16人	2人	57人	検討中	検討中	検討中	
29		一	宮	15人	5人	15人	5人	100人	検討中	検討中	検討中	
30		一	サ	3人	2人	3人	2人	15人	検討中	検討中	検討中	
31		一	宮	3人	0人	3人	0人	15人	検討中	検討中	検討中	
32	1	稲	沢	2人	0人	2人	0人	6人	検討中	検討中	検討中	
33		一	宮	1人	1人	1人	1人	30人	検討中	検討中	検討中	
34		稲	沢	3人	0人	3人	0人	10人	検討中	検討中	検討中	
35	3	愛	知	27人	8人	27人	8人	176人	検討中	検討中	検討中	
		小	計			3人	1人	30人	検討中	検討中	検討中	
36		津	島	1人	1人	1人	1人	100人	検討中	検討中	検討中	
37		蟹	江	1人	1人	1人	1人	100人	検討中	検討中	検討中	
38	2	弥	富	10人	0人	10人	0人	10人	検討中	検討中	検討中	
39		海	部	10人	0人	10人	0人	10人	検討中	検討中	検討中	
40		愛	西	5人	0人	5人	0人	20人	検討中	検討中	検討中	
		小	計			29人	2人	161人	検討中	検討中	検討中	
41		岡	崎	5人	0人	5人	0人	15人	検討中	検討中	検討中	
42		岡	南	10人	3人	10人	3人	30人	検討中	検討中	検討中	
43		幸	田	2人	0人	2人	0人	10人	検討中	検討中	検討中	
44	1	岡	電	2人	0人	2人	0人	20人	検討中	検討中	検討中	
45		岡	城	2人	0人	2人	0人	75人	検討中	検討中	検討中	
46		岡	フ	3人	0人	3人	0人	150人	検討中	検討中	検討中	
		小	計			22人	3人	150人	検討中	検討中	検討中	
47		豊	田	3人	1人	3人	1人	100人	検討中	検討中	検討中	
48		三	知	5人	0人	5人	0人	30人	検討中	検討中	検討中	
49		豊	南	10人	2人	10人	2人	30人	検討中	検討中	検討中	
50	2	豊	東	4人	1人	4人	1人	10人	検討中	検討中	検討中	
51		豊	中	3人	0人	3人	0人	10人	検討中	検討中	検討中	
52		豊	中	3人	0人	3人	0人	10人	検討中	検討中	検討中	

2025-2026 地区 GST・奉仕事業活動計画（案）

地区 GST コーディネーター 倉知清和
奉仕事業活性化委員長 兼子伸幸

ミッション 1.5 を支える地区の奉仕活動を開発・実行・報告する！

1. 「思いやりは大切なこと」奉仕アワードの推薦

‘新たなアクティビティを創造しよう！！’

毎年、この栄えある賞は、ライオンズのグローバル重点分野のいずれかで特に優れた奉仕事業を行った一握りのライオンズクラブとレオクラブに授与されます。クラブレベルで推薦が行われる本アワードは、地域社会を住みよい場所にするため極めて革新的でユニークな奉仕事業を企画するようライオンズとレオに呼びかけるものです。

【アワード審査対象基準】

- ・ライオンズ・インターナショナルのグローバル重点分野（小児がん、糖尿病、災害援助、環境保全、人道支援、食料支援、視力保護、青少年支援）のいずれか少なくとも一つのニーズを満たす
- ・独創性と革新力を発揮する
- ・大きなインパクトと長期的な持続可能性を持つ
- ・ライオンズ・インターナショナルの価値を用いて有意義な体験を構築し、ライオンズブランドとの関係やつながりを生み出す（「ライオンズのイメージアップ」と同義）

本アワードの審査対象となるには、事業を企画して報告することがカギです！

2. “CBC テレビ遊び防災フェス”

ライオンズクラブ国際協会 334A 地区が特別協賛としてコラボ！

「ライオンズクラブの想いを伝え、つながるきっかけをこのイベントで！」

日時：2025年8月23日（土）・24日（日）10：00～17：00

会場：栄オアシス 21（名古屋市）

予算：正会員 3000 円

企業協賛も受け付けます。

備考：余剰金は、LCIF などへ全額寄付いたします。

【目 的】

- ・ライオンズクラブの認知度向上と新規会員獲得の契機とする。
- ・若年層に社会奉仕活動の価値を伝え、参加意思を高める。
- ・ライオンズクラブの世界・国・地域の幅広い活動を知ってもらうきっかけを創る
- ・学生ボランティア団体の活動を広く紹介し、活動参加を増加させる。
- ・地域住民とライオンズメンバー、学生が一体となり、新しい形の地域交流を創出する。
- ・支部活動推進



概 要

3. 活動を伝えよう！知ってもらおう！

マーケティング委員会と連携し、アクティビティカレンダー、ホームページ、SNS（X・Facebook・instagram・YouTubeなど）を推進する



アクティビティカレンダー

4. 地域が必要としている奉仕活動を掘り起こしリジョン・ゾーン合同による奉仕活動を推奨する
奉仕活動事例が表記されている 334A 地区アクティビティカレンダーを活用

5. プロウォーキングの更なる事業拡大

地域を巻き込み合同で開催することを推奨しライオンズ活動の PR を行う

★334-A 地区合同プロウォーキング “東海道五十三次 ゴミ拾いプロジェクト 2026”

ライオンズクラブの地域貢献活動、PR の一環として東海道五十三次 愛知県下の宿場 9 か所{（二川宿（豊橋市）・吉田宿（豊橋市）・御油宿（豊川市）・赤坂宿（豊川市）・藤川宿（岡崎市）・岡崎宿（岡崎市）・池鯉鮒宿（知立市）・鳴海宿（名古屋市緑区）・宮宿（名古屋市熱田区）}総距離約 78 kmを中心に各ゾーンで分担し、日時を決め一斉に周辺のゴミ拾いをする

さらに自治体、ボランティア団体などの協力を得て地域を巻き込みイベント化することも模索する

◎開催日は 2026 年 3 月中旬を予定

東海道を皆で一斉に又、地域を巻き込みクリーン作戦を行いましょう！

6. 自立支援ホーム・児童養護施設就業支援事業

・家庭環境に恵まれなかった子らに職業体験を通じて人間関係を学び自立の切っ掛けをつくり就業支援を行う

・ライオンズメンバー企業エントリーシート作成

※徒歩・自転車・公共交通機関で通う為、近隣企業に協力が必要不可欠

・合同例会で卓話の実施

※卓話希望クラブを募集

※下記の QR コードから地域の施設をご確認ください



女性及び若手会員（WYPT）委員会活動予定（案）

女性及び若手会員（WYPT）委員会
コーディネーター三尾友貴美
委員長 森 里香

<無料塾>教育格差の解消

経済的な理由で学習機会に恵まれない子どもたちに対し、無償で学習支援を行います。これにより、教育の機会均等を図り、子どもたちが望む進路や職業を選択できるよう支援します。

ライオンズクラブの皆様は、塾が行えるスペースを無償でお貸し頂きたいです。

※週1回～2回 3時間程度

※ボランティアはこちらで探します

※334 - A 地区の現在の塾数 3か所

場所をお貸し頂ける方ご連絡ください

<学生会員>次世代リーダーの育成

学生会員は、未来のライオンズメンバーです。若い時から地域貢献やボランティアの経験をすることで、責任感やリーダーシップを身につけます。また、各クラブに学生が加わることにより新しい視点や活気が生まれます。学生にとってはボランティア経験が進学や就職にプラスになることもあります。

※334 - A 地区の現在の学生会員数 46名

※会費 国際会費の半額 25ドル 4000円弱

大学や専門学校をご存じの方ご連絡ください

<女性クラブの結成>多様性の促進

育児や介護など、ライフスタイルに対応できる活動や方法を柔軟に設定した新クラブの結成を行いたいです。

<継続事業>3ヶ月に一度報告書提出

- ① ヘアドネーション
- ② 引き出しに眠る外貨の活用
- ③ 子供のみらい古本募金

問合せ先

ライオンズクラブ国際協会 334 - A 地区 WYPT コーディネーター
三尾友貴美 (090-2349-6803)

地区GET活動計画

地区GETコーディネーター

野村 政司

グローバル・エクステンション・チーム (GET)

成長するという使命のもとに

ミッション1.5 (ワン・ポイント・ファイブ・ミリオン)は ライオンズが地域社会の増え続けるニーズに より良い形で応え これまで以上に多くの人に奉仕を届けられるよう世界中で会員数150万人を達成しようという取り組みです。

ミッション1.5 (2027年6月30日まで継続) ○成果は2027年7月1日算出

- ・奉仕力が増す
- ・多様性とインクルージョンを拡大する
- ・地域でも世界でも 変化の声を上げやすくなる
- ・会員の特典が増える
- ・あらゆるレベルのライオンズが強化される

○目標新クラブ結成 3クラブ

(従来型のクラブ スペシャルティクラブ 企業内クラブ)

- ・新クラブ結成に取り組む
- ・クラブ結成出来そうな場所探す 特定する
- ・新しいコミュニティや奉仕が行き届いていない地域

2025-2026年 岡崎オーワライオンズクラブ 結成

2024-2025年 田原藤通ライオンズクラブ 結成

2023-2024年 名古屋フロンティアの介護ライオンズクラブ 結成

○目標 クラブ支部結成 17クラブ支部

(各ゾーンに 最低1 クラブ支部を結成する)

- ・クラブ支部を通じて クラブはその奉仕のインパクトを拡大し より多くの人々に奉仕できるようになる
- ・クラブのリーダーの層が拡大すると同時に リーダーに就任して指導力ら養う機会が増える
- ・親クラブのビジョンを拡大すると同時に 人々の認識 参加 ライオンズクラブとの関係性を高める為に役立つ
- ・クラブの親睦深まり クラブに多様性が生まれる

2023-2024年 13支部 (8クラブ支部結成)

2024-2025年 23支部 (9クラブ支部結成)

○ミッション1.5地区会議 (ZOOM)

- ・毎月 ゾーン・チェアパーソンより現状報告

新しいライオンズクラブを結成することは 奉仕の力なり

活 動 計 画

公益財団法人日本ライオンズ
地区委員長 野村 政司

名 称 公益財団法人 日本ライオンズ
設 立 2020年5月12日
所 在 地 〒104-0031 東京都中央区京橋 1-2-4 八重洲ノリオビル5階
理 事 長 小野寺 眞悟
事業目的 様々な奉仕活動及び人道支援を通じて社会的弱者及び生活困窮者に対する救済・支援、並びに青少年の健全な育成に関する事業を行い、地域社会及び日本国民の利益の増進を図るとともに、世界平和及び国際相互理解の促進に寄与することを目的とする。

事業内容 (1) 全国特別支援学校フットサル大会の開催事業
全国の特別支援学校に通う生徒たちへ向けたフットサル大会の開催及び運営
(2) 児童養護施設での寺子屋事業
児童養護施設運営支援及び、子どもたちに対する学習支援員の派遣
(3) 被災地の子どもへの支援
自然災害等にあった子どもたちに寄り添う具体的な支援

◇第4回全国特別支援学校フットサル大会 東海地区大会

日 程 2025年7月31日(木)
開会式 9時30分～
競技会 10時～
表彰式・閉会式 15時～

会 場 愛知県名古屋市立笹島小学校・中学校 体育館

参加校 17校

東海地区代表 愛知県立名古屋聾学校

◇第4回全国特別支援学校フットサル大会 全国大会

日 程 2025年10月31日(金) 開会式
2025年11月 1日(土) 競技会 表彰式 閉会式

開催地 東京 会 場 武蔵野の森 総合スポーツプラザ サブアリーナ

ゾーン・チェアパーソン 年間活動計画

1 R 1 Z 氏名 平 湯 芳 裕

◇会員拡大について (クラブ別目標数とゾーン目標合計数)

○1R1Z 会員拡大目標数目標 24 名

○各クラブの目標

・名古屋 LC 4 名 ・名古屋名城 LC 3 名 ・名古屋中 LC 1 名
・名古屋城北 LC 2 名 ・名古屋栄 LC 5 名 ・名古屋堀川 LC 3 名
・名古屋フロンティア LC 6 名

○各クラブ戦略 (例えば、会員拡大例会、会員拡大チーム作り、家族会員、学生会員等)

・名古屋 LC ➡ 会員の声掛けによる会員獲得。
・名古屋フロンティア LC ➡ 会員増強委員会チームの設立・名古屋栄 LC の L 岩田に準会員としてかかわって頂き、新入会員戦略についてご指導頂く。

◇クラブ支部・新クラブ結成について

新クラブ結成 ➡ 現在のところございません。

クラブ支部 ➡ 現在のところございません。

◇LCIF 目標寄付額について (クラブ別目標数とゾーン目標合計数を記入)

○1R1Z 目標寄付額 US\$ 13,800

○各クラブの目標寄付額

・名古屋 LC \$2,700 ・名古屋名城 LC \$2,600 ・名古屋中 LC \$1,000
・名古屋城北 LC \$100 ・名古屋栄 LC \$6,500 ・名古屋堀川 LC 0
・名古屋フロンティア LC \$900

○1R1Z 100ドル以上寄付者の割合

・名古屋 LC 100% ・名古屋名城 LC 100% ・名古屋中 LC 50%
・名古屋城北 LC 5% ・名古屋栄 LC 100% ・名古屋堀川 LC 0%
・名古屋フロンティア LC 90%

◇LCIF 交付金の申請を考えているクラブ ある ない

◇新しい奉仕活動の計画や既存の奉仕活動を考えているクラブ

(新規に取り組む ACT やリジョン・ゾーン合同 ACT、他クラブとの合同 ACT など)

- ・名古屋 LC ➡ 既存奉仕活動の継続。
- ・名古屋名城 LC ➡ 現状ございません。
- ・名古屋中 LC ➡ 次年度は新会員にとって興味を持てる ACT 開催や合同 ACT の開催を奨励しています。継続事業として「日本伝統文化体験プログラム」の充実と拡大。
- ・名古屋城北 LC ➡ 特になし。
- ・名古屋栄 LC ➡ 予定なし。
- ・名古屋堀川 LC ➡ 新しい活動は計画していない。既存の活動への参加率の向上をはかる予定。
- ・名古屋フロンティア LC ➡ 次年度は新会員にとって興味を持てる ACT 開催や合同 ACT の開催を奨励しています。月一回の清掃活動・12月頃ミッドランドシネマとの共同主催で映画祭予定。

◇クラブ運営の改善計画を考えているクラブ

(会費、例会内容などの見直し、他クラブとの合同例会など)

- ・名古屋 LC ➡ 他クラブとの合同例会の実施。
- ・名古屋名城 LC ➡ 検討中です。
- ・名古屋中 LC ➡ ナイター例会を取り入れる。
- ・名古屋城北 LC ➡ 会費増加の抑制。2クラブとの合同例会を予定。
- ・名古屋栄 LC ➡ 会費の値上げ。
- ・名古屋堀川 LC ➡ 例会では、全員がみんなの前で発言することを推進し、ひとことも話をせずに帰る人がない例会運営をする。会員間のコミュニケーションをよくする。
- ・名古屋フロンティア LC ➡ ①会費→変更無し ②例会→「月2回の理事会兼例会」など集まる回数を限定することで、一回一回の会の精度を高めたいと思います。

ゾーン・チェアパーソン年間活動計画

1 R 2 Z 氏名 原口 秀樹

◇会員拡大について（クラブ別目標数とゾーン目標合計数を記入）

○ 1 R 2 Z 会員拡大目標数 64名

○各クラブ目標数

・ウエスト LC 10 名・太閤 LC 5 名・徳川 LC 2 名・中村 LC 30 名
・本丸 LC 10 名・シティ LC 5 名・MJF LC 2 名

○各クラブ戦略（例えば、会員拡大例会、会員拡大チーム作り、家族会員、学生会員等）

- ・ウエスト 会員増強例会でゲストの会食費をクラブ負担にして、会員増強につなげる
- ・太閤 会員増強チームを設置し、FB、インスタグラム等、SNS を利用し会員増強につなげる
- ・本丸 地域社会とのつながりを深め、HP の見直し、SNS 発信を行う
学生とのつながりを強め、共同アクティビティを企画していく
- ・シティ 持ち出し例会による新会員勧誘、学生会員として正式入会
- ・MJF 例会にお試し参加頂き、双方を理解し適していれば入会をお勧めする

◇新クラブ結成、新支部結成について

新クラブ結成 _____ クラブ 新支部結成 3 支部

- ・太閤 支部 1 結成 ・本丸 支部 1 結成 ・中村 支部 2 結成

◇LCIF 目標寄付額について（クラブ別目標数とゾーン目標合計数を記入）

○ 1 R 2 Z 目標寄付額 US \$ 236,600

○各クラブ目標寄付額

・ウエスト LC \$100,000 ・太閤 LC \$13,600 ・徳川 LC \$ 2,000
・中村 LC \$ 100,000 ・本丸 LC \$ 5,000 ・シティ LC \$7,000 ・MJFLC \$9,000

○ 1 R 2 Z 100 ドル以上寄付者の割合 90 %

・ウエスト LC 100% ・太閤 LC 100% ・徳川 LC 50 %
・中村 LC 100% ・本丸 LC 80% ・シティ LC 100% ・MJFLC 100%

◇LCIF 交付金の申請を考えているクラブ ある ない

○どんな内容ですか

- ・ウエスト 愛知県下養護施設の児童計 100 名を大相撲名古屋場所観戦へ招待
- ・シティ シェアリング交付金を利用し、名古屋大学附属病院小児科へ医療機器の寄贈
- ・MJF CN10 の事業で使用予定

◇新たな奉仕活動の計画や既存の奉仕活動の改善計画を考えているクラブ

（新規に取り組む ACT やリジョン・ゾーン合同 ACT、他クラブとの合同 ACT など）

- ・太閤 年間 7～8 の活動を予定しているため新規の活動は特に考えていないが、各活動を楽しむことができる工夫をして参加人数の増員と充実化を図る。
- ・本丸 新規アクティビティ 小児がんチャリティーリレーマラソン
- ・シティ 資金獲得事業チャリティーコンサート「HelpsSomeone2025」 10/20
青少年育成、国際交流事業「オリンピックへのかけはし」 3/14
他クラブとの合同でマッチング交付金を利用し、人道支援事業

◇クラブ運営の改善計画を考えているクラブ

（会費、例会内容などの見直し、他クラブとの合同例会など）

- ・太閤 経費削減と活動費確保の為、昨年度より例会の会場費および会食費削減を行い、
会食を伴わない例会を開催する時には例会後に有志で懇親会を実施している。
 - ・LCIF の \$100 寄付を予算化し、会費の中から全員が実施。
 - ・年一回、エクステンションクラブ（名古屋中村 LC）と合同例会、合同ゴルフを実施
- ・本丸 第二例会は ACT を中心に行い、清掃活動や学生との交流を増やす。
また、姉妹クラブや友好クラブとの合同例会・アクティビティを積極的に行う
- ・シティ 毎月持出例会を開催し、会員増強につなげる
- ・MJF MJF に特化したクラブであり、為替の影響を受けやすく、
クラブ資金の様子を見て会費を改善していく

ゾーン・チェアパーソン年間活動計画

2R 1Z 氏名 佐野彰

◇会員拡大について（クラブ別目標数とゾーン目標合計数を記入）

○2R 1 Z 会員拡大目標数：63 名

○各クラブ目標数

豊橋 LC：3~5 名、豊橋南 LC：5 名、愛知穂の国 LC：3 名、豊橋西 LC：5 名、
豊橋みなと LC：6 名、豊橋北 LC：3 名、豊橋中 LC：5 名、豊橋ちぎり LC：5 名、
田原藤通 LC：20 名

○各クラブの戦略

会員増強チーム。各チーム毎の候補者選定と連携。他クラブとの情報交換。
高校生、大学生との交流。会員増強例会。周年記念に全員で会員増強意識を持つ。
家族会員。、支部の設立。趣味の会で交流を深める。

◇新クラブ結成、新支部結成について

新クラブ結成 2 クラブ

新支部結成 2 支部

◇LCIF 目標寄付額について（クラブ別目標数とゾーン目標合計数を記入）

○2R 1 Z 目標寄付額 US \$ 32,400

○各クラブ目標寄付額

豊橋 LC：\$ 5000、豊橋南 LC：\$ 5000、愛知穂の国 LC：\$ 1,400、豊橋西 LC：\$ 5000、
豊橋みなと LC：\$ 5000、豊橋北 LC：\$ 豊橋中 LC：\$ 5000
豊橋ちぎり LC：\$ 5000、田原藤通 LC：\$ 1000

○2R1Z 1 0 0 ドル以上寄付者の割合 約 60%

豊橋 LC：90%、豊橋南 LC：50%、愛知穂の国 LC：50%、豊橋西 LC：100%
豊橋みなと LC：100% 豊橋北 LC：豊橋中 LC：100%
豊橋ちぎり LC：100% 田原藤通 LC：50%

◇LCIF 交付金の申請を考えているクラブは、4 クラブあり。

豊橋 LC：テレビまたはプロジェクター寄贈。豊橋南 LC：選定検討中。
豊橋西 LC：車いす事業。豊橋みなと LC：スポーツ支部のサッカー大会。

◇新たな奉仕活動や既存の奉仕活動の改善。

ペットボトルキャップ回収を学校、企業に呼びかける。高校、大学生との交流！
他クラブとの積極的交流。合同アクトの企画、実施！他リジョンのクラブとも合同例会
合同アクト計画。共同で子供達、父兄と一緒にできる活動に取り組む。子ども食堂支援。
フードバンク支援。育成園絵本支援。

◇クラブの運営改善計画。

クラブ内連絡のデジタル化、ペーパーレス化。会議費、会食費の削減。食費の削減。
親睦を深めるために例会以外のレクリエーション部会の活用。合同例会など。

ゾーン・チェアパーソン年間活動計画

2R 2Z 氏名 大木光章

◇会員拡大について（クラブ別目標数とゾーン目標合計数を記入）

○ 2R2Z 会員拡大目標数 正会員数 18 名. その他の会員数 23 名

○各クラブ目標数

新城 LC 正会員数 3 名. その他の会員数 10 名・蒲郡 LC 正会員数 5 名. その他の会員数 5 名

豊川 LC 正会員数 3 名. その他の会員数 3 名・豊川中 LC 正会員数 2 名. その他の会員数 2 名

蒲郡マリン LC 正会員数 5 名. その他の会員数 3 名

○各クラブ戦略（例えば、会員拡大例会、会員拡大チーム作り、家族会員、学生会員等）

新城 LC. 9 月第一例会, 9 月第二例会, 10 月第一例会を会員増強例会とし, 次の世代に受け継いでいってもらうために, どうしたらいいか話し合い, 会員拡大を図る。

豊川 LC 月毎の委員会開催時に会員増強について話し合う。

豊川中 LC 会員拡大例会でなくても会議を持ちたい。

◇新クラブ結成、新支部結成について

新クラブ結成 0 クラブ 新支部結成 3 支部

◇LCIF 目標寄付額について（クラブ別目標数とゾーン目標合計数を記入）

○ 2R2Z 目標寄付額 US \$ 43,000 (内訳 \$100 100 口. \$1000 33 口)

○各クラブ目標寄付額

新城 LC. (\$4000)・蒲郡 LC. (\$9000)・豊川 LC. (\$5000)・豊川中 LC. (\$5000)

蒲郡マリン LC. (\$20000)

○ 2R2Z 100 ドル以上寄付者の割合 67.1 %

新城 LC. (34%)・蒲郡 LC. (100%)・豊川 LC. (74%)・豊川中 LC. (81%)

蒲郡マリン LC. (0%)

◇LCIF 交付金の申請を考えているクラブ ある ない

○どんな内容ですか

蒲郡マリン LC

講演会『生命の授業』2026 年 3 月頃 青少年育成

◇新たな奉仕活動の計画や既存の奉仕活動の改善計画を考えているクラブ

(新規に取り組む ACT やリジョン・ゾーン合同 ACT、他クラブとの合同 ACT など)

新城 LC 新城市社会福祉協議会, PTA, 地域等, 他の団体と連携した奉仕活動

昨年度実施したこども園の砂場の砂の入れ替えからの拡大

蒲郡 LC JC との合同 ACT (内容未定)

豊川 LC 豊川中 LC と合同で何か企画したい。

豊川中 LC ここから話し合いをして決めたいと思います。

蒲郡マリン LC 例会の改革 年間 15 回ほどの例会を講演会とし, 一般参加者も募ります。

◇クラブ運営の改善計画を考えているクラブ

(会費、例会内容などの見直し、他クラブとの合同例会など)

新城 LC SNS を利用した情報の発信 (アクティビティの予告, 結果)

蒲郡 LC 豊川中 LC との合同例会

豊川 LC 後期、昼食無しの例会を考えている。

豊川中 LC 会費内容を考えたい。

蒲郡マリン LC 会費の大幅値下げ

ゾーン・チェアパーソン年間活動計画

3R 1Z 氏名 井上 文男

◇会員拡大について（クラブ別目標数とゾーン目標合計数を記入）

- 3R 1Z 会員拡大目標数 23 名
- 各クラブ目標数
- ・ 一宮 LC 15 名・一宮サウス LC 1 名・一宮中 LC 1 名
 - ・ 稲沢 LC 2 名・一宮東 LC 1 名・稲沢緑 LC 3 名
- 各クラブ戦略（例えば、会員拡大例会、会員拡大チーム作り、家族会員、学生会員等）

◇新クラブ結成、新支部結成について

新クラブ結成 _____ クラブ 新支部結成 1 支部（一宮中検討中）

◇LCIF 目標寄付額について（クラブ別目標数とゾーン目標合計数を記入）

- 3R 1Z 目標寄付額 US \$ 39,600
- 各クラブ目標寄付額
- ・ 一宮 LC \$ 30,000
 - ・ 一宮サウス LC \$ 600
 - ・ 一宮中 LC \$ 1,000
 - ・ 稲沢 LC \$ 3,000
 - ・ 一宮東 LC \$ 5,000
 - ・ 稲沢緑 LC \$ 0
- 3R 1Z 100 ドル以上寄付者の割合 _____ %
- ・ _____ LC _____ %
 - ・ _____ LC _____ %
 - ・ _____ LC _____ %
 - ・ _____ LC _____ %
 - ・ _____ LC _____ %

◇LCIF 交付金の申請を考えているクラブ ある ない

○どんな内容ですか

一宮L

地区申請で「防災準備交付金」を検討中
クラブ申請で「クラブシェアリング交付金」を検討中
※どちらも 3/20 に予定している防災事業に充てる計画

一宮サウスL

昨年、申請方法を学んだので使える残高によって判断したい。
また、使える金額を使い切りたい。
他クラブがやったことのないアクティビティ。

◇新たな奉仕活動の計画や既存の奉仕活動の改善計画を考えているクラブ
（新規に取り組む ACT やリジョン・ゾーン合同 ACT、他クラブとの合同 ACT など）

一宮L

11 月頃「防災野球大会」の開催を計画
3/20「インクルーシブ防災フェスティバル」の開催を検討中

一宮サウスL

ペットボトルキャップ回収を 1Z・2Z の合同アクティビティにしたい。
また、それを 334-A 地区に広げ、SDGs として活動を広げていきたい。

稲沢L

大学にて大学生を対象としたコミュニケーション講座の開催を検討している

稲沢緑L

市内小中学校給食に無農薬野菜の提供と食育

◇クラブ運営の改善計画を考えているクラブ

(会費、例会内容などの見直し、他クラブとの合同例会など)

一宮L

事業を例会振替扱いとし、通常例会を減らし、全体の運営費を削減しつつ、事業への積極的な参加を促す(当クラブでは、これまであまり無かった)

同じ334-A地区の豊橋みなとLCと合同例会を計画中

一宮サウスL

本年度も当クラブの改革を継続していき、WINGS支部との交流を深め、関係強化を図る。

他クラブへの訪問例会を考えている。特に、会員減少クラブに訪問し、共通認識を基に、交流を深めて行きたい。

一宮中L

意識改革

稲沢L

例会の運営方法の見直し

一宮東L

会員増強委員会の設立

稲沢緑L

夜間例会の開催

※2025年7月11日までにキャビネット事務局へ提出をお願い致します。

ゾーン・チェアパーソン年間活動計画

3R 2Z 氏名 中島 一彦

◇会員拡大について（クラブ別目標数とゾーン目標合計数を記入）

○ 3R 2Z 会員拡大目標数 21名

○各クラブ目標数

・ 愛西 LC 5名・ 津島 LC 2名・ 蟹江 LC 1名・ 弥富 LC 3名
・ 海部 LC 10名・ _____ LC _____名・ _____ LC _____名

○各クラブ戦略(例えば、会員拡大例会、会員拡大チーム作り、家族会員、学生会員等)

- ・ 会員増強チームの発足
- ・ 会員委員会の活動の充実
- ・ 会員拡大委員会の発足

◇新クラブ結成、新支部結成について

新クラブ結成 0クラブ

新支部結成 2支部

◇LCIF目標寄付額について（クラブ別目標数とゾーン目標合計数を記入）

○ 3R 2Z 目標寄付額 US \$ 16,000

○各クラブ目標寄付額

・ 愛西 LC \$ 9,000 ・ 津島 LC \$ 1,000 ・ 蟹江 LC \$ 0
・ 弥富 LC \$ 3,000 ・ 海部 LC \$ 3,000 ・ _____ LC \$ _____

○ 3R 2Z 100ドル以上寄付者の割合 _____%

・ 愛西 LC 50% ・ 津島 LC 25% ・ 蟹江 LC 0%
・ 弥富 LC _____% ・ 海部 LC 100% ・ _____ LC _____%

◇LCIF交付金の申請を考えているクラブ ある ない

○どんな内容ですか

- ・ 児童養護施設の子供に対する奉仕事業を計画
- ・ その他の協議中

◇新たな奉仕活動の計画や既存の奉仕活動の改善計画を考えているクラブ

(新規に取り組む ACT やリジョン・ゾーン合同 ACT、他クラブとの合同 ACT など)

- ・ 津島 LC と弥富 LC との合同で少年野球大会を計画 ・ 少年野球教室開催
- ・ 5クラブ合同例会 ・ 特別例会に各クラブを招待
- ・ 新入会員にとって興味を持てる ACT の開催や合同例会の開催
- ・ 地域の他団体との連携活動 ・ 支部を設立しお互い刺激合い助け合う活動

◇クラブ運営の改善計画を考えているクラブ

(会費、例会内容などの見直し、他クラブとの合同例会など)

- ・ 正会員に固執せず柔軟に対応し入会を勧めたり、正会員に引き上げる努力をする
- ・ 合同例会等で他クラブの運営方法などを参考にする
- ・ 例会や委員会で活発な意見交換
- ・ 例会後に委員会や懇親会を設ける

※2025年7月11日までにキャビネット事務局へ提出をお願い致します。

ゾーン・チェアパーソン年間活動計画

4R 1Z 氏名 森 太郎

◇会員拡大について（クラブ別目標数とゾーン目標合計数を記入）

○ 4R 1Z 会員拡大目標数 25 名

○各クラブ目標数

・岡崎LC 5名・岡崎南LC 10名・岡崎葵LC 5名
・岡崎竜城LC 2名・岡崎フォレストLC 3名

○各クラブ戦略(例えば、会員拡大例会、会員拡大チーム作り、家族会員、学生会員等)

- ・岡崎LC・・・興味のある人に例会を見学してもらう。
勧誘を単年度でなく3年スパンで考えて促進する。
- ・岡崎南LC・・・会員拡大のため声掛けを心がける
- ・岡崎葵LC・・・既存の委員会が会員増強チームを担うが、クラブ全体で会員増強ムードを高める。
具体的には、多数の声掛け作戦を実行する。日程を定めて大規模な「お試し例会」や「お試し奉仕活動」を実施する。
- ・岡崎竜城LC・・・クラブの様々な活動にライオンズクラブに興味のある者を招き、新会員の獲得につなげる。賛助会員でも可。
- ・岡崎フォレストLC・・・毎第4木曜日定例会において、会員拡大ミーティングを実施。
各クラブ員声掛けを5人/2か月の計画立案し例会時に報告フォローし合う。

◇新クラブ結成、新支部結成について

新クラブ結成 0 クラブ 新支部結成 0 支部

◇LCIF目標寄付額について（クラブ別目標数とゾーン目標合計数を記入）

○ 4R 1Z 目標寄付額 US \$ 44,000

○各クラブ目標寄付額

・岡崎LC \$6,000 ・岡崎南LC \$20,000 ・岡崎葵LC \$10,000
・岡崎竜城LC \$7,000 ・岡崎フォレストLC \$1,000

○ 4R 1Z 100ドル以上寄付者の割合 _____%

・岡崎LC 100% ・岡崎南LC 100% ・岡崎葵LC 100%
・岡崎竜城LC 21% ・岡崎フォレストLC 100%

◇LCIF交付金の申請を考えているクラブ ある ない

○どんな内容ですか

- ・岡崎南LC・・・聾学校への寄付
- ・岡崎竜城LC・・・交通安全キャンペーンの一環として国道248号線に架かる名鉄本線の高架橋にある交通安全標語を修復するためにシェアリング交付金を申請する予定です。

◇新たな奉仕活動の計画や既存の奉仕活動の改善計画を考えているクラブ

(新規に取り組むACTやリジョン・ゾーン合同ACT、他クラブとの合同ACTなど)

- ・岡崎LC・・・平和学園クリスマス家族例会ご招待。
歴代会長会開催における既存アクトの見直し。
- ・岡崎南LC・・・聾学校への寄付、継続事業「スプリングフェア」を形を変えて計画中
(聾学校の生徒保護者を招待して、聴覚障害のある人も楽しめる映画を上映)
- ・岡崎葵LC・・・小学校を対象にした挨拶運動を新たに実施予定。
献血アクティビティのテコ入れ。
入会希望者へのお試し奉仕活動参加の呼びかけ。
- ・岡崎竜城LC・・・市内の小中学校、高校を対象として、プルタブの回収を行い、岡崎市社会福祉協議会に車椅子を贈呈する。
- ・岡崎フォレストLC・・・小学校新入学児童への祝賀品贈呈の対象校を2校追加
保育園・幼稚園へ育成支援の対象園を2校追加
(いずれも新会員入会により活動対象地域を拡大したため)

◇クラブ運営の改善計画を考えているクラブ

(会費、例会内容などの見直し、他クラブとの合同例会など)

- ・岡崎LC・・・出張例会(裁判見学、優良企業の見学等)の開催
会費25万から26.5万に値上げ(承認済み)
- ・岡崎南LC・・・前年度からの運営を継続
- ・岡崎葵LC・・・入会希望者へのお試し例会参加の呼びかけ。
卓話の充実(会員卓話・外部講師卓話)
登録料の受益者負担分を増やし、運営費を節約する。
- ・岡崎竜城LC・・・ゴルフ同好会、写真同好会に加え趣味の会(仮称)を作り、自由な活動を行いながら、親睦を深めるとともに新会員の勧誘にも活用する。
- ・岡崎フォレストLC・・・3日分の例会開催時間を2年前に昼間時間帯へ変更開催を試行したが、夜開催の意見が多数となったため変更した。

※2025年7月11日までにキャビネット事務局へ提出をお願い致します。

ゾーン・チェアパーソン年間活動計画

4R 2Z 氏名 片桐 照二

◇会員拡大について（クラブ別目標数とゾーン目標合計数を記入）

- 4R 2Z 会員拡大目標数 28名
- 各クラブ目標数
- ・豊田 LC 3名・三好愛知 LC 3名・豊田南 LC 10名・豊田東名 LC 4名
 - ・愛知中央 LC 3名・豊田ルネッサンス LC 3名・岡崎ゲスト LC 2名
- 各クラブ戦略(例えば、会員拡大例会、会員拡大チーム作り、家族会員、学生会員等)
- 豊田 LC : 会員全員で、会員増強の重要性を認識し、例会でも会員増強の話をする。
- 三好愛知 LC : 正会員の平均年齢が 66.2 歳であり、会員拡大の必要性を感じている。
理事会、例会の場で話し合う時間を取るよう考えている。
- 豊田南 LC : 会費、例会日程の見直し
- 豊田東名 LC : 増強チームを作り友人知人に声掛けをする
- 愛知中央 LC : 声掛けをして、まずは気軽にアクティビティや例会に参加してもらう。
- 豊田ルネッサンス LC : 会員増強にむけ声掛けを図る

◇新クラブ結成、新支部結成について

新クラブ結成 1 クラブ 新支部結成 1 支部

◇LCIF目標寄付額について（クラブ別目標数とゾーン目標合計数を記入）

- 4R 2Z 目標寄付額 US \$ 29,100
- 各クラブ目標寄付額
- ・豊田 LC \$ 5,000
 - ・三好愛知 LC \$ 7,000
 - ・豊田南 LC \$ 全会員
 - ・豊田東名 LC \$ 10,000
 - ・愛知中央 LC \$ 3,000
 - ・豊田ルネッサンス LC \$ 3,000
 - ・岡崎ゲスト LC \$ 1,100
- 4R 2Z 100 ドル以上寄付者の割合 71.42 %
- ・豊田 LC 10%
 - ・三好愛知 LC 100%
 - ・豊田南 LC 10%
 - ・豊田東名 LC 80%
 - ・愛知中央 LC 100%
 - ・豊田ルネッサンス LC 100%
 - ・岡崎ゲスト LC 100%

◇LCIF交付金の申請を考えているクラブ ある ない

○どんな内容ですか

50周年事業に付随して、福祉団体に寄付をしたい（豊田東名 LC）

◇新たな奉仕活動の計画や既存の奉仕活動の改善計画を考えているクラブ

（新規に取り組む ACT やリジョン・ゾーン合同 ACT、他クラブとの合同 ACT など）

- 豊田 LC : 2024~2025 年度から新しく始めた養護施設での奉仕活動を、更に充実したアクティビティになるよう、会員一同試行錯誤して計画、実践していきたいと思っております。
- 三好愛知 LC : 行政と密接に行える事業と子育てに役立つ事業を考えています。
- 豊田南 LC : 既存の ACT については全て見直し
- 豊田東名 LC : 今年度 50 周年記念行事として当クラブとしては初めてボッチャ大会を行います、是非とも成功させ継続的なアクティビティに出来る様にしていきたい
- 愛知中央 LC : 天白川での水生生物調査（日進市との共催、毎年約 50 名の親子が参加）に声掛けをしてアクティビティに参加してもらう機会をつくる。

◇クラブ運営の改善計画を考えているクラブ

(会費、例会内容などの見直し、他クラブとの合同例会など)

三好愛知 LC : 例会開催時間を半分は昼間、半分は夕刻にするなど
会員の参加しやす設営の模索を行う。

豊田南 LC : 会費、例会内容は見直し

豊田東名 LC : 会員増強をはかり新旧の会員間の交流を活発に行い、50年の歴史を振り返る事により
次の50年に向けての課題を確認し改善に取り組みたい

愛知中央 LC : 開催場所を度々変えて、楽しめる例会運営をする。

※2025年7月11日までにキャビネット事務局へ提出をお願い致します。

ゾーン・チェアパーソン年間活動計画

5 R 1Z 氏名 川口 潤

◇会員拡大について（クラブ別目標数とゾーン目標合計数を記入）

○ 5 R 1 Z 会員拡大目標数 15 名

○各クラブ目標数

・常滑 LC 2 名・半田 LC 3 名・美浜 LC 2 名・南知多 LC 3 名

・武豊 LC 3 名・知多サザンシニア LC 2 名・ LC 名

○各クラブ戦略(例えば、会員拡大例会、会員拡大チーム作り、家族会員、学生会員等)

◇新クラブ結成、新支部結成について

新クラブ結成 _____クラブ 新支部結成 _____支部

◇LCIF目標寄付額について（クラブ別目標数とゾーン目標合計数を記入）

○ 5 R 1 Z 目標寄付額 US \$ 37,100

○各クラブ目標寄付額

・常滑 LC \$ 6,000 ・半田 LC \$ 12,100 ・美浜 LC \$ 7,000

・南知多 LC \$ 6,000 ・武豊 LC \$ 5,000 ・知多サザンシニア LC \$ 1,000

○ 5 R 1 Z 100ドル以上寄付者の割合 100 %

・常滑 LC 100 % ・半田 LC 100 % ・美浜 LC 100 %

・南知多 LC 100 % ・武豊 LC 100 % ・知多サザンシニア LC 100 %

◇LCIF交付金の申請を考えているクラブ ある ない

○どんな内容ですか

・交付金申請中・CN60 周年事業 地域防災事業としてポータブル蓄電池を地域の避難所へ寄付

・CN50 周年記念事業の1つとしてこども食堂の主催

◇新たな奉仕活動の計画や既存の奉仕活動の改善計画を考えているクラブ

（新規に取り組む ACT やリジョン・ゾーン合同 ACT、他クラブとの合同 ACT など）

半田市内保育園の熱中症対策「簾設置・撤去」のお手伝い

◇クラブ運営の改善計画を考えているクラブ

（会費、例会内容などの見直し、他クラブとの合同例会など）

年会費 4 万円の増額

年会費 2 万円の増額

日々改善中

※2025年7月11日までにキャビネット事務局へ提出をお願い致します。

ゾーン・チェアパーソン年間活動計画

5 R 2 Z 氏名 加藤 幹男

◇会員拡大について（クラブ別目標数とゾーン目標合計数を記入）

○5 R 2 Z 会員拡大目標数 13名

○各クラブ目標数

・東海LC 5名 ・大府LC 5名 ・知多LC 3名

○各クラブ戦略（例えば、会員拡大例会、会員拡大チーム作り、家族会員、学生会員等）

◇新クラブ結成、新支部結成について

新クラブ結成 1クラブ

新支部結成 1支部

◇LCIF目標寄付額について（クラブ別目標数とゾーン目標合計数を記入）

○5 R 2 Z 目標寄付額 US\$ 23,000

○各クラブ目標寄付額

・東海LC \$8,000 ・大府LC \$10,000 ・知多LC \$5,000

○5 R 2 Z 100ドル以上寄付者の割合 73%

・東海LC 100% ・大府LC 20% ・知多LC 100%

◇LCIF交付金の申請を考えているクラブ

ある

ない

◇新たな奉仕活動の計画や既存の奉仕活動の改善計画を考えているクラブ

（新規に取り組むACTやリジョン・ゾーン合同ACT、他クラブとの合同ACTなど）

○東海LC ・新規事業開催、共生社会実現に向けた取り組み（ライオンズ祭の開催）
・学生と年末啓発活動を太田川駅にて行う

○大府LC ・他クラブとの合同ACTへの参加

○知多LC ・検討中

◇クラブ運営の改善計画を考えているクラブ

（会費、例会内容などの見直し、他クラブとの合同例会など）

○東海LC ・例会時間の変更 夜例会の開催（数回）

・5 R内の交流事業の企画

○大府LC ・これまでの時間帯に縛られない例会を企画する

（例 PMからのアフタヌーン例会）

・盲導犬啓発イベント、フードドライブ等 昨年度新規事業を継続する

○知多LC ・検討中

ゾーン・チェアパーソン年間活動計画

6 R 1 Z 氏名 倉知 義治

◇会員拡大について（クラブ別目標数とゾーン目標合計数を記入）

○ 6 R 1 Z 会員拡大目標数 25 名

○各クラブ目標数

・江南 LC 10名・犬山 LC 2名・小牧 LC 3名・丹羽LC 5名
・岩倉 LC 3名・愛知さくら LC 2名・ LC 名・ LC

名

○各クラブ戦略(例えば、会員拡大例会、会員拡大チーム作り、家族会員、学生会員等)

◇新クラブ結成、新支部結成について

新クラブ結成 _____クラブ 新支部結成 _____1 支部

◇LCIF目標寄付額について（クラブ別目標数とゾーン目標合計数を記入）

○ 6 R 1 Z 目標寄付額 US \$ 19,000

○各クラブ目標寄付額

・江南 LC \$ 10000 ・犬山 LC \$ 4000 ・小牧 LC \$?
・丹羽 LC \$? ・岩倉 LC \$? ・愛知さくら LC \$ 5000

○ 6 R 1 Z 100ドル以上寄付者の割合 _____%

・江南 LC 50 % ・犬山 LC 20 % ・小牧 LC 10 %
・丹羽 LC ? % ・岩倉 LC 100% ・愛知さくら LC 0%

◇LCIF交付金の申請を考えているクラブ ある ない

○どんな内容ですか

◇新たな奉仕活動の計画や既存の奉仕活動の改善計画を考えているクラブ

(新規に取り組む ACT やリジョン・ゾーン合同 ACT、他クラブとの合同 ACT など)

◇クラブ運営の改善計画を考えているクラブ

(会費、例会内容などの見直し、他クラブとの合同例会など)

※2025年7月11日までにキャビネット事務局へ提出をお願い致します。

ゾーン・チェアパーソン年間活動計画

6R 2Z 氏名 曾我 衛

◇会員拡大について（クラブ別目標数とゾーン目標合計数を記入）

○ 6 R 2 Z 会員拡大目標数 23 名

○各クラブ目標数

・ 瀬戸 LC 3名・ 春日井 LC 5名・ 尾張旭 LC 2名・

春日井中央 LC 5名・ 春日井けやき LC 3名・ 春日井さくら LC 5名

○各クラブ戦略（例えば、会員拡大例会、会員拡大チーム作り、家族会員、学生会員等）

- ・ 例会とは別に月に一回日にちを決め、夜に懇親会を開催し、その場に新入会員候補の方をお呼びして勧誘
- ・ 会員増強チームの設立及びパンフレットの作成
- ・ 若手会員増強チーム設立
- ・ 他の組織があるところに所属し、勧誘

◇新クラブ結成、新支部結成について

新クラブ結成 0 クラブ 新支部結成 0 支部

◇LCIF目標寄付額について（クラブ別目標数とゾーン目標合計数を記入）

○ 6 R 2 Z 目標寄付額 US \$ 32,000

○各クラブ目標寄付額

・ 瀬戸 LC \$ 3,000 ・ 春日井 LC \$ 10,000 ・ 尾張旭 LC \$ 5,000

・ 春日井中央 LC \$ 8,000・ 春日井けやき LC \$ 3,000・ 春日井さくら LC \$ 3,000

○ 6 R 2 Z 100ドル以上寄付者の割合 %

・ 瀬戸 LC 50 % ・ 春日井 LC 10 % ・ 尾張旭 LC 10 %

・ 春日井中央 LC 17.7%・ 春日井けやき LC 10%・ 春日井さくら LC 97 %

◇LCIF交付金の申請を考えているクラブ ある（3クラブ） ない

○どんな内容ですか

- ・ 市民を巻き込んで、子ども食堂の支援のためのチャリティボーリング大会の開催
- ・ 壁画（浄水場の建物の壁面に絵を描くペイントを子供たちに塗ってもらう）
- ・ 検討中

◇新たな奉仕活動の計画や既存の奉仕活動の改善計画を考えているクラブ

（新規に取り組むACTやリジョン・ゾーン合同ACT、他クラブとの合同ACTなど）

- ・ メンバーが来て楽しいBBQ例会の開催（その場に新入会員をお誘いする）
- ・ 学生支部会員（クリエイト支部）の若い考えアイデアを元にサボテン支部と親クラブの合同でアクトを開催予定
- ・ 地域の環境保全、社会福祉、高齢者支援に関する活動
- ・ 2024-2025年度から始めた自立援助ホーム『いっば』での食事作り&団らんは継続する

◇クラブ運営の改善計画を考えているクラブ

（会費、例会内容などの見直し、他クラブとの合同例会など）

- ・ 地球温暖化で夏の気温上昇に対応して、ポロシャツ例会の開催
- ・ 夜例会の懇親会の料理を屋台形式にしてみる
- ・ 各委員会の活性化（外部の方のゲストスピーチ）の充実を図る
- ・ 会員減少のため、やむを得ず会費値上げ（クラブ内で状況説明済）
- ・ クラブ内勉強会（歴の短い会員に委員会の内容を説明。歴の長い会員は再認識できる）

※2025年7月11日までにキャピネット事務局へ提出をお願い致します。

ゾーン・チェアパーソン年間活動計画

7 R 1 Z 氏名 丹羽 雄二

◇会員拡大について（クラブ別目標数とゾーン目標合計数）

- 7 R 1 Z 会員拡大目標数 23 名
- 各クラブ目標数
 - ・名古屋サウス LC 1 名 ・名古屋葵 LC 10 名 ・名古屋緑 LC 2 名
 - ・名古屋樟 LC 5 名 ・名古屋名南 LC 5 名
- 各クラブ戦略（例えば、会員拡大例会、会員拡大チーム作り、家族会員、学生会員等）
 - ・名古屋サウス LC⇒クラブ員全員で対応
 - ・名古屋葵 LC⇒会員増強チームの設立 学生会員の入会勧誘
 - ・名古屋緑 LC⇒次の理事会で協議致します
 - ・名古屋名南 LC⇒今まででも知り合いを例会に呼ぶという「フレンドリー例会」を行っており、新会員になる人なりそうな人をお呼びしています

◇新クラブ結成、新支部結成について

新クラブ結成 0 クラブ 新支部結成 1 支部

◇LCIF目標寄付額について（クラブ別目標数とゾーン目標合計数）

- 7 R 1 Z 目標寄付額 US\$ 24,000
- 各クラブ目標寄付額
 - ・名古屋サウス LC \$ 1000 ・名古屋葵 LC \$ 10000 ・名古屋緑 LC \$ 3000
 - ・名古屋樟 LC \$ 5000 ・名古屋名南 LC \$ 5000
- 7 R 1 Z 100ドル以上寄付者の割合 65 %
- 各クラブ100ドル以上寄付者の割合
 - ・名古屋サウス LC 25 % ・名古屋葵 LC 100 % ・名古屋緑 LC 0 %
 - ・名古屋樟 LC 100 % ・名古屋名南 LC 100 %

◇LCIF交付金の申請を考えているクラブ ある ない

○どんな内容ですか

- ・名古屋葵 LC⇒スリランカの医療機関に、新生児用人工呼吸器2台を寄贈予定

◇新たな奉仕活動の計画や既存の奉仕活動の改善計画を考えているクラブ

（新規に取り組むACTやリジョン・ゾーン合同ACT、他クラブとの合同ACTなど）

- ・名古屋葵 LC⇒学生のボランティア活動の支援・支部の設立
- ・名古屋緑 LC⇒現在思案中
- ・名古屋名南 LC⇒CN30周年を向かえ、これまでの活動を再検証したい

◇クラブ運営の改善計画を考えているクラブ

（会費、例会内容などの見直し、他クラブとの合同例会など）

- ・名古屋サウス LC⇒事務局改革
- ・名古屋葵 LC⇒例会の運営方法等の改善による会費の見直し
- ・名古屋緑 LC⇒納涼例会は緑・名南で2クラブ合同、クリスマス家族例会はサウス・葵・緑・樟で4クラブ合同、新年例会は7R1Z5クラブで合同開催を予定しており、他クラブとの交流を積極的に考えています
- ・名古屋樟 LC⇒旧来のやり方にとらわれず運営の大胆な見直しを行う
- ・名古屋名南 LC⇒例会会場等の値上がりが続く中これまでの会費内で収まる様に考えています

ゾーン・チェアパーソン年間活動計画

7R 2Z 氏名 中村 恵介

◇会員拡大について（クラブ別目標数とゾーン目標合計数を記入）

- 7R 2 Z 会員拡大目標数 7 名
○各クラブ目標数
・名古屋みなと LC 2名・名古屋熱田 LC 2名・名古屋中川 LC 2名
名古屋シニア LC 1名

○各クラブ戦略（例えば、会員拡大例会、会員拡大チーム作り、家族会員、学生会員等）
なし

◇新クラブ結成、新支部結成について

新クラブ結成 0 クラブ 新支部結成 0 支部

◇LCIF目標寄付額について（クラブ別目標数とゾーン目標合計数を記入）

- 7R 2 Z 目標寄付額 US\$ 10,000
○各クラブ目標寄付額
・名古屋みなと LC \$2,000 ・名古屋熱田 LC \$5,000 ・名古屋中川 LC \$2,000
・名古屋シニア LC \$1,000
○ 7R 2 Z 100ドル以上寄付者の割合 %
・名古屋みなと LC 70% ・名古屋熱田 LC 90% ・名古屋中川 LC 100%
・名古屋シニア LC 100%

◇LCIF交付金の申請を考えているクラブ ある ない
○どんな内容ですか

◇新たな奉仕活動の計画や既存の奉仕活動の改善計画を考えているクラブ
（新規に取り組む ACT やリジョン・ゾーン合同 ACT、他クラブとの合同 ACT など）
子供食堂協賛を1団体追加の予定（名古屋熱田 LC）
中部盲導犬協会に次年度も寄付（名古屋中川 LC）

◇クラブ運営の改善計画を考えているクラブ
（会費、例会内容などの見直し、他クラブとの合同例会など）

名古屋みなと LC
名古屋中川 LC

ゾーン・チェアパーソン年間活動計画

7 R 3 Z 氏名 北川 隆宏

◇会員拡大について（クラブ別目標数とゾーン目標合計数を記入）

○7 R 3 Z 会員拡大目標 32 名

○各クラブ目標

- ・名古屋イースト LC 2名
- ・名古屋守山 LC 5名
- ・名古屋東山 LC 5名
- ・名古屋城東 LC 2名
- ・名古屋天白 LC 5名
- ・名古屋名東 LC 3名
- ・名古屋千種 LC 10名

○各クラブ戦略（例えば、会員拡大例会、会員拡大チーム作り、家族会員、学生会員等）

- ・合同例会 合同アクティビティ等に候補者を誘う
- ・会員拡大チームを作る
- ・入会案内を作成する

◇新クラブ結成、新支部結成について

新クラブ結成 予定なし 支部結成 1支部（名古屋千種 LC）

◇LCIF目標寄付額について（クラブ別目標数とゾーン目標合計数を記入）

○7 R 3 Z 目標寄付額 US \$ 18,500

○各クラブ目標寄付額

- ・名古屋イースト LC \$ 5,000
- ・名古屋守山 LC \$ 1,500
- ・名古屋東山 LC \$ 4,000
- ・名古屋城東 LC \$ 3,000
- ・名古屋天白 LC 未定
- ・名古屋名東 LC 未定
- ・名古屋千種 LC \$ 5,000

○7 R 3 Z 100ドル以上寄付者の割合

- ・名古屋イースト LC 100%
- ・名古屋守山 LC 100%
- ・名古屋東山 LC 100%
- ・名古屋城東 LC 100%
- ・名古屋天白 LC 未定
- ・名古屋名東 LC 100%
- ・名古屋千種 LC 100%

◇LCIF交付金の申請を考えているクラブ なし 未定（1）

◇新たな奉仕活動の計画や既存の奉仕活動の改善計画を考えているクラブ

（新規に取り組む ACT やリジョン・ゾーン合同 ACT、他クラブとの合同 ACT など）

- ・ゾーン合同アクティビティ（猫ヶ洞池清掃活動） 全クラブ
- ・継続アクティビティ（交通事故0広報活動等）名古屋守山 LC
- ・動物愛護の啓蒙活動・里山にどんぐりの苗植樹 名古屋千種 LC

◇クラブ運営の改善計画を考えているクラブ

（会費、例会内容などの見直し、他クラブとの合同例会など）

- ・例会にスピーカーを招く・会員の絆を深める雰囲気作り 名古屋守山 LC
- ・新会員の会費を1年間無料にする 名古屋東山 LC
- ・他クラブとの合同例会 全クラブ

ゾーン・チェアパーソン年間活動計画

8R 1Z 氏名 野村 清明

◇会員拡大について（クラブ別目標数とゾーン目標合計数を記入）

○ 8R 1Z 会員拡大目標数 17 名

○各クラブ目標数

・安城LC 2 名・知立LC 3 名・刈谷LC 7 名・安城南LC 3 名
・愛知エメラルドLC 2 名・

○各クラブ戦略(例えば、会員拡大例会、会員拡大チーム作り、家族会員、学生会員等)

安城LC 夕方開催の第二例会後にフォーラムを行い、参加者を勧誘する。

知立LC 会員委員会にて新入会員候補者のリストを確認し、情報を共有して新規会員の加入を推進する。家族、学生会員は考えていない。

刈谷LC 会員拡大委員会改め、会員拡大アカデミー委員会を立ち上げ、若手ライオンを中心にJC、YEGにリクルートを計る。

安城南LC 10月の第一例会で地区コーディネーターをお招きして会員増強についての例会を開催する。

メンバーにYEGの卒業生が多いのでチームを組み卒業見込み者に勧誘活動する。

愛知エメラルドLC 正会員2名の増強 退会者の防止に努める

◇新クラブ結成、新支部結成について

刈谷LC 新クラブ結成 0クラブ 新支部結成 2支部
安城南LC 新クラブ結成 0クラブ 新支部結成 1支部

◇LCIF目標寄付額について（クラブ別目標数とゾーン目標合計数を記入）

○ 8R 1Z 目標寄付額 US\$ 61,500

○各クラブ目標寄付額

・安城LC \$7,500 ・知立LC \$13,000 ・刈谷LC \$22,000
・安城南LC \$13,000 ・愛知エメラルドLC \$6,000

○8R 1Z 100ドル以上寄付者の割合 61%

・安城LC 100% ・知立LC 20% ・刈谷LC 47%
・安城南LC 100% ・愛知エメラルドLC 40%

◇LCIF交付金の申請を考えているクラブ ある ない

○どんな内容ですか

刈谷LC CN60周年記念事業

「名古屋フィルハーモニー交響楽団と地元学生とのコラボ」

◇新たな奉仕活動の計画や既存の奉仕活動の改善計画を考えているクラブ

(新規に取り組む ACT やリジョン・ゾーン合同 ACT、他クラブとの合同 ACT など)

安城LC 新たな場所での献血活動。

知立LC 「ライオンズデーにまつわるアクト実行として、本年度は市内小学校において、盲導犬教室を開催する。

刈谷LC 少年野球大会
グランドゴルフ大会

安城南LC ありません

愛知エメラルドLC

薬物乱用防止教室でのオーバードーズの追加の授業をする

環境保全のための清掃活動

◇クラブ運営の改善計画を考えているクラブ

(会費、例会内容などの見直し、他クラブとの合同例会など)

安城LC ホームページをやめ Facebook にする

第二例会を夜にしてお茶だけにさせてもらいフォーラムを行う

知立LC 例会がマンネリ化しているので、新しい取り組みを検討し、取り入れたい。
委員会を積極的に開催する。

会員全員が主役となる

刈谷LC 近年、順調に会員が増え、組織変更及び委員会の見直し(増設)を考える。

安城南LC 現在は、月二回の例会を食事付きで開催しているため会場費が一日分

取られているので一回は午後から食事なしにして運営費の削減をしたいと思います。

愛知エメラルドLC 委員会メンバーからでた意見、声を源に活動を進める。

※2025年7月11日までにキャビネット事務局へ提出をお願い致します。

ゾーン・チェアパーソン年間活動計画

8R 2Z 氏名 中嶋 誓治

◇会員拡大について（クラブ別目標数とゾーン目標合計数を記入）

- 8R 2Z 会員拡大目標数 14名
- 各クラブ目標数
- ・ 吉良 LC 2名 ・ 西尾 LC 5名 ・ 碧南 LC 4名 ・ 西尾東 LC 1名
 - ・ 高浜 LC 2名 ・ グレース LC 0名 ・ _____ LC _____名
- 各クラブ戦略(例えば、会員拡大大会、会員拡大チーム作り、家族会員、学生会員等)

会員拡大、LCIF 寄付を常に言われているので、ほとんどのメンバーがうんざりされている(吉良)

◇新クラブ結成、新支部結成について

新クラブ結成 0 クラブ 新支部結成 1 支部

◇LCIF 目標寄付額について（クラブ別目標数とゾーン目標合計数を記入）

- 8R 2Z 目標寄付額 US \$ 32,000
- 各クラブ目標寄付額
- ・ 吉良 LC \$ 5,000
 - ・ 西尾 LC \$ 5,000
 - ・ 碧南 LC \$ 10,000
 - ・ 西尾東 LC \$ 10,000
 - ・ 高浜 LC \$ 1,000
 - ・ グレース LC \$ 1,000
- 8R 2Z 100ドル以上寄付者の割合 35 %
- ・ 吉良 LC 70 %
 - ・ 西尾 LC 0 %
 - ・ 碧南 LC 0 %
 - ・ 西尾東 LC 50 %
 - ・ 高浜 LC 30 %
 - ・ グレース LC 30 %

- ◇LCIF 交付金の申請を考えているクラブ ある ない
- どんな内容ですか

CN50 周年で駅公園に時計台作る(西尾東)

◇新たな奉仕活動の計画や既存の奉仕活動の改善計画を考えているクラブ

(新規に取り組む ACT やリジョン・ゾーン合同 ACT、他クラブとの合同 ACT など)

若手(新入会員)に委員会を越えて奉仕活動に参加してもらえる体制を作る(西尾)
CN45 周年記念アクティビティー(高浜)

◇クラブ運営の改善計画を考えているクラブ

(会費、例会内容などの見直し、他クラブとの合同例会など)

物故 LC 法要かねてお寺などで例会を行なったらと考えている(吉良)
ゲストスピーカーに予算をつけてメンバーが例会に出席したくなる様な企画をする(西尾)
会員の職場訪問例会(西尾東)
委員会開催日の統一、DX を導入し省力化し Zoom、SNS、LINE など(高浜)

※2025年7月11日までにキャビネット事務局へ提出をお願い致します。

第72回地区年次大会委員会 活動計画(案)

地区年次大会委員長 西尾恒章

ライオンズクラブ国際協会334-A地区

第72回地区年次大会

- 1) 開催日 2026年4月18日(土)
- 2) 開催場所 岡谷鋼機名古屋公会堂(鶴舞公園内)
- 3) 代議員会、代議員総会・大会式典 13:30~17:00(詳細未定)
- 4) ガバナー晩餐会 ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋
名古屋市中区金山町一丁目一番一号 Tel 052-683-4111
18:00~20:30
- 5) 登録料 大会式典・晩餐会 (共に未定)

年次大会としての指針(目指すところ)

- *より多くのメンバーに参加していただき地区、各クラブの成長を実感する式典にする。
- *来てよかったと思える、創造性のある、夢ある、未来が輝いて見える内容にする。
- *今期も来期もミッション1・5は読き、会員増強、会員維持、新クラブ結成がすべてのゴールになるため、その結果につながった奉仕活動、各クラブの運営、新たな取り組みをしたクラブ及びメンバーの実例を紹介し、彼らを盛大に称賛する。

活動計画

最も重要である

334-A地区スローガン

「動けば変わる! We Serve」

地区ガバナーキーワード

「不易流行」未来を創るのは今!」

を念頭に置き、年次大会としての指針に沿い、各部会と共にそれぞれの役割を果たすべき、努力してまいります。

地区会則委員長活動計画（案）

地区会則委員長 山田 実

地区ガバナーの方針に従い、ライオンズクラブ国際協会会則及び付則、複合地区会則の理解と変更について周知徹底し、会則に関する諮問事項に応える。

会則関係の国際協会・全日本及び複合地区の情報を確実、迅速に地区内に伝達する。

地区内に会則・付則に抵触する行為が発生したとき、或いは発生する恐れがある時は必要に応じた措置をとる。

活動計画

3 3 4 複合地区会則委員会 年4回出席

3 3 4 - A 地区 キャビネット会議 年4回出席

地区マーケティング委員会活動計画（案）

地区マーケティング委員長 西堀 浩也

334-A 地区スローガン「動けば変わる！ We Serve」

地区ガバナーキーワード「不易流行」未来を創るのは今！

ガバナー基本方針「広報活動の本気で推進」

上記に基づいて、いつまでも変わらない本質的なものを大事にしつつ、新しい変化も取り入れる。ライオンズクラブメンバー一人一人が勇気を持って変革に挑戦できる仕組みを構築します。

1. ライオンズクラブ国際協会 334-A 専用アプリの利用普及

目的：ライオンズクラブメンバーが自クラブのみではなく、他クラブの活動を知り、また 334-A 地区全体の活動が見える様にするすることで、よりライオンズクラブ活動が楽しくなるようにするため。

【アクションプラン】

- ① 各クラブの例会で ZC にアプリのダウンロードと簡単な説明をしてもらう。
- ② 各クラブへ 334-A 地区ホームページにあるアクティビティカレンダー入力を徹底。
- ③ 各クラブへ Lion Portal への ACT 報告を徹底。

2. 各クラブで SNS によるライオンズクラブ活動の配信

目的：ライオンズクラブメンバー以外の方にライオンズクラブ活動を知ってもらう機会を増やすため。

【アクションプラン】

- ① 各クラブへ SNS アカウントの取得と配信をお願いする。
- ② マーケティング委員会を各クラブに設置し、SNS を利用したライオンズクラブの PR をお願いする。
- ③ 各クラブへホームページの開設、修正、更新をお願いする。
- ④ SNS を活用するためのセミナーを開催する。

3. 国際平和ポスターについて

テーマ「ひとつになって」

対象者 2025年11月15日現在で満11歳～13歳までの生徒になります。

2011/11/16～2014/11/15生まれの方。

提出期限 2025年11月15日までに各リジョンから1枚キャビネット事務局へ提出。

年次大会で表彰をします。

4. 地区誌編集委員会との連携

地区誌が年2回発行されるので、地区誌編集委員会へ情報提供をスムーズに行う。

5. 地区マーケティング委員会の開催予定

第1回地区マーケティング委員会

2025/8/18～8/22内

第2回地区マーケティング委員会

2025/11/19～11/26内

第3回地区マーケティング委員会

2026/2/17～2/24内

第4回地区マーケティング委員会

2026/3/23～30内

※時間、場所ともに未定

地区 LCIF・国際関係委員会活動計画 2025 年～2026 年（案）

複合地区・地区 LCIF コーディネーター 原口 秀樹
地区 LCIF 国際関係委員長 下川 健

活動計画

皆様の格別なご理解とご協力で 334-A 地区は LCIF 寄付において日本のみならず世界においても輝かしい実績を積み重ねて参りました。

LCIF は、災害援助・青少年育成・視力保護・人道支援活動・小児がん・糖尿病・食料支援・レオ奉仕活動などの奉仕を支援しています。

LCIF 寄付は地球上の恵まれない地域の人々に多くの夢と希望を与え続けている活動の資源であり、極めて意義ある奉仕活動であると確信しております。

LCIF の活動に対し、本年も変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

目標

- ① LCIF 寄付金額 120 万ドル
- ② 100 ドル寄付 全クラブ達成を目指す
- ③ LCIF 寄付金ゼロクラブをなくすよう推進する。

具体的取組事項

- ① 地区委員の活動に関しては、2025 年 12 月までは月に 1 回ゾーン・チェアパーソン、クラブ会長の方々と連携を取り、リジョン委員の方とは 2 ヶ月に 1 回、連携を取り、推進出来るよう取り組みます。
- ② 委員会は年 4 回開催し、地区委員の皆様と LCIF 寄付に繋がる新たな活動の創出・情報交換を行い交流を深めたいと考えています。
- ③ LCIF 交付金申請については随時対応します。
- ④ 地区 LCIF・国際関係セミナーを 2025 年 7 月 30 日（水）午後にウイंकあいちにて開催します。
- ⑤ LCIF 交付金申請についての相談会を開催します。
- ⑥ クラブシェアリング交付金を活用してクラブ事業の活性化を図る。
- ⑦ 地区 LCIF チャリティゴルフコンペ「目指せNo.1 ゴルファー」2025 年 11 月開催予定
- ⑧ 地区からの毎月末の実績を地区委員にお知らせ致します。
- ⑨ 突発的に災害が発生した際など、地区規約に基づき寄付の要請がある場合がございます。
- ⑩ 各クラブにて LCIF 例会を開催し LCIF についての理解の浸透をはかる。
スピーカーの要請があれば地区 LCIF コーディネーター、LCIF 委員長などで対応します。
- ⑪ LCIF 寄付金は 1 年間いつでも可能ですが、目標達成の目途として 2026 年 2 月末とします。

ライオンズクラブ国際協会 334-A 地区
地区 YCE・レオ委員長 基本活動方針について (2025～2026)

地区 YCE・レオ委員長 L 大津 尚彦

- 334-A 地区スローガン「動けば変わる! We Serve」 -
《基本活動方針》

YCE の活動は、ライオンズクラブ国際協会が定める「世界の人々との間に相互理解の精神をつちかい発展させる」という第一の目的を推進する為の、「青少年交換プログラム (YCE プログラム) 」であり、このプログラムを円滑に遂行する事を基本活動とします。

このライオンズクラブの YCE プログラムは、「国際青少年交換」と「国際キャンプ (ユースキャンプ) 」の二つの主となる事業からなり、夏期と冬期の年間 2 回の実施となります。

我々地区委員会としては、この YCE プログラムに参加される、「国際青少年交換」の派遣生、来日生に、母国と異なる青少年との交流により、思想、習慣、文化的観点を共有させ、国際理解と親善を推進し、世界平和に貢献しうる同世代のリーダー育成の手助けができればと考えます。

また同時に、YCE プログラム参加者には、地区ガバナーキーワードである、「不易流行」未来を創るのは今! で示されている通り、将来的に社会を変革し素晴らしい未来を築く、輝く主役となり得る事を期待するものです。

なお、YCE プログラムを実践するにあたり、派遣生の OB 組織である「YCEF」の協力が不可欠な状況となっていますが、コロナ禍での派遣生の中止による影響で、運営資金の困窮により、「YCEF」の運営、活動が厳しい状況となっていますが引き続きサポート支援致します。

年間 2 回の「派遣生研修・壮行会」「派遣生帰国報告会」「ユースキャンプ」「来日生サポート」と、当地区の YCE 事業に多くの協力をお願いする事となりますので、将来的に「YCEF」の運営、活動が継続且つ円滑に実施できるよう、支援を強化して行く事が重要であると考えます。

レオクラブにつきましては、コロナ禍での活動希薄の影響が、現在でも続いている状況であり、既存レオクラブの事業活動再開の為のサポートが必要と考えます。

地区 YCE・レオ委員会 事業内容について (2025～2026)

1, 地区委員会について

・年 4 回の実施とし、第 1 回～第 3 回委員会は、キャビネット事務局にて、午前中 (10:00～11:30) の開催とする。

・第 1 回 地区委員会 8 月 5 日 (火) 10:00 キャビネット事務局

・第 2 回 地区委員会 12 月 3 日 (水) 10:00 " "

・第 3 回 地区委員会 2026 年 4 月 2 日 (木) 10:00 " "

・第 4 回 地区委員会 未定

・第 1 回委員会にて冬期派遣候補生選考会、第 2 回委員会にて夏期派遣候補生選考会を実施する。

・第 4 回委員会については、引継ぎ・懇親会を兼ねる予定で、日時・会場は未定。

2, 研修会・セミナーについて

【資料①②】参照

・派遣生、来日生 (ホストファミリーセミナー) 共に夏期・冬期の年間 2 回の実施とし、13 時 30 分より冬期会場はウインクあいち 1301 号室する。

(1) 派遣生関連

① 派遣生応募者面接 (冬期 1 回・夏期 1 回)

・2025 年冬期 7 月 5 日 (土) 10:00 キャビネット事務局

応募期間 5/19～6/20 頃

・2026 年夏期 11 月 1 日 (土) 10:00 ウインクあいち 1301 号室

※委員長・副委員長・担当副幹事が面接官～愛知 YCE LC に英会話面接を依頼する。

- ② 派遣候補生研修会・派遣生壮行会 (冬期 1 回・夏期 1 回)
- ・2025 年冬期 11 月 1 日 (土) 13:30 ウィンクあいち 1301 号室
- ・2026 年夏期 6 月 13 日 (土) 13:30 会場未定
- ③ 派遣生帰国報告会 (夏期 1 回・冬期 1 回)
- ・2025 年夏期 9 月 20 日 (土) 9:30 TKP 伏見 3-ABC 会議室
- ・2026 年冬期 2 月 7 日 (土) 9:30 //

(2) 来日生関連

- ① ホストファミリーセミナー (冬期 1 回・夏期 1 回)
- ・2025 年冬期 10 月 18 日 (土) 13:30 ウィンクあいち 1104 号室
- ・2026 年夏期 5 月 30 日 (土) 13:30 会場未定
- ② ユースキャンプ (夏期 1 回・冬期 1 回 / 各 5 泊 6 日)
- ・2025 年夏期 7 月 18 日～24 日 19 日 10 時よりセントレア会議室で結団式 11 時にバスで旭高原自然の家へ 21 日まで、22 日 8 時 30 分旭高原自然の家を出発、(京都) 宇多野ユースホステルへ 24 日 9 時まで滞在
- 13 時 30 分に京都駅まで移動～各地区ホストファミリーへ (JR 京都駅八条口)
- ・2025 年冬期 12 月中旬 (未定)
- ※複合地区からの通知により、地区役員ならびに地区委員の参加要請があります。
- ③ 各リジョンの受入れについて
- ・2025 年夏期 A 地区にて 5 名の受入れ予定。(8R～4R にて 5 名)
- ※来日生の空港への送迎は各リジョン単位での対応となりますが、来日日程は現時点未定。
- ・2025 年冬期 未定 ※派遣生と同人数程度の受入れが基本となります。

3, 研修会・セミナー予算について

【資料③】参照

- ・研修会・セミナーの受講者、ライオンズクラブ関係者より登録料を(金額未定)徴収する事により、備品・茶菓費を含めた研修会・セミナー費は、相殺する事が可能となる。
- ・委員会(第 1 回～第 3 回)での登録料は徴収しないが、第 4 回委員会は、引継ぎ懇親会を予定の為、実費を徴収する。

【登録料の徴収方法について】

- ・各研修会・セミナーへの申込者に対し、各リジョン委員さんは、対象クラブもしくは個人より徴収(リジョンでの負担も有り)し、各リジョン単位で取りまとめて頂いて、研修会・セミナー当日に受付に納めて下さい。
- 地区よりは、各リジョンへ参加申込者人数での領収書の発行を基本とします。

4, 各リジョンの YCE 会議及び各クラブへの通知について

- ・キャビネット会議での YCE 関連事項は、地区委員会にて報告しますので、その都度合同ゾーン会議や、必要に応じてリジョン YCE 会議を開催して各クラブ委員長に報告願います。
- 特に派遣生の応募やホストファミリーの選定に関しては、期日が無い中での案内が予測されますので、事前の準備をお願いします。

なお会議等に個別の要請があれば、地区委員長もしくは担当副幹事が出席して、説明させていただきます。

- ・2025 年夏期の派遣生及び来日生ホストファミリーの選定は今年度の事案となりますが、実質的な活動は次年度の担当となりますので、リジョン単位での今年度リジョン委員さんとの引継ぎを早めに完了して下さい。

5, YCEF 理事会への出席について

- ・毎月 1 回(土・日)理事会が開催されますので、自由に出席が可能ですが、理事会によっては、YCEF よりの案内があります。 ※出席の際には、任意のドネーションが望ましいと思います。
- ・8 月 17 日(日)の 12 時 30 分頃より、YCEF 理事との交流食事会を予定しています。
- ※YCEF より、午前中の第 2 回理事会と共に案内があります。

6, その他

- ・地区委員会の迅速な事案共有の為、2024 年度同様にグループ LINE を活用したいと思いますので、登録のご協力をお願いします。

地区アラート・環境保全委員会 指針（案）

① 能登で発生した震災被害について

昨年発災した石川県能登半島の震災でライオンズクラブとして何ができるかと何をすべきかを来期はできるだけ資料化していき、南海トラフ地震に備えていきたいと考えております。

南海トラフ大地震が起き、被災者となった時の 334-A 地区のあり方、近隣のライオンズクラブとの連携や連絡系統等を資料化し震災に備えられたらと考えております。

② 愛知県内の公園等に設置されている防災ベンチについて

愛知県内にも多数の防災ベンチが設置されていると思いますが、そのベンチの場所や使用方法はあまり知られていないかと思っております。いざという時にせっかくある設備を持て余しては意味がないと思い、その設置場所や使用方法をライオンズメンバーに周知してもらえようアクティビティーの企画をしていきたいと考えております。

以上が当委員会の来期における指針となります。

地区環境アラート・環境保全委員長 小泉 安弘

【活動方針】

1) ライオンズクエスト

ライオンズクエストは1975年リックリトルという19歳の少年が交通事故で重症を負い、治療しているときに青少年のライフスタイルプログラムを考えてW. Kケロッグ財団から交付金を受け、クエストインターナショナルを設立した事を始まりとし、1984年にライオンズクラブが交付金を提供してパートナーシップを結び青少年健全育成の一つの大きな事業として取り上げるようになりました。

ライオンズクエストはこのライフスキルプログラムを実施する事のできる教員を養成するためのワークショップを開く手伝いをするという間接的な関わり方である事と、日本では特定非営利活動法人青少年育成支援フォーラム（J I Y D）が教材や講師を管理して、L C I F交付金を使うことはできませんが、多額の費用が掛かる事やかなり厳しい条件があることなどから当地区ではあまり普及していないのが現状です。過去には2021年に4 R 2 Zの三好愛知LCでワークショップが実施された事があります。開催を希望されるクラブがありましたらお手伝いさせていただきます。

*クエスト実行までは計画後18か月の手続き期間が必要となります。

2) 薬物乱用防止教室について

昨今薬物違法使用の低年齢化が進む中、薬物乱用防止教室は教育現場でも必要なカリキュラムとして広く認識されており、ライオンズクラブ以外でも警察、保健所などの機関が主導して行っている所があります。ライオンズクラブの活動としましては、行政や教育委員会、校長会等と連携し、授業の1コマを毎年多くの学校で継続的に行っていくよう活動したいと思います。また、どのリージョン、どのクラブでも同じレベルで防止教室が行えるよう講師の数を増やすと共に、講師のレベルアップにも取り組んで行きたいと思います。薬物は年々新しいものが増えたり、流行も変化していますので、薬物乱用防止教室の講師を最新の知識で要請する必要があります。各クラブで最新の知識を共有するといった観点からも本年度の薬物乱用防止教育認定講座を更新、新規の方を合わせてクラブで3人程度受講していただきたいと思います。

【年間計画】

1. 第1回地区ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会
8月21日（木） 13:00～15:00 場所：キャビネット事務局
2. 第2回地区ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会
9月2日（火） 14:30～16:30 場所：名古屋市熱田文化小劇場（会場下見を兼ねる）
3. 薬物乱用防止教育認定講座
10月3日（金） 12:50～16:15 場所：名古屋市熱田文化小劇場
4. 第3回地区ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会
5. 11月28日（金） 13:00～15:00 場所：キャビネット事務局
6. 第4回地区ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会（最終報告会）
2月24日（火） 13:00～14:00 場所：キャビネット事務局

【活動方針】

保健福祉委員会の主たる奉仕活動には、献眼、献腎、骨髄移植推進、聴覚、糖尿病予防、小児がんの啓蒙活動があります。クラブごとにとりくんでいらっしゃる活動を引き続き行っていただくとともに新たな活動にも取り組んでいただきたいと思います。

1. 献血

献血につきましては、取り組んでいただいているクラブは多いと思います。一時期コロナ禍で献血が足りない状況が続居ましたが現在少しずつ献血者が回復しているようです。しかしながら愛知県赤十字社のHPでもAB型以外の血液型の献血が不足しているとなっています。従いまして各クラブのご協力のもと、今までに献血の経験がない方への啓蒙活動等新たな層の掘り起こしをできればと考えております。

2. 小児がんの啓蒙活動

小児がんは0歳から14歳までの子供に発生するがんで、白血病、脳腫瘍、リンパ腫などが代表的なものに取り上げられます。小児がんは、治療によっては7～8割の子どもが完治するといわれています。しかしながら、小児がんの治療の問題点は、専門医療施設の不足、大規模な治験の難しさ、治療後の晩期合併症、AYA世代(15歳～39歳)特有の医療費負担、そして新薬開発の遅れなどが挙げられます。その問題点解決のため、小児がんに関する理解を深め、社会全体で小児がん患者と家族をサポートする意識を向上させる必要があります。保健福祉委員会として、小児がん治療に対する効果的な寄附と、継続的な啓蒙活動をお願いいたします。

3. 骨髄移植推進

骨髄ドナー登録は献血中に行うことができます。各クラブの献血のACT中に、献血者の方に骨髄ドナーへの登録を、お願い致します。

4. 献腎

献腎移植とは、亡くなられた方から腎臓を提供していただく移植のことです。献腎移植には心臓死からの移植と脳死からの移植があります。献腎移植を希望される場合、日本臓器移植ネットワーク(JOTNW)にあらかじめ登録する必要があります。こちらの啓蒙活動の推進をお願い致します。

5. 聴覚、糖尿病予防

聴覚障害に対する一般の人々が聴覚障害に対する理解を深め、聴覚障害者への偏見や差別をなくすための活動をお願いいたします。糖尿病予防のため、食事、運動、体重管理、禁煙、健康診断など、生活習慣の改善を促すことの啓蒙をお願い致します。

地区誌編集委員会 活動計画（案）

地区誌編集委員長 松本高武

本年度の地区誌については、2025年9月および2026年6月の2回、冊子を発行し、配布する予定です。

【第1号】

- ・国際会長の紹介
- ・地区ガバナー方針
- ・基本目標
- ・年間活動計画
- ・国際大会/表敬訪問の報告
- ・地区役員紹介
- ・地区組織図
- ・クラブ会長紹介
- ・広告

【第2号】

- ・ガバナー挨拶
- ・地区年次大会 式典・晩餐会
- ・各クラブ周年行事紹介
- ・主なACT、活動報告
- ・広告

【発行部数】

- ・全会員数（約4,000部）

【ページ数】

- ・32～36ページ（広告ページ：10～15ページ含む）

15. 参 考 资 料

2024年～2025年度 月例活動報告書集計年間報告

アクティビティ・リジョン別集計表

2024年7月～2025年6月

R	月別	ゾーン数	クラブ数	アクティビティ件数	アクティビティ金額
1	7～6	2	15	192	51,553,282
2	7～6	2	14	462	46,530,375
3	7～6	2	12	315	28,120,729
4	7～6	2	13	276	43,267,972
5	7～6	2	9	244	27,947,335
6	7～6	2	12	271	33,140,313
7	7～6	3	16	247	21,528,381
8	7～6	2	11	466	40,392,739
合計	7～6	17	102	2,473	292,481,126

アクティビティ 月別集計表

2024年7月～2025年6月

月	件 数		金 額	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度
7月	138	146	11,063,917	10,710,054
8月	125	120	19,335,213	15,147,798
9月	156	174	11,759,177	15,124,076
10月	352	336	53,811,410	19,484,181
11月	360	301	27,161,587	48,680,161
12月	333	306	43,332,474	39,129,426
1月	164	162	25,483,250	65,868,647
2月	196	204	36,077,381	39,873,013
3月	239	216	24,252,999	18,491,385
4月	131	208	10,461,502	18,346,432
5月	172	160	12,482,371	12,132,798
6月	107	166	17,259,845	8,938,284
合計	2473	2499	292,481,126	311,926,255
平均	206.08	208.25	24,373,427	25,993,855

2024年7月～2025年6月 アクティビティ集計及び会員移動表

R	Z	アクティビティ										会員移動				
		金額		労 件数	力		総件数	2024/7/1		退会		増減				
		件数	金額計		時間	計		入会	(内)	物故者	(内)		2025/6/30			
		141	¥51,553,282	51	3,433.0	192	721	171	107	1	60	12	832	111		
		282	¥46,530,375	180	7,119.7	462	660	191	41	6	112	21	739	79		
		228	¥28,120,729	87	4,286.0	315	740	66	17	7	77	29	729	-11		
		178	¥43,267,972	98	4,584.0	276	606	36	17	6	76	20	566	-40		
		139	¥27,947,335	105	4,225.0	244	458	16	1	4	41	7	433	-25		
		191	¥33,140,313	80	4,189.0	271	728	34	0	10	64	22	698	-30		
		183	¥21,528,381	64	2,539.2	247	459	21	1	5	71	12	409	-50		
		301	¥40,392,739	165	3,720.1	466	588	50	4	4	58	6	580	-8		
		1643	¥292,481,126	830	34,096	2473	4960	585	188	43	559	129	4986	26		
		クラブ名														
		11	¥4,257,558	5	245	16	38	6	4	0	3	0	41	3		
		11	¥1,048,216	6	270	17	44	1	0	0	8	1	37	-7		
		9	¥923,710	5	794	14	23	1	0	0	0	0	24	1		
		11	¥5,662,326	4	85	15	37	0	0	0	6	3	31	-6		
		16	¥1,522,738	4	581	20	63	3	0	0	8	0	58	-5		
		8	¥1,276,966	8	429	16	38	3	0	0	1	0	40	2		
		2	¥102,892	2	25	4	15	1	0	0	7	0	9	-6		
		68	¥14,794,406	34	2429	102	258	15	4	0	33	4	240	-18		
		19	¥23,729,974	1	247.5	20	160	9	0	0	16	3	153	-7		
		21	¥4,103,488	4	150.5	25	69	17	7	0	1	1	85	16		
		3	¥931,780	1	55	4	14	3	0	0	0	0	17	3		
		11	¥3,060,583	2	217	13	115	119	96	0	4	2	230	115		
		8	¥1,936,666	2	14	10	34	8	0	0	2	0	40	6		
		6	¥1,166,174	7	316.5	13	27	0	0	0	2	1	25	-2		
		4	¥1,520,751	0	3.5	4	24	0	0	0	2	1	22	-2		
		1	¥309,460	0	0	1	20	0	0	0	0	0	20	0		
		73	¥36,758,876	17	1004	90	463	156	103	1	27	8	592	129		
		141	¥51,553,282	51	3433	192	721	171	107	1	60	12	832	111		
		25	¥8,369,194	18	1177	43	84	23	1	0	6	1	101	17		
		26	¥3,406,256	19	1475.5	45	93	2	0	1	8	4	87	-6		
		14	¥894,972	1	12	15	41	0	0	0	2	1	39	-2		
		18	¥2,453,195	12	205.2	30	25	0	0	0	2	0	23	-2		
		36	¥1,948,261	21	381	57	70	5	0	0	8	1	67	-3		
		20	¥3,821,309	14	339.5	34	30	2	1	0	3	0	29	-1		
		28	¥5,644,355	26	1636	54	33	62	0	0	28	1	67	34		
		25	¥3,594,600	12	433	37	39	6	2	0	4	1	41	2		
		3	¥104,962	8	129.5	11	19	0	0	0	19	4	0	-19		
		0	¥0	3	152	3	0	65	24	0	0	0	65	65		
		195	¥30,237,104	134	5940.7	329	434	165	28	1	80	13	519	85		
		19	¥977,247	11	220.5	30	44	8	8	4	8	2	44	0		
		11	¥2,587,614	7	400	18	67	11	4	0	7	1	71	4		
		24	¥2,404,325	8	203.5	32	41	2	0	1	8	3	35	-6		
		22	¥1,996,147	9	167	31	43	2	1	0	0	0	45	2		
		11	¥8,327,938	11	188	22	31	3	0	0	9	2	25	-6		
		87	¥16,293,271	46	1179	133	226	26	13	5	32	8	220	-6		
		282	¥46,530,375	180	7119.7	462	660	191	41	6	112	21	739	79		

		アクティビティ										会員移動									
3	クラブ名	金額		総件数	労務		2024/7/1	入会		物故者	退会		2025/6/30	増減							
		件数	金額計		件数	時間計		(内)	(内)		(内)										
1	一宮	35	¥10,891,637	45	10	965	262	23	13	0	24	10	261	-1							
	一宮サウス	17	¥492,064	25	8	255.5	44	5	0	1	13	8	36	-8							
	一宮中	22	¥1,373,273	34	12	210.5	31	0	0	0	2	0	29	-2							
	稲沢	23	¥1,236,634	30	7	233	33	4	0	2	5	2	32	-1							
	一宮東	29	¥2,328,899	40	11	312	62	7	0	0	8	3	61	-1							
	稲沢緑	18	¥1,768,914	25	7	367	48	6	0	2	5	1	49	1							
	愛知Y. C. E.	0	¥0	0	0	0	7	0	0	0	3	0	4	-3							
	3R1Z 小計	144	¥18,091,421	199	55	2343	487	45	13	5	60	24	472	-15							
	2	津島	20	¥1,923,350	25	5	384	44	8	0	0	6	2	46	-2						
	磐江	6	¥283,566	12	6	106	18	1	0	1	2	0	17	-1							
弥富	26	¥3,281,310	35	9	632	82	10	4	0	1	0	91	9								
海部	15	¥1,612,107	20	5	306	51	0	0	0	5	1	46	-5								
愛西	17	¥2,928,975	24	7	515	58	2	0	1	3	2	57	-1								
3R2Z 小計	84	¥10,029,308	116	32	1943	253	21	4	2	17	7	5	257	4							
3R 合計	228	¥28,120,729	315	87	4286	740	66	17	7	77	29	729	-11								
4	1	岡崎	19	¥8,653,940	23	4	817.5	70	6	0	1	3	0	73	3						
	岡崎南	24	¥10,390,817	38	14	1103	106	4	0	0	6	0	104	-2							
	幸田	6	¥693,119	11	5	18	5	0	0	0	0	0	5	0							
	岡崎葵	25	¥3,699,816	30	5	393	58	4	2	2	6	2	56	-2							
	岡崎竜城	15	¥2,601,979	18	3	104.5	44	0	0	0	5	0	39	-5							
	岡崎フオレスト	11	¥1,151,694	22	11	208.5	16	0	0	0	3	0	13	-3							
	4R1Z 小計	100	¥27,191,365	142	42	2644.5	299	14	2	3	23	2	290	-9							
	2	豊田	10	¥1,407,304	17	7	148.5	40	2	0	3	6	3	36	-4						
	三好愛知	8	¥2,408,222	16	8	432	46	8	6	0	4	1	50	4							
	豊田南	8	¥1,722,912	16	8	226	44	0	0	0	9	6	35	-9							
豊田加茂	5	¥140,230	8	3	31.5	18	0	0	0	18	0	0	-18								
豊田東名	16	¥4,507,297	31	15	585.5	51	1	0	0	5	1	47	-4								
愛知中央	15	¥1,208,056	28	13	191	25	1	0	0	1	1	25	0								
豊田ルネッサンス	13	¥3,826,174	15	2	325	73	10	9	0	10	6	73	0								
岡崎クレスト	3	¥856,412	3	0	0	10	0	0	0	0	0	10	0								
4R2Z 小計	78	¥16,076,607	134	56	1939.5	307	22	15	3	53	18	276	-31								
4R 合計	178	¥43,267,972	276	98	4584	606	36	17	6	76	20	566	-40								

		アクティビティ										会員移動				
7	クラブ名	金額		労 件数	力 時間計		総件数	2024/7/1	入会 (内)		物故者	退会 (内)		2025/6/30	増減	
		件数	金額計		件数	時間計										
1	名古屋サウス	4	¥523,037	2	35.5	6	10	0	0	0	0	0	10	0		
	名古屋葵	13	¥2,472,613	4	367	17	51	4	0	0	5	0	50	-1		
	名古屋緑	12	¥1,628,774	6	152.5	18	23	1	0	1	2	1	22	-1		
	名古屋樟	15	¥2,742,032	9	183.5	24	23	1	0	0	3	0	21	-2		
	名古屋名南	13	¥1,440,659	3	126.5	16	38	1	0	0	4	0	35	-3		
	7R1Z 小計	57	¥8,807,115	24	865	81	145	7	0	1	14	1	138	-7		
	名古屋みなと	16	¥1,627,695	2	59	18	39	0	0	0	1	11	3	28	-11	
	名古屋熱田	16	¥2,144,064	9	171	25	33	2	0	0	0	0	0	35	2	
	名古屋中川	10	¥600,529	0	30	10	15	1	0	0	0	0	0	16	1	
	名古屋シニア	7	¥215,350	3	74.5	10	33	4	0	0	0	13	1	24	-9	
	7R2Z 小計	49	¥4,587,638	14	334.5	63	120	7	0	1	24	4	103	-17		
	名古屋イースト	13	¥1,699,013	2	87.5	15	45	0	0	0	1	9	3	36	-9	
	名古屋守山	9	¥785,059	4	86.5	13	27	0	0	0	1	6	2	21	-6	
名古屋東山	12	¥1,356,854	3	175.5	15	37	0	0	0	0	3	1	34	-3		
名古屋城東	12	¥757,913	5	201	17	21	1	0	0	0	1	0	21	0		
名古屋天白	1	¥14,990	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3	0		
名古屋名東	10	¥962,438	4	169.5	14	29	6	1	1	7	1	1	28	-1		
名古屋千種	20	¥2,557,361	8	619.7	28	29	0	0	0	4	0	0	25	-4		
愛知ひまわり	0	¥0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	0	0	-3		
7R3Z 小計	77	¥8,133,628	26	1339.7	103	194	7	1	3	33	7	168	-26			
7R 合計	183	¥21,528,381	64	2539.2	247	459	21	1	5	71	12	409	-50			
8	安城	25	¥1,474,497	13	177	38	31	5	0	1	6	0	30	-1		
	知立	28	¥4,862,211	18	216.6	46	65	6	0	1	6	0	65	0		
	刈谷	29	¥6,459,722	12	592	41	73	16	0	0	5	0	84	11		
	安城南	27	¥3,250,963	13	267	40	56	2	0	0	5	1	53	-3		
	刈谷衣浦	12	¥7,428,406	15	250	27	12	0	0	0	12	1	0	-12		
	愛知エムアルド	13	¥1,104,821	33	211	46	44	3	1	0	7	3	40	-4		
	8R1Z 小計	134	¥24,580,620	104	1713.6	238	281	32	1	2	41	5	272	-9		
	吉良	30	¥2,175,386	2	54	32	47	0	0	0	1	1	46	-1		
	西尾	23	¥3,312,238	8	146.5	31	70	7	0	2	0	0	75	5		
	碧南	29	¥5,860,909	12	793	41	78	4	0	2	9	0	73	-5		
	西尾東	37	¥2,482,402	13	619	50	78	4	3	0	3	0	79	1		
	高浜	38	¥899,290	15	287	53	23	2	0	0	0	0	25	2		
	愛知グレース	10	¥481,894	11	107	21	11	1	1	0	0	2	0	10	-1	
8R2Z 小計	167	¥15,812,119	61	2006.5	228	307	18	3	2	17	1	308	1			
8R 合計	301	¥40,392,739	165	3720.1	466	588	50	4	4	58	6	580	-8			

	登録者数												献血										
	献眼			献腎			骨髄移植			献眼者			献腎者			献血者			成分				
	総数	L	一般	総数	L	一般	総数	L	一般	総数	L	一般	総数	L	一般	総数P	1ポイント	400ml	2ポイント	成分	5ポイント	ポイント	
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	リジョン別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	名古屋サウス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	名古屋葵	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	名古屋緑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	92	46	240	48	0	234
	名古屋榎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	20	0	0	0	40
	名古屋南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1Z 小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	366	183	240	48	0	608
2	名古屋みなと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	106	53	0	0	0	106
	名古屋熱田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	122	61	0	0	0	123
	名古屋中川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	72	36	240	48	0	314
	名古屋シニア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2Z 小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	300	150	240	48	0	543
3	名古屋イースト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	名古屋守山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	名古屋東山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	名古屋城東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	名古屋天白	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	名古屋名東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	96	48	0	0	0	96
	名古屋千種	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	182	91	0	0	0	188
	愛知ひまわり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7R3Z 小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	278	139	480	96	0	284
	7R 合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	11	944	472	480	96	0	1435
8	1 安城	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	13	372	186	0	0	0	385
	知立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	556	278	0	0	0	556
	刈谷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	208	104	0	0	0	208
	安城南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	278	139	0	0	0	283
	刈谷衣浦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	256	128	0	0	0	256
	愛知エマールド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	196	98	0	0	0	196
	1Z 小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	18	1866	933	0	0	0	1884
	2 吉良	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	19	494	247	0	0	0	513
	西尾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	204	102	0	0	0	210
	豊南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	96	48	0	0	0	102
	西尾東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	268	134	0	0	0	269
	高浜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	24	924	462	0	0	0	948
	愛知グレース	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	120	60	0	0	0	124
	2Z 小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	60	2106	1053	0	0	0	2166
	8R 合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	78	78	3972	1986	0	0	0	4050

334-A地区 LCIF寄付額一覧表 (2024年7月1日~2025年6月30日現在)

R	Z	クラブ名	口数	MJF	MJF分割	クラブ寄付	合計
1	1	名古屋	5	\$5,000	\$0	\$1,105	\$6,105
		名古屋名城	5	\$5,000	\$0	\$805	\$5,805
		名古屋中	1	\$1,000	\$0	\$541	\$1,541
		名古屋城北	1	\$1,000	\$0	\$541	\$1,541
		名古屋栄	3	\$2,000	\$1,100	\$1,384	\$4,484
		名古屋堀川	0	\$0	\$0	\$751	\$751
		名古屋フロンティア	0	\$0	\$1,200	\$369	\$1,569
	小計	15	\$14,000	\$2,300	\$5,497	\$21,797	
	2	名古屋ウエスト	93	\$85,000	\$20,914	\$3,636.81	\$110,550.76
		名古屋太閤	16	\$16,000	\$800	\$2,591	\$19,391
		名古屋徳川	5	\$5,000	\$0	\$522	\$5,522
		名古屋中村	16	\$15,000	\$1,850	\$2,666	\$19,516
		名古屋本丸	9	\$9,000	\$700	\$1,380	\$11,080
		名古屋シティ	2	\$1,000	\$4,000	\$816	\$5,816
		名古屋MJF	10	\$9,000	\$1,168	\$264	\$10,432
名古屋フロンティアの介護		0	\$0	\$2,000	\$244	\$2,244	
小計		151	\$141,000	\$31,432	\$12,120	\$184,551	
合計		166	\$155,000	\$33,731.53	\$17,616	\$206,348	
2	1	豊橋	41	\$41,000	\$3,366	\$1,278	\$45,644
		豊橋南	4	\$4,000	\$6,480	\$1,364	\$11,844
		Aichi 穂の国	2	\$2,000	\$45	\$3,656	\$5,701
		豊橋西	5	\$5,000	\$120	\$768	\$5,888
		豊橋みなと	3	\$3,000	\$3,280	\$1,322	\$7,602
		豊橋北	5	\$5,000	\$825	\$949	\$6,774
		豊橋中	7	\$7,000	\$120	\$1,700	\$8,820
		豊橋ちぎり	10	\$9,000	\$2,390	\$638	\$12,028
		豊橋シニア	0	\$0	\$15	\$1,900	\$1,915
		田原藤通	0	\$0	\$0	\$1,000.00	\$1,000.00
	小計	77	\$76,000	\$16,641	\$14,575	\$107,215	
	2	新城	4	\$4,000	\$45	\$809	\$4,854
		蒲郡	8	\$8,000	\$325	\$1,139	\$9,464
		豊川	2	\$2,000	\$1,775	\$3,342	\$7,117
		豊川中	3	\$3,000	\$4,125	\$1,724	\$7,849
蒲郡マリン		53	\$53,000	\$145	\$969	\$54,113	
小計	70	\$69,000	\$6,415	\$7,983	\$83,398		
合計	147	\$145,000.0	\$23,055.6	\$22,557.8	\$190,613.4		
3	1	一宮	41	\$34,000	\$8,401	\$3,526	\$45,927
		一宮サウス	0	\$0	\$880	\$734	\$1,614
		一宮中	5	\$5,000	\$180	\$528	\$5,708
		稲沢	2	\$1,000	\$1,340	\$1,210	\$3,550
		一宮東	5	\$5,000	\$300	\$1,186	\$6,486
		稲沢緑	3	\$3,000	\$80	\$809	\$3,889
		愛知Y.C.E.	0	\$0	\$20	\$0	\$20
	小計	56	\$48,000	\$11,202	\$7,992.54	\$67,194	
	2	津島	3	\$1,000	\$1,780	\$700	\$3,480
		蟹江	0	\$0	\$600	\$324	\$924
		弥富	3	\$3,000	\$920	\$1,551	\$5,472
		海部	2	\$2,000	\$620	\$930	\$3,551
	愛西	3	\$3,000	\$460	\$2,066	\$5,526	
	小計	11	\$9,000	\$4,381	\$5,571.46	\$18,953	
	合計	67	\$57,000	\$15,583	\$13,564.00	\$86,147	
4	1	岡崎	14	\$9,000	\$7,300	\$1,704.14	\$18,004
		岡崎南	15	\$15,000	\$1,800	\$2,521.28	\$19,322
		幸田	0	\$0	\$0	\$379.23	\$379
		岡崎葵	6	\$6,000	\$1,465	\$1,161.67	\$8,627
		岡崎産城	9	\$7,000	\$4,693	\$1,003.07	\$12,696
		岡崎フォレスト	3	\$3,000	\$1,676	\$396.04	\$5,072
		小計	47	\$40,000	\$16,935	\$7,165	\$64,101
	2	豊田	6	\$6,000	\$1,000	\$607.24	\$7,607
		三好愛知	6	\$6,000	\$2,500	\$792.08	\$9,292
		豊田南	5	\$5,000	\$126	\$805.09	\$5,931
		豊田加茂	0	\$0	\$0	\$475.22	\$475
		豊田東名	7	\$7,000	\$1,781	\$1,320.14	\$10,101
		愛知中央	2	\$2,000	\$1,300	\$528.09	\$3,828
		豊田ルネッサンス	14	\$13,000	\$2,169	\$712.06	\$15,881
		岡崎ウエスト	3	\$3,000	\$700	\$264.05	\$3,964
小計	43	\$42,000	\$9,575	\$5,504	\$57,079		
合計	90	\$82,000	\$26,511	\$12,669	\$121,180		

R	Z	クラブ名	口数	MJF	MJF分割	クラブ寄付	合計	
5	1	常滑	6	\$6,000	\$1,000	\$1,639.85	\$8,640	
		半田	12	\$12,000	\$1,015	\$1,452.47	\$14,467	
		美浜	11	\$11,000	\$1,400	\$1,106.79	\$13,507	
		南知多	6	\$6,000	\$2,300	\$1,201.18	\$9,501	
		武豊	5	\$5,000	\$0	\$1,106.78	\$6,107	
		知多サザンシニア	1	\$1,000	\$600	\$382.12	\$1,982	
		小計	41	\$41,000	\$6,315	\$6,889.19	\$54,204	
	2	知多	5	\$5,000	\$2,800	\$1,580.96	\$9,381	
		東海	5	\$5,000	\$2,900	\$2,083.22	\$9,983	
		大府	8	\$2,000	\$11,450	\$1,837.14	\$15,287	
	小計	18	\$12,000	\$17,150	\$5,501	\$34,651		
	合計	59	\$53,000	\$23,465	\$12,391	\$88,856		
	6	1	江南	2	\$2,000	\$0	\$1,879.38	\$3,879
			犬山	5	\$5,000	\$0	\$1,142.23	\$6,142
			小牧	10	\$10,000	\$4,700	\$1,417.64	\$16,118
丹羽			14	\$14,000	\$0	\$1,656.86	\$15,657	
岩倉			0	\$0	\$1,500	\$561.10	\$2,061	
愛知さくら			23	\$23,000	\$0	\$1,472.43	\$24,472	
小計			54	\$54,000	\$6,200	\$8,129.64	\$68,330	
2		瀬戸	1	\$1,000	\$0	\$686.42	\$1,686	
		春日井	5	\$3,000	\$1,960	\$1,437.26	\$6,397	
		尾張旭	8	\$8,000	\$0	\$1,389.36	\$9,389	
		春日井中央	19	\$19,000	\$2,200	\$1,492.52	\$22,693	
		春日井けやき	8	\$8,000	\$32	\$914.71	\$8,947	
		春日井さくら	3	\$3,000	\$2,000	\$876.86	\$5,877	
		小計	44	\$42,000	\$6,192	\$6,797.13	\$54,989	
合計		98	\$96,000	\$12,392	\$14,926.77	\$123,319		
7	1	名古屋サウス	0	\$0	\$70	\$105.61	\$175	
		名古屋葵	11	\$11,000	\$1,239	\$856.27	\$13,096	
		名古屋緑	3	\$3,000	\$174	\$554.14	\$3,728	
		名古屋種	3	\$3,000	\$739	\$448.55	\$4,188	
		名古屋名南	3	\$3,000	\$259	\$751.16	\$4,011	
	小計	20	\$20,000	\$2,482	\$2,715.73	\$25,198		
	2	名古屋みなと	1	\$1,000	\$1,139	\$804.53	\$2,944	
		名古屋熱田	5	\$5,000	\$1,970	\$792.10	\$7,762	
		名古屋中川	1	\$1,000	\$1,244	\$277.35	\$2,521	
		名古屋シニア	0	\$0	\$814	\$591.93	\$1,406	
		小計	7	\$7,000	\$5,167	\$2,465.91	\$14,633	
	3	名古屋イースト	5	\$2,000	\$3,638	\$772.89	\$6,411	
		名古屋守山	1	\$1,000	\$1,439	\$469.71	\$2,909	
		名古屋東山	4	\$4,000	\$105	\$493.00	\$4,598	
		名古屋城東	1	\$1,000	\$105	\$1,179.71	\$2,284	
名古屋天白		0	\$0	\$100	\$79.21	\$179		
名古屋名東		2	\$2,000	\$70	\$483.45	\$2,553		
名古屋千種		6	\$6,000	\$2,544	\$680.43	\$9,224		
愛知ひまわり		0	\$0	\$0	\$0.00	\$0		
小計	19	\$16,000.0	\$8,000.5	\$4,158.4	\$28,158.9			
合計	46	\$43,000.0	\$15,649.8	\$9,340.0	\$67,989.8			
8	1	安城	6	\$6,000	\$400	\$1,050.13	\$7,450	
		知立	20	\$20,000	\$0	\$1,908.97	\$21,909	
		刈谷	26	\$26,000	\$2,100	\$2,716.45	\$30,816	
		安城南	7	\$7,000	\$0	\$1,296.60	\$8,297	
		刈谷衣浦	1	\$1,000	\$0	\$293.52	\$1,294	
		愛知エメラルド	5	\$5,000	\$400	\$140.04	\$5,540	
		小計	65	\$65,000	\$2,900	\$7,406	\$75,306	
	2	吉良	6	\$6,000	\$2,300	\$1,602.54	\$9,903	
		西尾	5	\$5,000	\$0	\$1,934.38	\$6,934	
		碧南	13	\$13,000	\$0	\$2,206.24	\$15,206	
		西尾東	5	\$5,000	\$0	\$1,865.05	\$6,865	
		高浜	1	\$1,000	\$0	\$856.98	\$1,857	
	愛知グレース	1	\$1,000	\$0	\$425.20	\$1,425		
	小計	31	\$31,000	\$2,300	\$8,890	\$42,190		
	合計	96	\$96,000	\$5,200	\$16,296	\$117,496		
334-A地区						\$22,917.51	\$22,918	

総合計	769	\$727,000	\$155,587	\$142,278	\$1,024,866
-----	-----	-----------	-----------	-----------	-------------

